

令和3年度

主要施策の成果に関する報告書

射水市

令和3年度における主要施策の成果に関する報告について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第233条第5項の規定により、令和3年度一般会計及び特別会計における主要施策の成果に関する報告書を次のとおり提出します。

令和4年 9月 1日

射水市長 夏野元志

目 次

1 令和3年度決算の概要

(1) 会計別決算収支の状況	1
(2) 財政収支(一般会計)及び財政健全化指標等の推移	2
(3) 会計別決算の概要(対予算比、対前年度比)	3

2 主要事業の執行状況

(1) 一般会計	5
歳入	5
歳出	10
議会費	15
総務費	16
民生費	61
衛生費	90
労働費	118
農林水産業費	120
商工費	134
土木費	145
消防費	168
教育費	174
公債費	218
予備費	219

(2) 国民健康保険事業特別会計	221
(3) 後期高齢者医療事業特別会計	235
(4) 介護保険事業特別会計	240

3 財産の状況

4 市債の状況

参考 令和3年度新型コロナウイルス感染症対策に係る 市の取組一覧(一般会計)	267
---	-----

1 令和3年度決算の概要

【数値の記載に当たって】

各区分の数値は、表示単位未満を四捨五入等で記載しており、合計数値及び決算書数値とは一致しないことがある。

1 令和3年度決算の概要

(1) 会計別決算収支の状況

(単位：千円)

区 分	歳入総額 A	歳出総額 B	歳入歳出差引額 (形式収支額) C (A - B)	翌年度へ 繰り越すべき財源 D	実質収支額 (C - D)
一般会計	47,932,687	45,617,480	2,315,207	523,771	1,791,436
特別会計	20,087,016	19,886,784	200,232	0	200,232
国民健康保険事業	8,286,038	8,253,532	32,506	0	32,506
後期高齢者医療事業	2,363,090	2,359,631	3,459	0	3,459
介護保険事業	9,437,888	9,273,621	164,267	0	164,267
合 計	68,019,703	65,504,264	2,515,439	523,771	1,991,668

翌年度へ繰り越すべき財源は、繰越明許費繰越に係る財源である。

一般会計決算収支の状況

歳入総額47,932,687千円に対し、歳出総額は45,617,480千円である。歳入総額から歳出総額を差し引いた形式収支額は2,315,207千円であり、この額から令和4年度に繰り越すべき財源523,771千円を差し引いた実質収支額は、1,791,436千円の黒字となった。

特別会計決算収支の状況

(ア) 国民健康保険事業

歳入総額は8,286,038千円、歳出総額は8,253,532千円であり、実質収支額は、32,506千円の黒字となった。

(イ) 後期高齢者医療事業

歳入総額は2,363,090千円、歳出総額は2,359,631千円であり、実質収支額は、3,459千円の黒字となった。

(ウ) 介護保険事業

歳入総額は9,437,888千円、歳出総額は9,273,621千円であり、実質収支額は、164,267千円の黒字となった。

(2) 財政収支（一般会計）及び財政健全化指標等の推移

（単位：千円）

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
形式収支 （歳入総額 - 歳出総額）	1,751,567	1,151,654	1,557,533	1,628,245	2,315,207
実質収支 （形式収支 - 翌年度に繰り越すべき財源）	1,640,319	942,033	1,163,102	1,330,652	1,791,436
単年度収支 （当該年度実質収支額 - 前年度実質収支額）	657,434	698,286	221,069	167,550	460,784
実質単年度収支 （単年度収支 + 財調積立金 + 市債繰上償還額 - 財調取崩額）	866,854	212,435	748,264	765,902	476,014
（財調積立額）	8,311	612,990	13,629	788,352	15,230
（市債繰上償還額）	747,109	297,731	513,566	0	0
（財調取崩額）	546,000	0	0	190,000	0

〔参考〕

減債基金積立額	195	156	161	428	974,519
---------	-----	-----	-----	-----	---------

〔財政健全化指標等〕

実質公債費比率（％）	10.3	9.8	9.2	8.8	8.8
将来負担比率（％）	98.5	90.2	89.7	88.8	78.7
財政力指数	0.64	0.64	0.65	0.66	0.67

(3) 会計別決算の概要（対予算比、対前年度比）

歳入

（単位：千円、％）

区 分	予算額 A	構成比	決算額 B	構成比	差引額 (B - A)	収入率 (B / A)
一般会計	48,796,351	70.6	47,932,687	70.5	863,664	98.2
特別会計	20,296,468	29.4	20,087,016	29.5	209,452	99.0
国民健康保険事業	8,480,965	12.3	8,286,038	12.2	194,927	97.7
後期高齢者医療事業	2,363,797	3.4	2,363,090	3.5	707	100.0
介護保険事業	9,451,706	13.7	9,437,888	13.9	13,818	99.9
合 計	69,092,819	100.0	68,019,703	100.0	1,073,117	98.4

前年度決算額 C	前年度比 (B - C)
57,784,306	9,851,619
19,360,404	726,612
7,869,263	416,775
2,349,113	13,977
9,142,028	295,860
77,144,710	9,125,007

歳出

（単位：千円、％）

区 分	予算額 A	構成比	決算額 B	構成比	差引額 (A - B)	執行率 (B / A)
一般会計	48,796,351	70.6	45,617,480	69.6	3,178,871	93.5
特別会計	20,296,468	29.4	19,886,784	30.4	409,683	98.0
国民健康保険事業	8,480,965	12.3	8,253,532	12.6	227,433	97.3
後期高齢者医療事業	2,363,797	3.4	2,359,631	3.6	4,166	99.8
介護保険事業	9,451,706	13.7	9,273,621	14.2	178,085	98.1
合 計	69,092,819	100.0	65,504,264	100.0	3,588,554	94.8

前年度決算額 C	前年度比 (B - C)
56,156,061	10,538,581
19,289,443	597,341
7,846,395	407,137
2,344,066	15,565
9,098,982	174,639
75,445,504	9,941,240

2 主要事業の執行状況

【数値の記載に当たって】

各区分の数値は、表示単位未満を四捨五入等で記載しており、合計数値及び決算書数値とは一致しないことがある。

【主な事業内容及び成果の記載に当たって】

「指標項目」は、射水市総合計画実施計画において、成果指標として挙げている主な項目を用いている。

【交付金】は全額、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当した事業を表している。

【交付金】は一部、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当した事業を表している。

【評価と今後の方向性（担当課意見）の記載に当たって】

各事業の今後の方向性については、担当課意見を下記の6段階で記載している。

完了：令和3年度をもって事業が完了した場合

拡充：事業、制度の対象範囲等を令和3年度と比較して拡充することを検討している場合

継続：令和3年度とほぼ同じ内容で実施する場合

見直し：現段階で方向性は示せないが、今後効果を高めるためなど取組方法の見直しを検討する場合

縮小：事業、制度の対象範囲等を令和3年度と比較して縮小することを検討している場合

廃止：令和3年度をもって事業、制度を廃止・中止した場合

2 主要事業の執行状況
 (1) 一般会計決算の概要

歳入の状況

(単位：千円、%)

区 分	予算額 A	構成比	決算額 B	構成比	差引額 (B - A)	収入率 (B / A)
1 市税	14,741,101	30.2	15,292,730	31.9	551,629	103.7
2 地方譲与税	343,520	0.7	383,748	0.8	40,228	111.7
3 利子割交付金	9,000	0.0	10,182	0.0	1,182	113.1
4 配当割交付金	77,000	0.2	81,379	0.2	4,379	105.7
5 株式等譲渡所得割交付金	30,000	0.1	89,540	0.2	59,540	298.5
6 法人事業税交付金	146,000	0.3	202,454	0.4	56,454	138.7
7 地方消費税交付金	2,120,000	4.3	2,264,917	4.7	144,917	106.8
8 ゴルフ場利用税交付金	39,000	0.1	47,159	0.1	8,159	120.9
9 環境性能割交付金	27,000	0.1	30,087	0.1	3,087	111.4
10 地方特例交付金	226,972	0.5	295,978	0.6	69,006	130.4
11 地方交付税	8,736,881	17.9	9,052,699	18.9	315,818	103.6
12 交通安全対策特別交付金	11,000	0.0	12,968	0.0	1,968	117.9
小 計	26,507,474	54.3	27,763,841	57.9	1,256,367	104.7
13 分担金及び負担金	192,702	0.4	191,020	0.4	1,682	99.1
14 使用料及び手数料	587,326	1.2	582,526	1.2	4,800	99.2
15 国庫支出金	9,943,300	20.4	8,815,578	18.4	1,127,722	88.7
16 県支出金	2,641,219	5.4	2,456,502	5.1	184,717	93.0
17 財産収入	237,768	0.5	303,654	0.6	65,886	127.7
18 寄附金	234,796	0.5	357,504	0.7	122,708	152.3
19 繰入金	204,145	0.4	204,145	0.4	0	100.0
20 繰越金	1,628,245	3.3	1,628,245	3.4	0	100.0
21 諸収入	1,475,576	3.0	1,499,072	3.1	23,496	101.6
22 市債	5,143,800	10.5	4,130,600	8.6	1,013,200	80.3
合 計	48,796,351	100.0	47,932,687	100.0	863,664	98.2

前年度決算額 C	前年度比 (B - C)
15,374,546	81,816
375,255	8,493
12,847	2,665
54,765	26,614
61,585	27,955
102,432	100,022
2,078,544	186,373
44,347	2,812
27,304	2,783
98,330	197,648
8,177,732	874,967
12,301	667
26,419,988	1,343,853
197,371	6,351
548,681	33,845
15,119,327	6,303,749
2,517,371	60,869
35,578	268,076
286,105	71,399
818,900	614,755
1,557,533	70,712
1,878,053	378,981
8,405,400	4,274,800
57,784,306	9,851,619

市税収入の状況

(単位:千円、%)

区 分	予算額 A	調定額	収入済額 B	不 納 欠損額	還 付 未済額	収 入 未済額	対調定 収入率	対予算比較 (B - A)	対予算 収入率	前年度収入 済額 C	前年度比 (B - C)
1款 市税	14,741,101	15,631,532	15,292,730	9,115	2,323	332,012	97.8	551,629	103.7	15,374,546	81,816
1項 市民税	5,841,000	6,158,776	6,007,834	4,018	2,162	149,088	97.5	166,834	102.9	5,793,941	213,893
1目 個人	4,739,000	4,947,810	4,801,614	4,017	174	142,354	97.0	62,614	101.3	4,826,434	24,820
現年課税分	4,708,000	4,796,239	4,766,128	80	168	30,200	99.4	58,128	101.2	4,797,679	31,551
滞納繰越分	31,000	151,571	35,487	3,937	6	112,154	23.4	4,487	114.5	28,755	6,732
2目 法人	1,102,000	1,210,966	1,206,220	1	1,988	6,734	99.6	104,220	109.5	967,507	238,713
現年課税分	1,101,000	1,203,800	1,203,554		1,988	2,234	100.0	102,554	109.3	965,573	237,981
滞納繰越分	1,000	7,167	2,666	1		4,500	37.2	1,666	266.6	1,935	731
2項 固定資産税	8,060,101	8,560,042	8,380,406	4,689	114	175,061	97.9	320,305	104.0	8,702,211	321,805
1目 固定資産税	8,007,000	8,506,941	8,327,305	4,689	114	175,061	97.9	320,305	104.0	8,648,886	321,581
現年課税分	7,974,000	8,309,639	8,276,824		102	32,917	99.6	302,824	103.8	8,615,698	338,874
滞納繰越分	33,000	197,302	50,482	4,689	12	142,144	25.6	17,482	153.0	33,189	17,293
2目 国有資産等所在市町 村交付金及び納付金	53,101	53,101	53,101				100.0	0	100.0	53,324	223
現年課税分	53,101	53,101	53,101				100.0	0	100.0	53,324	223
3項 軽自動車税	299,000	320,178	311,954	408	47	7,863	97.4	12,954	104.3	297,715	14,239
1目 環境性能割	9,500	12,384	12,384				100.0	2,884	130.4	9,820	2,564
2目 種別割	289,500	307,794	299,570	408	47	7,863	97.3	10,070	103.5	287,895	11,675
現年課税分	287,000	299,086	296,542		35	2,579	99.1	9,542	103.3	285,755	10,787
滞納繰越分	2,500	8,708	3,028	408	13	5,284	34.8	528	121.1	2,140	888
4項 市たばこ税	520,000	571,419	571,419				100.0	51,419	109.9	564,518	6,901
1目 市たばこ税	520,000	571,419	571,419				100.0	51,419	109.9	564,518	6,901
現年課税分	520,000	571,419	571,419				100.0	51,419	109.9	564,518	6,901
5項 入湯税	21,000	21,117	21,117				100.0	117	100.6	16,161	4,956
1目 入湯税	21,000	21,117	21,117				100.0	117	100.6	16,161	4,956
現年課税分	21,000	21,117	21,117				100.0	117	100.6	16,161	4,956

市税以外の収入状況（主なもの）

（単位：千円、％）

区分・内容	予算額 A	決算額 B	差引額 (B - A)	収入率 (B/A)	前年度決算額 C	前年度比 B - C	決算額の主な内訳
2款 地方譲与税	343,520	383,748	40,228	111.7	375,255	8,493	
1項 地方揮発油譲与税	81,000	87,178	6,178	107.6	84,432	2,746	
2項 自動車重量譲与税	220,000	249,256	29,256	113.3	245,650	3,606	
3項 特別とん譲与税	34,000	38,831	4,831	114.2	36,659	2,172	
4項 森林環境譲与税	8,520	8,483	37	99.6	8,514	31	
3款 利子割交付金	9,000	10,182	1,182	113.1	12,847	2,665	
4款 配当割交付金	77,000	81,379	4,379	105.7	54,765	26,614	
5款 株式等譲渡所得割交付金	30,000	89,540	59,540	298.5	61,585	27,955	
6款 法人事業税交付金	146,000	202,454	56,454	138.7	102,432	100,022	
7款 地方消費税交付金	2,120,000	2,264,917	144,917	106.8	2,078,544	186,373	
8款 ゴルフ場利用税交付金	39,000	47,159	8,159	120.9	44,347	2,812	
9款 環境性能割交付金	27,000	30,087	3,087	111.4	27,304	2,783	
10款 地方特例交付金	226,972	295,978	69,006	130.4	98,330	197,648	
11款 地方交付税	8,736,881	9,052,699	315,818	103.6	8,177,732	874,967	
普通交付税	7,546,881	7,546,881	0	100.0	6,712,086	834,795	
特別交付税	1,190,000	1,505,818	315,818	126.5	1,465,646	40,172	
12款 交通安全対策特別交付金	11,000	12,968	1,968	117.9	12,301	667	
13款 分担金及び負担金	192,702	191,020	1,682	99.1	197,371	6,351	
1項 分担金	300	825	525	275.0	1,886	1,061	市土地改良事業費分担金825
2項 負担金	192,402	190,195	2,207	98.9	195,485	5,290	老人保護措置費負担金4,069、保育園保育料182,627 等
14款 使用料及び手数料	587,326	582,526	4,800	99.2	548,681	33,845	
1項 使用料	279,031	273,800	5,231	98.1	235,468	38,332	墓地使用料5,217、斎場使用料40,713、道路占用料48,867、公営住宅使用料86,090 等
2項 手数料	308,295	308,727	432	100.1	313,213	4,486	戸籍住民基本台帳費手数料29,476 清掃費手数料（ごみ処理、収集指定袋等）265,337 等
15款 国庫支出金	9,943,300	8,815,578	1,127,722	88.7	15,119,327	6,303,749	
1項 国庫負担金	4,089,209	3,744,993	344,216	91.6	3,215,588	529,405	障害者自立支援給付費負担金973,716 子どものための教育・保育給付費負担金925,280 児童手当等国庫負担金952,165、生活保護費負担金199,665 新型コロナウイルスワクチン接種事業負担金458,188 等

区分・内容		予算額 A	決算額 B	差引額 (B - A)	収入率 (B/A)	前年度決算額 C	前年度比 B - C	決算額の主な内訳
2項	国庫補助金	5,841,711	5,059,916	781,795	86.6	11,892,693	6,832,777	地方創生推進交付金32,115、地方創生拠点整備交付金660,554 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金983,923 新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金(生活困窮者自立支援事業)12,805、住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業補助金538,500 子ども・子育て支援交付金124,076、新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金127,720、子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費補助金1,381,230 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業補助金205,205 社会資本整備総合交付金473,692、学校施設環境改善交付金192,157 地方創生テレワーク交付金45,450
	国庫委託金	12,380	10,668	1,712	86.2	11,046	378	国民年金事務費委託金9,354 等
16款	県支出金	2,641,219	2,456,502	184,717	93.0	2,517,371	60,869	
1項	県負担金	1,583,663	1,544,186	39,477	97.5	1,488,155	56,031	介護給付費負担金479,354、国民健康保険基盤安定負担金208,155 後期高齢者医療基盤安定負担金180,158 子どものための教育・保育給付費負担金431,604、児童手当等県負担金208,615 等
	県補助金	825,262	688,107	137,155	83.4	775,941	87,834	重度心身障害者等医療費補助金106,875 放課後児童健全育成事業費等補助金40,037 乳児、幼児及び妊産婦医療費補助金43,498 地域子育て支援充実事業費補助金41,557 新型コロナウイルス感染症対策子育て応援臨時交付金13,572 多面的機能支払交付金99,686、農業経営体育成支援事業費補助金37,312 等
3項	県委託金	232,294	224,209	8,085	96.5	253,275	29,066	県税徴収事務費委託金156,933、衆議院議員選挙委託金29,392 民生委員費委託金13,473 等
17款	財産収入	237,768	303,654	65,886	127.7	35,578	268,076	
1項	財産運用収入	25,465	33,371	7,906	131.0	32,963	408	
	1目 財産貸付収入	9,895	16,301	6,406	164.7	13,641	2,660	
	2目 利子及び配当金	15,570	17,070	1,500	109.6	19,322	2,252	
2項	財産売払収入	212,303	270,283	57,980	127.3	2,615	267,668	
	1目 不動産売払収入	212,302	266,072	53,770	125.3	2,367	263,705	
	2目 物品売払収入	1	4,211	4,210	421,100.0	248	3,963	
18款	寄附金	234,796	357,504	122,708	152.3	286,105	71,399	一般寄附金283,622(うち、ふるさと射水応援寄附金231,622) 民生費寄附金430、教育費寄附金3,400、衛生費寄附金2,000 総務費寄附金67,100、商工費寄附金952
19款	繰入金	204,145	204,145	0	100.0	818,900	614,755	
1項	基金繰入金	204,145	204,145	0	100.0	818,900	614,755	
	1目 公共施設建設等基金繰入金	0	0	0		0	0	
	2目 小杉インターパーク管理基金繰入金	900	900	0	100.0	900	0	
	3目 合併地域振興基金繰入金	0	0	0		448,000	448,000	
	4目 ふるさと射水応援基金繰入金	200,000	200,000	0	100.0	180,000	20,000	
	5目 森林環境保全基金繰入金	3,245	3,245	0	100.0	0	3,245	
	6目 新型コロナウイルス感染症対策基金繰入金	0	0	0		0	0	

区分・内容		予算額 A	決算額 B	差引額 (B - A)	収入率 (B/A)	前年度決算額 C	前年度比 B - C	決算額の主な内訳
	財政調整基金繰入金	0	0	0		190,000	190,000	
	奨学基金繰入金	0	0	0		0	0	
	教育施設振興基金繰入金	0	0	0		0	0	
	芸術文化振興基金繰入金	0	0	0		0	0	
	スポーツ振興基金繰入金	0	0	0		0	0	
	農村環境創造基金繰入金	0	0	0		0	0	
20款	繰越金	1,628,245	1,628,245	0	100.0	1,557,533	70,712	前年度繰越金1,330,652、通次繰越繰越金25,852 繰越明許費繰越金271,741
21款	諸収入	1,475,576	1,499,072	23,496	101.6	1,878,053	378,981	
	1項 延滞金・加算金及び過料	12,000	12,791	791	106.6	13,120	329	
	2項 市預金利子	60	63	3	105.0	73	10	
	3項 貸付金元利収入	579,342	579,520	178	100.0	645,773	66,253	
	4項 受託事業収入	7,268	9,747	2,479	134.1	7,077	2,670	
	5項 雑入	876,906	896,951	20,045	102.3	1,212,010	315,059	
22款	市債	5,143,800	4,130,600	1,013,200	80.3	8,405,400	4,274,800	
	1項 市債	5,143,800	4,130,600	1,013,200	80.3	8,405,400	4,274,800	
	1目 総務債	82,600	76,300	6,300	92.4	92,200	15,900	総務管理施設整備事業債43,500、万葉線設備整備事業債32,800
	2目 民生債	17,300	9,400	7,900	54.3	47,000	37,600	福祉施設整備事業債9,400
	3目 衛生債	525,100	518,100	7,000	98.7	947,100	429,000	斎場整備事業債10,000、一般廃棄物処理事業債476,100、一般会計出資債32,000
	4目 農業水産業債	91,800	59,000	32,800	64.3	16,400	42,600	農業農村整備事業債59,000
	5目 土木債	758,700	469,900	288,800	61.9	179,100	290,800	道路整備事業債172,400、港湾整備事業債24,000、都市計画街路整備事業債56,600 まちづくり交付金事業債106,100、重点密集市街地整備事業債84,600 公園整備事業債26,200
	6目 消防債	77,700	75,700	2,000	97.4	95,700	20,000	消防施設整備事業債75,700
	7目 教育債	1,547,200	977,800	569,400	63.2	971,600	6,200	小学校整備事業債2,200、歌の森小学校整備事業債6,600、 大門中学校整備事業債300,100、保健体育施設整備事業債668,900
	8目 臨時財政対策債	947,600	947,600	0	100.0	1,074,300	126,700	
	9目 合併特例事業債	1,095,800	996,800	99,000	91.0	4,908,100	3,911,300	
	減収補てん債	0	0	0	-	73,900	73,900	
	市税以外の収入合計	34,055,250	32,639,957	1,415,293	95.8	42,409,761	9,769,804	

歳出の状況（目的別）

（単位：千円、％）

区 分	予算額 A	構成比	決算額 B	構成比	差引額 (A - B)	執行率 (B / A)	前年度決算額 C	前年度比 (B - C)
1 議会費	262,359	0.5	247,033	0.5	15,326	94.2	243,413	3,620
2 総務費	5,834,209	12.0	5,588,417	12.3	245,792	95.8	15,836,285	10,247,868
3 民生費	15,790,328	32.4	14,747,606	32.3	1,042,722	93.4	13,001,718	1,745,888
4 衛生費	5,700,878	11.7	5,200,927	11.4	499,951	91.2	8,075,433	2,874,506
5 労働費	88,643	0.2	87,377	0.2	1,266	98.6	87,353	24
6 農林水産業費	969,137	2.0	870,658	1.9	98,479	89.8	795,325	75,333
7 商工費	1,722,001	3.5	1,635,403	3.6	86,598	95.0	1,382,021	253,382
8 土木費	5,876,574	12.0	5,469,939	12.0	406,635	93.1	5,866,625	396,686
9 消防費	1,141,932	2.3	1,106,380	2.4	35,552	96.9	1,235,995	129,615
10 教育費	5,940,362	12.2	5,261,264	11.5	679,098	88.6	4,497,533	763,731
11 災害復旧費	2	0.0	0	0.0	2	0.0	0	0
12 公債費	5,404,438	11.1	5,402,475	11.8	1,963	100.0	5,134,360	268,115
13 予備費	65,489	0.1	0	0.0	65,489	0.0	0	0
合 計	48,796,351	100.0	45,617,480	100.0	3,178,871	93.5	56,156,061	10,538,581

繰越明許に係る翌年度繰越額（計1,683,438千円）の内訳

総務費	11,587千円	庁舎管理費、戸籍住民基本台帳費
民生費	553,127千円	社会福祉団体等対策事務費、高齢者福祉施設費、住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付費、子育て世帯への臨時特別給付金等給付費、セーフティネット支援対策費
衛生費	255,465千円	新型コロナウイルスワクチン接種費、衛生センター管理費
農林水産業費	68,065千円	土地改良事業推進対策費、新湊漁港建設費
土木費	272,211千円	道路橋梁総務費、市道新設改良費、地方道路交付金事業費、道路橋梁維持費、交通安全施設整備費、橋梁長寿命化・耐震化対策事業費、消雪施設維持管理費、まちづくり交付金事業費、公園維持管理費、建築指導費、重点密集市街地整備費
教育費	522,983千円	健康管理費（小）、歌の森小学校整備費、学校管理費（中）、健康管理費（中）、大門中学校整備費、小杉文化ホール管理運営費、大門総合会館管理運営費、スポーツ施設維持管理費、海竜スポーツランド維持管理費、フットボールセンター整備事業費

歳出の主な内訳（目的別）

（単位：千円）

区 分	決算額 A	前年度決算額 B	前年度比 (A - B)	決算額の主な内訳
1 議会費	247,033	243,413	3,620	議員報酬176,129、議会運営費20,382 等
2 総務費	5,588,417	15,836,285	10,247,868	
総務管理費	4,884,029	15,006,214	10,122,186	財政対策積立金989,750、その他目的基金積立金247,767、財産管理費36,337 企画推進費213,340、観光交流センター管理運営費114,398、地方創生推進費57,214、 電算管理費254,556、DX推進事業費27,279、協働のまちづくり推進費129,563 コミュニティセンター管理運営費163,288、コミュニティセンター整備事業費340,029 コミュニティバス運行費291,872、万葉線対策費136,509 等
徴税费	325,186	458,194	133,007	
戸籍住民基本台帳費	256,283	268,127	11,844	戸籍住民基本台帳費86,177 等
3 民生費	14,747,606	13,001,718	1,745,888	
社会福祉費	6,813,964	6,235,130	578,834	高齢者福祉施設費142,160、介護保険事業特別会計繰出金1,441,680、 後期高齢者医療事業特別会計繰出金1,329,495、国民健康保険事業特別会計繰出金504,327 重度心身障害者等医療費助成費285,959、自立支援給付費1,903,343 住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付費553,606 等
児童福祉費	7,591,182	6,473,329	1,117,854	放課後児童健全育成事業費128,997、子育て支援センター運営費66,645 児童手当等給付費1,375,958、ひとり親家庭等福祉費83,806 児童扶養手当給付費217,319、ひとり親家庭等医療助成費44,330 子ども及び妊産婦医療助成費356,281、保育園等管理運営費610,900 保育園等運営委託等事業費2,277,193 子育て世帯への臨時特別給付金等給付費1,390,936 等
生活保護費	342,350	292,529	49,820	生活保護扶助費265,386 等
4 衛生費	5,200,927	8,075,433	2,874,506	
保健衛生費	1,904,229	3,882,544	1,978,315	母子保健推進費94,425、がん対策推進費98,303、予防接種費254,764、斎場管理費143,101 等
清掃費	2,453,381	3,446,473	993,093	収集指定袋取扱費43,407、塵芥収集費312,828、クリーンピア射水管理費676,431 クリーンピア射水整備事業費828,734、粗大ごみ処理施設管理費81,587 処理棟管理費48,827、野手埋立処分所管理費97,284、衛生センター管理費89,613 等
病院費	809,778	745,152	64,626	病院事業会計繰出金809,778
上水道費	33,540	1,264	32,276	水道事業会計繰出金33,540

(単位：千円)

区 分	決算額 A	前年度決算額 B	前年度比 (A - B)	決算額の主な内訳
5 労働費	87,377	87,353	24	勤労者福祉推進費83,260、雇用対策費4,117
6 農林水産業費	870,658	795,325	75,333	
農業費	732,305	656,602	75,704	農業振興推進費106,471、水田利活用推進対策費50,684、6次産業化推進費9,127 ふるさと特産品推進費107,935、土地改良事業推進対策費211,487、農地管理費105,568 等
水産業費	100,830	105,421	4,591	海面漁業振興費31,732、新湊漁港建設費11,237 等
7 商工費	1,635,403	1,382,021	253,382	商工業振興費736,846、企業誘致対策費164,623、中小企業振興対策費478,125 観光事業費3,574、観光推進費60,294、川の駅新湊・いみず観光情報館維持管理費26,691 等
8 土木費	5,469,939	5,866,625	396,686	
道路橋梁費	1,871,772	2,196,163	324,391	市道新設改良費71,066、地方道路交付金事業費111,894 道路橋梁維持費354,259、交通安全施設整備費31,060、 橋梁長寿命化・耐震化対策事業費163,215、除雪対策費607,574 消雪施設維持管理費218,178 等
港湾費	127,022	133,855	6,833	海王丸パーク活用推進費70,032 等
都市計画費	665,296	585,025	80,270	街路事業費64,765、まちづくり交付金事業費304,937、公園維持管理費218,876 等
下水道費	2,277,997	2,303,275	25,278	下水道事業会計繰出金2,277,997
住宅費	478,714	579,457	100,742	市営住宅維持管理費75,412、住まい・まちづくり費68,549 重点密集市街地整備費205,276 等
9 消防費	1,106,380	1,235,995	129,615	常備消防費58,569、消防団運営費60,512、消防車両整備事業費55,945 消防団拠点施設整備事業費23,588 等

(単位：千円)

区 分	決算額 A	前年度決算額 B	前年度比 (A - B)	決算額の主な内訳
10 教育費	5,261,264	4,497,533	763,731	
教育総務費	431,509	435,644	4,135	教育委員会事務局費91,007、学校給食センター管理費129,930 等
小学校費	858,407	1,429,465	571,059	学校管理費(小)320,931、学校給食費(小)131,132、健康管理費(小)52,755 スクールバス運行費(小)86,931、教育振興運営費(小)186,438 歌の森小学校整備費15,698 等
中学校費	1,386,866	1,237,347	149,519	学校管理費(中)152,561、学校給食費(中)53,431、教育振興運営費(中)106,097 大門中学校整備費963,592、小杉南中学校整備費53,700 等
幼稚園費	28,855	30,199	1,344	幼稚園管理費7,351 等
社会教育費	616,185	643,628	27,442	図書館管理運営費74,769、新湊中央文化会館管理運営費84,523 小杉文化ホール管理運営費76,021、大島絵本館管理運営費80,784 等
保健体育費	1,939,441	721,250	1,218,191	スポーツ施設維持管理費181,302、海竜スポーツランド維持管理費53,461 フットボールセンター整備事業費1,586,563 等
11 災害復旧費	0	0	0	
12 公債費	5,402,475	5,134,360	268,115	公債費元金償還費5,107,105、公債費利子償還費295,370
合 計	45,617,480	56,156,061	10,538,581	

歳出の状況（性質別）

（単位：千円、％）

区 分	決 算 額	構 成 比	前年度決算額	構 成 比	前年度比		主な変動要因分析
					増 減 額	増減率	
1 人件費	5,232,845	11.5	5,184,702	9.2	48,143	0.9	会計年度任用職員の最低賃金改定に伴う増等
うち職員給	3,330,225	7.3	3,286,079	5.9	44,146	1.3	
2 扶助費	9,060,657	19.9	7,246,036	12.9	1,814,621	25.0	子育て世帯への臨時特別給付金事業の増
3 公債費	5,402,475	11.8	5,134,360	9.1	268,115	5.2	
義務的経費(1～3)	19,695,977	43.2	17,565,098	31.3	2,130,879	12.1	
4 普通建設事業費	6,721,109	14.7	10,911,999	19.4	4,190,890	38.4	
うち補助事業費	3,925,430	8.6	4,058,508	7.2	133,078	3.3	クリーンピア射水整備事業費の減
うち単独事業費	2,592,295	5.7	6,725,825	12.0	4,133,530	61.5	コミュニティセンター整備事業費、斎場整備事業費の減
うち県営事業負担金等	203,384	0.4	127,666	0.2	75,718	59.3	土地改良事業推進対策費、港湾建設促進費の増
5 災害復旧事業費	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
投資的経費(4～5)	6,721,109	14.7	10,911,999	19.4	4,190,890	38.4	
6 物件費	6,982,630	15.3	5,989,400	10.7	993,230	16.6	新型コロナウイルスワクチン接種費用の増
7 維持補修費	1,228,207	2.7	1,408,416	2.5	180,209	12.8	除雪対策費の減
8 補助費等	4,974,150	10.9	14,491,501	25.8	9,517,351	65.7	特別定額給付金給付事業の減
9 積立金	1,237,516	2.7	1,046,767	1.9	190,749	18.2	減債基金への積立額の増
10 投資及び出資金	926,910	2.0	843,765	1.5	83,145	9.9	病院事業会計への出資金の増
11 貸付金	580,842	1.3	647,129	1.2	66,287	10.2	各種制度融資（小口事業資金等）に係る金融機関への預託金の減
12 繰出金	3,270,139	7.2	3,251,986	5.8	18,153	0.6	介護保険事業特別会計及び後期高齢者医療事業特別会計繰出金の増
その他の経費(6～12)	19,200,394	42.1	27,678,964	49.3	8,478,570	30.6	
合 計	45,617,480	100.0	56,156,061	100.0	10,538,581	18.8	

1 款 議 会 費

事業名	議会運営費		(1款 議会費		1項 議会費		1目 議会費		決算書	61 ページ	担当部課	議会事務局議事調査課
決算額【予算額】			令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
			20,321	【31,167】	20,382	【34,872】		【35,688】				
財源内訳	諸収入		0		239							
	一般財源		20,321		20,143							
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）		
<p>1 市議会開催状況</p> <p>一般質問を「一括質問・一括答弁方式」、「一問一答方式」及び「分割質問・分割答弁方式」で行い、市民に分かりやすい運営を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4月臨時会 1日 ・ 6月定例会 19日 ・ 9月定例会 28日 ・ 11月臨時会 1日 ・ 12月定例会 18日 ・ 3月定例会 19日 												
<p>2 委員会開催状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 議会運営委員会 28日 ・ 産業建設常任委員会 6日 ・ 港湾振興特別委員会 3日 ・ 広報委員会 11日 ・ 総務文教常任委員会 7日 ・ 予算特別委員会 13日 ・ 議会改革特別委員会 5日 ・ 民生病院常任委員会 6日 ・ 決算特別委員会 5日 ・ 議会改革特別委員会専門部会 4日 												
<p>3 付議事件の審議結果等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市長提案 100件（可決、承認等 91件 議決事項でないもの 9件） ・ 議員提案 5件 ・ 推薦、選挙 5件 ・ 請願 1件 												
<p>4 議会だよりの発行</p> <p>市民に分かりやすく、読みやすい紙面づくりに努め、議会からの情報発信を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発行回数 年4回（定例会の翌々月の1日発行） ・ 発行部数 約32,900部/回（全世帯へ配布） 												
<p>5 議会映像の録画配信</p> <p>見たい時にいつでも気軽に見ることができるインターネットの利点を生かし、本会議及び予算特別委員会の録画映像配信を行った。</p>												
<p>6 議会報告会の開催</p> <p>令和3年8月21日に開催を予定していたが、全国的な新型コロナウイルス感染拡大の情勢から、来場者及び関係者の健康面、安全面を第一に考え中止することとした。</p>												
<p>7 タブレット端末及び会議システムの導入（令和元年9月定例会から導入）</p> <p>これらを活用した会議の進行や議会スケジュールの共有化を図ることで、議会運営の効率化及び活性化を図った。また、令和2年9月定例会から、紙媒体との併用を廃止し、ペーパーレス化の推進を図った。</p>												

2 款 総 務 費

事業名	職員表彰・研修費		(2款 総務費 1項 総務管理費 2目 人事管理費)		決算書	62 ページ	担当部課	企画管理部人事課
決算額【予算額】			令和2年度	令和3年度	令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)	
			2,554	3,434			【5,128】	
							【6,058】	
							【5,464】	
財 源 内 訳	諸収入		79	137			令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により職員研修等の中止が多かったこと及び令和3年度が隔年開催の研修実施年度であったため。	
	一般財源		2,475	3,297				
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性 (担当課意見)	
<p>1 階層別研修及び専門研修の実施</p> <p>新任職員研修や幹部職員研修等の階層別研修のほか、職務遂行に必要な知識や技能を習得する専門研修を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 階層別研修 207人 (令和2年度 169人) ・ 専門研修 369人 (令和2年度 379人) 							継続	<p>研修の実施により、職員の職務遂行能力の向上を図ることができた。引き続きオンライン研修の積極的な活用等、職員が研修を受講しやすい環境づくりを整えつつ、職場や職員のニーズを踏まえた研修を企画する。</p>
<p>2 派遣研修の実施</p> <p>課題発見・解決能力や政策形成能力を養成するため、中央省庁 (内閣府)、富山県及び自治大学校等への派遣研修を実施した。</p> <p>また、呉西圏域人事交流事業として、高岡市と職員1名 (行政職) の人事交流を行った。</p>							継続	<p>職員の幅広い視野と高度な知識の習得に寄与した。中堅幹部職員の養成及び圏域の交流・連携を更に深めるため、引き続き派遣研修を実施する。</p>

事業名	広報広聴費（繰越明許）		（ 2款 総務費		1項 総務管理費		3目 文書広報費		決算書	63 ページ	担当部課	企画管理部未来創造課			
決算額【予算額】			令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）						
					10,318 【11,381】										
財 源 内 訳	国庫補助金				10,318										
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）					
<p>1 市LINE公式アカウントによる新型コロナウイルス感染症等に関する情報発信事業 （新型コロナ対策3-No.1）【交付金】 子どもの誕生を祝福するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響による不安の中、妊娠期や出産を経た子育て世帯を支援するために、新生児のいる世帯を対象として、出生祝いクーポン券をLINEで交付するシステムを構築した。</p> <p>委 託 先 タビコム株 委 託 期 間 令和3年10月25日～令和4年3月31日 委 託 料 10,318千円</p>										完了			<p>新生児のいる世帯を対象に、市内の育児用品を扱う店舗で使用できるクーポンを交付するにあたり、感染リスクを軽減するため、電子クーポンを交付するシステムを構築した。</p>		

事業名	広報広聴費		(2款 総務費 1項 総務管理費 3目 文書広報費)		決算書	63 ページ	担当部課	企画管理部未来創造課											
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)											
		44,024	【56,326】	42,055	【42,830】		【47,775】												
財 源 内 訳	国庫補助金	4,898		0															
	基金繰入金	1,000		1,000															
	諸収入	1,357		1,643															
	一般財源	36,769		39,412															
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)											
<p>1 広報事業</p> <p>ウィズコロナ、アフターコロナ時代の新たな日常に対応するため、これまでの広報媒体に加え、新たにLINE公式アカウントを開設するなど、迅速かつ的確に情報を届ける情報発信環境を構築し、多様な広報媒体による情報発信力の強化に努めた。</p> <p>(1) 広報いみずの発行</p> <p>新型コロナウイルス感染症の情報をはじめ、市政情報をあらゆる年齢層の市民に分かりやすく、見やすく情報を伝えるため、内容やレイアウトを工夫した。</p> <p>(2) 市LINE公式アカウントによる新型コロナウイルス感染症等に関する情報発信事業 (新型コロナ対策3-No.2)</p> <p>新型コロナウイルス感染症や新型コロナウイルスワクチン接種等に関する情報を迅速に発信するため、LINE公式アカウントを開設し、令和3年4月28日から運用を開始した。運用開始にあたり、いみず雫の無料スタンプを5万ダウンロード配布し、友だち登録を促した。</p> <p>また、成人式でのチラシ配布、広報への掲載など、アカウントの周知を行った。</p> <p>委 託 先 トランス・コスモス㈱</p> <p>委 託 期 間 令和3年4月1日～令和4年3月31日</p> <p>委 託 料 2,178千円</p> <p>(3) Vチューバーを活用した番組制作</p> <p>LINE公式アカウントの周知や、市公式フォトアンバサダーのイナガキヤストさん特集、女子ハンドボールチームアランマーレの紹介動画など、市の魅力発信につながる番組制作を行い、配信した。</p> <p>(4) ケーブルテレビ行政番組放送</p> <p>「テレビ広報いみず」では、担当課職員が出演し、業務や事業などを分かりやすく説明した。また、新型コロナウイルス感染拡大の防止を図るため、市長メッセージを放送し、市民へ感染防止対策の徹底を呼び掛けた。</p> <p>(5) 市政出前講座</p> <p>担当者が地域へ出向いて事業を詳しく、分かりやすく説明することで、市民に市の現況や考え方の理解を深めてもらい、お互いの情報共有を図った。</p> <table border="1" data-bbox="161 1249 1270 1353"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市政出前講座開催回数</td> <td>161件</td> <td>87件</td> <td>200件</td> </tr> </tbody> </table>								指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和3年度	令和5年度	市政出前講座開催回数	161件	87件	200件	<p>継続</p> <p>市民へ必要な情報を迅速かつ的確に提供するため、多様な広報媒体を効果的に活用し、情報発信力の強化に努めていく。</p>
指標項目	基準	実績	目標																
	平成25年度	令和3年度	令和5年度																
市政出前講座開催回数	161件	87件	200件																

2 広聴事業

みえる・わかる・わかり合えるミーティングを実施し、市民と行政とのわかり合いを推進するとともに、市民からの提案を市政に生かす取組を行うことで、市民と行政との協働のまちづくりを推進する効果があった。

(1) みえる・わかる・わかり合えるミーティングの実施

市長と市民が直接対話する場を設けることで、市民と行政との情報の共有化を進め、市民と行政のわかり合いを推進した。第3次総合計画策定に向け市民の意見広聴のため、タウンミーティングを開催した。

メニュー名	開催回数	参加人数
市長とのコーヒートーク	2回	21人
市長の出前講座	1回	90人
タウンミーティング	3回	172人

(2) 市長への手紙、市へのメール

市民からの意見・提案に市の考え方を分かりやすく回答することで、市民と行政との信頼関係の構築に努めた。

- ・ 市長への手紙受付件数 30件
- ・ 市へのメール受付件数 104件

見直し

ポストコロナを見据え、市民とのわかり合いを推進するための広聴事業の在り方を検討していく。

事業名		男女共同参画推進費				(2款 総務費 1項 総務管理費 3目 文書広報費)		決算書	63 ページ	担当部課	市民生活部市民活躍・文化課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
		2,849	【3,068】	1,270	【1,453】		【4,885】	令和2年度は第2次射水市男女共同参画基本計画見直しに係る市民意識調査集計等業務委託を行ったことによる。			
財源内訳	一般財源	2,849		1,270							
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）			
<p>1 男女共同参画推進事業</p> <p>(1) 男女共同参画推進委員会活動補助</p> <p>ア 男女共同参画啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 巡回講座の開催（市内7か所） ・ オレンジキャンペーンin射水～がんばる女性をみんなで応援～ 日時：令和4年3月5日 場所：アルビス小杉総合体育センター <p>イ 推進委員研修会の開催</p> <p>ウ 広報誌「いみずのに拓く」の発刊</p> <p>(2) 小杉駅北広告塔への啓発看板設置（令和3年6月1日～6月29日）</p> <p>(3) 男女共同参画推進委員会委員報償費（34人）</p> <p>(4) 男女共同参画審議会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催回数2回 日時：令和3年11月17日、令和4年2月10日（書面開催） 場所：市庁舎 								<p>継続</p> <p>第2次射水市男女共同参画基本計画の見直しを行い、男女共同参画意識の向上や、男女が共に地域活動等に参画する機運の醸成に努めた。今後も男女共同参画への理解を深める取組を継続し、性別に関わらず一人ひとりが共に個性と能力を発揮できる社会の形成を目指していく。</p>			
<p>2 女性のための無料相談</p> <p>年間18回（奇数月は2回、偶数月は1回）、女性無料相談を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年間相談人数 延べ51人 											

事業名	財政対策積立金		(2款 総務費 1項 総務管理費 4目 財政管理費)				決算書	63 ページ	担当部課	財務管理部財政課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)		
		788,780	【788,780】	989,750	【989,781】		【15,945】			
財源内訳	財産運用収入	14,180		15,250						
	一般財源	774,600		974,500						
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 財政調整基金積立金 15,231千円 ・ 減債基金積立金 974,519千円 								継続	災害や社会経済情勢の変化等に対応していくため、基金の適切な確保に努めていく。	

事業名	その他目的基金		(2款 総務費 1項 総務管理費 4目 財政管理費)				決算書	63 ページ	担当部課	財務管理部財政課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)		
		257,988	【257,988】	247,766	【247,809】		【11,190】			
財源内訳	財産運用収入	3,815		284						
	寄附金	240,466		231,622						
	一般財源	13,707		15,860						
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設建設等基金積立金 34,144千円 ・ 小林與三次基金積立金 4千円 ・ 福祉振興基金積立金 1千円 ・ 小杉インターパーク管理基金積立金 8千円 				<ul style="list-style-type: none"> ・ 合併地域振興基金積立金 108千円 ・ ふるさと射水応援基金積立金 205,016千円 ・ 森林環境保全基金積立金 8,484千円 ・ 新型コロナウイルス感染症対策基金積立金 2千円 				継続	各基金の設置目的に応じ、適切な管理・運用に努めていく。	

事業名	会計管理費		(2款 総務費 1項 総務管理費 5目 会計管理費)		決算書	63 ページ	担当部課	会計管理者会計課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)
		11,944	【12,960】	11,974	【12,721】		【12,062】	
財 源 内 訳	諸収入		120		120			
	一般財源		11,824		11,854			
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性 (担当課意見)	
<p>1 出納事務</p> <p>(1) 公金の出納に係る伝票審査の徹底と公金取扱状況検査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現金出納員等 12か所実施 (令和2年度 12か所) ・ 収納消込データ作成業務委託料 5,161千円 (令和2年度 5,205千円) <p>(2) 歳計・歳計外現金及び基金の安全かつ効率的な運用を行った。</p>							<p>継続</p> <p>公金の支出命令審査を厳正かつ迅速に行い、適正で確実な支払事務の執行に努めた。公金等の取扱状況検査を継続して実施し、適正な会計事務と公金の取扱いに対する職員の意識向上を図る。</p>	

事業名	検査費		(2款 総務費 1項 総務管理費 5目 会計管理費)			決算書	63 ページ	担当部課	財務管理部検査監																																			
決算額【予算額】		令和2年度	令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)																																					
		9,203	【9,782】		【9,087】																																							
財源内訳	一般財源	9,203	9,122																																									
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性 (担当課意見)																																					
<p>1 検査指導業務</p> <p>市発注の工事や業務委託の品質の確保、施工技術水準の向上などを目的に完成検査や工事現場安全パトロールを実施した。</p> <p>(1) 完成検査</p> <p>設計図書に基づき検査を実施し、安全管理及び品質管理を中心とした確認を行うとともに、適時指導・助言を行うなど積極的な対応に努めた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>区分</th> <th>工事</th> <th>業務委託</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">令和2年度</td> <td>件数</td> <td>200件</td> <td>52件</td> <td>252件</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>8,241,146千円</td> <td>518,458千円</td> <td>8,759,604千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">令和3年度</td> <td>件数</td> <td>205件</td> <td>44件</td> <td>249件</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>10,209,525千円</td> <td>272,179千円</td> <td>10,481,704千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※検査対象：工事1,300千円以上、委託500千円以上 (随意契約・維持修繕工事を除く)</p> <p>(2) 工事監察、工事現場安全パトロール</p> <p>工事の施工途中の現場について施工体制や安全対策の確認や指導を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>工事監察</th> <th>工事現場パトロール</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>3件</td> <td>28件</td> <td>31件</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>2件</td> <td>24件</td> <td>26件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※工事監察：低入札調査基準価格を下回る価格で落札した工事等</p>							年度	区分	工事	業務委託	計	令和2年度	件数	200件	52件	252件	金額	8,241,146千円	518,458千円	8,759,604千円	令和3年度	件数	205件	44件	249件	金額	10,209,525千円	272,179千円	10,481,704千円	年度	工事監察	工事現場パトロール	計	令和2年度	3件	28件	31件	令和3年度	2件	24件	26件	<p>継続</p> <p>完成検査等の実施により、適正な成果物の引渡しを受けることができた。 今後も、継続して工事等の品質確保に努めていく。</p>		
年度	区分	工事	業務委託	計																																								
令和2年度	件数	200件	52件	252件																																								
	金額	8,241,146千円	518,458千円	8,759,604千円																																								
令和3年度	件数	205件	44件	249件																																								
	金額	10,209,525千円	272,179千円	10,481,704千円																																								
年度	工事監察	工事現場パトロール	計																																									
令和2年度	3件	28件	31件																																									
令和3年度	2件	24件	26件																																									

事業名		財産管理費（繰越明許）				（ 2款 総務費 1項 総務管理費 6目 財産管理費 ）		決算書	64 ページ	担当部課	財務管理部資産経営課	
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）				
				84,047	【107,390】							
財 源 内 訳	国庫補助金			56,530								
	一般財源			27,517								
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性（担当課意見）			
<p>1 市公共施設衛生環境向上化事業（自動給水栓化）（新型コロナ対策3-No3）【交付金※】</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策の一環として、接触感染防止を図ることを目的に、市公共施設給水栓の自動給水栓化に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業費 84,047千円 ・ 設置施設数 81施設（2,403か所） 									完了	<p>接触感染防止を図り、感染機会の低減に繋げるため、公共施設の自動給水栓化を進めた。</p>		

事業名	財産管理費				(2款 総務費 1項 総務管理費 6目 財産管理費)				決算書	64 ページ	担当部課	財務管理部総務課 財務管理部資産経営課															
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																			
		82,648 【199,149】		36,337 【44,320】				令和2年度に公共施設の自動給水栓化事業に取り組んだことによるもの。																			
財 源 内 訳	国庫補助金		55,610		4,480																						
	財産売払収入		2,367		4,716																						
	一般財源		24,671		27,141																						
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）																
<p>1 普通財産の管理及び処分 土地建物を維持管理するとともに、未利用財産の売却及び貸付を行った。 また、未利用地の売却を促進するため、分筆登記、土壌調査等や不動産鑑定評価委託をするなど売却条件を整備した。 〈売却条件整備等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 分筆登記、地中埋設物調査、不動産鑑定委託ほか 4,716千円 <p>〈土地売払収入〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 普通財産売払 11件 262,974千円 法定外公共物売払 10件 3,097千円 <p>〈土地貸付収入〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 普通財産貸付 80件 6,417千円 法定外公共物貸付 59件 1,016千円 											継続																
<p>2 指定管理者支援金（新型コロナ対策2-No.1）【交付金】 臨時休館等による指定管理施設の利用の減少に伴う利用料金の減収に対して指定管理者への支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内公共施設の指定管理者（7施設） 支援金 4,480千円 											完了																
<p>3 入札、契約事務の適正な執行</p> <p>(1) 低入札価格調査制度</p> <ul style="list-style-type: none"> 低入札価格調査制度の状況 工事入札 1件（工事入札全体195件のうち0.5%） <p>(2) 総合評価方式（試行）</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合評価方式制度の状況 23件（工事入札全体195件のうち11.8%） <p>(3) 一般競争入札 〈工事入札状況〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">令和2年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入札工事全体</td> <td>184件</td> <td>5,024,466,810円</td> <td>195件</td> <td>5,608,296,870円</td> </tr> <tr> <td>うち一般競争入札</td> <td>85件</td> <td>4,414,608,000円</td> <td>89件</td> <td>4,897,266,000円</td> </tr> </tbody> </table>											項目	令和2年度		令和3年度		入札工事全体	184件	5,024,466,810円	195件	5,608,296,870円	うち一般競争入札	85件	4,414,608,000円	89件	4,897,266,000円	継続	
項目	令和2年度		令和3年度																								
入札工事全体	184件	5,024,466,810円	195件	5,608,296,870円																							
うち一般競争入札	85件	4,414,608,000円	89件	4,897,266,000円																							

事業名		庁舎管理費				(2款 総務費 1項 総務管理費 6目 財産管理費)		決算書	64 ページ	担当部課	財務管理部資産経営課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)			
		131,694	【140,151】	131,945	【143,065】		【306,218】				
財 源 内 訳	使用料		856		858						
	国庫補助金		2,647		0						
	諸収入		10,236		10,276						
	一般財源		117,955		120,811						
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性 (担当課意見)	
<p>1 市庁舎等管理業務 (市庁舎、大島分庁舎、小杉地区センター) 清掃業務や警備業務のほか、電気、空調、衛生、消防等の各種設備の保守点検業務等を実施し、市庁舎等の運営及び維持管理を行った。 ・ 業務委託料 51,069千円</p>										継続	<p>市庁舎は供用開始から5年が経過し、設備機器の修繕等が増えてきている。行政サービスの拠点として機能が発揮できるよう包括管理事業者とも連携し、適時適切な維持管理を行う。</p>
<p>2 公共施設包括管理業務委託の導入検討 市内105施設の包括管理業務委託の導入に向け、サウンディング型市場調査や公募型プロポーザルを行い、委託契約を締結した。 ・ 委託先 日本管財株式会社 ・ 契約期間 令和4年4月1日～令和9年3月31日 ・ 契約額 1,163,887千円 (債務負担行為)</p>										完了	<p>適切なメンテナンスにより安全性の向上を図りつつ、保守点検業務等の市内受注率の向上や中期的な修繕計画の策定につなげていく。</p>
<p>3 公共施設等総合管理計画の改訂 平成28年9月に策定した本計画について、国の指針に基づき新たな事項 (有形固定資産減価償却率や維持管理経費等) を追記するとともに、計画の進捗状況やこれまでの取組内容の効果等を踏まえ、改訂予定年度を3年前倒しして改訂を行った。</p>										完了	<p>本市の公共施設が抱える課題 (老朽化の現状、将来の更新費用や維持管理経費が多額であること等) を改めて把握することができた。引き続き、公民連携の手法を活用し、課題の解決に向け取り組む。</p>
<p>(繰越明許費 7,000 千円) ・ 事業名 大島分庁舎空調中央監視装置更新工事 ・ 予算執行率 95.0% ・ 完了時期 令和4年11月</p>											

事業名	布目庁舎費		(2款 総務費 1項 総務管理費 6目 財産管理費)			決算書	64 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課						
決算額【予算額】		令和2年度	令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)								
		7,475	【7,877】	53,634	【60,023】		【4,094】								
財 源 内 訳	市債	1,400		43,500			経年劣化による設備更新を行ったことによる。								
	一般財源	6,075		10,134											
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性 (担当課意見)								
1 布目分庁舎別館空調設備更新工事 経年による劣化や損傷等が生じた空調設備の更新を行った。 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:30%;">工事請負業者</th> <th style="width:30%;">工 期</th> <th style="width:40%;">契約額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(株)伸和設備工業</td> <td>令和3年6月22日～11月30日</td> <td>35,640千円</td> </tr> </tbody> </table>							工事請負業者	工 期	契約額	(株)伸和設備工業	令和3年6月22日～11月30日	35,640千円	完了	更新工事を実施したことにより、施設的环境改善を図ることができた。	
工事請負業者	工 期	契約額													
(株)伸和設備工業	令和3年6月22日～11月30日	35,640千円													
2 布目分庁舎別館エレベータ改修工事 経年による劣化や損傷等が生じたエレベータ設備の改修を行った。 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:30%;">工事請負業者</th> <th style="width:30%;">工 期</th> <th style="width:40%;">契約額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>フジテック(株)北信越支店</td> <td>令和3年7月15日～令和4年2月24日</td> <td>12,760千円</td> </tr> </tbody> </table>							工事請負業者	工 期	契約額	フジテック(株)北信越支店	令和3年7月15日～令和4年2月24日	12,760千円	完了	改修工事を実施したことにより、施設利用者の安全を確保することができた。	
工事請負業者	工 期	契約額													
フジテック(株)北信越支店	令和3年7月15日～令和4年2月24日	12,760千円													

事業名	企画推進費 (2款 総務費 1項 総務管理費 7目 企画費)					決算書	64 ページ	担当部課	企画管理部政策推進課																																																	
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)																																																		
		134,055	【148,443】	213,340	【216,061】		【67,889】	令和3年度は新港ビル株式会社へ追加出資したことによる。																																																		
財源内訳	国庫補助金	69,127		0																																																						
	一般財源	64,928		213,340																																																						
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)																																																		
<p>1 市重点事業要望</p> <p>本市の重点事業を推進するため、国・県に対し要望することにより、事業の進捗に寄与した。</p> <p>＜令和3年度実施 (令和4年度分要望)＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>新規</th> <th>継続</th> <th>再要望</th> <th>新規・継続・再要望</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>要望件数</td> <td>4件</td> <td>22件</td> <td>8件</td> <td>3件</td> <td>37件</td> </tr> <tr> <td>区分</td> <td>採択</td> <td>一部採択</td> <td>未採択</td> <td></td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>措置結果</td> <td>15件</td> <td>14件</td> <td>8件</td> <td></td> <td>37件</td> </tr> </tbody> </table> <p>＜令和2年度実施 (令和3年度分要望)＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>新規</th> <th>継続</th> <th>再要望</th> <th>新規・継続・再要望</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>要望件数</td> <td>5件</td> <td>27件</td> <td>8件</td> <td>0件</td> <td>40件</td> </tr> <tr> <td>区分</td> <td>採択</td> <td>一部採択</td> <td>未採択</td> <td></td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>措置結果</td> <td>21件</td> <td>11件</td> <td>8件</td> <td></td> <td>40件</td> </tr> </tbody> </table>								区分	新規	継続	再要望	新規・継続・再要望	合計	要望件数	4件	22件	8件	3件	37件	区分	採択	一部採択	未採択		合計	措置結果	15件	14件	8件		37件	区分	新規	継続	再要望	新規・継続・再要望	合計	要望件数	5件	27件	8件	0件	40件	区分	採択	一部採択	未採択		合計	措置結果	21件	11件	8件		40件	継続	<p>37件の要望に対し、大門中学校等学校教育施設の整備や子ども医療費助成事業の拡充など15件が採択され、一部採択が14件となるなど、本市の重点事業の推進に効果があった。引き続き国・県に対し要望を実施する。</p>	
区分	新規	継続	再要望	新規・継続・再要望	合計																																																					
要望件数	4件	22件	8件	3件	37件																																																					
区分	採択	一部採択	未採択		合計																																																					
措置結果	15件	14件	8件		37件																																																					
区分	新規	継続	再要望	新規・継続・再要望	合計																																																					
要望件数	5件	27件	8件	0件	40件																																																					
区分	採択	一部採択	未採択		合計																																																					
措置結果	21件	11件	8件		40件																																																					
<p>2 学生が参画するまちづくりの推進</p> <p>(1) 学生のまちづくり推進会議の開催</p> <p>本市に所在する高等教育機関の学生で組織し、市の魅力を発信するための取組を企画・実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 委員 9人 (富山県立大学、富山福祉短期大学、富山高等専門学校、富山情報ビジネス専門学校) 旧北陸道こすぎ商店街スタンプラリーを開催 (令和3年11月22日～12月5日) <p>(2) いみず学生アイデアコンテストの実施</p> <p>学生の意見を生かした市政を推進するため、射水市の地域課題の解決に向けて学生から提案を募集し、担当課を交えた提案発表を行い、今後の施策の参考とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> 応募総数 9件 (うち5件の提案についてオンライン発表による審査会を開催) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成24年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市のまちづくりについて「関心がある」と答える学生の割合</td> <td>19.9%</td> <td>34.0%</td> <td>70.0%</td> </tr> </tbody> </table>								指標項目	基準	実績	目標	平成24年度	令和3年度	令和5年度	市のまちづくりについて「関心がある」と答える学生の割合	19.9%	34.0%	70.0%	継続	<p>学生の目線による本市の魅力発信や地域課題の解決に学生のアイデアを生かすなど、学生との連携によるまちづくりを推進した。引き続き、学生の意見をまちづくりに反映させる。</p>																																						
指標項目	基準	実績	目標																																																							
	平成24年度	令和3年度	令和5年度																																																							
市のまちづくりについて「関心がある」と答える学生の割合	19.9%	34.0%	70.0%																																																							

主な事業内容・成果		評価と今後の方向性（担当課意見）										
<p>3 市内県立高等学校との連携の推進</p> <p>人口減少の克服や地域の特色を生かしたまちづくりの推進等、地方創生の実現に向け、市内県立高等学校3校と連携しながら双方で地域課題の解決を図ることを目的として、令和3年6月に市内高等学校との連絡会議を設置した。</p> <p>各校の提案に基づく連携推進事業を実施し、連絡会議の中で成果発表と意見交換を行った。</p> <p>〈令和3年度の連携推進事業 9事業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新湊高等学校：クロスベイ新湊×新湊高校「クロスプロジェクト」、「新湊を照らそう」 ・ 小杉高等学校：探究活動を通じた郷土の課題発見と研究、市政出前講座を活用した地域課題研究、射水市専属記者いみず雫を活用した情報発信 ・ 大門高等学校：高校生DXプロジェクト、「マイクロプラスチック削減」ミッション、LINEスタンプ制作→情報発信、SDGs推進×地域活性 	<p>継続</p> <p>各校の特色を生かした連携推進事業を実施できた。引き続き、各校から提案される連携推進事業について関係課と調整しながら取組を進めるとともに、取組内容の共有や連携事業の成果等を今後の市の施策に生かすため、定期的に連絡会議を開催する。</p>											
<p>4 とやま呉西圏域都市圏ビジョンの推進</p> <p>第2期とやま呉西圏域都市圏ビジョン（令和3年度～令和7年度）に基づき、呉西6市で連携を図りながら事業を推進した。</p> <table border="1" data-bbox="143 592 1252 695"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成27年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>とやま呉西圏域都市圏ビジョンに基づき行う事業数</td> <td>- 事業</td> <td>31事業</td> <td>32事業</td> </tr> </tbody> </table>	指標項目	基準	実績	目標	平成27年度	令和3年度	令和5年度	とやま呉西圏域都市圏ビジョンに基づき行う事業数	- 事業	31事業	32事業	<p>継続</p> <p>引き続き、呉西6市との連携を深めながら第2期とやま呉西圏域都市圏ビジョンの推進を図る。</p>
指標項目		基準	実績	目標								
	平成27年度	令和3年度	令和5年度									
とやま呉西圏域都市圏ビジョンに基づき行う事業数	- 事業	31事業	32事業									
<p>5 新港ビル株式会社への追加出資</p> <p>クロスベイ新湊の隣接地に移転新築する第一イン新湊について、地域の関係者と連携し交流人口の拡大と滞在型観光の推進による地域のにぎわい創出や活性化に取り組むため、資産管理会社に対して追加出資を実施した。</p> <p>出 資 先 新港ビル株式会社（代表取締役社長 大門 督幸）</p> <p>出 資 額 150,000千円（累計250,000千円）</p> <p>株 数 3,000株（累計5,000株）</p>	<p>完了</p> <p>クロスベイ新湊との一体的な活用による交流拠点としての取組強化やフットボールセンターと連携した合宿事業の展開など、宿泊施設及びクロスベイ新湊を中心とした市の重点施策への活用を検討した。引き続き、地域経済界と一体となって賑わい創出や地域活性化に取り組む。</p>											

事業名	交流推進費		(2款 総務費 1項 総務管理費 7目 企画費)		決算書	64 ページ	担当部課	企画管理部未来創造課												
決算額【予算額】			令和2年度		令和3年度		令和4年度													
			9,602	【11,914】	10,264	【11,583】		【14,902】												
財 源 内 訳	諸収入		487		0															
	基金繰入金		0		500															
	一般財源		9,115		9,764															
特記事項 (決算規模の変動要因等)								地域おこし協力隊 (国際交流コーディネーター) の報酬、活動費の増による。												
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)												
1 国際交流業務委託 国際交流員により市内小学校での国際理解授業、英会話講座の開催、ケーブルテレビでの国際理解の紹介、翻訳業務に対応した。 委 託 先 (株)インタラック関東北 委 託 期 間 令和3年4月1日～令和4年3月31日 委 託 料 5,217千円								見直し	本事業を契機に、市民の国際理解の推進が図られており、今後とも事業を継続実施するとともに、事業内容を工夫する。											
2 射水市民国際交流協会補助 (1) 語学講座や国際理解講座等の開催 ア 語学講座の開催 (英語初級28人、英語中級23人、英語上級13人、中国語8人、台湾語7人、ロシア語6人、ポルトガル語4人) イ 日本文化体験交流会の開催 (苔玉作り 外国人15人、日本人15人、世界の医療 外国人22人、日本人22人) ウ 国際理解講座 (台湾編) の開催 20人 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国際理解に関する講座に参加した人数</td> <td>39人</td> <td>94人</td> <td>60人</td> </tr> </tbody> </table> (2) (公財) とやま国際センターや富山情報ビジネス専門学校など関係団体との連携 (3) 太閤山日本語教室「ワイワイにほんごたいこうやま」への助成 (4) 堀岡日本語教室「しんみなとコスモス」への助成								指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和3年度	令和5年度	国際理解に関する講座に参加した人数	39人	94人	60人	拡充	本事業により、市民の国際理解の推進が図られており、今後は日本人の国際感覚醸成を図るだけでなく、日本語教室や外国人窓口等、外国人支援体制も整えていく。
指標項目	基準	実績	目標																	
	平成25年度	令和3年度	令和5年度																	
国際理解に関する講座に参加した人数	39人	94人	60人																	
3 地域おこし協力隊 (国際交流コーディネーター) の任用 ・ 射水市立小杉中学校と台北市立士林国民中学校、金山小学校、放生津小学校と台北市立士林国民小学校との交流 ・ クロスバイ新湊での第1回台湾フェア開催								拡充	教育機関の交流は継続し、今後は文化交流などの新しい交流事業を推進していく。											

事業名	移住・定住促進事業費（繰越明許）			（ 2款 総務費 1項 総務管理費 7目 企画費 ）			決算書	65 ページ	担当部課	産業経済部観光・定住課												
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）														
				8,000 【8,000】																		
財 源 内 訳	国庫補助金			8,000																		
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）														
<p>1 きららか射水移住・活性化支援事業（新型コロナ対策2-No.2）【交付金】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う景気後退に対応し、住宅用地の購入費並びに市内の空き家を活用した移住者向けの住宅や事務所、店舗等の購入費及び改修費を補助することで、地方移住の促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業費 8,000千円 ・ 土地購入型事業における補助（上限1,000千円） ・ 事務所等活用型事業における補助（上限購入4,000千円、賃貸1,000千円） <p><補助実績></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土地購入型事業</td> <td>6件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>事務所等活用型事業</td> <td>2件</td> <td>2件</td> </tr> </tbody> </table>								区分	令和2年度	令和3年度	土地購入型事業	6件	0件	事務所等活用型事業	2件	2件	完了			<p>市内不動産の流通促進や地方移住の促進・在宅勤務など多様な働き方の支援に努めた。引き続き、各種補助金等の経済的支援のほか、移住相談窓口や移住相談会などで寄せられる意見や、実際に本市に移住された方の声を聞き、移住先として選んでもらえる施策に、積極的に取り組んでいく。</p>		
区分	令和2年度	令和3年度																				
土地購入型事業	6件	0件																				
事務所等活用型事業	2件	2件																				

事業名	移住・定住促進事業費			(2款 総務費	1項 総務管理費	7目 企画費)	決算書	65 ページ	担当部課	産業経済部観光・定住課						
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)									
		22,305	【38,781】	12,075	【18,404】		【27,323】	令和2年度（一部令和3年度に繰越し）に実施した「きららか射水移住・活性化支援事業」が終了したことによる。									
財 源 内 訳	国庫補助金	14,000		0													
	県補助金	1,157		1,027													
	基金繰入金	2,000		2,500													
	一般財源	5,148		8,548													
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)									
<p>1 移住定住促進事業</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりオンラインで開催された移住セミナー等に参加し、移住者等による人口増に向けたPR活動を行った。</p> <p>移住者数 80人（うち県外移住者 39人）</p> <p>(1) 移住交流促進事業補助金</p> <p>移住交流施設の管理・運営を行うNPO法人に対して助成した。</p> <p>〈施設名〉 北部地区2施設（ほうじょうづ、さんのう）</p> <p>〈施設利用者数〉（令和3年4月1日～令和4年3月31日）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>宿泊日数</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2施設</td> <td>277日</td> <td>135人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大による外出・移動自粛の影響により、利用者数は微増にとどまる</p> <p>(2) セミナー等の開催</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響等によりオンラインによる移住セミナーに参加し、移住・交流者を招き入れるためのPR活動を行った。</p> <p>〈オンライン等によるセミナー、移住相談会〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とやま暮らしセミナー（第1回、第2回、第4回、第5回） ・とやま移住・転職WEEK（第1回、第2回） ・JOIN移住・交流&地域おこしフェア2021autumn <p>(3) 県西部6市連携による事業展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住・定住トータルサポート事業 <p>〈オンライン型移住相談セミナー〉</p> <p>「とやま呉西圏域オンラインツアー」（2回）、IJUとやまオンライン相談会</p> <p>〈対面型移住相談セミナー〉</p> <p>ふるさと回帰フェア2021（東京都）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊ネットワーク形成事業（移住フェアへの参加） ・空き家情報バンク共同運営事業（全国版空き家バンクへの登録） 								区分	宿泊日数	利用者数	2施設	277日	135人	<p>継続</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響等で地方移住への機運は高まっていたものの、緊急事態宣言期間中の外出・移動の自粛などにより移住セミナーも主にオンラインでの開催となったことや、本市への移住検討者が、住居探しや生活環境の調査をする機会が減少するなど、前年度に比べ移住者は減少に転じた。</p> <p>今後は、補助金等による経済支援のほか、移住促進・関係人口創出のためのマッチングサイトを活用し移住情報の発信を積極的に進めるとともに、移住相談窓口や移住相談会での意見や実際に本市に移住された方の声を聞き、そのニーズの把握に努めることで、移住先として選んでもらえる施策に取り組んでいく。</p>			
区分	宿泊日数	利用者数															
2施設	277日	135人															

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
<p>(4) 移住情報発信事業（新型コロナ対策2-No.3） 移住促進、関係人口創出を図るためのマッチングサイト（SMOUT）を活用し、移住情報を発信した。 ・ 事業費 1,100千円</p> <p>(5) その他移住・定住支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ うちかわ移住者受入モデル地域支援事業実行委員会への補助金【県1/2】 ・ 明日の射水を担う若者定住助成金（9件） ・ 全国版空き家バンク（アットホーム、LIFULL）に登録し、空き家情報を発信 ・ 固定資産税納税通知書に空き家利活用チラシを同封 ・ 住宅金融支援機構と協定 ・ 地域おこし協力隊が任期終了後に起業する場合に支援をすることで、定住を図るための助成を実施 	<p style="text-align: center;">継続</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響等で地方移住への機運は高まっているものの、緊急事態宣言期間中の外出・移動の自粛などにより移住セミナーも主にオンラインでの開催となったことや、本市への移住検討者が、住居探しや生活環境の調査をする機会が減少するなど、前年度に比べ移住者は減少に転じた。</p> <p>今後は、補助金等による経済支援のほか、移住促進・関係人口創出のためのマッチングサイトを活用し移住情報の発信を積極的に進めるとともに、移住相談窓口や移住相談会での意見や実際に本市に移住された方の声を聞き、そのニーズの把握に努めることで、移住先として選んでもらえる施策に取り組んでいく。</p>

事業名	観光交流センター管理運営費				(2款 総務費 1項 総務管理費 7目 企画費)		決算書	65 ページ	担当部課	産業経済部観光・定住課																					
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)																							
		283,759	【296,481】	114,398	【121,440】		【139,862】	令和2年度に整備事業が完了し、令和3年度からは管理運営に係る経費のみとなったことによる。																							
財 源 内 訳	使用料	一般財源	8,619	173,339	11,890	100,928																									
	国庫補助金		41,516		0																										
	基金繰入金		1,000		1,000																										
	諸収入		385		580																										
	市債		58,900		0																										
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)																							
<p>1 観光交流センターの管理運営事業</p> <p>射水ベイエリア観光の発着点として、新湊地区の賑わい創出や地域活性化につなげるため、観光交流センター（クロスベイ新湊）の管理運営を行った。</p> <p>また、クロスベイ新湊を核とした地域活性化を図るため、eスポーツ等の賑わい創出イベントを開催した。</p> <p>・ 来館者数 117,044人 (令和2年度 38,458人) ※令和2年8月1日供用開始</p> <p>〈賑わい創出イベント〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>イベント名</th> <th>開催日</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クロスベイ新湊1周年記念事業</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 新湊曳山まつり特別展示</td> <td>令和3年7月31日～8月2日</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・ 記念講演「放生津の祭り—海がはぐくむ曳山・築山—」</td> <td>令和3年8月1日</td> <td>約50人</td> </tr> <tr> <td>・ 写真で見る「射水の絶景」(写真展)</td> <td>令和3年7月31日～8月10日</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Toyama Gamers Day 2021</td> <td>令和3年12月19日、12月26日</td> <td>計160人</td> </tr> <tr> <td>高岡・射水万葉線e旅チャレンジ</td> <td>令和4年3月26日</td> <td>111人</td> </tr> </tbody> </table>								イベント名	開催日	参加者	クロスベイ新湊1周年記念事業			・ 新湊曳山まつり特別展示	令和3年7月31日～8月2日	—	・ 記念講演「放生津の祭り—海がはぐくむ曳山・築山—」	令和3年8月1日	約50人	・ 写真で見る「射水の絶景」(写真展)	令和3年7月31日～8月10日	—	Toyama Gamers Day 2021	令和3年12月19日、12月26日	計160人	高岡・射水万葉線e旅チャレンジ	令和4年3月26日	111人	<p>継続</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、貸館業務を一時休止したものの、月平均来館者数は昨年度より大幅に増えており、施設の活用が図られてきている。</p> <p>今後は、隣接地に開業する宿泊施設と連携を図り、さらなる賑わい創出や地域活性化に取り組んでいく。</p>		
イベント名	開催日	参加者																													
クロスベイ新湊1周年記念事業																															
・ 新湊曳山まつり特別展示	令和3年7月31日～8月2日	—																													
・ 記念講演「放生津の祭り—海がはぐくむ曳山・築山—」	令和3年8月1日	約50人																													
・ 写真で見る「射水の絶景」(写真展)	令和3年7月31日～8月10日	—																													
Toyama Gamers Day 2021	令和3年12月19日、12月26日	計160人																													
高岡・射水万葉線e旅チャレンジ	令和4年3月26日	111人																													

事業名	連携中枢事業費（広域型大学連携研究事業）			（ 2款 総務費 1項 総務管理費 7目 企画費 ）			決算書	65 ページ	担当部課	企画管理部政策推進課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）		
		2,435	【2,520】	2,011	【2,520】		【2,520】	広域型大学連携研究事業補助金の交付件数等の推移による。 令和元年度：5件 令和2年度：5件 令和3年度：4件		
財源内訳	諸収入	2,053		1,675						
	一般財源	382		336						
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 広域型大学連携研究事業 とやま呉西圏域調査研究事業補助金により、大学等が行う地域課題解決に向けた調査研究（4件）に対して支援した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 呉西地区高校生のシビックプライドの形成要因と将来の定住意識に与える影響 ・ IoT活用「オンライン先進ものづくり体験親子教室」の試みと、ものづくり教育子育て環境形成への調査研究 ・ 若者の転出の要因解析と定住化促進に向けた施策の検討 ・ 家庭における子供の数の決定要因の解析と育児支援の在り方 								継続 呉西圏域内の地域課題の共有と解決に向けた調査研究が行われた。事業完了後、呉西6市の事業担当者を対象とした補助事業報告会を開催し、各市の課題解決への活用や新たな政策立案等の参考とした。引き続き、呉西6市の課題解決に取り組むとともに、高等教育機関との連携を更に深める。		

事業名	計画推進費		(2款 総務費 1項 総務管理費 7目 企画費)				決算書	65 ページ	担当部課	企画管理部政策推進課	
決算額【予算額】		令和2年度	令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）				
		-	-	6,202	【7,416】		【12,774】	第3次射水市総合計画策定による。			
財源内訳	基金繰入金			5,000							
	一般財源			1,202							
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）			
<p>1 第3次射水市総合計画策定</p> <p>近年の社会情勢の変化や市民の価値観の変容等に鑑み、現行の第2次射水市総合計画の計画期間を1年前倒しし、令和5年度をスタートとする第3次総合計画の策定に着手した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 第3次射水市総合計画策定支援業務委託 <ul style="list-style-type: none"> 委託先 (株)ぎょうせい 東海支社 委託期間 令和3年6月8日～令和5年3月31日（長期継続契約） 委託料 12,650千円 ※令和3年度は出来高に基づき、契約額のうち、5,841千円を支出 <p>(1) 市民参画</p> <p>市民との協働、市民目線の計画とするため、広聴事業を実施し、より多くの市民の意見の把握に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民意識調査（アンケート）：市内在住の18歳以上の市民5,000人を対象に実施 市長のタウンミーティング：市民を対象に3回開催 市長とのまちづくりミーティング：各種団体を対象に13回開催 <p>(2) 総合計画審議会</p> <p>各種団体の委員や学識経験者のほか、公募委員で構成する総合計画審議会を令和3年12月に組織し、市長からの諮問により計画策定に向けた審議を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合計画審議会2回、未来創造部会 1回、安全安心部会 1回、活力元気部会 2回 								<p>継続</p> <p>総合計画審議会を設置し、現行の総合計画の評価・分析や市民意識調査等広聴事業による市民意見を踏まえた基本構想の骨子案を策定した。引き続き、多くの意見の把握に努め、市民で創る市民のための計画となるよう、令和4年中の策定に向け作業を進める。</p>			

事業名	地方創生推進費		(2款 総務費 1項 総務管理費 7目 企画費)		決算書	65 ページ	担当部課	企画管理部政策推進課
決算額【予算額】			令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			51,929	【89,267】	57,214	【72,759】		【50,522】
財 源 内 訳	国庫補助金		25,726		28,347			
	寄附金		0		2,000			
	一般財源		26,203		26,867			
特記事項（決算規模の変動要因等）								地方創生推進交付金事業（高齢者と観光客が融合するまち「射水」創造事業）の実施計画に基づく事業の進捗による。
主な事業内容・成果								
評価と今後の方向性（担当課意見）								
<p>1 高齢者と観光客が融合するまち「射水」創造事業【国1/2】</p> <p>(1) 周遊バス運行事業</p> <p>北陸新幹線新高岡駅やあいの風とやま鉄道小杉駅から新湊地区への観光アクセス向上による誘客促進及び交流人口の拡大による賑わいの創出を図るため、周遊バス等の実証運行を実施し、効果を検証した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 周遊バス実証運行効果検証及びPR業務委託 <ul style="list-style-type: none"> 委託先 (株)JTBコミュニケーションデザイン 委託期間 令和3年7月2日～令和4年3月31日 委託料 3,045千円 周遊バス運行業務委託 <ul style="list-style-type: none"> 委託先 海王交通(株) 委託期間 令和3年7月1日～令和4年3月31日 委託料 12,282千円 下条川・内川観光船実証運航検証業務委託 <ul style="list-style-type: none"> 委託先 (株)新湊観光船 委託期間 令和3年6月25日～12月24日 委託料 2,286千円 富山ぶりにかにバス実証運行検証業務委託 <ul style="list-style-type: none"> 委託先 富山地方鉄道(株) 委託期間 令和3年7月26日～令和4年3月31日 委託料 2,206千円 								
<p>継続</p> <p>地方創生推進交付金を活用した5か年（令和元年度～令和5年度）事業の3年度目として、新高岡駅からクロスベイ新湊を結ぶ周遊バスの実証運行のほか、「べいぐるん」と「べいかーと」を活用した地域のにぎわい創出に向けた取組を実施した。また、事業者・創業者支援として補助金を創設するとともに、「商品開発・販路拡大セミナー」を開催した。引き続き、クロスベイ新湊を中心とした地域のにぎわい創出や活性化を目指した取組を推進する。</p>								

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
<p>(2) 商店復興及び活性化事業</p> <p>新湊地区にある複数の観光地と既存商店街とを結ぶ新たな公共交通の効果を検証するため、地域公共交通「べいぐるん」と電動カート「べいかーと」を活用したレンタカー事業の実証運行を行った。あわせて、新たな商品開発や新規出店を促すため、クロスベイ新湊のシェアキッチンやキッチンカーを活用した事業者・創業者支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電動カート車両（2台）の購入 <ul style="list-style-type: none"> 購入先 (株)モビリティワークス 購入額 4,995千円 ・ べいぐるん実証運行検証業務委託 <ul style="list-style-type: none"> 委託先 海王交通(株) 委託期間 令和3年4月23日～令和4年3月18日 委託料 16,429千円 ・ レンタカー実証運行検証業務委託 <ul style="list-style-type: none"> 委託先 海王交通(株) 委託期間 令和3年8月20日～令和4年3月18日 委託料 4,674千円 ・ 新商品開発セミナー及びグルメイベント開催事業補助金 <p>射水商工会議所に対し、創業者や創業予定者の商品開発、販路拡大のノウハウの取得等に係る補助金を交付し、新商品開発セミナーやグルメイベントでの試験販売等を通じた地域のにぎわい創出につなげた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 交付先 射水商工会議所 事業期間 令和3年6月1日～令和4年3月9日 交付金額 2,000千円 ・ 創業者支援等補助金 <p>キッチンカー及びシェアキッチンを活用して実施する商品開発等のスタートアップ事業及び販路拡大事業に対し補助金を交付した。（補助率4/5 限度額10万円）</p> <p>令和3年度 3件 84千円</p> 	<p style="text-align: center;">継続</p> <p>地方創生推進交付金を活用した5か年（令和元年度～令和5年度）事業の3年度目として、新高岡駅からクロスベイ新湊を結ぶ周遊バスの実証運行のほか、「べいぐるん」と「べいかーと」を活用した地域のにぎわい創出に向けた取組を実施した。また、事業者・創業者支援として補助金を創設するとともに、「商品開発・販路拡大セミナー」を開催した。引き続き、クロスベイ新湊を中心とした地域のにぎわい創出や活性化を目指した取組を推進する。</p>

事業名	電算管理費（繰越明許）		（ 2款 総務費		1項 総務管理費		8目 行政情報推進費		）	決算書	65 ページ	担当部課	財務管理部資産経営課				
決算額【予算額】			令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）								
					440 【440】												
財 源 内 訳	一般財源				440												
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）							
<p>1 令和3年6月データ標準レイアウト改版に伴うシステム改修</p> <p>社会保障・税番号制度（マイナンバー）の運用により、行政機関や自治体間で行う税情報の照会等の情報連携で使用する副本データの内容（データ標準レイアウト）が、法改正等により改版されるのに伴い統合宛名システムを改修した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年6月データ標準レイアウト改版に伴うシステム改修業務（統合宛名システム） <p>委託先 (株)インテック</p> <p>委託期間 令和3年1月18日～7月5日</p> <p>委託料 440千円</p>										完了				データ標準レイアウトの改版は、毎年予定されており、今後も改版が示されれば対応する。			

事業名	電算管理費			(2款 総務費 1項 総務管理費 8目 行政情報推進費)			決算書	65	ページ	担当部課	企画管理部未来創造課 財務管理部資産経営課 市民生活部市民課											
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)														
		283,958 【288,877】		254,556 【258,447】		【287,685】																
財 源 内 訳	国庫補助金		33,973		14,374																	
	県補助金		3,267		1,064																	
	諸収入		0		1,276																	
	一般財源		246,718		237,842																	
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性 (担当課意見)												
1 自治体クラウドの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 基幹業務系クラウド：住民票、税、福祉など27業務 (平成27年7月導入) ・ 内部業務系クラウド：財務会計、契約管理など7業務 (平成28年4月導入) ・ 情報セキュリティクラウド (平成29年4月導入) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自治体クラウド導入システム数</td> <td>0業務</td> <td>35業務</td> <td>36業務</td> </tr> </tbody> </table>										指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和3年度	令和5年度	自治体クラウド導入システム数	0業務	35業務	36業務	拡 充	自治体クラウドの導入により、経費の削減と高度なセキュリティ対策ができた。また、クラウド運用管理部会を通して、他自治体との情報共有を図ることができた。今後も自治体クラウドシステム数の拡大に取り組む。
指標項目	基準	実績	目標																			
	平成25年度	令和3年度	令和5年度																			
自治体クラウド導入システム数	0業務	35業務	36業務																			
2 自治体システムの統一・標準化【国間接補10/10】 令和7年度までの自治体システムの標準化に向け、国が示した住民記録システム標準仕様と現行システム仕様との比較 (Fit&Gap分析) を行い、業務への影響を調査した。 委 託 先 (株)インテック 委 託 期 間 令和4年1月4日～3月31日 委 託 料 1,276千円										拡 充	Fit&Gap分析により課題を整理することができ、移行後の運用等について検討することができた。住民記録システム以外についても、Fit&Gap分析を行いながら、令和7年度までの自治体システムの標準化に向け、取組を進める。											
3 ICカードの多目的利用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成28年度 コンビニ交付サービス ・ 平成29年度 子育てワンストップサービス、図書館利用カードの統合 ・ 平成30年度 自治体ポイントサービス (令和2年9月終了) ・ 令和3年度 介護ワンストップサービス <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ICカードの多目的利用業務数</td> <td>0業務</td> <td>4業務</td> <td>10業務</td> </tr> </tbody> </table>										指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和3年度	令和5年度	ICカードの多目的利用業務数	0業務	4業務	10業務	拡 充	マイナンバーカードの利便性向上を図るため、介護保険に係る申請手続を電子申請で行うことができる「介護ワンストップサービス」を導入した。今後とも、マイナンバーカードを用いた申請手続などの電子化に取り組んでいく。
指標項目	基準	実績	目標																			
	平成25年度	令和3年度	令和5年度																			
ICカードの多目的利用業務数	0業務	4業務	10業務																			

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
<p>4 タブレット端末、テレビ会議システム周辺機器等購入事業（新型コロナ対策3-No.4）【交付金】</p> <p>市庁舎等における3密に配慮したテレワーク利用環境の整備とワーキングスペースを確保するため、タブレット端末とテレビ会議システム周辺機器を整備した。</p> <p>(1) タブレット端末整備</p> <p>ペーパーレス会議及びテレビ会議システムに対応したパソコン50台を整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業費 7,469千円 <p>(2) テレビ会議システム周辺機器整備</p> <p>テレビ会議システム周辺機器（HDMIケーブル、大型モニター、カメラ、マイクスピーカー1台）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業費 487千円 	完了	<p>新型コロナウイルス感染症に対応した職場環境を整備し、感染症対策に加え、職員の職場環境の充実につながった。</p>

事業名	D X 推進事業費		(2款 総務費 1項 総務管理費 8目 行政情報推進費)			決算書	65 ページ	担当部課	企画管理部人事課 企画管理部未来創造課 財務管理部資産経営課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)	
		-		27,279 【28,171】					
財源内訳	一般財源			27,279					
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)	
<p>1 D X の推進</p> <p>令和3年4月に市長を本部長とする「射水市D X 推進本部」を設置するとともに、民間から専門的な知識・経験を持つ人材をC I O 補佐 (情報化統括責任者補佐) として委嘱しながら、急速に進化するデジタル技術を活用し、様々な社会課題の解決や新たな価値の創造につなげるため、D X 推進の方針等を示した「射水市D X ビジョン」を令和3年8月に策定した。</p> <p>(1) ワーキンググループ (W G) の設置</p> <p>D X ビジョンで描く未来の姿の実現に向けて、W G を設置し、調査・研究を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治会アプリW G オンラインによる広報や町内回覧板、災害時の緊急情報の伝達 シェア住宅・人流/物流活性化W G 必要な時期に利用する住み替えが容易な政策とシェア住宅の推奨 リモートワークやシェアオフィス、サテライトオフィス等による人流活性化と企業誘致・雇用促進、共配/共通決済などの効率化の推進、地元ビジネスのD X 化支援・政策紹介支援 健康管理W G ライフサイエンスによる健康寿命の延伸、地域見守り、オンライン健康相談、健康情報モニタリングとオンライン診療の実現 自動運転・公共交通W G カーシェアリング、オンデマンド交通、自動運転、有料ボランティア等を活用した地域交通の効率化の推進、地元ビジネスのD X 化支援・政策紹介支援 スマート窓口W G スマート窓口 (書かない窓口、申請ガイド)、24時間窓口 (オンライン申請、チャットボット)、キャッシュレス 								<p>継続</p> <p>本市のD X 推進の方針、戦略等を示すことができた。また、部局を横断したW G の設置により、個別具体の取組について、検討することができた。</p> <p>今後も推進本部やW G で検討していくとともに、関係機関と共同しながらD X の推進に取り組んでいく。</p>	
<p>2 R P A 利活用事業</p> <p>新たに3業務にR P A を活用し、当該3業務で約322時間/年間 (85.1%) の業務時間の削減 (見込み) につながる結果を得た。</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度 自治体行政スマートプロジェクト (総務省事業) 5業務、市単独 3業務 令和2年度 市単独 3業務 令和3年度 市単独 3業務 								<p>拡充</p> <p>14業務でR P A を活用し、約3,113時間/年間 (61.6%) の業務時間の削減 (見込み) につなげることができ、事務効率の向上を図れた。</p> <p>今後もR P A 対象業務を拡充していくとともに、A I - O C R と連携させ、更なる効率化につなげる。</p>	

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
<p>3 テレビ会議システム運用事業（新型コロナ対策3-No5） 一か所に参集することなく会議を行うことや、近年多発する気象災害や新型コロナウイルス感染症の対応等において、緊急に会議を開催する機会を確保した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業費 3,630千円 ・ テレビ会議システムを利用した会議 令和3年度 277回（システム利用数） 	継続	<p>コロナ禍において、時間や場所の制約を受けることなく、会議が行うことができた。今後もシステムの利用を推進する。</p>
<p>4 テレワークシステム運用事業（新型コロナ対策3-No6） 非常時のみならず、育児や介護等を行う職員のワークライフバランスを実現するため、在宅型テレワークを実施するもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業費 594千円 ・ テレワークシステム利用数 令和3年度 延べ50回 	継続	<p>職員の新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止やワークライフバランスの推進に寄与した。引き続き職員の在宅型テレワークの実施を推進する。</p>
<p>5 I o T利活用推進事業 令和元年度及び令和2年度に市内ケーブルテレビ事業者と連携しI o Tの基盤となる通信環境を活用し実証事業を行い、その結果を基に4業務の本格運用を開始した。 また、新たに6業務の実証事業を行い、効果が確認できた1業務についても本格運用を開始した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 降積雪量の観測 ・ 排水路の水位観測 ・ 排水路の堆積物監視 ・ ため池の水位観測 ・ 保育園の登降園管理 	拡充	<p>I o Tの利活用により、リアルタイムにデータを取得することができ、迅速な対応につなげるとともに業務の効率化を図ることができた。 今後も実証実験を行いながら、様々な分野においてI o T利活用を推進していく。</p>

事業名	行財政改革等推進費				(2款 総務費 1項 総務管理費 9目 行財政改革等推進費)		決算書	66 ページ	担当部課	企画管理部人事課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)		
		2,251	【2,376】	2,489	【2,530】					
財 源 内 訳	一般財源	2,251		2,489						
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)		
<p>1 射水市職員PPP (公民連携) 研修の実施</p> <p>多様なまちづくり主体との連携により本市における持続可能な都市経営について考えるとともに、地域課題解決のための新たな取組への意欲喚起を図り、課題対応力を高めるため、射水市職員PPP (公民連携) 研修を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回 令和3年10月14日 兵庫県立大学大学院教授 内田 康郎 氏 ・ 第2回 令和3年10月27日 合同会社まちみらい代表社員 寺沢 弘樹 氏 								<p>継続</p> <p>職員研修の実施により、地域課題解決のため新たな取組への意欲向上が図られた。引き続き、市民サービスの向上や魅力的なまちづくりの実現に向け、公民連携の取組を推進していく。</p>		

事業名	地域振興費		(2款 総務費 1項 総務管理費 11目 地域振興費)		決算書	66 ページ	担当部課	市民生活部市民活躍・文化課											
決算額【予算額】			令和2年度		令和3年度		令和4年度												
			18,930	【19,988】	41,823	【44,080】		【14,916】											
財 源 内 訳	諸収入		15,100		30,000														
	一般財源		3,830		11,823														
特記事項 (決算規模の変動要因等)								公民館建設等補助金の交付件数の推移による。											
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性 (担当課意見)												
<p>1 射水市地域振興会連合会補助金</p> <p>射水市地域振興会連合会の運営に対して補助を行い、富山県自治会連合会及び各地域振興会との連絡調整の円滑化、活力ある地域づくりの推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 射水市地域振興会連合会総会 <p>開催日：令和3年5月25日</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自治会加入率</td> <td>85.0%</td> <td>80.0%</td> <td>90.0%</td> </tr> </tbody> </table>							指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和3年度	令和5年度	自治会加入率	85.0%	80.0%	90.0%	継続	射水市地域振興会連合会の活動を通じて、地域振興会相互の連携及び関係諸団体との連絡協力を強化し、活力ある地域活動の推進に寄与することができた。今後も地域の発展及び活力ある地域社会の実現に取り組んでいく。
指標項目	基準	実績	目標																
	平成25年度	令和3年度	令和5年度																
自治会加入率	85.0%	80.0%	90.0%																
<p>2 公民館建設等補助金</p> <p>自治会等が社会教育及び地域活動の振興を図るため、その拠点となる集会施設の建設等に要する経費に対して補助を行い、自治会活動の推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 新築 1件 (令和2年度 新築 0件) 増改築 1件 (令和2年度 増改築 0件) 修繕 9件 (令和2年度 修繕 5件) <p>一般社団法人自治総合センターからの助成金</p> <ul style="list-style-type: none"> 新築 2件 							継続	集会施設の建設等に対して補助を行うことで自治会活動の拠点整備を支援することができた。今後も支援を継続し、自治会活動の推進に取り組んでいく。											
<p>3 自治会掲示板設置等補助金</p> <p>自治会が地域住民へ各種周知広報を行うため、掲示板の設置への補助を行い、円滑な自治会活動の推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1件当たり1/3補助 限度額4万円 1件 (令和2年度 2件) 							継続	掲示板設置への補助を行うことで地域住民への広報が円滑になり、自治会活動の推進に寄与することができた。今後も支援を継続し、自治会活動の推進に取り組んでいく。											
<p>4 地域コミュニティDX活用モデル事業補助金</p> <p>自治会が地域住民へ各種周知広報を行うため、電子自治会アプリの導入への補助を行い、円滑な自治会活動の推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助団体数 18団体 							継続	地域振興会及び自治会・町内会活動の活性化、運営事務の効率化の向上等を図るため、電子自治会アプリの導入を支援した。今後も導入支援を継続し、地域活動の推進に取り組んでいく。											

事業名	協働のまちづくり推進費				(2款 総務費 1項 総務管理費 11目 地域振興費)		決算書	66 ページ	担当部課	市民生活部市民活躍・文化課															
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)																	
		130,502	【133,972】	129,563	【132,386】		【135,368】																		
財源内訳	基金繰入金	118,000		0																					
	一般財源	12,502		129,563																					
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)																	
<p>1 地域型市民協働事業交付金</p> <p>27地区の地域振興会に交付金を交付し、地域の課題解決に向けた各種事業の取組を推進した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域型市民協働事業の取組事業数</td> <td>31件</td> <td>36件</td> <td>40件</td> </tr> </tbody> </table>								指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和3年度	令和5年度	地域型市民協働事業の取組事業数	31件	36件	40件	継続	各種事業を推進し、地域の実情に合った協働事業を実施することができた。今後も協働事業の更なる活性化に取り組んでいく。					
指標項目	基準	実績	目標																						
	平成25年度	令和3年度	令和5年度																						
地域型市民協働事業の取組事業数	31件	36件	40件																						
<p>2 地域提案型市民協働事業補助金</p> <p>地域による自主的なまちづくりを支援するため、地域振興会の自由な発想を生かした事業を採択し、協働のまちづくりを推進した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>団体名</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小杉地区の母なる下条川の魅力向上作戦</td> <td>戸破地域振興会</td> <td>継続</td> </tr> <tr> <td>三ヶ獅子舞ルネッサンスまちおこし事業</td> <td>三ヶ地域振興会</td> <td>新規</td> </tr> <tr> <td>「郷土の恩人」案内板設置・啓発事業</td> <td>作道地域振興会</td> <td>新規</td> </tr> <tr> <td>浅井地区の歴史マップ作成事業</td> <td>浅井報徳地域振興会</td> <td>新規</td> </tr> </tbody> </table>								事業名	団体名	区分	小杉地区の母なる下条川の魅力向上作戦	戸破地域振興会	継続	三ヶ獅子舞ルネッサンスまちおこし事業	三ヶ地域振興会	新規	「郷土の恩人」案内板設置・啓発事業	作道地域振興会	新規	浅井地区の歴史マップ作成事業	浅井報徳地域振興会	新規	継続	市民協働事業の実施により、地域が抱える問題や課題を解決し、地域に合ったまちづくりを推進することができた。今後も、地域の自主性を尊重した協働のまちづくりを推進していく。	
事業名	団体名	区分																							
小杉地区の母なる下条川の魅力向上作戦	戸破地域振興会	継続																							
三ヶ獅子舞ルネッサンスまちおこし事業	三ヶ地域振興会	新規																							
「郷土の恩人」案内板設置・啓発事業	作道地域振興会	新規																							
浅井地区の歴史マップ作成事業	浅井報徳地域振興会	新規																							
<p>3 公募提案型市民協働事業補助金</p> <p>各種団体の専門性・先駆性などの特性を生かした提案を採択し、協働のまちづくりを推進した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>団体名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>あきらめないで挑戦する自分になる！「自分を応援できる自分づくり」促進事業</td> <td>富山福祉短期大学</td> </tr> <tr> <td>コロナ禍における外国人住民の生活実態の把握と課題解決方法の協創—永住者とその家族の活躍の場創出を見据えて</td> <td>公立大学法人富山県立大学</td> </tr> <tr> <td>多世代が伝える小杉の偉人</td> <td>小杉まちづくり協議会 富山県立小杉高等学校</td> </tr> <tr> <td>もっと知って、もっと繋がる多文化交流事業～外国人と地域住民の交流型イベント『LINK PARK』～</td> <td>射水まちづくり大学同窓会 射水市民国際交流協会</td> </tr> </tbody> </table> <p>※富山県立大学提案事業及び射水まちづくり大学同窓会、射水市民国際交流協会共同提案事業については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により休止</p> <p>※小杉まちづくり協議会、小杉高等学校共同提案事業については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止</p>								事業名	団体名	あきらめないで挑戦する自分になる！「自分を応援できる自分づくり」促進事業	富山福祉短期大学	コロナ禍における外国人住民の生活実態の把握と課題解決方法の協創—永住者とその家族の活躍の場創出を見据えて	公立大学法人富山県立大学	多世代が伝える小杉の偉人	小杉まちづくり協議会 富山県立小杉高等学校	もっと知って、もっと繋がる多文化交流事業～外国人と地域住民の交流型イベント『LINK PARK』～	射水まちづくり大学同窓会 射水市民国際交流協会	継続	提案団体の特性を生かした市民協働事業を実施することができた。今後もより効果的な事業の実施方法について検討しながら、協働事業の活性化に取り組む。						
事業名	団体名																								
あきらめないで挑戦する自分になる！「自分を応援できる自分づくり」促進事業	富山福祉短期大学																								
コロナ禍における外国人住民の生活実態の把握と課題解決方法の協創—永住者とその家族の活躍の場創出を見据えて	公立大学法人富山県立大学																								
多世代が伝える小杉の偉人	小杉まちづくり協議会 富山県立小杉高等学校																								
もっと知って、もっと繋がる多文化交流事業～外国人と地域住民の交流型イベント『LINK PARK』～	射水まちづくり大学同窓会 射水市民国際交流協会																								

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
<p>4 協働のまちづくりを担う人材の育成</p> <p>(1) 射水まちづくりプラットフォーム～まちプラ～ まちづくりへの関心を高める事業を実施し、担い手となる人材の発掘・育成を図った。 ・ 実施回数 2回、参加者数 延べ38人 ※第2回は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、中止</p> <p>(2) 射水まちづくりセミナー まちづくりに役立つスキル等を学ぶ機会を提供し、まちづくり実践者のスキルアップやネットワーク形成を図った。 ・ 実施回数 3回、参加者数 延べ64人</p> <p>(3) NPO法人等連携強化事業 多様な主体による市民協働のまちづくりを推進し、射水市内で活動するNPO法人及びまちづくり関係団体を対象として連携の強化を図った。</p> <p>ア まちづくり関係団体連絡会議の開催 ・ 実施回数 2回、参加者数 延べ42人（参加者団体 延べ29団体）</p> <p>イ 射水まちづくり関係団体活動展 ・ 実施日：令和4年3月1日～3月31日 ・ 出展団体 17団体</p>	<p>継続</p> <p>まちづくりについて考え、参画するきっかけを参加者に提供することができた。今後も、多様な担い手による協働のまちづくりを推進するため、まちづくり実践者のネットワーク形成にも取り組んでいく。</p>

事業名	コミュニティセンター整備事業費（繰越明許）				（ 2款 総務費 1項 総務管理費 11目 地域振興費 ）		決算書	67 ページ	担当部課	市民生活部市民活躍・文化課																				
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																						
				340,029 【381,316】																										
財 源 内 訳	市債			316,400																										
	一般財源			23,629																										
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）																						
<p>1 七美コミュニティセンターの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 構造：鉄骨造 2階建 ・ 延床面積：929.49㎡ <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">業者名</th> <th>工期</th> <th>契約額 (うち令和3年度支出額)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建築主体</td> <td>北海工業・米田木材JV</td> <td>令和2年12月24日～令和3年10月29日</td> <td>314,600千円 (188,760千円)</td> </tr> <tr> <td>電気設備</td> <td>(株)フジノ電設工業</td> <td>令和2年10月28日～令和3年10月29日</td> <td>45,650千円 (27,390千円)</td> </tr> <tr> <td>機械設備</td> <td>織田・丸芳工業JV</td> <td>令和2年11月13日～令和3年10月29日</td> <td>53,020千円 (31,820千円)</td> </tr> <tr> <td>新築工事監理</td> <td>北野建築設計事務所</td> <td>令和2年12月15日～令和3年11月15日</td> <td>10,340千円 (10,340千円)</td> </tr> </tbody> </table>								業者名		工期	契約額 (うち令和3年度支出額)	建築主体	北海工業・米田木材JV	令和2年12月24日～令和3年10月29日	314,600千円 (188,760千円)	電気設備	(株)フジノ電設工業	令和2年10月28日～令和3年10月29日	45,650千円 (27,390千円)	機械設備	織田・丸芳工業JV	令和2年11月13日～令和3年10月29日	53,020千円 (31,820千円)	新築工事監理	北野建築設計事務所	令和2年12月15日～令和3年11月15日	10,340千円 (10,340千円)	完了	七美コミュニティセンターの整備を行った。	
業者名		工期	契約額 (うち令和3年度支出額)																											
建築主体	北海工業・米田木材JV	令和2年12月24日～令和3年10月29日	314,600千円 (188,760千円)																											
電気設備	(株)フジノ電設工業	令和2年10月28日～令和3年10月29日	45,650千円 (27,390千円)																											
機械設備	織田・丸芳工業JV	令和2年11月13日～令和3年10月29日	53,020千円 (31,820千円)																											
新築工事監理	北野建築設計事務所	令和2年12月15日～令和3年11月15日	10,340千円 (10,340千円)																											
<p>2 大島コミュニティセンターの整備及び旧大島コミュニティセンターの解体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 構造：鉄筋コンクリート造 4階建 ・ 延床面積：2,168.90㎡ <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">業者名</th> <th>工期</th> <th>契約額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外構工事</td> <td>分家工業(株)</td> <td>令和3年12月15日～令和4年3月18日</td> <td>13,031千円</td> </tr> <tr> <td>解体工事</td> <td>竹沢建設(株)</td> <td>令和3年6月22日～10月29日</td> <td>32,017千円</td> </tr> <tr> <td>解体に伴う壁設置工事</td> <td>(株)竹内建設</td> <td>令和3年9月10日～12月15日</td> <td>17,490千円</td> </tr> </tbody> </table>								業者名		工期	契約額	外構工事	分家工業(株)	令和3年12月15日～令和4年3月18日	13,031千円	解体工事	竹沢建設(株)	令和3年6月22日～10月29日	32,017千円	解体に伴う壁設置工事	(株)竹内建設	令和3年9月10日～12月15日	17,490千円	完了	大島コミュニティセンターの外構工事及び旧大島コミュニティセンターの解体を行った。					
業者名		工期	契約額																											
外構工事	分家工業(株)	令和3年12月15日～令和4年3月18日	13,031千円																											
解体工事	竹沢建設(株)	令和3年6月22日～10月29日	32,017千円																											
解体に伴う壁設置工事	(株)竹内建設	令和3年9月10日～12月15日	17,490千円																											

決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)
		162,486	【164,971】	163,288	【165,006】		【168,529】	
財 源 内 訳	使用料		657		860			
	基金繰入金		120,000		0			
	諸収入		108		102			
	一般財源		41,721		162,326			

主な事業内容・成果

評価と今後の方向性 (担当課意見)

1 コミュニティセンターの指定管理

27施設のうち25施設について、指定管理者制度を導入し（改修等で直営に一旦戻した施設を含む。）、各地域振興会が地域の実情に合わせ、効果的、効率的に施設の管理運営を行っている。令和3年度で指定管理期間終了となる5施設について更新を行い、併せて新規となる2施設についても協議を行い令和4年度から指定管理者制度を導入している。

<指定管理者導入施設>

導入年度	施設名 (コミュニティセンター)
平成23年度	新湊、本江、三ヶ、南太閤山
平成24年度	放生津、戸破、橋下条、金山、大江、池多、浅井、櫛田、大島、下村
平成25年度	海老江、七美、黒河、中太閤山
平成26年度	塚原
平成27年度	二口
平成28年度	庄西、太閤山
平成30年度	水戸田、片口
令和3年度	作道

継続

指定管理者である各地域振興会と協議しながら、円滑な施設の管理運営を行うことができた。
施設の新築、改修等により、現在直営となっている施設についても今後、指定管理者制度を導入していく。

事業名	交通安全対策費				(2款 総務費 1項 総務管理費 12目 交通安全対策費)				決算書	67 ページ	担当部課	市民生活部生活安全課																					
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)																									
		7,743	【8,591】	7,257	【7,660】		【8,163】																										
財 源 内 訳	県補助金		470		471																												
	一般財源		7,273		6,786																												
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性 (担当課意見)																							
<p>1 交通安全教室の開催</p> <p>広く市民を対象とした交通安全教室を64回開催し、交通安全知識の普及及び交通安全意識の高揚を図った。【県】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交通事故件数 (人身事故) ／死者数</td> <td>405件 7人</td> <td>276件 2人</td> <td>200件以内 2人以内</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交通安全教室受講者数</td> <td>4,366人</td> <td>5,010人</td> <td>10,000人</td> </tr> </tbody> </table>										指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和3年度	令和5年度	交通事故件数 (人身事故) ／死者数	405件 7人	276件 2人	200件以内 2人以内	指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和3年度	令和5年度	交通安全教室受講者数	4,366人	5,010人	10,000人	継続	<p>人身事故の件数は目標値を達成できなかったが、死者数の件数に関しては目標値を達成することができた。今後も交通事故の減少を目指し、各種交通安全対策を継続していく。</p>
指標項目	基準	実績	目標																														
	平成25年度	令和3年度	令和5年度																														
交通事故件数 (人身事故) ／死者数	405件 7人	276件 2人	200件以内 2人以内																														
指標項目	基準	実績	目標																														
	平成25年度	令和3年度	令和5年度																														
交通安全教室受講者数	4,366人	5,010人	10,000人																														

事業名	地域交通対策費		(2款 総務費 1項 総務管理費 13目 地域交通対策費)		決算書	67 ページ	担当部課	市民生活部生活安全課
決算額【予算額】			令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			38,183	【40,006】	51,957	【53,814】		【57,663】
財 源 内 訳	使用料		167		165			
	国庫補助金		4,581		7,064			
	県補助金		1,622		18			
	諸収入		104		96			
	一般財源		31,709		44,614			
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 小杉駅南口駅舎管理運営事業 鉄道利用者の利便性を確保するため、小杉駅南口駅舎の管理運営を行った。							継続	今後も待合室やエレベーター、トイレ等の管理を行い、利用者の利便性を確保するとともに、今後の管理のあり方等について、あいの風とやま鉄道（株）と協議を行う。
2 越中大門駅周辺地区バリアフリー基本構想策定調査業務【国1/2】 越中大門駅をはじめとするバリアフリー化に向けた事業を具体化し、駅周辺地区におけるバリアフリー化を重点的かつ一体的に推進するため、「越中大門駅周辺地区バリアフリー基本構想」を策定した。 委託先 (株)新日本コンサルタント射水営業所 委託期間 令和3年7月12日～令和4年3月31日 委託料 1,925千円							完了	越中大門駅等のバリアフリー化の促進につながる基本構想を策定した。 今後は、越中大門駅へのエレベーター設置等、基本構想に位置付けた事業に取り組んでいく。
3 経営安定基金 並行在来線の第三セクター会社（あいの風とやま鉄道株）に係る開業後の安全対策等への投資や運賃値上げの抑制等、利用者の利便性の確保を図るための拠出を行った。							継続	今後も並行在来線の利用者の利便性の確保と運営会社の経営安定化に資するため、負担金を拠出する。
4 タクシー支援事業費補助金（新型コロナ対策2-No.4）【交付金】 市内を運行するタクシー事業者（4社）の事業継続のため、車両の維持に係る経費を支援した。 ・ 事業費 2,025千円							完了	新型コロナウイルス感染症の影響により経営に大きな影響が生じたタクシー事業者に対して、車両の維持費を支援したことで、事業継続の一助となった。 今後については、感染状況等により、支援の実施を検討する。
5 路線維持費特別補助金（新型コロナ対策2-No.5）【交付金】 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図るため、複数市町村をまたがって運行する路線バス事業者（1社）に対して、車内の密度を上げないよう配慮した運行に係る費用を近隣自治体と協調して支援した。（事業費：4,382千円） ・ 事業費 4,382千円							完了	感染症対策を行った上で、車内の密度を上げないよう配慮した運行に要する費用を支援したことで、感染拡大防止が図られた。 今後については、感染状況等により、支援の実施を検討する。

事業名	コミュニティバス運行費				(2款 総務費 1項 総務管理費 13目 地域交通対策費)		決算書	67 ページ	担当部課	市民生活部生活安全課											
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)													
		292,967	【298,251】	291,872	【294,153】		【276,384】														
財 源 内 訳	国庫補助金	4,421		3,423																	
	県補助金	26,246		27,498																	
	基金繰入金	248,000		0																	
	諸収入	1,735		4,374																	
	一般財源	12,565		256,577																	
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)													
<p>1 コミュニティバス及びデマンドタクシー運行事業【県】 コミュニティバス17路線 (うち冬期のみ3路線) の運行とデマンドタクシーの運行 (大門・大島地区) を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コミュニティバス等乗車人数</td> <td>395,608人</td> <td>348,259人</td> <td>450,000人</td> </tr> </tbody> </table>								指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和3年度	令和5年度	コミュニティバス等乗車人数	395,608人	348,259人	450,000人	見 直 し	コミュニティバス等再編プランに基づき、令和3年8月1日に路線の再編とダイヤ改正を行い、運行の効率化と利便性の向上が図られた。 今後も、利用実態等を踏まえ、利便性の高い持続可能な運行となるよう、適宜見直しを行っていく。	
指標項目	基準	実績	目標																		
	平成25年度	令和3年度	令和5年度																		
コミュニティバス等乗車人数	395,608人	348,259人	450,000人																		
<p>2 公共交通感染防止運行協力支援事業費補助金 (新型コロナ対策2-No.6) 【交付金】 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、コミュニティバス運行事業者 (3社) に対して、平日ラッシュ時の運行本数を維持し3密を避けるための費用を支援した。 ・ 事業費 2,986千円</p>								完 了	減便を行わず通常の本数を維持したことで、通学・通勤時間帯における車内の密が緩和され、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止が図られた。 今後については、感染状況等により、支援の実施を検討する。												

事業名		万葉線対策費（繰越明許）		（ 2款 総務費 1項 総務管理費 13目 地域交通対策費 ）		決算書	68 ページ	担当部課	市民生活部生活安全課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）	
				23,265	【23,345】				
財 源 内 訳	市債			3,400					
	一般財源			19,865					
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）	
<p>1 万葉線維持対策補助金交付事業</p> <p>万葉線(株)に対して、施設整備費等の補助を行い、安全で安定した運行の確保・向上を図った。</p> <p>(1) 鉄道施設総合安全対策事業費補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 線路設備〔重軌条化〕（東新湊－中新湊間） <p>(2) 車両保存費補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 動力発生装置、走行装置、ブレーキ装置等、重要な装置の定期検査 <p>(3) 万葉線安全運行対策補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1000型ガラス交換 <p>(4) 万葉線除雪事業費補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内燃除雪車修理、除雪機購入、グレーダー部品交換ほか 								継続	万葉線の安全・安定運行の確保・向上を図ることができた。今後も引き続き、支援を行っていく。

事業名	万葉線対策費		(2款 総務費 1項 総務管理費 13目 地域交通対策費)		決算書	68 ページ	担当部課	市民生活部生活安全課																		
決算額【予算額】			令和2年度		令和3年度		令和4年度																			
			82,727	【106,670】	113,244	【115,161】		【120,627】																		
財 源 内 訳	市債		22,900		29,400																					
	国庫補助金		9,377		11,824																					
	一般財源		50,450		72,020																					
<p>施設設備の老朽化に伴う維持・修繕費用の増加や、令和2年度は翌年度に繰り越しとなった事業があったことなどによる。</p>								特記事項 (決算規模の変動要因等)																		
<p>主な事業内容・成果</p>								評価と今後の方向性 (担当課意見)																		
<p>1 万葉線維持対策補助金交付事業 万葉線(株)に対して、施設整備や運行費用の補助を行い、安全で安定した運行の確保や利便性の向上、経営の安定化を図った。</p> <p>(1) 鉄道施設総合安全対策事業費補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> 線路設備〔重軌条化〕(海王丸-中新湊間) 輸送設備〔ゲージタイ設置〕(六渡寺-中伏木間) 踏切保安設備〔踏切制御機器更新〕(越ノ湯踏切) 電路設備〔電柱更新〕(東新湊間-新町口) <p>(2) 車両保存費補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> 動力発生装置、走行装置、ブレーキ装置等、重要な装置の定期検査 <p>(3) 鉄道施設総合安全対策事業費補助金対象外事業費補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> 1000型車両車輪交換、車庫線レール交換、不良枕木交換 <p>(4) 万葉線運行費補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> 万葉線事業者の負担を軽減し、万葉線の経営安定化を図った。 <p>(5) ICカード整備事業費補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ICカードの導入検討、車両冷房化に併せて交流電源装置を設置 <p>(6) 万葉線安全運行対策補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> レール交換、溝レール肉盛溶接、高岡駅電子連動装置部品交換ほか <p>年度別利用者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年間乗車人数</th> <th>対前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成29年度</td> <td>1,194,668人</td> <td>103.4%</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>1,192,041人</td> <td>99.8%</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>1,135,583人</td> <td>95.3%</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>804,244人</td> <td>70.8%</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>895,420人</td> <td>111.3%</td> </tr> </tbody> </table>								区分	年間乗車人数	対前年比	平成29年度	1,194,668人	103.4%	平成30年度	1,192,041人	99.8%	令和元年度	1,135,583人	95.3%	令和2年度	804,244人	70.8%	令和3年度	895,420人	111.3%	<p>継続</p> <p>万葉線の安全・安定運行の確保や利便性の向上、運営会社の経営安定化が図られた。今後も引き続き支援を行っていく。</p>
区分	年間乗車人数	対前年比																								
平成29年度	1,194,668人	103.4%																								
平成30年度	1,192,041人	99.8%																								
令和元年度	1,135,583人	95.3%																								
令和2年度	804,244人	70.8%																								
令和3年度	895,420人	111.3%																								

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
<p>2 万葉線新型コロナウイルス感染拡大防止対策補助金（新型コロナ対策2-No.7）【交付金】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、万葉線株式会社に対して、平日ラッシュ時の運行本数を維持し3密を避けるための費用を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業費 11,824千円 	<p style="text-align: center;">完了</p> <p>減便を行わず通常の本数を維持したことで、通学・通勤時間帯における車内の密が緩和され、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止が図られた。</p> <p>今後については、感染状況等により、支援の実施を検討する。</p>

事業名	防犯対策費				（ 2款 総務費 1項 総務管理費 14目 防犯対策費 ）		決算書	68 ページ	担当部課	市民生活部生活安全課																				
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																						
		8,668	【9,019】	7,957	【8,520】		【8,627】																							
財 源 内 訳	手数料	601		20																										
	一般財源	8,067		7,937																										
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）																						
<p>1 防犯対策事業</p> <p>広く市民を対象とした防犯意識の普及啓発活動に加え、青色回転灯装着車によるパトロールの実施・支援や自主防犯組織の育成・支援を行うなど、地域が主体となった防犯活動を支援し、犯罪のない安心で安全なまちづくりを推進した。</p> <p>また、小杉駅東駐車場等、市内の6か所（7台）に防犯カメラを設置し、犯罪の未然防止及び体感治安の向上に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 青色回転灯防犯パトロール活動団体 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>団体数</th> <th>車両台数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度末</td> <td>20団体</td> <td>19台</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>犯罪発生件数（刑法犯認知件数）</td> <td>517件</td> <td>478件</td> <td>400件以内</td> </tr> </tbody> </table>									団体数	車両台数	令和3年度末	20団体	19台	指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和3年度	令和5年度	犯罪発生件数（刑法犯認知件数）	517件	478件	400件以内	継続			<p>市民の防犯意識の高揚を図るための啓発活動や、地域が主体となった防犯活動に支援するなど、安全で安心なまちづくりの推進に取り組んだが、一人の余罪が大量に計上されたことから犯罪発生件数が目標値を上回った。</p> <p>今後も体感治安の改善に向け、関係諸団体と連携し、犯罪の未然防止に配慮した防犯対策を継続していく。</p>		
	団体数	車両台数																												
令和3年度末	20団体	19台																												
指標項目	基準	実績	目標																											
	平成25年度	令和3年度	令和5年度																											
犯罪発生件数（刑法犯認知件数）	517件	478件	400件以内																											

事業名	防災対策費		(2款 総務費 1項 総務管理費 15目 防災対策費)		決算書	68 ページ	担当部課	財務管理部総務課						
決算額【予算額】			令和2年度		令和3年度		令和4年度							
			96,396	【62,790】	32,685	【33,183】		【34,693】						
財 源 内 訳	使用料		2		2									
	国庫補助金		22,842		0									
	諸収入		2,000		0									
	寄附金		35,776		1,400									
	一般財源		35,776		31,283									
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性（担当課意見）							
<p>1 自主防災組織の育成</p> <p>地域防災力を高め災害に強いまちづくりを推進するため、自主防災組織及び未組織の自治会に対し研修会等への参加を依頼し防災意識の高揚を図った。</p> <p>また、地域の防災リーダーとして活動していただく防災士の養成を県と連携して行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災士養成事業 8地域振興会において11人養成 							継続	<p>自主防災組織の育成・強化を図るとともに、防災士の養成を推進することにより地域防災力の向上を推進した。今後も引き続き、地域の防災力向上に資する取組を推進していく。</p>						
<p>2 災害用備蓄品整備</p> <p>(1) 災害用備蓄品補充整備事業</p> <p>防災対策のため、市指定避難所に配備する災害用備蓄品の補充整備を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食料（ビスケット等）、簡易トイレ、敷きマット、毛布 <p>(2) 避難所用A I 体温検知カメラ及び感染症対策物品購入事業（新型コロナ対策3-No.7~8）</p> <p>新型コロナウイルス感染症に対応した避難所開設のための備蓄品、資機材等の整備を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業費 1,280千円 ・ A I 体温検知システム、サーキュレーター、防護服、抗原検査キット等 							継続	<p>通常の災害用備蓄品に加え、新型コロナウイルス感染症に対応した避難所開設のための備蓄品、資機材等の整備を推進することができた。今後も引き続き、災害発生に備えた備蓄品の整備を推進していく。</p>						
<p>3 防災に関する市民啓発</p> <p>地域防災力の向上及び市民の防災意識の高揚を目的に市政出前講座を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>災害に備えて</td> <td>7回</td> <td>222人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催数が減少。また、防災講演会は中止。</p>							区分	回数	参加人数	災害に備えて	7回	222人	継続	<p>市内各地区で市政出前講座を開催し、市民の防災意識の向上を推進した。今後も引き続き、市民の防災意識向上に資する取組を推進していく。</p>
区分	回数	参加人数												
災害に備えて	7回	222人												
<p>4 防災行政無線の運用管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 同報系無線設備 屋外拡声子局113局、戸別受信機250台 ・ 移動系無線設備 携帯型無線機150台、車載型無線機26台 ・ 防災情報システム 災害時にエリアメール、ホームページ、ケーブルテレビ等、複数の情報媒体を活用できる情報伝達システムを運用し、市民の安全安心の確保に努めた。 							継続	<p>災害時における重要な情報伝達手段である防災行政無線（同報系、移動系）の点検整備を行い、災害時における確実な運用の確保を図った。今後も引き続き情報伝達手段の確実な運用の確保を図っていく。</p>						

事業名	賦課事務費		(2款 総務費 2項 徴税費 2目 賦課徴収費)		決算書	69 ページ	担当部課	財務管理部課税課
決算額【予算額】			令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			222,023	【229,874】	88,966	【113,429】		【150,259】
財 源 内 訳	手数料		4,544		4,503			
	国庫補助金		6,736		0			
	諸収入		90		89			
	一般財源		210,653		84,374			
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性（担当課意見）	
<p>1 市税の賦課</p> <p>個人市民税、固定資産税、軽自動車税について、賦課決定し納税通知書を交付した。</p> <p>納税通知書等送達 126,354件（令和2年度 126,193件）</p> <p><内訳> 市県民税 49,203件（令和2年度 49,235件）</p> <p>固定資産税 38,833件（令和2年度 38,910件）</p> <p>軽自動車税 38,318件（令和2年度 38,048件）</p> <p>(1) 所得税・住民税の申告相談会の実施</p> <p>適正申告推進のため、令和4年2月16日から3月15日までの間、相談会を開催した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策として、いみずe-予約システムを用いて予約枠を設け、会場の混雑緩和と申告相談の促進に務めた。</p> <p>(2) 固定資産税賦課のための調査、資料収集</p> <p>翌年度賦課に向けての調査、資料収集、地番・家屋図修正や次回評価替えの準備等を実施した。</p> <p>ア 新增築家屋の調査及び評価（対象：1月2日から翌年1月1日までの間に完成した家屋）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新增築家屋 441棟（令和2年度 470棟） <p>イ 土地の時点修正（令和3年7月1日時点）</p> <p>令和4年度賦課に向けて、不動産鑑定士に鑑定依頼し、価格が下落した箇所の評価を修正した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 下落修正地点 136地点（令和2年度 88地点） <p>ウ 令和6基準年度評価替えに向けての土地評価見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土地評価業務委託事業 <p>3箇年業務の1年目は、用途・状況類似地区区分の検証や、主要街路・標準宅地の選定等を行った。</p> <p>委託先 朝日航洋(株)富山支店</p> <p>委託期間 令和3年6月4日～令和6年3月19日</p> <p>委託料 8,020千円（3箇年総額 31,130千円）</p>							<p>適正課税のため、資料収集・整理、調査等を実施した。</p> <p>軽自動車税賦課業務に関しては、既にRPA（業務プロセスの自動化）を運用し業務の効率化を図っているが、他業務においても最新技術を活用したDXの推進を図り、市民の利便性の向上と業務の効率化に努めていく。</p> <p>継続</p>	

事業名	徴収事務費				(2款 総務費 2項 徴税費 2目 賦課徴収費)				決算書	70 ページ	担当部課	財務管理部収納対策課											
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)															
		14,052	【16,348】	14,412	【15,544】																		
財 源 内 訳	手数料	1,525		1,578																			
	諸収入	33		33																			
	一般財源	12,494		12,801																			
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性 (担当課意見)													
<p>1 コンビニ・スマートフォン・クレジットカード納付事業</p> <p>多様な納付環境を整備し、啓発と納税者の利便性向上を図ったことにより、スマートフォン納付の件数及び取扱金額が増加し、徴収の成果があった。</p> <p>(1) コンビニ納付</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間取扱件数 61,396件 (令和2年度 62,598件) 年間取扱金額 881,917千円 (令和2年度 907,562千円) <p>(2) スマートフォン納付</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間取扱件数 14,196件 (令和2年度 5,469件) 年間取扱金額 253,332千円 (令和2年度 97,882千円) <p>(3) クレジットカード納付</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間取扱件数 2,980件 (令和2年度 3,387件) 年間取扱金額 54,896千円 (令和2年度 55,913千円) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自主納付のコンビニ・クレジットカード納付利用率</td> <td>37.5%</td> <td>56.7%</td> <td>50.0%</td> </tr> </tbody> </table>										指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和3年度	令和5年度	自主納付のコンビニ・クレジットカード納付利用率	37.5%	56.7%	50.0%	<p>継続</p> <p>多様な納付環境を整備し、納税者の利便性向上を図ったことから、電子マネーによるスマートフォン決済の利用者が予想以上に多く、自主納付者に占めるコンビニ納付等の利用率が目標値に達成した。 引き続き、口座振替を推奨しつつ、納税者の利便性向上に努める。</p>		
指標項目	基準	実績	目標																				
	平成25年度	令和3年度	令和5年度																				
自主納付のコンビニ・クレジットカード納付利用率	37.5%	56.7%	50.0%																				
<p>2 コールセンター事業</p> <p>市税等未納者への電話による早期納付勧奨を行ったことにより、徴収につなげた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間コール済件数 1,856件 (令和2年度 1,579件) ※税外分含む 委託先 (株)NTTマーケティングアクト 委託期間 令和3年6月1日～令和3年3月31日 委託料 3,300千円 (令和2年度 3,300千円) 										<p>継続</p> <p>電話による早期納付勧奨は、納付忘れや納付漏れとなっている市民に対して、一定の効果が得られた。 また、普段から滞納しがちな方々にも催告の効果があることから、今後も引き続き実施し、収納率の向上に努める。</p>													
<p>3 口座振替受付サービス (モバイル端末による口座振替登録)</p> <p>市庁舎 (収納対策課) 窓口でキャッシュカードのみで口座振込の登録手続きができることにより、納税者の利便性の向上につなげた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 同サービスによる登録件数 672件 (令和2年度 646件) 										<p>継続</p> <p>モバイル端末による口座振替登録は、市内の主要な金融機関の全てのキャッシュカードに対応しており、今後も、納税者の利便性向上のため、市庁舎での口座振替登録を推進していく。</p>													

事業名	戸籍住民基本台帳費		(2款 総務費 3項 戸籍住民基本台帳費 1目 戸籍住民基本台帳費)		決算書	70 ページ	担当部課	市民生活部市民課																																	
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)																																	
		97,186	【121,225】	86,177	【99,515】		【76,441】	令和2年度に実施した住民基本台帳システム、戸籍システム、コンビニ交付システム改修が多額であったことによる。																																	
財 源 内 訳	使用料	諸収入	14	214	14	192																																			
	手数料	一般財源	31,216	8,830	29,476	12,538																																			
	国庫補助金		56,812		43,862																																				
	国庫委託金		4		8																																				
	県委託金		96		87																																				
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性 (担当課意見)																																		
<p>1 戸籍住民基本台帳事務事業</p> <p>戸籍・住民票・印鑑証明・諸証明の交付、転入・転出等住民異動届、印鑑登録関係届、戸籍関係届の受理及び異動処理等を行い、適正かつ迅速な事務処理に努めた。</p> <p>〈異動処理件数〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>戸籍届出関係</td> <td>3,940件</td> <td>4,004件</td> </tr> <tr> <td>住民異動関係</td> <td>9,508件</td> <td>9,552件</td> </tr> <tr> <td>印鑑登録関係</td> <td>3,702件</td> <td>3,296件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>17,150件</td> <td>16,852件</td> </tr> </tbody> </table> <p>〈マイナンバーカードの交付〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 交付件数 15,195件 (令和2年度 13,709件) <p>〈マイナンバーカードの電子証明書の期限更新〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 更新件数 1,343件 (令和2年度 4,475件) <p>〈証明書の窓口交付〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>戸籍関係</td> <td>23,484件</td> <td>22,330件</td> </tr> <tr> <td>住民票関係</td> <td>33,787件</td> <td>30,195件</td> </tr> <tr> <td>印鑑登録関係</td> <td>19,879件</td> <td>15,901件</td> </tr> <tr> <td>その他証明</td> <td>1,392件</td> <td>1,602件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>78,542件</td> <td>70,028件</td> </tr> </tbody> </table> <p>〈証明書のコンビニ交付サービス〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 交付件数 12,600件 (令和2年度 6,046件) <p>〈とよま広域窓口サービス〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 交付件数 (委託分) 994件 (令和2年度 1,128件) (受託分) 1,122件 (令和2年度 1,340件) 							区分	令和2年度	令和3年度	戸籍届出関係	3,940件	4,004件	住民異動関係	9,508件	9,552件	印鑑登録関係	3,702件	3,296件	合計	17,150件	16,852件	区分	令和2年度	令和3年度	戸籍関係	23,484件	22,330件	住民票関係	33,787件	30,195件	印鑑登録関係	19,879件	15,901件	その他証明	1,392件	1,602件	合計	78,542件	70,028件	<p>継続</p> <p>マイナンバーカード普及拡大に伴い、証明書のコンビニ交付サービス件数が増加するなど、市民サービスの向上につながった。引き続き、マイナンバーカードの普及及び窓口サービスの適正かつ迅速な事務処理に努める。</p>	
区分	令和2年度	令和3年度																																							
戸籍届出関係	3,940件	4,004件																																							
住民異動関係	9,508件	9,552件																																							
印鑑登録関係	3,702件	3,296件																																							
合計	17,150件	16,852件																																							
区分	令和2年度	令和3年度																																							
戸籍関係	23,484件	22,330件																																							
住民票関係	33,787件	30,195件																																							
印鑑登録関係	19,879件	15,901件																																							
その他証明	1,392件	1,602件																																							
合計	78,542件	70,028件																																							
<p>(繰越明許費 4,587千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業名 マイナンバーカード所有者の転出・転入手続ワンストップ化に係るシステム改修 予算執行率 94.9% 完了時期 令和5年1月 																																									

事業名	監査委員費				(2款 総務費 6項 監査委員費 1目 監査委員費)		決算書	73 ページ	担当部課	監査委員事務局											
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)													
		3,021	【3,407】	2,994	【3,415】		【3,466】														
財 源 内 訳	一般財源	3,021		2,994																	
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)													
<p>1 事務費</p> <p>公正で合理的かつ能率的な行財政運営を実現するため、下記の監査を実施し、指導等を行った。</p> <p>(1) 定例監査 本庁、出先機関等51か所、令和3年5月～令和4年2月 (令和2年度 50か所)</p> <p>(2) 例月出納検査 一般会計・特別会計、水道事業会計、下水道事業会計、病院事業会計 毎月1回 計12回 (令和2年度 12回)</p> <p>(3) 財政援助団体等監査 出資団体、指定管理者等 6団体 9施設 (令和2年度 4団体 8施設)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出資団体及び指定管理者の監査実施率</td> <td>25.7%</td> <td>48.7%</td> <td>41.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 決算審査 ・ 一般会計、特別会計 令和3年7月21日～8月11日 ・ 水道事業会計、下水道事業会計、病院事業会計 令和3年6月14日～8月11日</p> <p>(5) 健全化判断比率等審査 (決算審査と同期間)</p> <p>(6) 住民監査請求に基づく監査 0件 (令和2年度 0件)</p>								指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和3年度	令和5年度	出資団体及び指定管理者の監査実施率	25.7%	48.7%	41.3%	<p>継続</p> <p>公正で合理的かつ能率的な行財政運営を実現するため、監査を実施し、指導等ができた。 今後も、監査基準に基づき、年間監査計画を定め、監査業務の計画的執行及び質的向上に努める。</p>		
指標項目	基準	実績	目標																		
	平成25年度	令和3年度	令和5年度																		
出資団体及び指定管理者の監査実施率	25.7%	48.7%	41.3%																		

3 款 民 生 費

事業名	民生児童委員活動費				(3款 民生費 1項 社会福祉費 1目 社会福祉総務費)				決算書	74 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課	
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）					
		17,060	【17,074】	17,081	【17,100】		【17,475】						
財源内訳	県補助金	2,008		2,008									
	県委託金	13,473		13,473									
	一般財源	1,579		1,600									
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）			
1 民生委員・児童委員関係費【県】 民生委員・児童委員及び民生委員児童委員協議会が行う活動を支援し、地域福祉の推進を図った。 ・ 民生委員・児童委員 221人（うち主任児童委員 19人） 任期 令和元年12月1日～令和4年11月30日 ・ 民生委員児童委員協議会 15地区										継続	令和4年度に行われる民生委員の一斉改選に向け定数要望を行うなど準備を進めた。引き続き、民生委員・児童委員及び民生委員児童委員協議会が行う活動を支援する。		

事業名	社会福祉団体等対策事務費（繰越明許）				(3款 民生費 1項 社会福祉費 1目 社会福祉総務費)				決算書	74 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課	
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）					
				40,000	【40,000】								
財源内訳	県補助金			20,000									
	一般財源			20,000									
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）			
1 まちの未来創造モデル事業費補助金（ハード事業）【県1/2】 射水市足洗老人福祉センター跡地及び温泉資源活用事業として実施された地域交流施設の建設費に対する補助を行った。 法人名 (福) 喜寿会 施設名 サープレイ足洗温泉 補助金額 40,000千円										完了	(福) 喜寿会による温泉施設建設工事が完了し建設費に対する補助を行った。施設は令和4年4月9日にプレオープンした。		

事業名	社会福祉団体等対策事務費				(3款 民生費 1項 社会福祉費 1目 社会福祉総務費)		決算書	74 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課																											
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)																													
		67,539	【110,929】	63,376	【67,243】		【67,604】	地域福祉計画・地域福祉活動計画策定事業委託料の減による。																													
財源内訳	県補助金	118		0																																	
	一般財源	67,421		63,376																																	
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)																													
<p>1 社会福祉協議会補助・委託関係費</p> <p>(1) 地域福祉活動推進事業</p> <p>要支援者の見守り等を行う「ケアネット活動」に係る経費を助成し、地域において要支援者が安心して生活できるまちづくりを進めた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>チーム員数</th> <th>利用者数</th> <th>活動延べ回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度</td> <td>390人</td> <td>231人</td> <td>50,868回</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>367人</td> <td>218人</td> <td>53,701回</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) ボランティア活動推進事業</p> <p>社会福祉協議会が設置するボランティアセンターに係る経費を助成し、ボランティア活動の活性化に取り組んだ。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福祉ボランティア団体数</td> <td>93団体</td> <td>108団体</td> <td>105団体</td> </tr> <tr> <td>福祉ボランティア団体所属人数</td> <td>1,789人</td> <td>2,126人</td> <td>2,500人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) いのちのバトン・避難行動支援事業</p> <p>要支援者の見守り及び緊急時、災害時等の情報提供に活用するため、「いのちのバトン」や「避難行動要支援者登録台帳」を整備した。</p> <p>委託先 (福) 射水市社会福祉協議会 委託期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日 委託料 3,319千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いのちのバトン配備数 2,207件 (令和2年度 2,221件) ・ 避難行動要支援者登録者数 1,382人 (令和2年度 1,393人) 								区分	チーム員数	利用者数	活動延べ回数	令和3年度	390人	231人	50,868回	令和2年度	367人	218人	53,701回	指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和3年度	令和5年度	福祉ボランティア団体数	93団体	108団体	105団体	福祉ボランティア団体所属人数	1,789人	2,126人	2,500人	<p>継続</p> <p>市社会福祉協議会と連携しながら各種事業を展開した。引き続き、福祉の増進を図るため、事業を実施していく。</p>		
区分	チーム員数	利用者数	活動延べ回数																																		
令和3年度	390人	231人	50,868回																																		
令和2年度	367人	218人	53,701回																																		
指標項目	基準	実績	目標																																		
	平成25年度	令和3年度	令和5年度																																		
福祉ボランティア団体数	93団体	108団体	105団体																																		
福祉ボランティア団体所属人数	1,789人	2,126人	2,500人																																		
<p>(繰越明許費 1,500 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業名 まちの未来創造モデル事業費補助金 (ソフト事業) ・ 予算執行率 97.7% ・ 完了時期 令和5年3月 																																					

事業名	ひきこもり支援対策費		(3款 民生費 1項 社会福祉費 1目 社会福祉総務費)		決算書	74 ページ	担当部課	福祉保健部社会福祉課	
決算額【予算額】			令和2年度		令和3年度		令和4年度		
			1,602	【1,971】	1,795	【2,087】		【1,858】	
財 源 内 訳	国庫補助金		759		789				
	一般財源		843		1,006				
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性（担当課意見）		
<p>1 ひきこもり支援推進事業【国1/2】</p> <p>ひきこもり支援に携わる人材の養成、相談窓口の設置等のサポート事業を実施した。</p> <p>委託先 (福)射水市社会福祉協議会</p> <p>委託期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日</p> <p>委託料 1,577千円</p>							<p>継続</p> <p>ひきこもり支援対策事業により、当事者や家族の相談支援、地域の理解促進を図った。</p> <p>支援体制の充実や、相談窓口の周知等を継続して実施する。</p>		

事業名	新湊交流会館管理費		(3款 民生費 1項 社会福祉費 2目 社会福祉施設費)		決算書	75 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課	
決算額【予算額】			令和2年度		令和3年度		令和4年度		
			16,402	【16,686】	17,398	【17,928】		【16,437】	
財 源 内 訳	使用料		364		392				
	市債		3,400		3,900				
	一般財源		12,638		13,106				
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性（担当課意見）		
<p>1 新湊交流会館管理費</p> <p>市民活動の活性化及び市民相互の交流促進のため、施設の適切な管理運営に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者数 11,213人 (令和2年度 9,284人) 空調設備更新工事(2階多目的ホール南側系統) <ul style="list-style-type: none"> 業者名 (有)電協舎 工期 令和3年9月2日～12月14日 契約額 4,378千円 							<p>継続</p> <p>前年度に比べ、利用者数が増加した。</p> <p>引き続き、新湊地区における福祉活動の場としての役割を担っていくとともに、地域の活性化及び市民相互の交流促進を図り、市民生活の向上及び住み良い地域社会づくりを推進していく。</p>		

事業名		市民交流プラザ管理費				(3款 民生費 1項 社会福祉費 2目 社会福祉施設費)		決算書	75 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
		57,317	【61,049】	18,127	【19,312】		【19,317】	令和2年度に駐車場の整備が完了したことによる減額			
財 源 内 訳	使用料	13,423		14,986							
	諸収入	696		699							
	市債	37,000		0							
	一般財源	6,198		2,442							
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）			
<p>1 いみず市民交流プラザ運営費</p> <p>地域福祉の拠点としての機能や生涯学習及び市民交流の推進のため、施設の適切な管理運営に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者数 44,606人（令和2年度 36,104人） 								<p>継続</p> <p>前年度に比べ、利用者数が増加した。 引き続き、施設利用者数の増加に努めるとともに、更なる市民生活の向上及び地域の活性化に向け、地域福祉、生涯学習等の分野において市民が交流できる場としての活用を推進する。</p>			

事業名	在宅福祉対策費		(3款 民生費 1項 社会福祉費 3目 老人福祉費)		決算書	75 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課												
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)												
		42,213	【44,483】	47,243	【51,076】		【42,760】	在宅福祉サービス事業の対象者の増加に伴い、各種事業の利用者が増えたことによる。 在宅福祉介護手当支給事業、在宅要介護高齢者福祉金事業等の増額による。												
財 源 内 訳	県補助金	6,626		7,192																
	一般財源	35,587		39,851																
	寄附金	0		200																
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)												
<p>1 外出支援サービス事業</p> <p>(1) 移送サービス事業 公共交通機関等を利用することが著しく困難な高齢者等を対象に、医療機関への移送サービスを実施した。 ・利用者数 延べ1,114人 (令和2年度 延べ1,045人)</p> <p>(2) 高齢者等車いす対応タクシー券交付事業 在宅要介護高齢者等の外出及び社会参加を促進するため、日常的に車いすを利用されている方に、タクシー利用券を交付した。 ・利用者数 310人 (令和2年度 272人)</p>								継続	引き続き、要介護者やひとり暮らし高齢者の在宅における生活を支援するとともに、介護者の負担軽減を図っていく。											
<p>2 高齢福祉推進事業 【県1/2】 ひとり暮らし高齢者等が、地域で安心して生活できるよう、声かけや見守り、安否確認等を行う高齢福祉推進員を委嘱した。 ・高齢福祉推進員 603人 (令和2年度 623人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高齢福祉推進員設置の割合</td> <td>93.7%</td> <td>92.1%</td> <td>98.0%</td> </tr> </tbody> </table>								指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和3年度	令和5年度	高齢福祉推進員設置の割合	93.7%	92.1%	98.0%	継続	引き続き、要介護者やひとり暮らし高齢者が地域で安心して生活できるよう、推進員を配置する。
指標項目	基準	実績	目標																	
	平成25年度	令和3年度	令和5年度																	
高齢福祉推進員設置の割合	93.7%	92.1%	98.0%																	
<p>3 在宅福祉介護手当支給事業 要介護4、5に認定された高齢者を在宅で介護している方に介護手当を支給し、介護者の福祉の増進を図った。 ・支給者数 428人 (令和2年度 389人)</p>								見直し	令和4年10月に支給額を月額2,500円から5,000円に増額する。											
<p>4 在宅要介護高齢者福祉金支給事業【県1/2】 要介護4、5に認定された在宅の高齢者に福祉金を支給し、要介護高齢者の福祉の増進を図った。 ・支給者数 430人 (令和2年度 378人)</p>								廃止	介護者への支援を充実させるため、介護手当を令和4年10月から増額する一方、要介護4又は5の高齢者本人には、多様な生活支援サービスや介護サービスを提供しており、今後各サービスの効果的な提供に努めていくこととし、福祉金については、令和4年10月1日に廃止する。											

主な事業内容・成果		評価と今後の方向性（担当課意見）	
5	緊急通報装置設置事業 おおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者等に緊急通報装置を貸与し、24時間体制での見守り、安否確認等を行った。 ・ 設置者数 125人（令和2年度 125人）	継続	引き続き、ひとり暮らし高齢者等が在宅において安心して生活できるよう見守り体制を継続する。
6	呉西地区成年後見センター運営事業 呉西6市連携事業として、平成31年4月に設置した呉西地区成年後見センターにて成年後見制度に係る業務を行った。 ・ 個別相談 41件（令和2年度 92件） ・ 市民後見人養成講座の開催（受講者：基礎研修4人）（令和2年度 受講者：実務研修1人） ・ フォローアップ研修会の開催（受講者：11人） ・ 市民後見人バンク登録 累計14人	継続	呉西地区成年後見センターにおいて、成年後見制度事業の専門的、専従的な取組を行い、相談から後見まで一貫した支援を行うため、呉西6市の連携を図っていく。

事業名	高齢者福祉施設費（繰越明許）				（ 3款 民生費 1項 社会福祉費 3目 老人福祉費 ）				決算書	76 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）				
				7,177 【7,200】								
財 源 内 訳	一般財源			7,177								
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 旧小杉ふれあいセンター用地測量業務委託等 小杉ふれあいセンター跡地利活用事業に係る用地（7,200㎡）を売却するにあたり、当該土地（17,119㎡）を分筆するため、測量を行った。 委 託 先 北健コンサル(株) 委 託 期 間 令和2年12月16日～令和3年12月16日 委 託 料 6,820千円										完了	(福)小杉福祉会に当該用地を122,400千円で売却した。	

事業名	高齢者福祉施設費		(3款 民生費 1項 社会福祉費 3目 老人福祉費)				決算書	76 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課 福祉保健部介護保険課
決算額【予算額】			令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)	
			196,859	【209,189】	134,983	【224,025】		【67,207】	小杉ふれあいセンター解体工事費及びいきいき長寿館外壁塗装他工事費の増による。	
財 源 内 訳	使用料	一般財源	26	176,408	9	110,265				
	国庫補助金		20,425		19,551					
	寄附金		0		200					
	諸収入		0		158					
	市債		0		4,800					
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性 (担当課意見)	
1 小杉ふれあいセンター運営費 小杉ふれあいセンター跡地利活用事業に係る用地 (7,200㎡) を(福)小杉福祉会に売却するため、小杉ふれあいセンターの解体工事を行った。 業 者 名 (株)小西商事 工 期 令和3年6月7日～11月15日 契 約 額 37,026千円									完了	施設の解体工事を実施し、(福)小杉福祉会に当該用地を122,400千円で売却した。
2 いきいき長寿館運営費 指定管理者制度を導入し、高齢者が気軽に集い、活動できる介護予防の場を提供した。 ・ 年間利用者数 3,963人 (令和2年度 4,248人) ・ いきいき長寿館外壁塗装他工事 業 者 名 彩創 工 期 令和3年9月17日～12月20日 契 約 額 5,357千円									継続	引き続き、高齢者が気軽に集い、活動できる場を提供することにより、介護予防の推進並びに健康及び福祉の増進を図る。
3 老人福祉施設整備事業 特別養護老人ホーム等の整備を行った社会福祉法人に対し、その建設に要した事業費について、市の補助相当分に係る借入金の元金及び利子を債務負担行為に基づき助成した。 ・ 社会福祉法人 4法人、6施設 (令和2年度 5法人、8施設)									継続	令和3年において2施設の助成が完了した。

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
<p>4 介護施設等感染症対策備蓄品購入事業（新型コロナ対策3-No.9）【交付金】</p> <p>市内介護施設等におけるサービス従事者感染対策に係る衛生用品を市が備蓄し、施設において感染症が発生した際に無償で配布した。</p> <p>保健衛生用品一式（防護具セット、ガウン、グローブ、キャップ、N95マスク、抗原検査キット等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業費 2,504千円 	継続	<p>介護施設が事業を継続するために必要な感染対策物品等を確保できた。今後は、在庫管理を行うとともに、支給状況に応じた物品の確保を検討していく。</p>
<p>（繰越明許費 65,502 千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業名 地域密着型介護基盤整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ①認知症対応型共同生活介護整備事業【24,351千円】 ②小規模多機能型居宅介護整備事業【41,151千円】 ・ 予算執行率 67.3% ・ 完了時期 <ul style="list-style-type: none"> ①令和4年7月31日 ②令和4年10月31日 		

事業名	障害者福祉総務費		(3款 民生費 1項 社会福祉費 6目 障害者福祉費)		決算書	77 ページ	担当部課	福祉保健部社会福祉課	
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)	
		6,184	【6,491】	7,899	【8,190】			令和3年度は、富山型デイサービス施設支援事業費補助金の執行額が増額したことによる。	
財源内訳	国庫補助金	1,057		820					
	県補助金	113		2,000					
	寄附金	10		0					
	一般財源	5,004		5,079					
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)	
<p>1 新型コロナウイルス感染症における自宅療養者等支援事業 (新型コロナ対策1-No.1) 【交付金】</p> <p>福祉施設でのサービスを受けることができず自宅待機・療養している利用者やその家族に対して、食品や日用品等の生活必需品の支援を行った。</p> <p>事業費 ・ 支援品購入費用 (182名分) 641千円 ・ 支援品配送費用 180千円</p>								完了	適時、自宅療養者等に支援品を支給することにより、療養期間中の日常生活の維持に繋げることができた。
<p>2 富山型デイサービス施設支援事業【県1/3 市1/3】</p> <p>富山型デイサービス事業所の機能向上のために必要となる改修費用の補助を実施した。</p> <p>住宅活用施設整備事業 (機能向上 (改修) 事業)</p> <p>NPO法人ふらっと</p> <p>屋根付き地域交流活動広場整備工事 2,000千円 (市補助) 【補助対象事業経費額 6,160千円】</p>								継続	県の補助事業を活用した富山型デイサービスの整備及び充実を推進するための事業であり、効果検証しながら継続して実施する。

事業名	福祉金等給付費		(3款 民生費 1項 社会福祉費 6目 障害者福祉費)		決算書	77 ページ	担当部課	福祉保健部社会福祉課	
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)	
		50,967	【52,661】	51,907	【53,343】				
財源内訳	諸収入	0		81					
	一般財源	50,967		51,826					
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)	
<p>1 福祉金等給付事業</p> <p>心身障がい者又は自宅で重度心身障がい者を介護している介護者に対し、福祉金等を給付した。</p> <p>・ 心身障がい者 (児) 福祉金 2,473人 (令和2年度 2,464人)</p> <p>・ 重度心身障がい者等介護手当 93人 (令和2年度 96人)</p>								継続	福祉金等を給付したことにより、福祉の増進を図った。 心身障がい者や在宅介護者を支援するため今後も支給していく。

事業名		障害者福祉対策費				(3款 民生費 1項 社会福祉費 6目 障害者福祉費)			決算書	77 ページ	担当部課	福祉保健部社会福祉課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）				
		5,964	【8,249】	5,677	【7,708】		【6,618】					
財 源 内 訳	県補助金	1,752		1,495								
	県委託金	4		4								
	一般財源	4,208		4,178								
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）		
<p>1 福祉タクシー等実施事業 重度の障がい者にタクシー券又はガソリン券を支給し、障がい者の自立と社会参加促進を図った。 ・ 交付者数 312人（令和2年度 312人）</p>										継続	タクシー券等を支給し、障がい者の自立と社会参加促進を図った。重度障がい者を支援するため、継続して実施する。	
<p>2 住宅改善費助成事業【県1/2】 在宅重度障がい者の居宅改造費の一部を補助することにより、障がい者の在宅生活の質の向上を図った。 ・ 助成者数 4人（令和2年度 5人）</p>										継続	居宅改造費を補助し、障がい者の在宅生活の質の向上を図った。重度障がい者の在宅での日常生活を容易にするため、継続して実施する。	

事業名		重度心身障害者等医療費助成費				(3款 民生費 1項 社会福祉費 6目 障害者福祉費)			決算書	77 ページ	担当部課	福祉保健部社会福祉課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）				
		271,886	【275,203】	285,959	【292,823】		【293,222】					
財 源 内 訳	県補助金	104,371		107,535								
	諸収入	38,194		45,592								
	一般財源	129,321		132,832								
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）		
<p>1 重度心身障害者等医療費助成事業【県1/2】 医療費を助成することにより、重度心身障がい者等の健康維持と経済的負担の軽減を図った。 ・ 重度心身障がい者等医療費助成 21,217件（令和2年度 21,503件）</p>										継続	一部負担金還付制度の現物給付化に向け、富山県及び県内他市町村と協議を行った。	

事業名	地域生活支援費		(3款 民生費 1項 社会福祉費 6目 障害者福祉費)			決算書	77 ページ	担当部課	福祉保健部社会福祉課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)	
		83,308	【88,929】	83,609	【91,408】		【87,583】		
財源内訳	国庫補助金	18,053		17,999					
	県補助金	8,981		8,999					
	諸収入	81		82					
	一般財源	56,193		56,529					
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)	
<p>1 地域活動支援センター委託事業 (市内4か所)</p> <p>障がい者施設に事業を委託し、障がい者の相談援助を行うことで、障がい者の日常生活及び社会生活の自立を図った。</p> <p>委託先 (福)射水福祉会、(特非)ふらっと、(特非)ワークホーム悠々、(特非)むげん</p> <p>委託期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日</p> <p>委託料 30,000千円</p>								継続	障害者総合支援法に基づく必須事業であり、障がい者等の相談支援のほか、社会との交流等地域生活支援の促進を図るため、継続して実施する。
<p>2 移動支援事業【国1/2 県1/4】</p> <p>屋外での移動が困難な障がい者等に対して、外出の支援を行うことにより、障がい者の自立と社会参加の促進を図った。</p> <p>・ 利用回数 105回 (令和2年度 116回)</p>								継続	障害者総合支援法に基づく必須事業であり、外出支援により、障がい者の自立生活及び社会参加の促進を図るため、継続して実施する。
<p>3 日常生活用具給付事業【国1/2 県1/4】</p> <p>障がい者に対し、日常生活を便利で快適にする用具を給付し、日常生活の自立を図った。</p> <p>・ 延べ利用件数 2,218件 (令和2年度 2,205件)</p>								継続	障害者総合支援法に基づく必須事業であり、日常生活用具の給付により、障がい者の日常生活の便宜を図るため、継続して実施する。

事業名	自立支援給付費		(3款 民生費 1項 社会福祉費 6目 障害者福祉費)			決算書	77 ページ	担当部課	福祉保健部社会福祉課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)	
		1,809,909	【1,860,031】	1,903,343	【1,940,938】		【1,968,048】		
財源内訳	国庫負担金	920,508		973,716				自立支援給付においては就労継続支援、障害児通所支援においては放課後等デイサービスの増加による。	
	県負担金	457,564		479,354					
	一般財源	431,837		450,273					
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)	
<p>1 自立支援給付費【国1/2 県1/4】</p> <p>障害者総合支援法に基づき、障がい者福祉サービスの給付に必要な支援を行った。</p> <p>・ 居宅介護等 延べ659人 (令和2年度 延べ662人)</p> <p>・ 上記以外の介護給付費等 延べ9,573人 (令和2年度 延べ9,291人)</p>								継続	障害者総合支援法に基づく制度であり、適正な支給決定のもと必要なサービスの給付を継続して実施する。

事業名		住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付費		(3款 民生費		1項 社会福祉費		9目 住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付費)		決算書		77 ページ		担当部課		福祉保健部社会福祉課					
決算額【予算額】				令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)											
						553,606		【973,400】				【403,356】									
財 源 内 訳	国庫補助金					553,331															
	一般財源					275															
主な事業内容・成果														評価と今後の方向性 (担当課意見)							
<p>1 住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業 (新型コロナ対策1-No.2) 【国10/10】</p> <p>国の経済対策に基づき、住民税非課税世帯等へ1世帯当たり10万円の臨時特別給付金を支給した。 (対象の可能性のある世帯へ支給要件確認書を送付。)</p> <p>(1) 住民税非課税世帯の申請状況 (令和4年5月末現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 確認書の送付世帯数 6,720世帯 ・ 確認書の申請世帯数 6,245世帯 (申請率92.9% : 支給6,157、不支給88) <p>(2) 家計急変世帯の申請状況 (令和4年5月末現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 申請世帯数 34世帯 (支給23、不支給11) 														<p>継続</p> <p>支給対象と見込まれる世帯へ適切に確認書を送付した。また、未申請世帯へ勧奨文を送付するなど丁寧な周知に努めた。</p>							
<p>(繰越明許費 403,356 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業名 住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付費 (新型コロナ対策1-No.2) 【国10/10】 ・ 予算執行率 57.9% ・ 完了時期 令和4年12月31日 																					

事業名	子ども・子育て支援推進費				(3款 民生費 2項 児童福祉費 1目 児童福祉総務費)		決算書	78 ページ	担当部課	福祉保健部子育て支援課	
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)			
		64,091	【76,634】	22,698	【35,224】		【29,230】	令和2年度は新生児育児支援給付金支給事業【市単、臨時交付金】を実施したが、令和3年度の実施はなかったため。			
財 源 内 訳	負担金	30		56							
	国庫補助金	53,735		12,790							
	県補助金	8,405		7,074							
	諸収入	8		330							
	一般財源	1,913		2,448							
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)			
1 子育て情報の提供 子どもを生み育てやすい環境を作るため、子育て世帯に対し、子育て情報の提供を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 子育てガイドの発行 (6,000部) ・ 子育てメールマガジンの配信 (月1回) ・ ケーブルテレビを活用した「ちゃいる.comテレビ」の放映 ・ 子育て情報誌の発行 (令和3年10月 2,500部、令和4年3月 2,500部) ・ 子育て支援アプリ「ちゃいる.com」の普及 (現在アプリインストール数 837件) 								継 続	子育て世帯に向けた射水市の子育て情報を幅広く提供できた。 今後も、子育て世帯等の意見を踏まえ、より身近で分かりやすい情報提供を行う。		
2 子育て支援隊事業 地域ぐるみの子育て支援活動を後押しするため、子育て支援ボランティア「子育て支援隊」の登録者に子どもに関わる施設への橋渡しを行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 登録者数 23団体、9個人 (令和2年度 23団体、10個人) 									継 続	地域全体で子育てを支援するため、引き続き子育て支援隊への加入促進及び子どもに関わる施設への情報提供を行う。	
3 出生祝いクーポン券交付事業 (新型コロナ対策1-No.3) 【交付金】 令和3年度出生児のいる世帯を対象に、射水市内の提携店舗で使える電子クーポン (2万円分) を交付した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業費 12,428千円 ・ 令和3年度出生児数 625人、利用金額 9,693千円 										継 続	引き続き新生児のいる世帯を対象に、市内の育児用品を扱う店舗で利用できる電子クーポンを交付することで、経済的負担の軽減に寄与していく。

事業名		子ども条例推進費				(3款 民生費 2項 児童福祉費 1目 児童福祉総務費)				決算書	78 ページ	担当部課	福祉保健部子育て支援課														
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																			
		7,846	【8,022】	7,875	【7,934】		【8,151】																				
財源内訳	一般財源	7,846		7,875																							
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）																
<p>1 子どもの悩み総合相談室運営事業</p> <p>子どもに関する悩みの相談窓口を開設し、4名の相談員が相談者に対する助言・指導のほか、必要があれば専門機関を紹介するなど、問題解決に向けて取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相談件数 延べ427件（令和2年度 延べ386件） ・ チラシの発行（年2回） 											継続			<p>電話、メール、来所等を通して、18歳未満の子どもに関する相談に対応した。また、相談室のチラシを学校等に配布することで、周知を図った。</p> <p>今後も相談者が相談しやすい対応と環境整備に努める。</p>													
<p>2 射水市子どもの権利支援センター運営事業</p> <p>悩みを抱える子どもたちが安心して過ごすことのできる居場所を提供し、傷ついた心の回復を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 延べ利用人数 756人（令和2年度 1,104人） 委託先（特非）子どもの権利支援センターぱれっと 委託期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日 委託料 3,581千円 											継続			<p>18歳未満の子どもが安心して過ごせる居場所の提供や、子どもに関する保護者の悩み相談に対応した。</p> <p>今後も関係機関と連携し利用しやすい環境整備に努める。</p>													
<p>3 子ども条例普及啓発事業</p> <p>射水市子どもに関する施策推進計画に示す施策の充実を図るため、市内の小学5年生及び中学2年生を対象にアンケート調査を実施した。</p> <p>（調査結果は市のホームページで公開）</p> <table border="1" data-bbox="145 1037 1249 1177"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子どもが、家族や周りの大人から「自分は大切にされている」と回答する割合</td> <td>96.0%</td> <td>97.3%</td> <td>98.0%</td> </tr> </tbody> </table>											指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和3年度	令和5年度	子どもが、家族や周りの大人から「自分は大切にされている」と回答する割合	96.0%	97.3%	98.0%	継続			<p>射水市子ども条例の普及啓発を図り、子どもの権利に関する意識を醸成し、子どもの幸せと健やかな成長を図る社会の実現を目指す。</p>		
指標項目	基準	実績	目標																								
	平成25年度	令和3年度	令和5年度																								
子どもが、家族や周りの大人から「自分は大切にされている」と回答する割合	96.0%	97.3%	98.0%																								

事業名	幼児ことばの教室運営費		(3款 民生費 2項 児童福祉費 1目 児童福祉総務費)			決算書	78 ページ	担当部課	福祉保健部保健センター												
決算額【予算額】		令和2年度	令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)														
		204	【2, 295】	2, 271	【2, 375】		令和3年度は、会計年度任用職員1名を雇用したことによる。														
財源内訳	一般財源	204		2, 271																	
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性 (担当課意見)														
<p>1 幼児ことばの教室</p> <p>就学前の幼児への遊びを通じて言語・社会性を促す指導の実施と保護者支援を実施した。また、言語聴覚士による言語訓練の回数も増えてきている。構音訓練が増えてきており、幼児期からの訓練により安心して就学できるなど、支援につながっている。</p> <p>〈通級・相談状況〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通級指導(延べ)</td> <td>796人</td> <td>948人</td> </tr> <tr> <td>電話相談(延べ)</td> <td>80人</td> <td>73人</td> </tr> <tr> <td>来所相談(延べ)</td> <td>145人</td> <td>147人</td> </tr> </tbody> </table>							区分	令和2年度	令和3年度	通級指導(延べ)	796人	948人	電話相談(延べ)	80人	73人	来所相談(延べ)	145人	147人	<p>令和3年度は言語聴覚士の助言のもと事例検討会などを設定し、個別通級指導担当者の専門性や資質向上に努めた。また、社会性に困難さを感じるといった相談内容の増加に伴い、コミュニケーション能力向上を目的として、グループ指導と、保護者支援勉強会を昨年度より多く計画し、コロナウイルス感染対策をしながら実施した。感染状況により中止した回もあったが、保護者支援の場につながった。</p> <p>令和4年度も、引き続き専門性を高めながら、通級児の受け入れ人数を増やし、保護者の気持ちに寄り添いながら支援方法を共に考え助言していけるよう努める。</p>		
区分	令和2年度	令和3年度																			
通級指導(延べ)	796人	948人																			
電話相談(延べ)	80人	73人																			
来所相談(延べ)	145人	147人																			

事業名		放課後児童健全育成事業費				(3款 民生費 2項 児童福祉費 1目 児童福祉総務費)		決算書	78 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課												
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)															
		140,808	【147,540】	128,997	【132,516】		【134,962】	新型コロナウイルス感染症対策の対象事業の減による。															
財源内訳	国庫補助金	49,649		44,916																			
	県補助金	50,523		44,088																			
	一般財源	40,636		39,993																			
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性 (担当課意見)													
<p>1 放課後児童クラブの運営事業 【国1/3 県1/3】 【県1/2】 【国10/10】 労働等により昼間に保護者が不在となる家庭の児童に遊びや生活の場を提供し、児童の健全な育成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学級数 22学級 (令和2年度 22学級) ・ 登録児童数 819人 (令和2年度 841人) <p>委 託 先 こぼと学級保護者会 外14団体 委 託 期 間 令和3年4月1日～令和4年3月31日 委 託 料 117,211千円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>放課後児童クラブ設置小学校区数</td> <td>12校区</td> <td>13校区</td> <td>15校区</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1) 放課後児童クラブ感染症対策保健衛生用品購入支援事業 (新型コロナ対策3-No.10) 【国1/3 県1/3 交付金※】 感染拡大防止のため、マスク、消毒液、非接触体温計等保健衛生用品・備品を整備するための経費を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業費 8,686千円 										指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和3年度	令和5年度	放課後児童クラブ設置小学校区数	12校区	13校区	15校区	継続	<p>13校区の児童に遊びや生活の場を提供し、保護者の育児と仕事の両立を支援し、児童の健全育成を図った。</p> <p>残り2校区については、児童館及び児童室で学童的対応を実施し、放課後の児童の健全育成を図っている。</p>	
指標項目	基準	実績	目標																				
	平成25年度	令和3年度	令和5年度																				
放課後児童クラブ設置小学校区数	12校区	13校区	15校区																				
<p>2 とやまっ子さんさん広場推進事業【県1/2】 地域の子ども達が交流できる居場所作りとしてコミュニティセンター等の施設を活用の上、広場を開設し、放課後の居場所を確保した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施箇所数 新湊地域振興会外7か所 <p>(1) とやまっ子さんさん広場運営補助金 (感染拡大防止事業) (新型コロナ対策3-No.11) 【県1/2 交付金※】 感染拡大防止のため、マスク、消毒液、非接触体温計等保健衛生用品・備品を整備するための経費を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業費 1,120千円 										継続	<p>8か所で地域の子ども達が交流できる放課後の居場所作りを推進した。地域と連携し、ニーズに合わせながら、放課後の居場所を確保していく。</p>												

事業名	子育て支援センター運営費				(3款 民生費 2項 児童福祉費 1目 児童福祉総務費)		決算書	79 ページ	担当部課	福祉保健部子育て支援課											
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)													
		50,234	【86,108】	50,306	【84,007】		【85,129】														
財 源 内 訳	国庫補助金	27,385		30,571																	
	県補助金	25,506		25,680																	
	一般財源	13,435		10,394																	
	(うち給与重複額)		▲ 16,092		▲ 16,339																
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)													
<p>1 子育て支援センター等の運営事業【国1/3 県1/3】</p> <p>地域子育て支援の拠点施設として子育て支援センター等を9か所運営し、子育てに関する不安や悩みの相談、子育てサークルの育成支援、地域の子育て情報の提供等を図った。(一般型8か所、連携型1か所)</p> <p>委 託 先 (福)射水万葉会、(福)浦山学園福祉会、(学)鷹寺学園、(福)鷹寺福祉会、(特非)新湊くらし応援団、(特非)ふらっと</p> <p>委 託 期 間 令和3年4月1日～令和4年3月31日</p> <p>委 託 料 55,206千円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子育て支援センターの年間利用者数</td> <td>5.1万人</td> <td>2.2万人</td> <td>5.5万人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が減少した。</p>								指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和3年度	令和5年度	子育て支援センターの年間利用者数	5.1万人	2.2万人	5.5万人	継 続	引き続き、国・県・民間施設と連携し、地域子育て支援の拠点施設として事業を継続する。	
指標項目	基準	実績	目標																		
	平成25年度	令和3年度	令和5年度																		
子育て支援センターの年間利用者数	5.1万人	2.2万人	5.5万人																		
<p>2 新型コロナウイルス感染症対策事業(新型コロナ対策3-No.12)【国1/3 県1/3 交付金※】</p> <p>子育て支援センター等に飛散防止パーテーション等の保健衛生用品を整備し、新型コロナウイルス感染症の感染防止及び拡大防止に努めた。</p> <p>・事業費 2,164千円</p>								継 続	引き続き、安全な地域子育て拠点を提供できるよう、施設の衛生環境の整備に努める。												

事業名		ファミリーサポートセンター運営費 (3款 民生費 2項 児童福祉費 1目 児童福祉総務費)				決算書	79 ページ	担当部課	福祉保健部子育て支援課																					
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)																						
		2,808	【2,896】	3,633	【3,983】		【4,211】																							
財 源 内 訳	国庫補助金	933		1,247																										
	県補助金	937		1,204																										
	一般財源	938		1,182																										
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)																						
<p>1 ファミリーサポート事業【国1/3 県1/3】 ファミリーサポート制度を市民等に広く周知し、子育てのサポートを行いたい方 (協力会員) やサポートを受けたい方 (依頼会員) 等の会員登録を促進し、子育てと仕事の両立、相互援助活動を支援した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>協力会員</th> <th>依頼会員</th> <th>両方会員</th> <th>利用件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>158人</td> <td>458人</td> <td>16人</td> <td>980件</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>203人</td> <td>476人</td> <td>19人</td> <td>576件</td> </tr> <tr> <td>対前年度比較</td> <td>45人</td> <td>18人</td> <td>3人</td> <td>△404件</td> </tr> </tbody> </table> <p>委託先 (福) 射水市社会福祉協議会 委託期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日 委託料 3,443千円</p>								区分	協力会員	依頼会員	両方会員	利用件数	令和2年度	158人	458人	16人	980件	令和3年度	203人	476人	19人	576件	対前年度比較	45人	18人	3人	△404件	継続	引き続き、制度の周知を図るとともに、国・県・委託事業者と連携し、事業を継続する。	
区分	協力会員	依頼会員	両方会員	利用件数																										
令和2年度	158人	458人	16人	980件																										
令和3年度	203人	476人	19人	576件																										
対前年度比較	45人	18人	3人	△404件																										
<p>2 新型コロナウイルス感染症対策事業 (新型コロナ対策3-No.13)【国1/3 県1/3】 ファミリーサポートセンターに手指消毒液等の保健衛生用品を整備し、新型コロナウイルス感染症の感染防止及び拡大防止に努めた。</p> <p>・事業費 171千円</p>								継続	引き続き、安全な地域子育て拠点を提供できるよう、施設の衛生環境の整備に努める。																					

事業名	家庭児童福祉費				(3款 民生費 2項 児童福祉費 1目 児童福祉総務費)		決算書	79 ページ	担当部課	福祉保健部子育て支援課												
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)														
		5,529	【5,737】	6,056	【6,267】		【6,175】															
財 源 内 訳	国庫補助金	15		15																		
	県補助金	0		15																		
	一般財源	5,514		6,026																		
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)														
<p>1 家庭児童相談事業 家庭児童相談員2人体制で、家庭及び児童に関する相談並びに児童虐待防止対策に努めた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">令和2年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> </tr> <tr> <th>相談件数(延べ)</th> <th>相談者実人数</th> <th>相談件数(延べ)</th> <th>相談者実人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>362件</td> <td>124人</td> <td>251件</td> <td>78人</td> </tr> </tbody> </table>								令和2年度		令和3年度		相談件数(延べ)	相談者実人数	相談件数(延べ)	相談者実人数	362件	124人	251件	78人	継 続	<p>家庭児童相談員2人で児童虐待防止対策に努めた。 今後も現行体制を維持するとともに、相談業務を統括する専門職の配置について検討する(子ども家庭総合支援拠点の整備について検討する)。</p>	
令和2年度		令和3年度																				
相談件数(延べ)	相談者実人数	相談件数(延べ)	相談者実人数																			
362件	124人	251件	78人																			
<p>2 要保護児童対策協議会の開催【国1/3 県1/3】 要保護児童の早期発見及び適切な保護又は要支援児童若しくは特定妊婦への適切な支援を図るため、当該協議会を設置し、関係機関と連携を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>会議種別</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代表者会議</td> <td>0回</td> <td>書面決議1回</td> </tr> <tr> <td>実務者会議</td> <td>2回</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>個別ケース検討会議</td> <td>9回</td> <td>11回</td> </tr> </tbody> </table>								会議種別	令和2年度	令和3年度	代表者会議	0回	書面決議1回	実務者会議	2回	2回	個別ケース検討会議	9回	11回	継 続	<p>要保護児童等に関する関係機関の情報共有を図ることができた。 今後も、当該協議会の調整機関として、関係機関との連携を更に強化していく必要がある。</p>	
会議種別	令和2年度	令和3年度																				
代表者会議	0回	書面決議1回																				
実務者会議	2回	2回																				
個別ケース検討会議	9回	11回																				

事業名	ひとり親家庭等福祉費				(3款 民生費 2項 児童福祉費 3目 母子福祉費)		決算書	79 ページ	担当部課	福祉保健部子育て支援課																													
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)																															
		121,969	【145,313】	83,806	【151,766】		【19,608】	新型コロナウイルス感染症の影響を受けているひとり親世帯に対して、各種支援事業を行ったことによる。																															
財源内訳	国庫補助金	93,132		73,444																																			
	県補助金	21,488		1,519																																			
	諸収入	240		190																																			
	一般財源	7,109		8,653																																			
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)																															
<p>1 母子・父子自立支援事業 母子・父子自立支援員2人を配置し、ひとり親家庭等の生活の安定及び向上並びに自立を支援した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">相談種別</th> <th colspan="2">令和2年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> </tr> <tr> <th>相談件数(延べ)</th> <th>相談者実人数</th> <th>相談件数(延べ)</th> <th>相談者実人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>母子家庭</td> <td>1,277件</td> <td>343人</td> <td>1,247件</td> <td>157人</td> </tr> <tr> <td>父子家庭</td> <td>32件</td> <td>20人</td> <td>30件</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>688件</td> <td>173人</td> <td>159件</td> <td>34人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>※ 1,997件</td> <td>536人</td> <td>※ 1,436件</td> <td>204人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1,436件のうち、DV相談 19件 (相談者実人数 5人)</p>											相談種別	令和2年度		令和3年度		相談件数(延べ)	相談者実人数	相談件数(延べ)	相談者実人数	母子家庭	1,277件	343人	1,247件	157人	父子家庭	32件	20人	30件	13人	その他	688件	173人	159件	34人	計	※ 1,997件	536人	※ 1,436件	204人
相談種別	令和2年度		令和3年度																																				
	相談件数(延べ)	相談者実人数	相談件数(延べ)	相談者実人数																																			
母子家庭	1,277件	343人	1,247件	157人																																			
父子家庭	32件	20人	30件	13人																																			
その他	688件	173人	159件	34人																																			
計	※ 1,997件	536人	※ 1,436件	204人																																			
<p>2 母子家庭等自立支援給付事業【国3/4】 ひとり親家庭の母又は父が就業につながる資格を取得するための支援を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">令和2年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>金額</th> <th>人数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高等職業訓練促進給付金</td> <td>5人</td> <td>5,880千円</td> <td>6人</td> <td>7,906千円</td> </tr> <tr> <td>高等職業訓練修了支援給付金</td> <td>1人</td> <td>50千円</td> <td>0人</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>自立支援教育訓練給付金</td> <td>2人</td> <td>101千円</td> <td>1人</td> <td>109千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>8人</td> <td>6,031千円</td> <td>7人</td> <td>8,015千円</td> </tr> </tbody> </table>											区分	令和2年度		令和3年度		人数	金額	人数	金額	高等職業訓練促進給付金	5人	5,880千円	6人	7,906千円	高等職業訓練修了支援給付金	1人	50千円	0人	0千円	自立支援教育訓練給付金	2人	101千円	1人	109千円	計	8人	6,031千円	7人	8,015千円
区分	令和2年度		令和3年度																																				
	人数	金額	人数	金額																																			
高等職業訓練促進給付金	5人	5,880千円	6人	7,906千円																																			
高等職業訓練修了支援給付金	1人	50千円	0人	0千円																																			
自立支援教育訓練給付金	2人	101千円	1人	109千円																																			
計	8人	6,031千円	7人	8,015千円																																			
<p>3 ひとり親家庭等学習支援ボランティア事業【県3/4】 子どもたちが生まれ育った環境に左右されず、世代を超えて貧困が連鎖してしまうことのないよう、ひとり親家庭等の子どもに対して、学習の支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度登録者数 23人 (うち小学生 10人、中学生 13人) 委託先 射水市母子寡婦福祉連合会、ガチヨック 委託期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日 委託料 2,013千円 																																							

主な事業内容・成果		評価と今後の方向性（担当課意見）	
<p>4 低所得の子育て世帯生活支援特別給付金給付事業（ひとり親世帯分）（新型コロナ対策1-No.4）【国10/10】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を受ける子育て世帯を支援する国の取組として、</p> <p>①児童扶養手当受給者</p> <p>②公的年金の受給により児童扶養手当の支給を受けていない者（児童扶養手当に係る所得制限限度額を下回る者）</p> <p>③新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変するなど、収入が児童扶養手当を受給している方と同じ水準となっている者</p> <p>上記、①、②、③に該当する者に対して、児童一人当たり5万円の給付金を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業費 39,461千円 ・ 支給実績 受給者513人（①453人 ②22人 ③38人）、児童776人（①687人 ②60人） 給付金 38,800千円 	完了	<p>国の実施要綱に基づき、対象者へ滞りなく当該給付金を支給し、新型コロナウイルス感染症の影響による経済的負担等の緩和を図ることができた。</p>	
<p>5 低所得の子育て世帯生活支援特別給付金給付事業（ひとり親以外世帯分）（新型コロナ対策1-No.5）【国10/10】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を受ける子育て世帯を支援する国の取組として、18歳未満（障がい児の場合、20歳未満）の児童等を持つ令和3年度住民税（均等割）が非課税、又は令和3年1月1日以降の収入が急変し、住民税非課税相当の収入となった父母等に対して、児童一人当たり5万円の給付金を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業費 27,947千円 ・ 支給実績 受給者265人、児童514人、給付金25,700千円 	完了	<p>国の実施要綱に基づき、対象者へ滞りなく当該給付金を支給し、新型コロナウイルス感染症の影響による経済的負担等の緩和を図ることができた。</p>	

事業名	ひとり親家庭等医療費助成費				（ 3款 民生費 2項 児童福祉費 3目 母子福祉費 ）		決算書	79 ページ	担当部課	福祉保健部子育て支援課													
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）															
		40,954	【50,152】	44,330	【48,050】		【46,190】																
財源内訳	県補助金	19,937		21,417																			
	諸収入	1,079		1,494																			
	一般財源	19,938		21,419																			
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）															
<p>1 ひとり親家庭等医療費助成事業【県1/2】</p> <p>ひとり親家庭等の入院及び通院に係る医療費（保険診療の自己負担分）を助成することにより、経済的な負担を軽減し、ひとり親家庭等の保健の向上及び福祉の増進を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">令和2年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> </tr> <tr> <th>助成件数</th> <th>助成金額</th> <th>助成件数</th> <th>助成金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>14,509件</td> <td>40,084千円</td> <td>15,632件</td> <td>43,402千円</td> </tr> </tbody> </table>								令和2年度		令和3年度		助成件数	助成金額	助成件数	助成金額	14,509件	40,084千円	15,632件	43,402千円	継続	<p>ひとり親家庭等の医療費を助成することにより、保健の向上と福祉の増進を図ることができた。</p> <p>今後もひとり親家庭等の経済的負担の軽減に資するため、引き続き助成を行う。</p>		
令和2年度		令和3年度																					
助成件数	助成金額	助成件数	助成金額																				
14,509件	40,084千円	15,632件	43,402千円																				

事業名		子ども及び妊産婦医療助成費				(3款 民生費 2項 児童福祉費 3目 母子福祉費)		決算書	79 ページ	担当部課	福祉保健部子育て支援課			
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)						
		310,915	【335,688】	356,281	【371,346】		【373,593】	コロナ禍による受診控えが目立った令和2年度に比べ、令和3年度は助成件数が増えたことによる。						
財 源 内 訳	国庫負担金	一般財源	1,305	213,808	1,204	252,401								
	県負担金		1,094		968									
	県補助金		33,963		43,498									
	基金繰入金		52,000		56,000									
	諸収入		8,745		2,210									
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性 (担当課意見)				
1 子ども医療費助成事業【県1/2】 乳幼児から中学3年生までの子どもの入院及び通院に係る医療費（保険診療の自己負担分）を助成することにより、子どもの健康管理と適正な医療の確保を図り、子どもの保健の向上と福祉の増進に資するとともに、子育て世帯の経済的負担の軽減を図った。 ・ 助成実績 160,843件、333,950千円 (令和2年度 142,533件、290,970千円)										継 続	子どもの保健の向上と福祉の増進に資するとともに、子育て世帯の経済的負担の軽減につながった。 引き続き事業を実施するとともに、県助成対象年齢の拡充について県へ要望する。			
2 妊産婦医療費助成事業【県1/2】 医師の診断により必要と認められた妊産婦の医療費の一部を助成し、その疾病の早期発見と適正な医療を確保することにより、母子の健康の保持及び増進を図った。 ・ 助成実績 600件、8,549千円 (令和2年度 470件、6,636千円)											継 続	母子の健康の保持及び増進に資する事業であり、引き続き事業を推進する。		
3 未熟児養育医療費助成【国1/2 県1/4】 未熟児を対象として指定する医療機関において、入院治療を受ける場合の医療費を助成することにより、適正な医療の確保と福祉の増進、また、乳児の健康管理と保健の向上を図った。 ・ 助成実績 41件、3,870千円 (令和2年度 52件、3,949千円)												継 続	乳児の健康管理と保健の向上に資する事業であり、引き続き事業を推進する。	

事業名	保育園等管理運営費		(3款 民生費 2項 児童福祉費 4目 保育園費)				決算書	80 ページ	担当部課	福祉保健部子育て支援課
決算額【予算額】			令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)	
			532,714	【581,320】	610,900	【650,572】		【702,361】	<p>大門きらら保育園及び片口保育園の給食調理業務を委託開始したことによる。 また、令和4年2月から保育士等の処遇改善のため、手当等を増額したことによる。</p>	
財 源 内 訳	負担金	一般財源	15,758	439,108	15,678	510,239				
	使用料		0		18					
	国庫補助金		11,591		18,974					
	県補助金		18,515		14,589					
	諸収入		47,742		51,402					
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性 (担当課意見)	
<p>1 市立保育園及び認定こども園管理運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設数 12園 (令和2年度 12園) ・ 定員 1,303人 (令和2年度 1,363人) ・ 園児数 延べ12,870人 (令和2年度 延べ13,418人) 									継続	<p>子ども・子育て支援事業計画に基づき地域のニーズに合わせた定員を確保するとともに、保育の質の向上・効率化に努めた。今後も本計画に基づき適切な保育環境の提供に努める。</p>
<p>2 新型コロナウイルス感染症対策事業 (新型コロナ対策3-No.14) 【国1/2 (1/3) 県1/3 交付金※】</p> <p>保育園・認定こども園に飛散防止パーテーション等の保健衛生用品を整備し、新型コロナウイルス感染症の感染防止及び拡大防止に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業費 3,639千円 									継続	<p>引き続き、安全な保育環境を提供できるよう、施設の衛生環境の整備に努める。</p>
<p>3 公立保育園等ICT化推進事業 (新型コロナ対策3-No.15) 【国1/2 交付金※】</p> <p>保育園5園に保育業務支援システムを導入し、園児の登降園管理や保護者連絡の効率化を図るなど、保育業務負担の軽減を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業費 4,809千円 									継続	<p>引き続き、保育の質の向上及び保育士の業務負担軽減に資するよう努める。</p>

事業名		保育園等運営委託等事業費				(3款 民生費 2項 児童福祉費 4目 保育園費)		決算書	80 ページ	担当部課	福祉保健部子育て支援課				
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)							
		2, 242, 811	【2, 343, 988】	2, 277, 193	【2, 376, 579】		【2, 479, 110】	3歳未満児の入園数が増加したことに伴う施設型給付費の増額による。 また、令和4年2月から保育士等の処遇改善臨時特例事業に伴う補助を行ったことによる。							
財 源 内 訳	負担金	諸収入	102, 412	5, 698	98, 173	5, 698									
	国庫負担金	一般財源	919, 828	673, 495	944, 464	679, 604									
	国庫補助金		43, 192		62, 648										
	県負担金		431, 269		436, 722										
	県補助金		66, 917		49, 884										
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性 (担当課意見)					
1 保育事業委託【国】【県】 (1) 市内民間保育園 ・ 施設数 9園 (令和2年度 10園) ・ 定員 1,370人 (令和2年度 1,500人) ・ 園児数 延べ14,802人 (令和2年度 延べ16,155人) (2) 市外への広域入所 (私立) ・ 施設数 8園 (令和2年度 12園) ・ 園児数 延べ119人 (令和2年度 延べ147人)										継 続	子ども・子育て支援事業計画に基づき地域のニーズに合わせた定員を民間施設と連携しながら確保することができた。今後も本計画に基づき適切な保育環境の提供に努める。				
2 施設型給付、地域型保育給付【国】【県】 (1) 認定こども園、幼稚園 ・ 1号 市内 7園 (延べ2,239人) (令和2年度 市内 6園 (延べ2,015人)) 市外 15園 (延べ703人) (令和2年度 市外 12園 (延べ768人)) ・ 2,3号 市内 7園 (延べ7,324人) (令和2年度 市内 6園 (延べ6,189人)) 市外 19園 (延べ441人) (令和2年度 市外 20園 (延べ577人)) (2) 市外への広域入所 (公立) ・ 施設数 10園 (令和2年度 14園) ・ 園児数 延べ125人 (令和2年度 延べ143人) (3) 事業所内保育施設 市内 2施設 (延べ373人) (令和2年度 2施設 (延べ208人)) 市外 3施設 (延べ90人) (令和2年度 2施設 (延べ53人))											継 続	子ども・子育て支援事業計画に基づき地域のニーズに合わせた定員を民間施設と連携しながら確保することができた。今後も本計画に基づき適切な保育環境の提供に努める。			

主な事業内容・成果						評価と今後の方向性（担当課意見）	
3 市内民間保育園等14園の特別保育事業助成等【国1/3 県1/3】							
	延長保育	休日保育	一時預かり （保育）	障害児保育	病児・病後児保育		
					病児対応型	体調不良児対応型	
令和3年度	14園	8園	6園	8園	1園	13園	継続 子ども・子育て支援事業計画に基づき地域のニーズに合わせた提供体制を国・県・民間施設と連携して整備することができた。今後も継続して整備を行い、より一層の子育て支援の充実を図る。
令和2年度	14園	8園	6園	8園	1園	12園	
指標項目		基準	実績	目標			
		平成25年度	令和3年度	令和5年度			
休日保育実施保育園数		7園	8園	10園			
4 新型コロナウイルス感染症対策事業（新型コロナ対策3-No.16）【国1/2（1/3） 県1/3 交付金※】							
保育園・認定こども園に飛散防止パーテーション等の保健衛生用品を整備し、新型コロナウイルス感染症の感染防止及び拡大防止に努めた。							
・事業費 15,317千円							
5 民間保育園等ICT化推進事業補助金（新型コロナ対策3-No.17）【国3/4 交付金※】							
保育園・認定こども園に業務負担軽減を図るためのシステム導入経費等の補助金を交付した。							
・事業費 6,210千円							
						継続	引き続き、安全な保育環境を提供できるよう、施設の衛生環境の整備に努める。
						継続	引き続き、保育の質の向上及び保育士の業務負担軽減に資するよう努める。

事業名	保育園等整備事業費				(3款 民生費 2項 児童福祉費 4目 保育園費)				決算書	80 ページ	担当部課	福祉保健部子育て支援課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)				
		53,668	【57,434】	71,411	【95,972】		【213,986】	大島つばさ保育園屋根防水等工事及びあいあい保育園移転改築工事の費用に対する補助の増、並びに民間保育園等の自動給水栓化工事費用に対する補助の増による。				
財源内訳	国庫補助金	22		24,575								
	県補助金	0		790								
	市債	43,600		700								
	一般財源	10,046		45,346								
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性 (担当課意見)	
1 民間保育園整備事業 (施設整備補助) 【国1/2】 ・ (福)射水万葉会 大島つばさ保育園屋根防水等改修工事 11,871千円 ・ (福)小杉福祉会 あいあい保育園移転改築工事(令和3年度分) 13,099千円											継続	保育園を継続して提供するための施設整備を実施することができた。今後も国・県と連携し適正に施設整備を実施する。
2 公立保育園整備事業 ・ 旧新湊保育園解体工事 18,150千円											完了	公立保育園に関する施設整備を実施することができた。今後も適正な施設整備を実施する。
3 民間保育園等自動給水栓化工事補助金 (新型コロナ対策3-No.18) 【交付金※】 民間保育園等における自動給水栓化工事費用に対して、補助金を交付した。 ・ 15施設 24,501千円											完了	引き続き、安全な保育環境を提供できるよう、施設の衛生環境の整備に努める。

事業名	児童館管理運営費				(3款 民生費 2項 児童福祉費 5目 児童館費)				決算書	81 ページ	担当部課	福祉保健部子育て支援課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)				
		33,660	【39,038】	39,860	【43,901】		【42,193】	新型コロナウイルス感染症の感染防止及び拡大防止のため、消耗品購入や備品設置の支援を実施した。				
財源内訳	使用料	3		3								
	国庫補助金	608		1,982								
	県補助金	598		0								
	諸収入	587		150								
		31,864		37,725				主な事業内容・成果				
1 児童館等管理運営 児童館等を適正に管理運営し、児童健全育成の推進を図った。 また、児童室については、平成23年度から地域型市民協働事業として地域振興会が地域に密着した運営を行っている。											評価と今後の方向性 (担当課意見)	
(1) 施設数 ・ 児童館 7館 (市運営5館、社会福祉法人運営2館) ・ 児童室 3室 (コミュニティセンター内に設置)											継続	未就学児(親子)から18歳未満まで多くの子どもが利用し、遊びの提供等を通じて、児童の健全育成に寄与できた。 市児童館の今後の在り方については、個別施設計画に基づき、大規模修繕による長寿命化や維持、統合、廃止等について検討を行っていく。
(2) 年間延べ利用者数 ・ 児童館 38,687人 (令和2年度 35,737人) ・ 児童室 10,437人 (令和2年度 9,439人)												

主な事業内容・成果		評価と今後の方向性（担当課意見）
2 保育対策総合支援事業費補助金（新型コロナ対策3-No.19）【国1/2 交付金※】 職員個人のマスク等の購入支援や、施設内に空気清浄機等を設置し、新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図った。 ・ 事業費 1,983千円（公立5施設 1,383千円、民間2施設 600千円）	完了	感染症に対する体制を整え、感染症対策の徹底を図りながらの運営に努めた。

事業名	子育て世帯への臨時特別給付金等給付費		（ 3款 民生費 2項 児童福祉費 6目 子育て世帯への臨時特別給付金等給付費 ）		決算書	82 ページ	担当部課	福祉保健部子育て支援課	
決算額【予算額】		令和2年度	令和3年度	令和4年度	特記事項（決算規模の変動要因等）				
		279,436	1,381,231	—					
財源内訳	国庫補助金	190,534	1,381,230						
	一般財源	88,902	1						
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 子育て世帯への臨時特別給付金給付事業（新型コロナ対策1-No.6）【国10/10】 新型コロナウイルス感染症の影響を受ける子育て世帯の支援策として、児童手当を受給する世帯（0歳～中学生のいる世帯）又は児童扶養手当の所得制限限度額内の父母等であって高校生までの児童のいる世帯に対し、児童一人当たり10万円を支給した。 ・ 支給実績 受給者7,971人、児童13,747人、給付金1,374,700千円								完了	国の実施要綱に基づき、対象者へ滞りなく当該給付金を支給し、新型コロナウイルス感染症の影響による経済的負担等の緩和を図ることができた。
（繰越明許費 81,769 千円） ・ 事業名 子育て世帯への臨時特別給付金（新型コロナ対策1-No.6）【国10/10】 ・ 予算執行率 94.4% ・ 完了時期 令和4年5月31日									

事業名	セーフティネット支援対策費				(3款 民生費 3項 生活保護費 1目 生活保護総務費)		決算書	83 ページ	担当部課	福祉保健部社会福祉課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)		
		21,768	【26,440】	49,809	【56,007】		【31,192】	新型コロナウイルス感染症対策として実施した、生活困窮者自立支援金及び原油価格の高騰に対する生活支援として実施した、灯油等購入費助成の増による。		
財源内訳	国庫負担金	13,524		13,266						
	国庫補助金	3,927		16,355						
	一般財源	4,317		20,188						
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)		
<p>1 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金 (新型コロナ対策1-No.7) 【国10/10】 生活福祉資金の特例貸付を借り終えてなお生活に困窮する世帯を対象に、現金支給による生活支援を行った。 世帯人数による月額 (1人(60千円)、2人(80千円)、3人以上(100千円)) を最長6カ月間支給するもの。 ・ 1人世帯 12件 (2,100千円) ・ 2人世帯 10件 (2,240千円) ・ 3人以上世帯 20件 (5,800千円) 計42件 (10,140千円)</p>								継続	関係機関から情報提供を受けて、対象となる可能性のある方へプッシュ型で周知を行った。申請期限の延長に伴い、引き続き適切な周知を図りながら事業を実施する。	
<p>2 福祉燃料券支給事業 (新型コロナ対策1-No.8) 原油価格が高騰するなか、家計負担の軽減を図るため、住民税非課税世帯等を対象に福祉燃料券を交付した。 福祉燃料券…1世帯5,000円分 (1,000円券×5枚) ・ 事業費 16,455千円 ・ 福祉燃料券交付世帯数 3,650世帯、福祉燃料券協力事業所数 53事業所</p>								完了	多くの事業所の協力により、事業を円滑に実施することができた。今後、同様の事業を実施する際には、市民や事業者が、より利用しやすい方策を検討する。	
<p>3 アウトリーチ等の充実による自立相談支援の機能強化事業【国10/10】 自立相談支援機関にアウトリーチ支援員(1名)を配置し、自力での社会参加が困難な方等への支援体制の充実を図った。 委託先 (福)射水市社会福祉協議会 委託期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日 委託料 678千円</p>								継続	複雑かつ困難な相談内容が増えている中、アウトリーチ支援員を1名配置した。今後は、勤務日数を増やし、支援体制の更なる充実を図る。	
<p>4 生活困窮者自立相談支援事業【国3/4】 生活困窮者自立支援法に基づく自立相談支援事業を実施し、支援対象者の自立を促した。 委託先 (福)射水市社会福祉協議会 委託期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日 委託料 12,991千円 ・ 新規相談受付 142件 (令和2年度 174件) ・ 支援プラン作成 19件 (令和2年度 19件)</p>								継続	相談者の実情に応じたきめ細かな支援を行うため、就労準備支援事業と家計改善支援事業を一体的に実施した。引き続き相談者の生活の自立に向けて、適切に事業を実施する。	
<p>(繰越明許費 1,000 千円) ・ 事業名 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金 (新型コロナ対策1-No.7) 【国10/10】 ・ 予算執行率 98.0% ・ 完了時期 令和5年3月31日</p>										

事業名	生活保護扶助費				(3款 民生費 3項 生活保護費 2目 扶助費)		決算書	83 ページ	担当部課	福祉保健部社会福祉課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)		
		241,523	【248,000】	265,386	【269,751】		【240,000】	入院等の高額な医療費負担を伴う保護申請が増え、医療扶助費が増加したため。		
財 源 内 訳	国庫負担金	177,528		199,665						
	県負担金	2,704		5,583						
	諸収入	3,652		2,894						
	一般財源	57,639		57,244						
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)		
<p>1 生活保護費支給【国3/4、県1/4 (※県1/4は県費対象者分のみ)】</p> <p>生存権の理念に基づき、生活に困窮する全ての国民に健康で文化的な最低生活を保障するための制度であり、適正な運用に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 被保護世帯数 135世帯 (令和2年度 133世帯) ・ 被保護人員 151人 (令和2年度 160人) 								継 続	<p>制度に沿った適切な支援を実施できた。医療費の増加傾向については、レセプトの確認や健康管理支援等による医療扶助費の適正化に努める。</p>	

4 款 衛 生 費

事業名	子ども子育て総合支援センター管理費 (4款 衛生費 1項 保健衛生費 1目 保健衛生総務費)				決算書	84 ページ	担当部課	福祉保健部保健センター
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)
		10,712	【10,904】	11,413	【11,486】		【6,728】	燃料費の高騰による光熱水費の増加による。
財源内訳	使用料	60		45				
	基金繰入金	5,000		0				
	一般財源	5,652		11,368				
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性 (担当課意見)	
1 子ども子育て総合支援センター維持管理 子ども子育て総合支援センター (キッズポートいみず) の維持管理を行った。 ・利用者数17,469人 (令和2年度17,913人)							継続	今後も適正な維持管理を行いながら、子育て総合支援施設としての機能を検討していく。

事業名	救急医療対策費 (4款 衛生費 1項 保健衛生費 1目 保健衛生総務費)				決算書	84 ページ	担当部課	福祉保健部保健センター																										
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)																										
		8,131	【8,132】	8,131	【8,132】		【8,132】																											
財源内訳	県補助金	85		85																														
	一般財源	8,046		8,046																														
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性 (担当課意見)																											
1 救急医療体制の確保のための事業 初期救急医療体制を構築し、休日における地域住民の救急医療体制の確保を図った。 <救急医療体制の状況> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>在宅当番医制 (射水市医師会)</td> <td>医療機関数</td> <td>39か所</td> <td>39か所</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">病院群輪番制 (射水市民病院) 【県1/2】</td> <td>当番医日数</td> <td>24日</td> <td>24日</td> </tr> <tr> <td>受診数</td> <td>103人</td> <td>101人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初期 (第一次) 救急医療体制の確保</td> <td>73日</td> <td>73日</td> <td>73日</td> </tr> </tbody> </table>							項目		令和2年度	令和3年度	在宅当番医制 (射水市医師会)	医療機関数	39か所	39か所	病院群輪番制 (射水市民病院) 【県1/2】	当番医日数	24日	24日	受診数	103人	101人	指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和3年度	令和5年度	初期 (第一次) 救急医療体制の確保	73日	73日	73日	継続	休日における地域住民の救急医療体制を確保することができた。今後も救急医療体制の充実を図る。
項目		令和2年度	令和3年度																															
在宅当番医制 (射水市医師会)	医療機関数	39か所	39か所																															
病院群輪番制 (射水市民病院) 【県1/2】	当番医日数	24日	24日																															
	受診数	103人	101人																															
指標項目	基準	実績	目標																															
	平成25年度	令和3年度	令和5年度																															
初期 (第一次) 救急医療体制の確保	73日	73日	73日																															

事業名	不妊治療等助成費				(4款 衛生費 1項 保健衛生費 1目 保健衛生総務費)				決算書	84 ページ	担当部課	福祉保健部保健センター																			
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																							
		27,850	【31,286】	29,436	【30,000】		【20,000】	新型コロナウイルス感染症の影響により減少していた不妊治療費助成の申請者数が令和3年度は増加に転じたため。																							
財源内訳	県補助金		193		269																										
	一般財源		27,657		29,167																										
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）																					
<p>1 不妊治療等助成事業</p> <p>不妊治療又は不育症治療を受けている夫婦に対して、治療に要する費用の一部を助成することにより、経済的な負担を軽減するとともに、少子化対策の充実を図った。</p> <p><助成実績></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">令和2年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> </tr> <tr> <th>実</th> <th>延べ</th> <th>実</th> <th>延べ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不妊治療</td> <td>189件</td> <td>228件</td> <td>175件</td> <td>237件</td> </tr> <tr> <td>不育症治療【県1/2】</td> <td>7件</td> <td>7件</td> <td>13件</td> <td>14件</td> </tr> </tbody> </table>										項目	令和2年度		令和3年度		実	延べ	実	延べ	不妊治療	189件	228件	175件	237件	不育症治療【県1/2】	7件	7件	13件	14件	見直し	<p>令和2年度不妊治療助成により、58名が出産するなど少子化対策に一定の効果があった。また、令和3年度には、51%が妊娠に至っている。</p> <p>令和4年4月からは、不妊治療の保険適用が開始され、不妊治療費助成の内容を見直した。少子化対策が充実できるように引き続き助成していく。</p>	
項目	令和2年度		令和3年度																												
	実	延べ	実	延べ																											
不妊治療	189件	228件	175件	237件																											
不育症治療【県1/2】	7件	7件	13件	14件																											

事業名	母子保健推進費			(4款 衛生費 1項 保健衛生費 2目 母子保健衛生費)		決算書	84 ページ	担当部課	福祉保健部保健センター																																																																										
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)																																																																											
		84,740	【95,310】	94,425	【97,276】		【97,185】																																																																												
財源内訳	国庫補助金	5,060		4,459				妊婦一般健康診査受診者数の増加と、新生児聴覚検査を新規に取り組んだことによる。																																																																											
	県補助金	1,971		267																																																																															
	諸収入	34		39																																																																															
	一般財源	77,675		89,660																																																																															
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)																																																																											
<p>1 母子保健事業【国、県】</p> <p>妊娠・出産から子育て期にわたる切れ目ない支援体制の充実を図るとともに母性、乳幼児の健康の保持増進を目的に健康診査、教室、相談、訪問等を実施した。</p> <p>(1) 健康診査状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">受診人数</th> </tr> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妊婦一般健康診査 (14回)</td> <td>延べ6,912人</td> <td>延べ7,649人</td> </tr> <tr> <td>産婦健康診査 (2回)</td> <td>延べ1,079人</td> <td>延べ1,240人</td> </tr> <tr> <td>乳児一般健康診査 (2回)</td> <td>延べ1,084人</td> <td>延べ1,062人</td> </tr> <tr> <td>新生児聴覚検査</td> <td>—</td> <td>506人</td> </tr> <tr> <td>3～4か月児健康診査</td> <td>554人</td> <td>596人</td> </tr> <tr> <td>1歳6か月児健康診査</td> <td>635人</td> <td>621人</td> </tr> <tr> <td>3歳6か月児健康診査</td> <td>683人</td> <td>670人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 教室・相談状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">参加人数 (延べ)</th> </tr> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>両親教室</td> <td>221人</td> <td>265人</td> </tr> <tr> <td>育児相談、母乳相談、栄養相談</td> <td>1,146人</td> <td>1,130人</td> </tr> <tr> <td>要観察児相談会・教室</td> <td>443人</td> <td>540人</td> </tr> <tr> <td>個別発達相談件数 (電話・来所)</td> <td>454件</td> <td>467件</td> </tr> <tr> <td>(再掲)スマイル相談会</td> <td>20組</td> <td>15組</td> </tr> <tr> <td>母子保健推進員活動</td> <td>1,004人</td> <td>817人</td> </tr> <tr> <td>産後家事サポート事業</td> <td>20回</td> <td>39回</td> </tr> <tr> <td>多胎ピアサポート (トゥインクルクラブ)</td> <td>—</td> <td>23組</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 訪問指導状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">訪問人数 (延べ)</th> </tr> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新生児訪問指導</td> <td>294人</td> <td>336人</td> </tr> <tr> <td>未熟児訪問指導</td> <td>72人</td> <td>81人</td> </tr> <tr> <td>乳幼児訪問指導</td> <td>98人</td> <td>106人</td> </tr> <tr> <td>産前・産後サポート事業 (妊婦・乳児訪問活動)</td> <td>(実)615人</td> <td>(実)458人</td> </tr> </tbody> </table>										項目	受診人数		令和2年度	令和3年度	妊婦一般健康診査 (14回)	延べ6,912人	延べ7,649人	産婦健康診査 (2回)	延べ1,079人	延べ1,240人	乳児一般健康診査 (2回)	延べ1,084人	延べ1,062人	新生児聴覚検査	—	506人	3～4か月児健康診査	554人	596人	1歳6か月児健康診査	635人	621人	3歳6か月児健康診査	683人	670人	項目	参加人数 (延べ)		令和2年度	令和3年度	両親教室	221人	265人	育児相談、母乳相談、栄養相談	1,146人	1,130人	要観察児相談会・教室	443人	540人	個別発達相談件数 (電話・来所)	454件	467件	(再掲)スマイル相談会	20組	15組	母子保健推進員活動	1,004人	817人	産後家事サポート事業	20回	39回	多胎ピアサポート (トゥインクルクラブ)	—	23組	項目	訪問人数 (延べ)		令和2年度	令和3年度	新生児訪問指導	294人	336人	未熟児訪問指導	72人	81人	乳幼児訪問指導	98人	106人	産前・産後サポート事業 (妊婦・乳児訪問活動)	(実)615人	(実)458人	<p>令和3年度は新型コロナウイルス感染症の予防対策を徹底しながら、1回当たりの参加人数の制限を行い、実施回数を増やし、妊婦・母親の不安軽減に努めた。また、令和3年度より聴覚障害の早期発見・早期療育を図るため、新生児聴覚検査助成を行った。</p> <p>発達支援事業は、感染症対策を講じながら、教室や相談を実施したことで参加人数が増加した。</p> <p>さらに、妊娠から子育て期にわたる切れ目ない相談支援体制を充実させる体制づくりの一環として、令和3年度から多胎ピアサポート事業を子育て支援センターと合同で開始した。</p> <p>継続</p>	
項目	受診人数																																																																																		
	令和2年度	令和3年度																																																																																	
妊婦一般健康診査 (14回)	延べ6,912人	延べ7,649人																																																																																	
産婦健康診査 (2回)	延べ1,079人	延べ1,240人																																																																																	
乳児一般健康診査 (2回)	延べ1,084人	延べ1,062人																																																																																	
新生児聴覚検査	—	506人																																																																																	
3～4か月児健康診査	554人	596人																																																																																	
1歳6か月児健康診査	635人	621人																																																																																	
3歳6か月児健康診査	683人	670人																																																																																	
項目	参加人数 (延べ)																																																																																		
	令和2年度	令和3年度																																																																																	
両親教室	221人	265人																																																																																	
育児相談、母乳相談、栄養相談	1,146人	1,130人																																																																																	
要観察児相談会・教室	443人	540人																																																																																	
個別発達相談件数 (電話・来所)	454件	467件																																																																																	
(再掲)スマイル相談会	20組	15組																																																																																	
母子保健推進員活動	1,004人	817人																																																																																	
産後家事サポート事業	20回	39回																																																																																	
多胎ピアサポート (トゥインクルクラブ)	—	23組																																																																																	
項目	訪問人数 (延べ)																																																																																		
	令和2年度	令和3年度																																																																																	
新生児訪問指導	294人	336人																																																																																	
未熟児訪問指導	72人	81人																																																																																	
乳幼児訪問指導	98人	106人																																																																																	
産前・産後サポート事業 (妊婦・乳児訪問活動)	(実)615人	(実)458人																																																																																	

主な事業内容・成果		評価と今後の方向性（担当課意見）															
<p>2 産後ケア施設感染症拡大防止対策事業（新型コロナ対策3-No.20）【国10/10】 新型コロナウイルス感染症の影響により、人と触れ合う機会や外出機会が減少している産婦の孤立感や母体の負担軽減を図るため、日帰り型・宿泊型及び訪問型事業所の拡充を行った。 ・事業費 1,005千円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">事業数</th> </tr> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日帰り型</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>宿泊型</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>訪問型</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>		項目	事業数		令和2年度	令和3年度	日帰り型	1	3	宿泊型	1	2	訪問型	2	3	完了	委託先事業所数が増えたことで、利用しやすくなり、実績が伸びた。
項目	事業数																
	令和2年度	令和3年度															
日帰り型	1	3															
宿泊型	1	2															
訪問型	2	3															
<p>3 母子総合相談室及び乳児家庭全戸訪問事業における感染症予防事業（新型コロナ対策3-No.21）【国1/3 県1/3】 母子総合相談室及び乳児家庭全戸訪問事業における感染症予防物品の整備を行った。 ・事業費 592千円</p>		完了	今後も感染症対策を徹底しつつ事業を継続していく。														
<p>4 母子保健事業、歯科保健事業における感染症予防事業（新型コロナ対策3-No.22）【交付金】 母子保健事業における感染症予防物品の整備を行った。 ・事業費 221千円</p>		完了	今後も感染症対策を徹底しつつ事業を継続していく。														

事業名	歯科保健対策推進費				(4款 衛生費 1項 保健衛生費 2目 母子保健衛生費)		決算書	84 ページ	担当部課	福祉保健部保健センター																																																					
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項(決算規模の変動要因等)																																																							
		5,466	【5,712】	6,183	【6,461】		【6,186】																																																								
財源内訳	国庫補助金		0		861			新型コロナウイルス感染症予防対策としてガウン、グローブを整備したことによる。																																																							
	県補助金		940		930																																																										
	諸収入		151		291																																																										
	一般財源		4,375		4,101																																																										
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性(担当課意見)																																																							
<p>1 歯科保健事業【県1/3】</p> <p>妊娠期、乳幼児・学童期まで継続したむし歯・歯周疾患予防事業を実施した。</p> <p><健診・教室等実施状況></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">令和2年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> </tr> <tr> <th>回数</th> <th>人数</th> <th>回数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妊婦歯科健診</td> <td>—</td> <td>234人</td> <td>—</td> <td>246人</td> </tr> <tr> <td>乳歯むし歯予防教室</td> <td>90回</td> <td>延べ2,045人</td> <td>88回</td> <td>延べ1,947人</td> </tr> <tr> <td>保育園親子歯みがき教室</td> <td>29回</td> <td>324人</td> <td>29回</td> <td>239人</td> </tr> <tr> <td>小学校親子歯みがき教室</td> <td>15回</td> <td>761人</td> <td>15回</td> <td>697人</td> </tr> <tr> <td>小学校歯周疾患予防教室</td> <td>5回</td> <td>329人</td> <td>5回</td> <td>215人</td> </tr> </tbody> </table> <p><保育園・小学校フッ素洗口実施状況></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">令和2年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> </tr> <tr> <th>施設数</th> <th>人数</th> <th>施設数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保育園フッ素洗口(4.5歳児)</td> <td>28</td> <td>1,263人</td> <td>28</td> <td>1,336人</td> </tr> <tr> <td>小学校フッ素洗口(全学年)</td> <td>15</td> <td>4,587人</td> <td>15</td> <td>4,450人</td> </tr> </tbody> </table>								項目	令和2年度		令和3年度		回数	人数	回数	人数	妊婦歯科健診	—	234人	—	246人	乳歯むし歯予防教室	90回	延べ2,045人	88回	延べ1,947人	保育園親子歯みがき教室	29回	324人	29回	239人	小学校親子歯みがき教室	15回	761人	15回	697人	小学校歯周疾患予防教室	5回	329人	5回	215人	項目	令和2年度		令和3年度		施設数	人数	施設数	人数	保育園フッ素洗口(4.5歳児)	28	1,263人	28	1,336人	小学校フッ素洗口(全学年)	15	4,587人	15	4,450人	継続	<p>令和2年度から、保育園親子歯みがき教室及び小学校親子歯みがき教室の対象者を、それぞれ希望する保護者または児童のみとするなど、新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら事業を継続して実施している。</p> <p>3歳6か月児のむし歯有病率は令和3年度9.1%(令和2年度14.1%)、12歳児永久歯の1人平均むし歯数は令和3年度0.52本(令和2年度0.57本)であることから、第2次健康増進プランに掲げた取組について、新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら事業を実施していく。</p>	
項目	令和2年度		令和3年度																																																												
	回数	人数	回数	人数																																																											
妊婦歯科健診	—	234人	—	246人																																																											
乳歯むし歯予防教室	90回	延べ2,045人	88回	延べ1,947人																																																											
保育園親子歯みがき教室	29回	324人	29回	239人																																																											
小学校親子歯みがき教室	15回	761人	15回	697人																																																											
小学校歯周疾患予防教室	5回	329人	5回	215人																																																											
項目	令和2年度		令和3年度																																																												
	施設数	人数	施設数	人数																																																											
保育園フッ素洗口(4.5歳児)	28	1,263人	28	1,336人																																																											
小学校フッ素洗口(全学年)	15	4,587人	15	4,450人																																																											
<p>2 母子保健事業、歯科保健事業における感染症予防事業(新型コロナ対策3-No.22)【交付金】</p> <p>歯科保健事業における感染症予防物品の整備を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業費 861千円 								完了	<p>今後も感染症対策を徹底しつつ事業を継続していく。</p>																																																						

事業名	成人・老人保健推進費		(4款 衛生費 1項 保健衛生費 3目 成人・老人保健対策費)		決算書	85 ページ	担当部課	福祉保健部保健センター
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)
		6,348	[7,841]	6,368	[7,772]		[6,795]	
財源内訳	県補助金	4,145		3,938				
	諸収入	270		253				
	一般財源	1,933		2,177				

主な事業内容・成果							評価と今後の方向性 (担当課意見)																																					
<p>1 健康増進事業【県2/3】</p> <p>健康増進法に基づき、一般健康診査や健康教育、健康相談を行い、生活習慣病の予防啓発を図った。</p> <p>また、異常の早期発見や予防・健康づくりの意識を高めるため、肝炎ウイルス検診や節目年齢を対象とした歯周病検診や骨粗しょう症検診を行った。</p> <p><検診状況></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">受診人数</th> </tr> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般健康診査 (40歳以上)</td> <td>27人</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>肝炎ウイルス検診</td> <td>187人</td> <td>211人</td> </tr> <tr> <td>歯周疾患検診</td> <td>387人</td> <td>341人</td> </tr> <tr> <td>骨粗しょう症検診</td> <td>521人</td> <td>506人</td> </tr> </tbody> </table> <p><教室・相談状況></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">参加人数 (延)</th> </tr> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健康教育</td> <td>105人</td> <td>67人</td> </tr> <tr> <td>健康相談</td> <td>620人</td> <td>671人</td> </tr> </tbody> </table> <p><訪問指導状況></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">訪問人数 (延)</th> </tr> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問指導</td> <td>16人</td> <td>9人</td> </tr> </tbody> </table>							項目	受診人数		令和2年度	令和3年度	一般健康診査 (40歳以上)	27人	15人	肝炎ウイルス検診	187人	211人	歯周疾患検診	387人	341人	骨粗しょう症検診	521人	506人	項目	参加人数 (延)		令和2年度	令和3年度	健康教育	105人	67人	健康相談	620人	671人	項目	訪問人数 (延)		令和2年度	令和3年度	訪問指導	16人	9人	<p>継続</p> <p>コロナ禍で集団で集まる機会は減少しており、健康教育の実績は減っているが、個別の健康相談の実績は増加傾向が続いている。</p> <p>令和4年度は、引き続き検診の受診勧奨を行い、感染症対策を行いながら検診や教室、相談、訪問等を実施し、生活習慣病の予防啓発を進めていく。</p>	
項目	受診人数																																											
	令和2年度	令和3年度																																										
一般健康診査 (40歳以上)	27人	15人																																										
肝炎ウイルス検診	187人	211人																																										
歯周疾患検診	387人	341人																																										
骨粗しょう症検診	521人	506人																																										
項目	参加人数 (延)																																											
	令和2年度	令和3年度																																										
健康教育	105人	67人																																										
健康相談	620人	671人																																										
項目	訪問人数 (延)																																											
	令和2年度	令和3年度																																										
訪問指導	16人	9人																																										

事業名	がん対策推進費		(4款 衛生費 1項 保健衛生費 3目 成人・老人保健対策費)		決算書	85 ページ	担当部課	福祉保健部保健センター																																																																
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)																																																																
		92,806	【94,190】	98,303	【99,036】		【105,192】																																																																	
財源内訳	国庫補助金	0		873																																																																				
	県補助金	2,973		2,922																																																																				
	基金繰入金	3,000		6,000																																																																				
	諸収入	2,743		3,697																																																																				
	一般財源	84,090		84,811																																																																				
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)																																																																
<p>1 がん対策事業【県1/2】</p> <p>健康増進法に基づくがん検診を行い、早期発見、早期治療をすすめ、がん予防の普及啓発を実施した。令和2年度から国の指針に併せて、胃内視鏡検査、子宮・乳がん検診を2年に1回の受診間隔とした。また、受診希望者が24時間いつでも集団がん検診の予約が可能となるWeb予約、夕方検診や日曜検診の実施、協会けんぽや国保と連携し特定健診とがん検診の同時開催等を実施し、受診率向上対策として働き盛り世代が受診しやすい体制を整備した。</p> <p><がん検診></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">受診人数</th> </tr> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肺がん検診</td> <td>8,265人</td> <td>8,279人</td> </tr> <tr> <td>胃がん検診</td> <td>2,397人</td> <td>2,811人</td> </tr> <tr> <td>大腸がん検診</td> <td>6,144人</td> <td>5,934人</td> </tr> <tr> <td>子宮がん検診</td> <td>3,173人</td> <td>3,462人</td> </tr> <tr> <td>乳がん検診</td> <td>2,250人</td> <td>2,538人</td> </tr> <tr> <td>前立腺がん検診</td> <td>834人</td> <td>518人</td> </tr> <tr> <td>ヘリカルCT肺がん検診</td> <td>159人</td> <td>185人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肺がん検診受診率</td> <td>33.2%</td> <td>26.6%</td> <td>50.0%</td> </tr> <tr> <td>胃がん検診受診率</td> <td>19.7%</td> <td>30.2%</td> <td>50.0%</td> </tr> <tr> <td>大腸がん検診受診率</td> <td>28.6%</td> <td>34.7%</td> <td>50.0%</td> </tr> <tr> <td>子宮がん検診受診率</td> <td>31.6%</td> <td>48.9%</td> <td>50.0%</td> </tr> <tr> <td>乳がん検診受診率</td> <td>30.2%</td> <td>40.4%</td> <td>50.0%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成24年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3大生活習慣病による死亡率 (10万人当たり) がん</td> <td>326.7人</td> <td>376.2人</td> <td>283.2人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和3年度は翌年度報告 参考：令和2年度実績 県 349.4人、国 306.6人</p>								項目	受診人数		令和2年度	令和3年度	肺がん検診	8,265人	8,279人	胃がん検診	2,397人	2,811人	大腸がん検診	6,144人	5,934人	子宮がん検診	3,173人	3,462人	乳がん検診	2,250人	2,538人	前立腺がん検診	834人	518人	ヘリカルCT肺がん検診	159人	185人	指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和3年度	令和5年度	肺がん検診受診率	33.2%	26.6%	50.0%	胃がん検診受診率	19.7%	30.2%	50.0%	大腸がん検診受診率	28.6%	34.7%	50.0%	子宮がん検診受診率	31.6%	48.9%	50.0%	乳がん検診受診率	30.2%	40.4%	50.0%	指標項目	基準	実績	目標	平成24年度	令和2年度	令和5年度	3大生活習慣病による死亡率 (10万人当たり) がん	326.7人	376.2人	283.2人	<p>継続</p> <p>コロナ禍での受診控えの影響により、受診人数の減少が一部に見られるが、がん検診全体の受診人数は前年度に比べ増加している。目標値には達していないため、受診率向上対策としてWeb予約の推進、ヘルスボランティアのがん検診受診勧奨等、働き盛り世代が受診しやすい体制の整備を強化し、がんの死亡率減少を目指す。</p> <p>また、がん予防の普及啓発として、図書館展示を実施し、正しいがんの知識・がん検診の意義・必要性を住民に理解してもらう取組を実施する。</p>
項目	受診人数																																																																							
	令和2年度	令和3年度																																																																						
肺がん検診	8,265人	8,279人																																																																						
胃がん検診	2,397人	2,811人																																																																						
大腸がん検診	6,144人	5,934人																																																																						
子宮がん検診	3,173人	3,462人																																																																						
乳がん検診	2,250人	2,538人																																																																						
前立腺がん検診	834人	518人																																																																						
ヘリカルCT肺がん検診	159人	185人																																																																						
指標項目	基準	実績	目標																																																																					
	平成25年度	令和3年度	令和5年度																																																																					
肺がん検診受診率	33.2%	26.6%	50.0%																																																																					
胃がん検診受診率	19.7%	30.2%	50.0%																																																																					
大腸がん検診受診率	28.6%	34.7%	50.0%																																																																					
子宮がん検診受診率	31.6%	48.9%	50.0%																																																																					
乳がん検診受診率	30.2%	40.4%	50.0%																																																																					
指標項目	基準	実績	目標																																																																					
	平成24年度	令和2年度	令和5年度																																																																					
3大生活習慣病による死亡率 (10万人当たり) がん	326.7人	376.2人	283.2人																																																																					

事業名	健康づくり推進費		(4款 衛生費 1項 保健衛生費 3目 成人・老人保健対策費)		決算書	85 ページ	担当部課	福祉保健部保健センター
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)
		2,414	【2,679】	2,183	【2,241】			【2,268】
財源内訳	一般財源	2,414		2,183				
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性 (担当課意見)	
<p>1 健康づくり推進事業</p> <p>市民の自主的な健康づくり活動を支援するため、地域での健康教育、健康づくりボランティア活動等による普及啓発を行い、健康づくりの推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康づくり推進協議会 (年1回) の開催 食育推進会議 (年1回) の開催 食育推進会議幹事会 (年1回) の開催 ヘルスボランティア活動 令和3年度会員360人、活動延数 18,269人 食生活改善推進員活動 令和3年度会員306人、活動延数 2,417人 ぱくぱくクッキング ケーブルテレビ 年4回放映 							拡充	<p>健康づくりボランティアと協同し、一人ひとりが健康づくりを実践するための行動目標 (Let'sトライ! IMIZUSHI健康8) を推進するため、ウォーキングマップやおすすめレシピなどケーブルテレビやホームページ等での普及活動や地域での健康づくり活動を引き続き実施していく。</p>

事業名	心の健康づくり推進費		(4款 衛生費 1項 保健衛生費 3目 成人・老人保健対策費)		決算書	85 ページ	担当部課	福祉保健部保健センター
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)
		498	【505】	529	【536】		【625】	
財源内訳	県補助金	242		264				
	一般財源	256		265				
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)
<p>1 心の健康づくり事業【県1/2】</p> <p>地域における自殺対策の更なる強化を図ることを目的として、対面相談事業、人材養成事業（ゲートキーパー）、普及啓発事業を実施した。</p> <p>(1) 対面相談事業</p> <p> こころの健康相談（公認心理師及び保健師による個別相談）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公認心理師：年間27回、延べ48人 ・ 保健師：随時 <p>(2) 人材養成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゲートキーパー養成講座：精神科医による講義、公認心理師による講義とロールプレイを実施 年3回、98人 (市民34人、ケアマネジャー等専門職29人、市職員35人) <p>(3) 普及啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自殺対策強化月間に合わせて図書館での普及啓発イベント開催 ・ 健診や窓口で市民へ普及啓発物品やパンフレットの配布 ・ 広報やケーブルテレビ等でのこころの健康づくりに関する広報活動 ・ こころの健康づくりに関する市民向け講演会 ・ 相談窓口に従事する市職員等向けの自殺予防対応ガイドブック（受け手・支え手支援ガイド）の作成及び配布 <p>(4) 計画策定実態調査事業</p> <p>自殺対策推進協議会を1回開催し、計画の進捗について検討、評価した。</p>								<p>拡充</p> <p>こころの健康相談は、日程が決まっている公認心理師との対面相談だけでなく電話やメールでの随時相談が増えた。</p> <p>人材養成事業は、対象者を拡大し、今後も自殺対策に関わる人材を養成していく。</p> <p>普及啓発事業は、自殺予防対応ガイドブックを作成、配布し早期支援につなげることができるようにした。今後もSNS等も含め啓発普及を進めていく。</p>

事業名	予防接種費				(4款 衛生費 1項 保健衛生費 4目 予防費)		決算書	85 ページ	担当部課	福祉保健部保健センター																																																			
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																																																					
		291,864	【302,649】	254,764	【258,948】		【242,815】	インフルエンザ、日本脳炎予防接種者数の減少により委託料が減少したことによる。																																																					
財源内訳	国庫補助金	51,687		25,328																																																									
	県補助金	22		13,572																																																									
	基金繰入金	10,000		41,000																																																									
	諸収入	0		19																																																									
一般財源		230,155		174,845																																																									
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）																																																					
<p>1 乳幼児・児童生徒・高齢者予防接種 定期的な予防接種により感染症の発生及び蔓延の予防を図った。 〈定期接種状況〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">受診人数</th> </tr> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>ロタウイルス感染症</td><td>530人</td><td>1,313人</td></tr> <tr><td>BCG</td><td>593人</td><td>592人</td></tr> <tr><td>ヒブ</td><td>2,451人</td><td>2,329人</td></tr> <tr><td>小児用肺炎球菌</td><td>2,412人</td><td>2,329人</td></tr> <tr><td>ポリオ（不活化ワクチン）</td><td>1人</td><td>2人</td></tr> <tr><td>4種混合</td><td>2,469人</td><td>2,374人</td></tr> <tr><td>ジフテリア・百日せき・破傷風（DPT）</td><td>1人</td><td>6人</td></tr> <tr><td>B型肝炎</td><td>1,757人</td><td>1,752人</td></tr> <tr><td>麻しん・風しん（MR）</td><td>1,311人</td><td>1,308人</td></tr> <tr><td>水痘</td><td>1,275人</td><td>1,142人</td></tr> <tr><td>日本脳炎</td><td>3,418人</td><td>2,034人</td></tr> <tr><td>ジフテリア・破傷風（DT）</td><td>831人</td><td>717人</td></tr> <tr><td>ヒトパピローマウイルス感染症</td><td>277人</td><td>605人</td></tr> <tr><td>高齢者インフルエンザ</td><td>21,359人</td><td>18,536人</td></tr> <tr><td>高齢者肺炎球菌</td><td>1,044人</td><td>962人</td></tr> </tbody> </table> <p>（長期療養の対応で接種した者を含む。）</p>								項目	受診人数		令和2年度	令和3年度	ロタウイルス感染症	530人	1,313人	BCG	593人	592人	ヒブ	2,451人	2,329人	小児用肺炎球菌	2,412人	2,329人	ポリオ（不活化ワクチン）	1人	2人	4種混合	2,469人	2,374人	ジフテリア・百日せき・破傷風（DPT）	1人	6人	B型肝炎	1,757人	1,752人	麻しん・風しん（MR）	1,311人	1,308人	水痘	1,275人	1,142人	日本脳炎	3,418人	2,034人	ジフテリア・破傷風（DT）	831人	717人	ヒトパピローマウイルス感染症	277人	605人	高齢者インフルエンザ	21,359人	18,536人	高齢者肺炎球菌	1,044人	962人	継続	個別通知及び乳幼児健診や未接種者への接種勧奨を行い接種率の維持向上を図った。引き続き、積極的勧奨を行っていく。		
項目	受診人数																																																												
	令和2年度	令和3年度																																																											
ロタウイルス感染症	530人	1,313人																																																											
BCG	593人	592人																																																											
ヒブ	2,451人	2,329人																																																											
小児用肺炎球菌	2,412人	2,329人																																																											
ポリオ（不活化ワクチン）	1人	2人																																																											
4種混合	2,469人	2,374人																																																											
ジフテリア・百日せき・破傷風（DPT）	1人	6人																																																											
B型肝炎	1,757人	1,752人																																																											
麻しん・風しん（MR）	1,311人	1,308人																																																											
水痘	1,275人	1,142人																																																											
日本脳炎	3,418人	2,034人																																																											
ジフテリア・破傷風（DT）	831人	717人																																																											
ヒトパピローマウイルス感染症	277人	605人																																																											
高齢者インフルエンザ	21,359人	18,536人																																																											
高齢者肺炎球菌	1,044人	962人																																																											
<p>2 大人の風しん追加的対策等事業【国1/2】 公的に予防接種を受ける機会のなかった男性に対し、令和元年度から3年間の時限措置として風しんの追加的対策を実施した。 抗体保有率90%の目標達成のため、令和7年3月末まで延長となった。 〈抗体検査・予防接種〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">受診人数</th> </tr> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>抗体検査</td><td>2,436人</td><td>977人</td></tr> <tr><td>予防接種</td><td>540人</td><td>371人</td></tr> </tbody> </table>								項目	受診人数		令和2年度	令和3年度	抗体検査	2,436人	977人	予防接種	540人	371人	継続	令和3年度は、これまでの未検者、未接種者に勧奨を行い、風しんの発生及びまん延を防いだ。引き続き、勧奨を行っていく。																																									
項目	受診人数																																																												
	令和2年度	令和3年度																																																											
抗体検査	2,436人	977人																																																											
予防接種	540人	371人																																																											

主な事業内容・成果		評価と今後の方向性（担当課意見）														
<p>3 インフルエンザ予防接種助成事業（新型コロナ対策1-No.9）【交付金】 新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行を防止し、医療機関の負担軽減を図るため、小中学生、高校生及び妊婦に対し、インフルエンザ予防接種費用を助成した。 ・事業費 20,821千円</p> <p>〈接種率〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">受診人数</th> </tr> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学生（1回目）</td> <td>-</td> <td>57.9%</td> </tr> <tr> <td>中高生</td> <td>55.9%</td> <td>39.3%</td> </tr> <tr> <td>妊婦</td> <td>41.2%</td> <td>31.3%</td> </tr> </tbody> </table>		項目	受診人数		令和2年度	令和3年度	小学生（1回目）	-	57.9%	中高生	55.9%	39.3%	妊婦	41.2%	31.3%	<p>完了</p> <p>接種率は昨年度と比べ減少したが、新型コロナウイルス感染症予防対策の徹底により、今冬はインフルエンザの流行を防ぐことができた。</p>
項目	受診人数															
	令和2年度	令和3年度														
小学生（1回目）	-	57.9%														
中高生	55.9%	39.3%														
妊婦	41.2%	31.3%														

事業名	感染症予防費		（ 4款 衛生費 1項 保健衛生費 4目 予防費 ）		決算書	85 ページ	担当部課	福祉保健部保健センター
決算額【予算額】		令和2年度	令和3年度	令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）		
		14,203	【16,029】	4,604	【9,879】			
財源内訳	国庫補助金	14,111		3,000				手指消毒剤の単価及び需要の減少のため。
	一般財源	92		1,553				
	諸収入			51				
主な事業内容・成果		評価と今後の方向性（担当課意見）						
<p>1 公共施設における安全・安心確保事業（新型コロナ対策3-No.23）【交付金※】 公共施設における市民の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じるため、手指消毒剤等を設置し、新規感染者及びクラスターの発生を抑制した。 ・事業費 3,934千円</p>		<p>継続</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、引き続き消毒剤等を設置する。</p>						

事業名	新型コロナウイルスワクチン接種費 (繰越明許)				(4款 衛生費 1項 保健衛生費 4目 予防費)	決算書	85 ページ	担当部課	福祉保健部保健センター
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)	
				472,218 【623,657】					
財源内訳	国庫補助金			126,670					
	国庫負担金			345,400					
	諸収入			148					
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)	
<p>1 新型コロナウイルスワクチン接種事業 (新型コロナ対策3-No.24) 【国10/10】 新型コロナウイルスワクチン接種を希望する市民が、安全かつ迅速に接種できるよう必要な体制を整え、ワクチン接種を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1、2回目接種費用や接種体制の確保 <p><接種状況> (対人口比) ※令和4年8月8日時点 1回目84.5% 2回目84.0% 3回目66.0%</p>								継続	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、希望する市民に対してワクチン接種を実施する。

事業名	新型コロナウイルスワクチン接種費 (繰越明許)				(4款 衛生費 1項 保健衛生費 4目 予防費)	決算書	85 ページ	担当部課	福祉保健部保健センター
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)	
		2,866 【626,523】		181,507 【455,380】		—			
財源内訳	国庫補助金		2,866	48,883					
	国庫負担金		0	127,582					
	県補助金		0	5,042					
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)	
<p>1 新型コロナウイルスワクチン接種事業 (新型コロナ対策3-No.25) 【国10/10】 新型コロナウイルスワクチン接種を希望する市民が、安全かつ迅速に接種できるよう必要な体制を整え、ワクチン接種を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1、2回目接種の時間外・休日分加算金 3回目接種費用、3回目及び小児接種体制の確保 <p><接種状況> (対人口比) ※令和4年8月8日時点 1回目84.5% 2回目84.0% 3回目66.0%</p>								継続	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、希望する市民に対してワクチン接種を実施する。
<p>(繰越明許費 251,984 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業名 新型コロナウイルスワクチン接種事業 予算執行率 41.9% 完了時期 令和5年3月 									

事業名	環境衛生対策費				(4款 衛生費 1項 保健衛生費 5目 環境衛生費)		決算書	86 ページ	担当部課	市民生活部環境課																				
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																						
		6,259	【6,734】	7,132	【7,133】		【6,452】	ごみ集積ボックス設置等補助の申請件数が増加したことによる。																						
財源内訳	国庫補助金	2,000		0																										
	寄附金	0		1,200																										
	一般財源	4,259		5,932																										
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）																						
<p>1 環境衛生対策事業</p> <p>自治会等で実施する害虫防除及びごみ集積ボックス設置等に対する助成の実施や、空き地等の適正管理の指導を通じ、快適で衛生的な地域環境の整備に努めた。</p> <p>(1) 害虫防除補助 113件、交付額 2,118千円（令和2年度 119件、2,162千円）</p> <p>(2) 衛生害虫防除薬剤散布 委託料 1,177千円（令和2年度 1,177千円） 港湾地区の防疫のため、庄西地区、新湊地区、放生津地区、堀岡地区及び海老江地区で実施</p> <p>(3) ごみ集積ボックス等設置費補助</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">内容</th> <th colspan="2">数量</th> </tr> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大型ごみ集積場設置</td> <td>0基</td> <td>3基</td> </tr> <tr> <td>ごみボックス設置</td> <td>24基</td> <td>46基</td> </tr> <tr> <td>ごみボックス補修</td> <td>4基</td> <td>9基</td> </tr> <tr> <td>防鳥ネット</td> <td>29基</td> <td>10基</td> </tr> <tr> <td>補助金額</td> <td>938千円</td> <td>2,074千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 公衆浴場衛生設備改善事業補助金 2件 交付額 767千円（令和2年度 2件、967千円）</p>								内容	数量		令和2年度	令和3年度	大型ごみ集積場設置	0基	3基	ごみボックス設置	24基	46基	ごみボックス補修	4基	9基	防鳥ネット	29基	10基	補助金額	938千円	2,074千円	継続	自治会等に対する害虫防除やごみ集積ボックス設置等の補助を継続して実施し環境保全に努めた。引き続き、衛生的な地域環境の保全に努める。	
内容	数量																													
	令和2年度	令和3年度																												
大型ごみ集積場設置	0基	3基																												
ごみボックス設置	24基	46基																												
ごみボックス補修	4基	9基																												
防鳥ネット	29基	10基																												
補助金額	938千円	2,074千円																												

事業名	美化対策費		(4款 衛生費 1項 保健衛生費 5目 環境衛生費)			決算書	86 ページ	担当部課	市民生活部環境課																			
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)																				
		2,917	【3,109】	3,064	【3,213】		【3,335】																					
財源内訳	県補助金	188		88																								
	一般財源	2,729		2,976																								
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)																				
<p>1 美化対策事業</p> <p>廃棄物不法投棄監視員の委嘱や不法投棄監視パトロール会計年度任用職員の雇用により廃棄物不法投棄の未然防止と早期発見に努めた。また、アダプト・プログラム参加団体への支援により地域の美化活動を推進した。</p> <p>(1) 廃棄物不法投棄監視員設置 25人</p> <p>(2) 不法投棄監視パトロール会計年度任用職員雇用 (令和3年4月～11月 2人)</p> <p>(3) アダプト・プログラム事業 59団体、1,669人 (令和元年度 57団体、1,667人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アダプト・プログラム参加団体数</td> <td>56団体</td> <td>59団体</td> <td>70団体</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) ボランティア保険 (不法投棄監視員 25人、アダプト 661人)</p> <p>(5) 側溝清掃用消石灰配布</p> <p>(6) クリーン作戦</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>実施時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>みんなできれいにせんまいけ大作戦</td> <td>令和3年7月4日</td> </tr> <tr> <td>小杉地区クリーン作戦</td> <td>令和3年5月23日、7月25日</td> </tr> <tr> <td>射水市一斉クリーン大作戦</td> <td>令和3年10月18日</td> </tr> </tbody> </table>								指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和3年度	令和5年度	アダプト・プログラム参加団体数	56団体	59団体	70団体	内容	実施時期	みんなできれいにせんまいけ大作戦	令和3年7月4日	小杉地区クリーン作戦	令和3年5月23日、7月25日	射水市一斉クリーン大作戦	令和3年10月18日	<p>不法投棄監視員等の活動は、廃棄物の不法投棄の未然防止や早期発見に有効であり、引き続き業務を継続する。また、アダプト・プログラム事業を推進し、市民と市が一体となった地域清掃活動に努めた。これらの事業を継続し、地域の環境美化を推進する。</p> <p>継続</p>	
指標項目	基準	実績	目標																									
	平成25年度	令和3年度	令和5年度																									
アダプト・プログラム参加団体数	56団体	59団体	70団体																									
内容	実施時期																											
みんなできれいにせんまいけ大作戦	令和3年7月4日																											
小杉地区クリーン作戦	令和3年5月23日、7月25日																											
射水市一斉クリーン大作戦	令和3年10月18日																											

事業名		齋場管理費（繰越明許）				（ 4款 衛生費 1項 保健衛生費 6目 齋場費 ）		決算書	87 ページ	担当部課	市民生活部環境課	
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）				
				286,665	【286,666】							
財源内訳	市債			272,200								
	一般財源			14,465								
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性（担当課意見）			
<p>1 新齋場周辺整備事業</p> <p>新齋場の緩衝緑地として「フラワーパーク沖塚原」を整備するとともに、円滑なアクセスを図るための道路幅員や消雪施設の整備を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> フラワーパーク沖塚原整備 <ul style="list-style-type: none"> 公園面積：約2.7ha 主な施設：パークゴルフコース（3コース、27ホール） 園路 約630m 管理棟 1棟（事務室、休息室、車庫・倉庫） トイレ 1棟（男・女・多目的） 駐車場 67台（うち車いす使用者用駐車施設2台） 市道塚原156号線拡幅改良整備（新齋場、フラワーパーク沖塚原南側に接する市道） <ul style="list-style-type: none"> 整備延長 251m、幅員 8.5m（片側歩道） 市道塚原154号線拡幅改良整備（新齋場整備に伴う付替え道路） <ul style="list-style-type: none"> 整備延長 214m、幅員 6.5m 沖塚原地内消雪施設整備 <ul style="list-style-type: none"> 散水整備延長 1,272m 									継続	<p>射水市齋場の緩衝緑地としての役割を担うとともに、地域住民のコミュニティ形成や、幅広い世代の交流・健康に資する公園整備が完了した。</p> <p>新齋場やフラワーパーク沖塚原への円滑なアクセスを図るため、道路拡幅改良を進めた。</p>		

事業名	斎場管理費		(4款 衛生費 1項 保健衛生費 6目 斎場費)		決算書	87 ページ	担当部課	市民生活部環境課																	
決算額【予算額】		令和2年度	令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																		
		329,489	【621,633】	143,101	【154,168】			【106,760】																	
財源内訳	使用料	7,672		41,349				使用料は、使用料を見直したことにより収入増となったもの。 また、長期包括委託費の契約並びに旧斎場解体費については、設計が安価に行えたことによるもの。																	
	手数料	14		11																					
	諸収入	3		2																					
	市債	278,700		10,000																					
	一般財源	43,100		91,739																					
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）																	
<p>1 斎場管理</p> <p>新斎場にて適切な火葬業務を行うため、長期包括受託業者と協議、調整を図り保守点検を行った。</p> <p>(1) 新斎場の供用開始 令和3年4月1日より供用を開始した。</p> <p>(2) 長期包括運営業務内容 火葬業務、運営業務、植栽管理業務、場内清掃業務、機械警備業務、空調設備保守管理業務他</p> <p>(3) 射水市斎場包括業務受託者並びに契約額 受託者 株式会社 五輪 契約額 224,180千円 (R3年度：70,821千円 R4年度：70,302千円 R5年度：83,057千円)</p> <p>(4) 火葬実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12歳以上</td> <td>1,129件</td> <td>1,159件</td> <td>1,153件</td> </tr> <tr> <td>12歳未満</td> <td>8件</td> <td>13件</td> <td>9件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,137件</td> <td>1,172件</td> <td>1,162件</td> </tr> </tbody> </table>								区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	12歳以上	1,129件	1,159件	1,153件	12歳未満	8件	13件	9件	計	1,137件	1,172件	1,162件	継続	新斎場供用開始に伴い、(株)五輪と長期包括運営業務委託を締結し、適切な火葬業務を行った。今後も引き続き、委託業務の指揮監督、重要事項の確認等連携を密にし、施設の適正な運転管理に努めていく。
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度																						
12歳以上	1,129件	1,159件	1,153件																						
12歳未満	8件	13件	9件																						
計	1,137件	1,172件	1,162件																						
<p>2 新斎場整備事業関連</p> <p>旧斎場の解体工事等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 旧斎場解体工事 <ul style="list-style-type: none"> 業者名 金原開発(株) 工期 令和3年6月17日～11月15日 契約額 59,400千円 								完了	旧斎場の解体工事が完了した。																

主な事業内容・成果													評価と今後の方向性（担当課意見）																													
<p>3 フラワーパーク沖塚原パークゴルフ場管理運営業務 グリーンキーパーの育成に努め、芝の育成管理においては年間作業計画に基づき管理を行った。</p> <p>(1) 供用開始 令和3年7月5日より供用を開始した。</p> <p>(2) 業務委託 フラワーパーク沖塚原植栽管理(その1)業務委託 契約業者 和泉産業(株) 契約額 156,200円 工期 令和3年9月14日～10月20日 フラワーパーク沖塚原植栽管理(その2)業務委託 契約業者 塚原造園土木(株) 契約額 1,512,500円 工期 令和3年9月14日～11月30日 フラワーパーク沖塚原植栽管理(その3)業務委託 契約業者 サングリーン開発興業(株) 契約額 2,574,000円 工期 令和3年9月14日～令和4年3月31日</p> <p>(3) 利用実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>730人</td> <td>229人</td> <td>94人</td> <td>697人</td> <td>512人</td> <td>134人</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>240人</td> <td>2,636人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※12月中旬～3月上旬の冬季間は施設休止</p>													月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	人数	-	-	-	730人	229人	94人	697人	512人	134人	-	-	240人	2,636人	継 続	フラワーパーク沖塚原を供用開始し、地域住民のコミュニティ形成、幅広い世代の交流、健康増進等に大きく寄与した。今後も適正な管理、運営に努めていく。
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計																													
人数	-	-	-	730人	229人	94人	697人	512人	134人	-	-	240人	2,636人																													

事業名	公害対策費		(4款 衛生費 1項 保健衛生費 7目 環境保全費)			決算書	87 ページ	担当部課	市民生活部環境課																																																	
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																																																		
		51,582	【54,195】	7,497	【8,802】		【7,843】	令和2年度に実施した、ポリ塩化ビフェニル（PCB）廃棄物の処分費の減による。																																																		
財源内訳	国庫補助金		0		187																																																					
	県補助金		0		234																																																					
	県委託金		121		135																																																					
	一般財源		51,461		6,941																																																					
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）																																																		
<p>1 公害対策事業</p> <p>(1) 環境調査事業</p> <p>射水市内の環境の現状を把握することを目的として、各種調査等を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">内容</th> <th>測定地点等</th> <th>測定回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大気関係</td> <td>大気汚染常時観測局保守管理</td> <td>1地点</td> <td>常時</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">水質関係</td> <td rowspan="4">河川及びため池等に係る水質環境調査</td> <td>河川</td> <td>19地点 2回</td> </tr> <tr> <td>海域</td> <td>2地点 2回</td> </tr> <tr> <td>ため池</td> <td>9地点 1回</td> </tr> <tr> <td>産業廃棄物処分場</td> <td>1地点 4回</td> </tr> <tr> <td>地下水観測井保守管理</td> <td>4地点 常時</td> </tr> <tr> <td>工場排水調査</td> <td>7地点 2回</td> </tr> <tr> <td>産業廃棄物処分場等周辺環境影響調査</td> <td>5地点 4回</td> </tr> <tr> <td>ゴルフ場使用農薬に係る飲用井戸等水質検査</td> <td>5地点 2回</td> </tr> <tr> <td>工場影響地下水調査（飲料水細菌・理化学検査）</td> <td>1地点 2回</td> </tr> <tr> <td>土壌関係</td> <td>産業廃棄物最終処分場周辺土壌・米調査</td> <td>4地点</td> <td>各1回</td> </tr> <tr> <td>悪臭関係</td> <td>臭気調査に係る分析等</td> <td>2地点</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">騒音関係</td> <td>自動車騒音常時監視面的評価</td> <td>1路線</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>環境騒音調査（昼・夜）</td> <td>10地点</td> <td>各1回</td> </tr> <tr> <td>交通騒音調査（昼・夜）</td> <td>9路線</td> <td>各1回</td> </tr> <tr> <td>工場騒音調査（夜）</td> <td>11地点</td> <td>1回</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 公募提案型市民協働事業補助金（特非）水辺のまち新湊 359千円</p> <p>(3) 合併処理浄化槽補助金 2件 704千円</p>								内容		測定地点等	測定回数	大気関係	大気汚染常時観測局保守管理	1地点	常時	水質関係	河川及びため池等に係る水質環境調査	河川	19地点 2回	海域	2地点 2回	ため池	9地点 1回	産業廃棄物処分場	1地点 4回	地下水観測井保守管理	4地点 常時	工場排水調査	7地点 2回	産業廃棄物処分場等周辺環境影響調査	5地点 4回	ゴルフ場使用農薬に係る飲用井戸等水質検査	5地点 2回	工場影響地下水調査（飲料水細菌・理化学検査）	1地点 2回	土壌関係	産業廃棄物最終処分場周辺土壌・米調査	4地点	各1回	悪臭関係	臭気調査に係る分析等	2地点	1回	騒音関係	自動車騒音常時監視面的評価	1路線	1回	環境騒音調査（昼・夜）	10地点	各1回	交通騒音調査（昼・夜）	9路線	各1回	工場騒音調査（夜）	11地点	1回	<p>継続</p> <p>各種環境調査を実施し環境の状況を把握した。引き続き、市内環境の現況把握のために調査を実施していく。</p>	
内容		測定地点等	測定回数																																																							
大気関係	大気汚染常時観測局保守管理	1地点	常時																																																							
水質関係	河川及びため池等に係る水質環境調査	河川	19地点 2回																																																							
		海域	2地点 2回																																																							
		ため池	9地点 1回																																																							
		産業廃棄物処分場	1地点 4回																																																							
	地下水観測井保守管理	4地点 常時																																																								
	工場排水調査	7地点 2回																																																								
	産業廃棄物処分場等周辺環境影響調査	5地点 4回																																																								
ゴルフ場使用農薬に係る飲用井戸等水質検査	5地点 2回																																																									
工場影響地下水調査（飲料水細菌・理化学検査）	1地点 2回																																																									
土壌関係	産業廃棄物最終処分場周辺土壌・米調査	4地点	各1回																																																							
悪臭関係	臭気調査に係る分析等	2地点	1回																																																							
騒音関係	自動車騒音常時監視面的評価	1路線	1回																																																							
	環境騒音調査（昼・夜）	10地点	各1回																																																							
	交通騒音調査（昼・夜）	9路線	各1回																																																							
	工場騒音調査（夜）	11地点	1回																																																							

事業名	地球温暖化対策推進費				(4款 衛生費 1項 保健衛生費 7目 環境保全費)			決算書	87 ページ	担当部課	市民生活部環境課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
		2,061	【2,199】	1,671	【1,786】		【12,116】				
財 源 内 訳	基金繰入金	1,900		0							
	寄附金	0		800							
	一般財源	161		871							
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）	
<p>1 地球温暖化対策事業</p> <p>(1) プラスチック資源循環推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 市プラスチック資源循環戦略検討会の開催 市民団体や関係事業者及び学識経験者等で構成する検討会において、プラスチックの発生抑制、プラスチック廃棄物の削減に関する取組や情報交換及び普及啓発等について協議・検討した。 ごみ分別・リサイクル啓発動画等製作業務 委託料 800千円 市民に対するごみ分別リサイクル意識の高揚を図ることを目的に、説明・啓発用動画を作成した。 委 託 先 射水ケーブルネットワーク(株) 委 託 期 間 令和3年10月14日～令和4年3月31日 契 約 額 800千円 <p>(2) いみず環境チャレンジ10事業 いみずWAOネットワークと協力し、小学4年生を対象とした環境チャレンジ教室を実施した。</p> <p>(3) グリーンカーテン事業 市内保育園、幼稚園、小学校等及び市民へグリーンカーテンの設置を支援するため苗と培養土を配布した。</p>										<p>継 続</p> <p>市プラスチック資源循環戦略策定のため、有識者による検討会を2回開催し、本市のプラスチック資源循環の目指すかたちの協議、検討を行い、骨子案を作成した。 今後も、循環戦略策定を進めていくとともに、プラスチック資源循環の推進に向けて、市民、事業者、行政等が一体となって取り組む機運の醸成を図っていく。</p>	

事業名	清掃総務費		(4款 衛生費 2項 清掃費 1目 清掃総務費)		決算書	88 ページ	担当部課	市民生活部環境課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)
		1,911	[2,227]	7,421	[8,281]		[1,952]	第2次射水市一般廃棄物処理基本計画見直し等業務を執行したことによる。
財源内訳	諸収入	540		360				
	基金繰入金	0		5,400				
	一般財源	1,371		1,661				
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性 (担当課意見)	
<p>1 ごみ収集カレンダーの作成 令和4年度用ごみ収集カレンダー (5地区分) 及びごみ出し違反シールを作成した。 印刷業者 織田印刷 契約額 1,298千円</p>							継続	<p>毎年作成が必要となるごみ収集カレンダー及びごみ出しルール違反用のシールを作成した。 引き続き、市民の円滑で適正なごみ排出ルール順守のため事業を継続する。</p>
<p>2 第2次射水市一般廃棄物処理基本計画見直し等作成業務 第2次射水市一般廃棄物処理基本計画の計画期間が中間見直し年度となり、実績と現状を確認し目標値見直し等の改訂を行うとともに、今後必要となる最終処分場及びし尿処理施設の整備を計画的に進めるため、循環型社会形成推進地域計画を作成した。 第2次射水市一般廃棄物処理基本計画見直し等作成業務 委託先 (株)中部設計 射水営業所 委託期間 令和3年6月3日～令和4年3月10日 契約額 5,720千円</p>							継続	<p>第2次射水市一般廃棄物処理基本計画の改訂及び循環型社会形成地域計画を策定した。 引き続き、市民・事業者・行政等が一体となって循環型社会づくりに向けた取組を進めていく。</p>

事業名	資源再利用対策費		(4款 衛生費 2項 清掃費 1目 清掃総務費)		決算書	88 ページ	担当部課	市民生活部環境課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)
		6,815	[9,772]	6,816	[8,461]		[8,321]	
財源内訳	基金繰入金	6,800		0				
	一般財源	15		6,816				
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性 (担当課意見)	
<p>1 資源再利用促進事業 自治会等による資源集団回収、資源ごみ回収用物品の提供等を通じてごみの減量・資源化に努めた。</p> <p>(1) 資源集団回収事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 資源再生利用推進報奨金 1kg当たり3円 回収量 1,867 t 報奨金 5,600千円 (令和2年度 1,863 t、5,590千円) 資源回収収集運搬委託料 雑誌1kg当たり1.5円 委託料545千円 <p>(2) 生ごみ処理機補助金 ごみ自家処理機材購入費補助金 18件 交付金額 202千円 (令和2年度 15件、172千円)</p>							継続	<p>資源回収団体への支援 (報奨金) により、資源物の回収に効果があった。事業を継続しごみの減量・資源化に努める。</p>

事業名		クリーンピア射水管理費（繰越明許）				（ 4款 衛生費 2項 清掃費 2目 塵芥処理費 ）		決算書	89 ページ	担当部課	市民生活部環境課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
財源内訳	市債			55,736	【60,117】						
	一般財源			51,700							
				4,036							
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）	
<p>1 クリーンピア射水周辺地区振興事業 クリーンピア射水周辺地区振興事業として、片口久々江地区、七美地区及び大江地区において消雪施設整備工事等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 片口久々江地区消雪施設配管工事 業者名 (株)システムホリタ 工期 令和3年8月10日～12月28日 契約額 43,915千円 市道七美23号線外道路改良工事 業者名 西川建設(有) 工期 令和3年11月17日～令和4年3月8日 契約額 3,047千円 市道大江429号線法面整備工事 業者名 (有)新北斗建設 工期 令和4年2月2日～3月30日 契約額 4,375千円 市道片口49号線側溝設置工事 業者名 富新建設(有) 工期 令和4年2月2日～3月29日 契約額 4,399千円 										完了	地元振興事業を地元関係者と調整しながら進め、令和3年度に完了した。

事業名	クリーンピア射水管理費					(4款 衛生費 2項 清掃費 2目 塵芥処理費)		決算書	88 ページ	担当部課	市民生活部環境課																																		
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																																					
		719,918	【780,174】	676,431	【676,965】		【639,026】	クリーンピア射水周辺地区環境整備事業を令和2年度3月補正予算で実施したことによる。																																					
財源内訳	使用料	一般財源	527	560,323	512	534,123																																							
	手数料		136,609		136,992																																								
	県補助金		365		295																																								
	諸収入		1,994		4,509																																								
	市債		20,100																																										
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）																																			
<p>1 一般廃棄物の可燃ごみ焼却事業</p> <p>一般廃棄物の可燃ごみについて、公害防止基準を守り適正に焼却処理した。 また、焼却施設から発生する余熱を発電や冷暖房、給湯などに有効利用した。</p> <p>〈可燃ごみ搬入量〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可燃物</td> <td>26,778,300kg</td> <td>26,819,330kg</td> </tr> <tr> <td>破砕可燃物</td> <td>1,121,400kg</td> <td>1,010,320kg</td> </tr> </tbody> </table> <p>〈発電量〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>発電量</td> <td>6,438,790kwh</td> <td>7,922,000kwh</td> </tr> <tr> <td>太陽光発電量</td> <td>9,255kwh</td> <td>9,457kwh</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>6,448,045kwh</td> <td>7,931,457kwh</td> </tr> </tbody> </table> <p>〈温浴施設利用者数〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>5,706人</td> <td>5,019人</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>6,117人</td> <td>5,104人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>11,823人</td> <td>10,123人</td> </tr> </tbody> </table>										区分	令和2年度	令和3年度	可燃物	26,778,300kg	26,819,330kg	破砕可燃物	1,121,400kg	1,010,320kg	区分	令和2年度	令和3年度	発電量	6,438,790kwh	7,922,000kwh	太陽光発電量	9,255kwh	9,457kwh	計	6,448,045kwh	7,931,457kwh	区分	令和2年度	令和3年度	男	5,706人	5,019人	女	6,117人	5,104人	計	11,823人	10,123人	継続		令和元年度から3か年で実施した基幹的設備改良工事において、ごみ処理の効率化と設備の省エネルギー化を進めた結果、二酸化炭素排出量削減に効果があったとともに、施設内で使用する電力以外の余剰分を売電できるようになった。 引き続き、施設周辺の環境に配慮し、法令を順守しながら事業を継続する。
区分	令和2年度	令和3年度																																											
可燃物	26,778,300kg	26,819,330kg																																											
破砕可燃物	1,121,400kg	1,010,320kg																																											
区分	令和2年度	令和3年度																																											
発電量	6,438,790kwh	7,922,000kwh																																											
太陽光発電量	9,255kwh	9,457kwh																																											
計	6,448,045kwh	7,931,457kwh																																											
区分	令和2年度	令和3年度																																											
男	5,706人	5,019人																																											
女	6,117人	5,104人																																											
計	11,823人	10,123人																																											
<p>2 長期包括運営事業</p> <p>ごみ焼却運転業務等を委託し、適正な維持管理を行った。</p> <p>委託先 (株)射水環境サービス 委託期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日 委託料 3,213,986千円（うち令和3年度分 635,095千円）</p>										継続		令和元年度から令和5年度まで(株)射水環境サービスと長期包括運営業務委託を締結している。今後も引き続き、委託業務の指揮監督、重要事項の確認等連携を密に施設の適正な運転管理に努める。																																	
<p>3 包括運営業務モニタリング事業</p> <p>業務委託発注者は民間事業者が実施する公共サービスの水準をモニタリングする必要があることから、「モニタリングに関するガイドライン」に基づき、ごみの処理状況、公害防止等、管理運営及び財務面からの確認を行った。</p> <p>委託先 (一財)日本環境衛生センター 委託期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日 委託料 2,185千円</p>										継続		本施設の運営受託事業者の「公共サービス水準」をモニタリングすることで、適正な業務管理に努めている。																																	

事業名		クリーンピア射水整備事業費（遞次繰越）				（ 4款 衛生費 2項 清掃費 2目 塵芥処理費 ）		決算書	89 ページ	担当部課	市民生活部環境課			
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）						
				114,894 【122,152】										
財源内訳	市債			90,800										
	一般財源			24,094										
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性（担当課意見）					
<p>1 クリーンピア射水基幹的設備改良事業【国間接補1/2】 クリーンピア射水の施設長寿命化及び二酸化炭素排出削減を図るため、基幹的設備改良工事を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クリーンピア射水基幹的設備改良工事 <ul style="list-style-type: none"> 受注者 (株)神鋼環境ソリューション大阪支社 工期 令和元年6月27日～令和4年2月8日 契約額 3,608,000千円 (継続費：令和元年度 721,600千円、令和2年度 1,948,320千円、令和3年度 938,080千円) ・ クリーンピア射水基幹的設備改良工事設計施工監理業務委託 <ul style="list-style-type: none"> 委託先 (株)中部設計 委託期間 令和元年7月5日～令和4年2月8日 委託料 21,340千円 (継続費：令和元年度 3,628千円、令和2年度 12,164千円、令和3年度 5,548千円) 									完了			基幹的設備改良工事が完了し、施設の長寿命化及び二酸化炭素排出削減に効果があった。		

事業名	クリーンピア射水整備事業費				(4款 衛生費 2項 清掃費 2目 塵芥処理費)		決算書	88 ページ	担当部課	市民生活部環境課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)		
		1,928,779	【2,050,931】	828,734	【828,734】		—	クリーンピア射水基幹的設備改良事業の工事費の減による。		
財源内訳	諸収入	852,327		425,660						
	市債	930,300		361,300						
	一般財源	146,152		41,774						
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)		
<p>1 クリーンピア射水基幹的設備改良事業【国間接補1/2】</p> <p>クリーンピア射水の施設長寿命化及び二酸化炭素排出削減を図るため、基幹的設備改良工事を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クリーンピア射水基幹的設備改良工事 <ul style="list-style-type: none"> 受注者 (株)神鋼環境ソリューション大阪支社 工期 令和元年6月27日～令和4年2月8日 契約額 3,608,000千円 (継続費：令和元年度 721,600千円、令和2年度 1,948,320千円、令和3年度 938,080千円) ・ クリーンピア射水基幹的設備改良工事設計施工監理業務委託 <ul style="list-style-type: none"> 委託先 (株)中部設計 委託期間 令和元年7月5日～令和4年2月8日 委託料 21,340千円 (継続費：令和元年度 3,628千円、令和2年度 12,164千円、令和3年度 5,548千円) 								完了	基幹的設備改良工事が完了し、施設の長寿命化及び二酸化炭素排出量削減に効果があった。	

事業名	粗大ごみ処理施設管理費		(4款 衛生費 2項 清掃費 2目 塵芥処理費)		決算書	88 ページ	担当部課	市民生活部環境課																														
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)																														
		86,891	【97,544】	81,587	【88,552】			【87,360】																														
財源内訳	手数料		34,896		40,784																																	
	諸収入		12,357		24,539																																	
	一般財源		39,638		16,264																																	
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)																														
<p>1 一般廃棄物の粗大ごみ及び不燃ごみ処理事業 一般廃棄物の粗大ごみ及び不燃ごみの処理を委託し、適正に処理した。 また、その中から、有価物を精選して再資源化を図った。 〈粗大・不燃物搬入量及び処理困難物搬入量〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>粗大・不燃物</td> <td>2,087,270kg</td> <td>1,930,700kg</td> </tr> <tr> <td>廃タイヤ (ホイールなし)</td> <td>87本</td> <td>136本</td> </tr> <tr> <td>廃タイヤ (ホイールあり)</td> <td>289本</td> <td>318本</td> </tr> <tr> <td>廃タイヤ (16インチ以上)</td> <td>47本</td> <td>28本</td> </tr> <tr> <td>バッテリー</td> <td>91個</td> <td>97個</td> </tr> <tr> <td>消火器</td> <td>168本</td> <td>124本</td> </tr> </tbody> </table> <p>〈有価物精選量〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>破碎鉄分</td> <td>528,850kg</td> <td>485,590kg</td> </tr> <tr> <td>破碎非鉄</td> <td>76,280kg</td> <td>82,910kg</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成27年度から、粗大ごみ及び不燃ごみの処理を外部委託 ・業者名 ハリタ金属(株)</p>								区分	令和2年度	令和3年度	粗大・不燃物	2,087,270kg	1,930,700kg	廃タイヤ (ホイールなし)	87本	136本	廃タイヤ (ホイールあり)	289本	318本	廃タイヤ (16インチ以上)	47本	28本	バッテリー	91個	97個	消火器	168本	124本	区分	令和2年度	令和3年度	破碎鉄分	528,850kg	485,590kg	破碎非鉄	76,280kg	82,910kg	<p>継続</p> <p>一般廃棄物の粗大ごみ及び不燃ごみの破碎等業務を委託し、適切に処理を行った。また、その中から有価物を精選して再資源化を図った。有価物の売却単価が市場動向により高騰したことを受けて諸収入が大幅に増となった。今後も、適正処理及び再資源化を図るため引き続き事業を継続する。</p>
区分	令和2年度	令和3年度																																				
粗大・不燃物	2,087,270kg	1,930,700kg																																				
廃タイヤ (ホイールなし)	87本	136本																																				
廃タイヤ (ホイールあり)	289本	318本																																				
廃タイヤ (16インチ以上)	47本	28本																																				
バッテリー	91個	97個																																				
消火器	168本	124本																																				
区分	令和2年度	令和3年度																																				
破碎鉄分	528,850kg	485,590kg																																				
破碎非鉄	76,280kg	82,910kg																																				

事業名	処理棟管理費		(4款 衛生費 2項 清掃費 2目 塵芥処理費)		決算書	88 ページ	担当部課	市民生活部環境課																											
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																											
		47,271	【48,466】	48,827	【50,434】		【49,827】																												
財源内訳	手数料	42,002		35,613																															
	諸収入	5,269		13,214																															
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性（担当課意見）																												
<p>1 資源化の精選事業</p> <p>射水市分別収集計画に基づき搬入された空き缶、ペットボトル、プラ製容器包装及び紙製容器包装を容器包装リサイクル法の分別基準に適合させるための精選や圧縮・梱包・保管を行った。</p> <p>〈資源ごみ精選量〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スチール缶</td> <td>12,310kg</td> <td>8,940kg</td> </tr> <tr> <td>アルミ缶</td> <td>24,940kg</td> <td>27,470kg</td> </tr> <tr> <td>空き瓶（無色）</td> <td>98,790kg</td> <td>107,470kg</td> </tr> <tr> <td>空き瓶（茶）</td> <td>110,070kg</td> <td>117,250kg</td> </tr> <tr> <td>空き瓶（その他）</td> <td>45,920kg</td> <td>52,490kg</td> </tr> <tr> <td>ペットボトル</td> <td>88,220kg</td> <td>84,370kg</td> </tr> <tr> <td>プラ製容器包装</td> <td>370,070kg</td> <td>366,460kg</td> </tr> <tr> <td>紙製容器包装</td> <td>156,290kg</td> <td>151,500kg</td> </tr> </tbody> </table>							区分	令和2年度	令和3年度	スチール缶	12,310kg	8,940kg	アルミ缶	24,940kg	27,470kg	空き瓶（無色）	98,790kg	107,470kg	空き瓶（茶）	110,070kg	117,250kg	空き瓶（その他）	45,920kg	52,490kg	ペットボトル	88,220kg	84,370kg	プラ製容器包装	370,070kg	366,460kg	紙製容器包装	156,290kg	151,500kg	<p>継続</p> <p>容器包装リサイクル法で規定する資源物を分別基準に基づき選別と梱包処理を行い資源化に努めた。売却単価が市場動向により高騰したことを受けて諸収入が大幅に増となった。今後も、ごみの減量・資源化のため事業を継続する。</p>	
区分	令和2年度	令和3年度																																	
スチール缶	12,310kg	8,940kg																																	
アルミ缶	24,940kg	27,470kg																																	
空き瓶（無色）	98,790kg	107,470kg																																	
空き瓶（茶）	110,070kg	117,250kg																																	
空き瓶（その他）	45,920kg	52,490kg																																	
ペットボトル	88,220kg	84,370kg																																	
プラ製容器包装	370,070kg	366,460kg																																	
紙製容器包装	156,290kg	151,500kg																																	

事業名	野手埋立処分所管理費			(4款 衛生費 2項 清掃費 2目 塵芥処理費)		決算書	89 ページ	担当部課	市民生活部環境課																																			
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)																																				
		99,196	【99,243】	97,284	【97,326】		【122,563】																																					
財源内訳	使用料		43		43																																							
	手数料		534		960																																							
	一般財源		98,619		96,281																																							
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)																																				
<p>1 埋立管理事業</p> <p>埋立物からの浸出水について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及びその他の法令を遵守し、物理化学的、衛生的に処理することで、本市の生活環境及び公共水域の水質の保全に努めた。</p> <p>(1) 埋立地形式</p> <p>一般廃棄物の最終処分場 (焼却残渣、ガレキ、土砂・汚泥等)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>埋立地面積</th> <th>埋立容量</th> <th>埋立残容量 (令和4年3月末現在)</th> <th>埋立方式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22,900㎡</td> <td>280,000㎡</td> <td>約34,214㎡</td> <td>セル埋立工法による準好気性埋立</td> </tr> </tbody> </table> <p>〈埋立物搬入状況〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般搬入</td> <td>54 t</td> <td>104 t</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">射水市搬入</td> <td>側溝汚泥等</td> <td>991 t</td> </tr> <tr> <td>衛生センター</td> <td>24 t</td> </tr> <tr> <td>クリーンピア射水</td> <td>3,216 t</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,231 t</td> <td>3,883 t</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4,285 t</td> <td>3,987 t</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 浸出水処理施設形式</p> <p>雨水によって処分場から出た浸出水を逆浸透膜処理方式により、排水基準値内に処理し、放流及び場内用水として使用した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>処理能力</th> <th>処理水量</th> <th>浸出水調整槽容量</th> <th>処理方式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100㎡/日</td> <td>約36,800㎡/年</td> <td>4,000㎡</td> <td>凝集沈殿処理及び逆浸透膜 (RO) 膜処理等複合方式</td> </tr> </tbody> </table>								埋立地面積	埋立容量	埋立残容量 (令和4年3月末現在)	埋立方式	22,900㎡	280,000㎡	約34,214㎡	セル埋立工法による準好気性埋立	区分	令和2年度	令和3年度	一般搬入	54 t	104 t	射水市搬入	側溝汚泥等	991 t	衛生センター	24 t	クリーンピア射水	3,216 t	計	4,231 t	3,883 t	合計	4,285 t	3,987 t	処理能力	処理水量	浸出水調整槽容量	処理方式	100㎡/日	約36,800㎡/年	4,000㎡	凝集沈殿処理及び逆浸透膜 (RO) 膜処理等複合方式	<p>継続</p> <p>令和元年度から令和5年度まで(株)神鋼環境ソリューション大阪支社と長期包括運営業務委託を締結している。今後も引き続き、委託業務の指揮監督、重要事項の確認業務等連携を密に施設の適正な運転管理に努める。</p>	
埋立地面積	埋立容量	埋立残容量 (令和4年3月末現在)	埋立方式																																									
22,900㎡	280,000㎡	約34,214㎡	セル埋立工法による準好気性埋立																																									
区分	令和2年度	令和3年度																																										
一般搬入	54 t	104 t																																										
射水市搬入	側溝汚泥等	991 t																																										
	衛生センター	24 t																																										
	クリーンピア射水	3,216 t																																										
計	4,231 t	3,883 t																																										
合計	4,285 t	3,987 t																																										
処理能力	処理水量	浸出水調整槽容量	処理方式																																									
100㎡/日	約36,800㎡/年	4,000㎡	凝集沈殿処理及び逆浸透膜 (RO) 膜処理等複合方式																																									
<p>2 長期包括運営事業</p> <p>埋立処分所の浸出水処理業務等を長期的に委託し、適正な維持管理を行った。</p> <p>委託先 (株)神鋼環境ソリューション大阪支社</p> <p>委託期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日</p> <p>委託料 487,552千円 (うち令和3年度分 96,884千円)</p>								<p>継続</p> <p>委託業務の指揮監督、重要事項の確認業務等を適正に行い、引き続き生活環境及び公共水域の保全のため事業を継続する。</p>																																				

事業名	衛生センター管理費		(4款 衛生費 2項 清掃費 3目 し尿処理費)		決算書	89 ページ	担当部課	市民生活部環境課																			
決算額【予算額】			令和2年度		令和3年度		令和4年度																				
			72,307	【73,843】	89,613	【102,484】		【64,298】																			
財源内訳	使用料		1,070		1,090																						
	基金繰入金		0		1,600																						
	市債		0		24,000																						
	一般財源		71,237		62,923																						
主な事業内容・成果								特記事項（決算規模の変動要因等）																			
<p>1 衛生センター維持管理 施設の設備機器の定期補修工事及び修繕等を行い適正に維持管理を実施した。 〈し尿・浄化槽汚泥搬入状況〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>し尿</td> <td>1,112kℓ</td> <td>1,043kℓ</td> </tr> <tr> <td>浄化槽</td> <td>6,555kℓ</td> <td>6,663kℓ</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">内訳</td> <td>単独</td> <td>3,060kℓ</td> </tr> <tr> <td>合併</td> <td>2,006kℓ</td> </tr> <tr> <td>農集</td> <td>1,489kℓ</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7,667kℓ</td> <td>7,706kℓ</td> </tr> </tbody> </table>								区分	令和2年度	令和3年度	し尿	1,112kℓ	1,043kℓ	浄化槽	6,555kℓ	6,663kℓ	内訳	単独	3,060kℓ	合併	2,006kℓ	農集	1,489kℓ	計	7,667kℓ	7,706kℓ	評価と今後の方向性（担当課意見）
区分	令和2年度	令和3年度																									
し尿	1,112kℓ	1,043kℓ																									
浄化槽	6,555kℓ	6,663kℓ																									
内訳	単独	3,060kℓ																									
	合併	2,006kℓ																									
	農集	1,489kℓ																									
計	7,667kℓ	7,706kℓ																									
<p>(繰越明許費 3,480千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業名 射水市衛生センター循環液ポンプ（B）整備補修 ・ 予算執行率 96.30% ・ 完了時期 令和4年6月 								継続																			
<p>2 衛生センター施設整備事業 施設の長寿命化総合計画を策定した。 委託先 (株)東洋設計富山支店 委託期間 令和3年6月3日～令和4年3月18日 委託料 1,628千円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>計画策定</th> <th>発注仕様書作成</th> <th>基幹的設備改良工事期間</th> <th>供用開始</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> <td>令和5年度～令和6年度</td> <td>令和7年度</td> </tr> </tbody> </table>								計画策定	発注仕様書作成	基幹的設備改良工事期間	供用開始	令和3年度	令和4年度	令和5年度～令和6年度	令和7年度	拡充											
計画策定	発注仕様書作成	基幹的設備改良工事期間	供用開始																								
令和3年度	令和4年度	令和5年度～令和6年度	令和7年度																								
<p>3 し渣・脱水汚泥場外搬出設備整備工事及びコンテナ脱着式ダンプ車購入（一般廃棄物処理事業債75%） 衛生センターの処理工程である乾燥焼却設備で焼却処理している「し渣・脱水汚泥」を場外搬出するための設備を新設した。 また、新設工事に伴い「し渣・脱水汚泥」場外搬出用のコンテナ脱着式ダンプを購入した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ し渣・脱水汚泥場外搬出設備整備工事 受注者 (株)クリタス東海支店 工期 令和3年5月24日～11月30日 契約額 19,250千円 ・ コンテナ脱着式ダンプ車購入 受注者 (有)泉田自動車 工期 令和3年6月3日～令和4年3月15日 契約額 12,925千円 								完了																			

5 款 労 働 費

事業名	勤労者福祉推進費				(5款 労働費 1項 労働諸費 1目 労働諸費)		決算書	90 ページ	担当部課	産業経済部商工企業立地課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)		
		83,847	【84,157】	83,260	【83,748】		【66,346】			
財 源 内 訳	諸収入	82,600		82,600						
	一般財源	1,247		660						
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)		
1 射水市ゆとりライフ互助会事業 市内の中小零細企業の従業員及びその家族に共済給付、研修事業等を行い、福利厚生の充実を図った。								継 続	市内中小企業の福利厚生の向上に寄与することができた。今後も、事業内容の充実と会員拡大に努めていく。	
指標項目		基準	実績	目標						
		平成25年度	令和3年度	令和5年度						
ゆとりライフ互助会加入者数		929人	797人	900人						
2 中小企業退職金共済契約掛金補助 中小企業退職金共済に新規加入した事業者に掛金の一部を助成し、勤労者の福祉向上と雇用の安定を図った。								継 続	市内中小企業の退職金制度加入を促進することで、勤労者の福祉増進と雇用安定を図ることができた。今後も事業の周知に努めていく。	
指標項目		基準	実績	目標						
		平成25年度	令和3年度	令和5年度						
中小企業退職共済加入者数		3,218人	3,865人	3,820人						
3 勤労者福利対策貸付預託金 勤労者の生活支援に係る貸付を円滑に供給するため、貸付原資の一部を市内金融機関等に預託し、長期・低利の融資を図った。								継 続	市内勤労者の生活支援に寄与できた。今後も事業周知に努めていく。	
(1) 組織労働者福利対策貸付預託金 新規貸付 249件 1,425,130千円 (令和2年度 281件 1,509,710千円)										
(2) 未組織労働者福利対策貸付預託金 新規貸付 7件 11,550千円 (令和2年度 12件 121,470千円)										
(3) 勤労者小口資金預託金 新規貸付 9件 5,350千円 (令和2年度 10件 6,250千円)										

事業名	雇用対策費				(5款 労働費 1項 労働諸費 1目 労働諸費)			決算書	90 ページ	担当部課	産業経済部商工企業立地課	
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）				
		3,506	【5,063】	4,117	【4,895】		【4,978】					
財 源 内 訳	一般財源	3,506		4,117								
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性（担当課意見）			
1 地域職業相談室事務補助員人件費 ワークセンター射水に会計年度任用職員を雇用し、求職者の利便性の向上に努めた。 ・ 紹介件数 1,496件（令和2年度 1,863件）									継 続	引き続き、ワークセンター射水の適正な運営に努め、求職者の利便性向上に努めていく。		
2 学生企業訪問支援事業補助 学生等に市内企業の現場を見学を通じて直接PRすることにより、市内企業への就職率の向上と離職率の抑制を目的としているが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により事業を縮小し開催した。 令和3年度 参加事業所 4社 参加学生 9名										継 続	コロナ禍による雇用の環境変化を適確に捉え、着実に事業を推進する。	
指標項目		基準	実績	目標								
		平成27年度	令和3年度	令和5年度								
学生企業訪問支援事業の参加学生満足度		96.8%	88.8%	98.3%								

6 款 農 林 水 産 業 費

事業名		農業委員会費		(6款 農林水産業費 1項 農業費		1目 農業委員会費)		決算書	91 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)			
		11,480	【14,833】	11,445	【13,832】		【13,878】				
財 源 内 訳	県補助金	4,370		4,745							
	諸収入	34		34							
	一般財源	7,076		6,666							
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性 (担当課意見)		
<p>1 農業の発展と農業者の地位向上に向けた取組の推進【県】 農業生産の基盤となる優良農地を守り、有効活用を推進するため、取組を進めた。 農業委員25人 (会長1人、委員24人)</p> <p>(1) 担い手確保と農地利用集積の支援 地域農業の構造改革を推進するため、農業の担い手育成と農地の有効利用 (農業経営基盤強化促進法) による農地の貸し借りの促進を通じ活力ある農業基盤の強化を図った。</p> <p>(2) 地域に根ざした農政活動の展開 地域の世話役と農業者の利益代表として、農業委員の一人ひとりが地域できめ細かな世話役活動を行い、農業者や集落の声を行政や政策に反映した。</p> <p>(3) 農地行政の適正な執行 農地の売買や転用など、農地法に基づく許認可について、農業者を代表する機関として公正な審査を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農地法第3条届出 38件 (令和2年度 60件) ・ 農地法第4条届出 10件 (令和2年度 44件) ・ 農地法第5条届出 93件 (令和2年度 48件) ・ 農地法第18条通知 94件 (令和2年度 102件) ・ 農地法施行規則第29条届出 1件 (令和2年度 0件) ・ 買受適格証明の交付 1件 (令和2年度 0件) ・ 農地法第3条許可申請 36件 (令和2年度 51件) ・ 農地法第4条許可申請 6件 (令和2年度 3件) ・ 農地法第5条許可申請 29件 (令和2年度 29件) ・ 事業計画変更承認申請 0件 (令和2年度 0件) ・ 農用地利用集積計画の決定 186件 (令和2年度 169件) 									<p>継続</p> <p>農地に関する事務を執行する行政委員会として、農地法に基づく農地の売買・賃借の許可、農地転用案件への意見具申を行うことができた。また、平成27年の農業委員会等に関する法律の改正により農業委員会の重要な事務に位置づけられた、担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消等を推進していく。</p>		

事業名	農業振興推進費		(6款 農林水産業費 1項 農業費		3目 農業振興費)		決算書	92 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課											
決算額【予算額】			令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）												
			36,899	【38,044】	106,471	【108,779】		【57,358】	農業経営支援事業など国・県補助事業を活用し、経営体の事業拡大を図ったことによる。												
財 源 内 訳	県補助金		11,456		51,690																
	基金繰入金		0		5,000																
	一般財源		25,443		49,781																
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性（担当課意見）												
<p>1 農業組織強化補助</p> <p>市内の集落営農組織及び認定農業者等中核的な個人農家の活発な活動を促進するための助成を行い、各組織において、情報交換や研修会等が行われ、経営者としての資質向上が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 営農組織連絡協議会補助金 ・ 担い手連絡協議会補助金 									継続	集落営農組織及び認定農業者等中核的な個人農家の活発な活動促進に効果があった。引き続き、次代を担う農業後継者の育成や確保に向けて取り組んでいく。											
<p>2 作物品質向上対策事業</p> <p>安定的な農業生産と品質向上、均一化のために、土づくり資材や種子更新に対して助成を行い、品質及び単収の向上に効果があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地力増強推進対策事業補助金 ・ 大豆・大麦種子更新対策事業補助金 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高品質な米の出荷割合</td> <td>89.5%</td> <td>97.2%</td> <td>95.0%</td> </tr> </tbody> </table>										指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和3年度	令和5年度	高品質な米の出荷割合	89.5%	97.2%	95.0%	継続
指標項目	基準	実績	目標																		
	平成25年度	令和3年度	令和5年度																		
高品質な米の出荷割合	89.5%	97.2%	95.0%																		
<p>3 農業経営支援事業</p> <p>33営農組織、7個人認定農業者に田植機、トラクター、コンバインなどの更新等導入補助を行い、経営の安定化に一定の効果があった。</p>									継続	各経営体の農業機械の導入補助を行うことにより、農業経営に係る負担軽減に効果があった。引き続き、農業経営の安定化、経営体の育成に支援していく。											

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
<p>4 経営体育成支援事業【国】【県】 令和3年1月7日からの大雪により被災した農業者が早期に経営再開できるよう、農業用ハウス等の修繕・復旧等に要する経費を助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業施設等雪害復旧支援事業（国補・県単併用タイプ） 20経営体（対象：認定農業者） 国（事業費×3/10）、県（（事業費-国費・共済等）×3/10）、市（（事業費-国費・共済等）×3/20） ・農業施設等雪害復旧支援事業（県単併用タイプ） 5経営体（対象：認定農業者以外） <p>農業用ハウスを早期に復旧することで、経営への影響を最小限にとどめることに効果的であった。 県（事業費-共済等）×3/10、市（事業費-共済等）×2/10</p>	<p>継続</p>	<p>本支援により、早急に農業用ハウスが復旧し、経営への影響を最小限にとどめることができた。 令和3年度は災害復旧に関する補助であったが、経営拡大を目指す農業者を支援するため、今後も事業を継続していく。</p>
<p>5 雪害復旧支援事業 令和2年12月以降の大雪の影響により被災した、いみず野農業協同組合の育苗ハウス（小杉育苗施設9棟、射水育苗施設6棟、下村施設17棟 計32棟）の復旧のため、補助を行った。 育苗ハウスを早期に復旧することで、令和3年度米の生産への影響を最小限にすることに効果的であった。 （事業費-国補助）×3/10相当分を市単で補助</p>	<p>完了</p>	<p>本支援により、早急に育苗ハウスが復旧し、令和3年度米の育苗を遅滞なく行うことができた。</p>
<p>6 1億円産地づくり条件整備事業【県2/3】 射水市は、いちご、えだまめの2品目を1億円産地づくりの戦略品目として生産拡大に力を入れている。県内需要に対し、供給量が不足している背景から、市内のいちご農家である(株)アグリッチ・農園に対し、いちごの生産拡大を目標とした環境制御システムを有したハウス（4棟）の整備を支援した。 本整備による、いちごの生産体制の構築は、1億円産地化や農業DXの推進に対して効果的であった。</p>	<p>完了</p>	<p>本支援により、県内産のイチゴ需要に応えるための生産体制を整備することができた。</p>

事業名	水田利活用推進対策費				(6款 農林水産業費 1項 農業費 3目 農業振興費)				決算書	92 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課											
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）															
		50,294	【52,625】	50,684	【52,590】																		
財 源 内 訳	県補助金	11,799		11,652																			
	一般財源	38,495		39,032																			
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）												
<p>1 水田農業推進事業</p> <p>当該補助実施により、全市的計画による生産調整の実施と麦・大豆の作付け推進、品質向上及び園芸作物の生産振興に効果があった。</p> <p>(1) とやま型水田フル活用促進事業費補助金</p> <p>ア 園芸作物等特産振興事業【県10/10】 （基本7,580円/10a） 園芸振興作物助成（ねぎ・枝豆・いちご等）（対象面積56.4ha）</p> <p>イ 射水市農業再生協議会事務費【県10/10】</p> <p>(2) 富山県経営所得安定対策推進指導費 富山県経営所得安定対策推進指導費補助金【県10/10】</p> <p>(3) 市単独生産調整推進補助 産地づくり対策補助金【市（作目ごとに設定）/10a】 基幹的な転作作物である、麦・大豆の作付け推進 大麦：463.8ha、大豆：479.7ha（うち147.1haは二毛作）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成30年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>園芸作物の作付面積</td> <td>55.9ha</td> <td>62.6ha</td> <td>77.2ha</td> </tr> </tbody> </table> <p>（白ねぎ、こまつな、キャベツ、ブロッコリー、枝豆） 令和3年度実績 生産量：494.1t、販売額：129,205千円</p>											指標項目	基準	実績	目標	平成30年度	令和3年度	令和5年度	園芸作物の作付面積	55.9ha	62.6ha	77.2ha	<p>継続</p> <p>(1)、(2)については、全額県補助で実施しており、園芸作物の生産振興に効果があるため、引き続き事業を継続する。 (3)については、主食用米の需給調整のための麦・大豆の作付け推進に効果があり、引き続き事業を継続する。</p>	
指標項目	基準	実績	目標																				
	平成30年度	令和3年度	令和5年度																				
園芸作物の作付面積	55.9ha	62.6ha	77.2ha																				

事業名	担い手育成対策費		(6款 農林水産業費 1項 農業費		3目 農業振興費)		決算書	92 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課											
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)													
		7,284	【7,803】	1,600	【3,561】		【10,438】	新規就農総合支援事業において、支援対象の新規就農者が前年から1名減ったことによる。													
財源内訳	県補助金	6,794		480																	
	一般財源	490		1,120																	
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)													
<p>1 農業資金利子補給【県10/10】 農業生産法人や認定農業者が借り入れた制度資金に対し、利子助成したことにより、設備投資等費用が軽減され、経営改善に効果があった。 農業経営基盤強化資金利子助成 3件 2個人、1団体</p>								継続	全額県補助で実施しており、融資開始当初から、認定農業者には全額補助と説明しているため、今後も事業を継続していく。												
<p>2 新規就農総合支援事業【農業次世代人材投資資金 (経営開始型) 県 (国) 10/10】 国の制度を活用し、新規就農者への支援を行うことにより、設備等の初期投資が軽減され、新規就業者の育成に効果があった。(新規就農者4名) 独立自営就農者に対する支援 (1,500千円/人/年)</p> <table border="1" data-bbox="145 734 1249 837"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定農業者数 (個人、法人)</td> <td>75経営体</td> <td>99経営体</td> <td>100経営体</td> </tr> </tbody> </table>									指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和2年度	令和5年度	認定農業者数 (個人、法人)	75経営体	99経営体	100経営体	継続	全額国庫補助で実施しており、新規就農者は、設備投資等初期費用が大きいため本事業は必要であり、引き続き支援していく。
指標項目	基準	実績	目標																		
	平成25年度	令和2年度	令和5年度																		
認定農業者数 (個人、法人)	75経営体	99経営体	100経営体																		

事業名		6次産業化推進費		(6款 農林水産業費 1項 農業費 3目 農業振興費)		決算書	92 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）	
		15,576	【17,025】	9,127	【10,544】		【6,615】		
財 源 内 訳	基金繰入金	5,000		6,000					
	一般財源	10,576		3,127					
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）	
<p>1 6次産業化推進事業</p> <p>農林漁業者が、生産に加え加工や販売なども行うことにより、農林水産物等の高付加価値化等を図る6次産業化への取組を支援した。</p> <p>(1) サクラマスのブランド化を推進するとともに、販路拡大やイメージアップ戦略等を展開した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)大辻（富山市）にて、いみずサクラマスを原材料とした鱒寿司を定番商品として新発売 ・県外からの来場者が多いあるぺん村（立山町）にて、いみずサクラマス展示水槽設置によるPR ・首都圏に多角店舗展開する寿司チェーン店（銚子丸）にて、期間限定メニューとして新規取り扱い <p>(2) もみ殻灰の普通肥料登録化に向けて調査研究分析を行い、普通肥料登録が完了した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もみ殻シリカ灰の肥料登録 令和4年2月25日 ・主な調査研究分析等協力機関： 国立研究開発法人農研機構、公益財団法人日本肥糧検定協会、朝日アグリア(株) 								<p>継続</p> <p>(1)については、既存6次産業化商品のPRやブラッシュアップを行うとともに、市内農林漁業団体や経営体に新たな6次産業化を推進することにより、農林漁業の振興、地域の活性化を図ることができ、事業を継続していく。</p> <p>(2)については、「バイオマス産業都市構想」の一つであり、もみ殻灰の肥料登録が完了した。今後は、実証試験を通して、商品化するまで引き続き事業を継続していく。</p>	

事業名		ふるさと特産品推進費				(6款 農林水産業費 1項 農業費 3目 農業振興費)		決算書	92 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)			
		95,091	【103,239】	107,935	【108,598】		【97,232】	寄附件数及び受入額の増加に伴う返礼品調達費の増加による。			
財源内訳	一般財源	95,091		107,935							
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性 (担当課意見)		
<p>1 ふるさと射水応援寄附</p> <p>ふるさと納税の返礼品として特産品を贈ることで、本市のイメージアップに取り組んできたが、更に多くの寄附者から応援していただくため、新規返礼品を追加した。</p> <p>寄附件数 9,675件 (令和2年度 8,029件)</p> <p>寄附額 231,622千円 (令和2年度 205,030千円)</p>									拡充	更なる寄附の増額を目指し、返礼品目の増加、見直し、新規出品事業者の開拓を行う。	

事業名		土地改良事業推進対策費 (繰越明許)				(6款 農林水産業費 1項 農業費 6目 農地費)		決算書	93 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)			
				17,488	【17,489】						
財源内訳	市債			16,600							
	一般財源			888							
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性 (担当課意見)		
<p>1 土地改良事業推進対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県営農村地域防災減災事業 (ため池) 負担金 (射水池多地区) (事業費 2,000千円) ・ 県営農地整備事業 (土地総) 負担金 (中沖南部地区) (事業費 1,109千円) ・ 射水市土地改良事業補助金 (浄土寺外3地区) (事業費 14,379千円) 									完了	事業の推進、施設の長寿命化や地元負担の軽減に効果が認められる。	

事業名	土地改良事業推進対策費				(6款 農林水産業費 1項 農業費 6目 農地費)		決算書	93 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)		
		192,919	【212,105】	211,487	【244,279】		【289,068】	県営農村地域防災減災事業(ため池)負担金(射水池多地区)の増、及び資源向上支払(長寿命化) 取組組織数 6組織増による。		
財 源 内 訳	分担金	748		825						
	県補助金	109,997		110,045						
	諸収入	18		37						
	市債	29,400		42,000						
一般財源		52,756		58,580						
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)		
1 農業農村整備事業の負担金及び補助金 県や土地改良区が行う、ほ場整備、ため池や老朽化した用排水路などの農業用施設の補修事業等に対して、負担金や補助金を交付することにより、農地の適切な保全及び維持管理に効果があった。								継続 農地の適切な保全及び維持管理に効果があると認められる。		
		基準		実績		目標				
		平成25年度		令和3年度		令和5年度				
指標項目		62.8%		67.9%		68.0%				
ほ場整備率								(市内の耕作地のうち、30a区画以上の耕作地の割合)		
2 農業用施設の補修 農地法面や用水路などの補修を行うことにより、土地改良区の負担を軽減することに効果があった。 (荒町地内法面復旧工事、青井谷地内法面復旧工事、椎土地内用水路復旧工事)								継続 農業用施設の適切な保全及び維持管理に効果が認められる。		
3 土地改良事業債務償還負担金 土地改良区が実施した土地改良事業の一部債務を負担することにより土地改良区の負担を軽減することに効果があった。								継続 土地改良区の負担を軽減することに効果が認められる。		
4 多面的機能支払交付金【県(国)1/2 県1/4】 (1) 農地維持支払及び資源向上支払(共同) 取組組織数 77組織 農用地、水路、農道等の地域資源や農村環境の良好な保全と質的向上に効果があった。 (2) 資源向上支払(長寿命化) 取組組織数 9組織 農業用排水路・農道等の施設の長寿命化のための補修・更新等の取組に対し、農作業の円滑化に効果があった。								継続 (1)については、農地の地域資源や環境保全の向上が図られた。 (2)については、農作業の円滑化に効果が認められる。		
5 中山間地域等直接支払交付金【県(国)1/2 県1/4】 (1) 中山間地域等直接支払交付金(旧金山村、旧櫛田村、旧池多村) 取組組織数 8組織 高齢化や人口減少が著しい中山間地域等において、農業生産活動の継続に向けた取組に支援し、効果があった。								継続 農地の地域資源や環境保全の向上が図られた。		

主な事業内容・成果		評価と今後の方向性（担当課意見）
(繰越明許費 27,262 千円) ・ 事業名 (1)農村地域防災減災事業（ため池）負担金（射水池多地区）（事業費 9,000千円） (2)県営農地整備（土地総）事業負担金（中沖南部地区）（事業費 208千円） (3)農地耕作条件改善事業（浄土寺地区）（事業費 9,721千円） (4)県営農地整備（経営体育成型）事業負担金（島地区）（事業費 6,600千円） (5)水利施設整備事業負担金（芹谷野2期地区）（事業費 1,733千円） ・ 予算執行率 88.6% ・ 完了時期 令和5年3月		

事業名	農地管理費		（ 6款 農林水産業費 1項 農業費 6目 農地費 ）		決算書	93 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課	
決算額【予算額】			令和2年度	令和3年度	令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）		
			110,858	【119,222】	105,568	【108,309】		【114,408】	
財 源 内 訳	使用料		144		144				
	市債		1,000		400				
	一般財源		109,714		105,024				
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 土地改良事業等の負担金 県や土地改良区が行う用排水路等の農業用施設の維持管理事業費の一部を負担することにより、農業用施設の長寿命化や農地防災等に効果があった。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県単独農業農村整備事業（防災福祉対策事業・用排水路等整備）負担金 ・ 射水平野土地改良区施設維持管理負担金 ・ 国営造成施設管理体制整備促進事業負担金 ・ 県営造成施設管理体制整備促進事業負担金 ・ 県営基幹水利施設管理事業負担金 ・ 土地改良施設維持管理適正化事業負担金 								継続	農業用施設の長寿命化や災害の軽減に効果があると認められる。農業の持続的発展や農業生産基盤の安定化のため今後も推進が必要である。
2 農業用施設の修繕 農道の注意看板等や舗装の修繕を行い、施設の機能維持に効果があった。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本江針山・下村三箇・寺塚原・坂東地内警戒標識修繕 ・ 加茂西部地内・大門リンロード舗装修繕 								継続	市が管理する施設の老朽化が懸念され、計画的な更新を検討する必要がある。
3 農道補修用碎石の提供 農道補修用碎石の提供により、農道の機能維持に効果があった。 14地区に配布								継続	農道の機能維持に効果が認められる。

事業名	林業振興推進費		(6款 農林水産業費 2項 林業費		1目 林業振興費)		決算書	93 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課
決算額【予算額】			令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)	
			13,637	【17,241】	23,046	【24,054】		【18,579】	里山再生整備計画 (串田地区) の増、及び黒河地区外森林経営管理意向調査準備業務委託の増による。	
財源内訳	県補助金		10,295		13,334					
	基金繰入金		0		3,242					
	一般財源		3,342		6,470					
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性 (担当課意見)	
1 里山再生整備事業【県10/10】 竹林等の整備を行い森林の適正な維持管理に効果があった。 里山管理利用計画策定業務委託、里山林整備業務委託 (4地区) 委託先 富山県西部森林組合 委託期間 令和3年7月9日～令和4年3月11日 委託料 9,372千円									継続	里山の下刈や除伐等を行い、明るく見通しのきく森林化が図られた。
2 県単独森林整備事業【県1/2 (県1/3)】 林木の健全な成長など森林の公益的機能の維持・向上を目的とし、より効率的な森林整備普及の向上を図るための保育・修景林整備及び林道開設・補修を行うもの。櫛田地区の森林整備の推進に効果があった。 事業主体：富山県西部森林組合									継続	土砂災害の防止、保水、生物多様性の保全など森林の有する多面的機能が発揮されるよう適切な整備・保全管理が進められた。

事業名	有害鳥獣捕獲対策費		(6款 農林水産業費 2項 林業費		1目 林業振興費)		決算書	93 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課
決算額【予算額】			令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)	
			4,269	【5,095】	3,965	【4,880】		【7,323】		
財源内訳	県補助金		127		0					
	一般財源		4,142		3,965					
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性 (担当課意見)	
1 有害鳥獣対策事業 有害鳥獣対策協議会に委託し、鳥獣被害対策実施隊の捕獲活動等を実施することで、カワウ、カラス、イノシシ等の有害鳥獣による農水産物被害の抑制に効果があった。 委託先 射水市有害鳥獣対策協議会 委託期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日 委託料 3,627千円									継続	実施隊の高齢化、担い手不足の課題があり、ICTを活用したイノシシ罾や実施隊の負担の軽減等により活動を維持する必要がある。

事業名		緑化推進費				(6款 農林水産業費 2項 林業費 2目 緑化推進費)		決算書	94 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課											
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）														
		13,939	【16,971】	9,797	【10,023】		【10,518】	令和2年度に新型コロナウイルス感染症対策である射水市インドア花いっぱい応援事業を実施したことによる。														
財 源 内 訳	県補助金	2,959		3,724																		
	諸収入	3,885		0																		
	一般財源	7,095		6,073																		
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）														
<p>1 花と緑の銀行射水支店への活動助成</p> <p>花と緑の銀行射水支店の各地方銀行の活動に助成し、市内の緑化推進に効果があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小・中学校、保育園、各地花壇への緑化木・花苗の配布活動 ・ 花壇コンクールの開催（幼稚園・保育園、学校、花の道、一般花壇、街角） <p>事業主体：花と緑の銀行射水支店 補助金額：9,335千円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域花壇数</td> <td>256面</td> <td>244面</td> <td>262面</td> </tr> </tbody> </table> <p>（花と緑の銀行射水支店の花苗配布対象となる花壇数）</p>								指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和3年度	令和5年度	地域花壇数	256面	244面	262面	<p>継続</p> <p>県コンクールで各部門において入賞するなど、市内緑化推進に効果があった。引き続き活動に対し支援していく。</p>			
指標項目	基準	実績	目標																			
	平成25年度	令和3年度	令和5年度																			
地域花壇数	256面	244面	262面																			
<p>2 フラワーポット管理</p> <p>小杉駅南北等に設置してあるフラワーポット69基を管理（植栽、水やり、施肥等）することにより、市街地における憩いの空間を創出し、市民への緑化意識の定着を図った。</p> <p>委託先 （公社）シルバー人材センター 委託期間 令和3年6月21日～11月30日 委託料 454千円</p>								<p>継続</p> <p>射水市の玄関口での憩いの空間創出により、緑化意識の向上に一定の効果があった。</p>														

事業名		海面漁業振興費				(6款 農林水産業費 3項 水産業費 2目 水産業振興費)				決算書	94 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課															
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																				
		35,234	【37,861】	31,732	【33,686】																							
財 源 内 訳	国庫補助金	25,617		20,974																								
	県補助金	135		121																								
	基金繰入金	0		6,000																								
	一般財源	9,482		4,637																								
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）																	
<p>1 海面漁業振興事業</p> <p>漁業経営の安定化を図るため、漁場環境の整備及び漁業後継者育成などの事業並びに養殖漁業の研究・進展等を支援することで、海面漁業の振興と安定に寄与した。</p> <p>(1) 種苗放流事業補助</p> <p>(2) 漁獲共済掛金補助</p> <p>(3) 漁船保険料補助</p> <p>(4) 漁業近代化資金利子補給</p> <p>(5) 水産多面的機能発揮対策事業【県】</p> <p>(6) 魚食普及推進事業補助</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海面漁業年間漁獲量</td> <td>5,895 t</td> <td>4,139 t</td> <td>6,500 t</td> </tr> <tr> <td>海面漁業年間漁獲高</td> <td>20.94億円</td> <td>16.39億円</td> <td>22.00億円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(7) 魚価低迷緊急支援事業補助金（新型コロナ対策2-No.8）【交付金※】</p> <p>魚価の低迷により影響を受けている漁業者に対し、販売手数料を補助することで、漁業者の負担軽減を図り、漁業事業の維持化支援につながった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業費 22,859千円 ・ 補助実績 38件 											指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和3年度	令和5年度	海面漁業年間漁獲量	5,895 t	4,139 t	6,500 t	海面漁業年間漁獲高	20.94億円	16.39億円	22.00億円	<p>継続</p> <p>海面漁船漁業は、水産資源の減少や管理型漁業の影響等により、近年の水揚高は減少傾向となっており、引き続き、放流事業や、水産多面的事業で実施している、藻場保全等を実施し水産資源保護に努める。また、漁業者の経営安定や事業の持続化を図るための総合的な対策を実施していく。</p>		
指標項目	基準	実績	目標																									
	平成25年度	令和3年度	令和5年度																									
海面漁業年間漁獲量	5,895 t	4,139 t	6,500 t																									
海面漁業年間漁獲高	20.94億円	16.39億円	22.00億円																									

事業名		新湊漁港建設費（繰越明許）				（ 6款 農林水産業費 3項 水産業費 4目 漁港建設費 ）		決算書	95 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課	
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）				
財 源 内 訳	市債			22,935	【22,935】							
	一般財源			17,900								
				5,035								
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）				
1 漁港施設機能強化事業		西防波堤の改良等を行い、漁港機能の強化を図った。						完了	富山県主体の事業であり、今後も漁港施設の整備等を国・県へ要望していく。			
2 水産物供給基盤機能保全事業		新湊漁港（東地区）敷地内道路の補修等を行い、漁港機能の保全を図った。						完了	富山県主体の事業であり、今後も漁港施設の整備等を国・県へ要望していく。			
3 県単独漁港施設整備事業		新湊漁港棧橋防暑施設清浄海水導水施設整備を行い、漁港機能の強化を図った。						完了	富山県主体の事業であり、今後も漁港施設の整備等を県へ要望していく。			

事業名	新湊漁港建設費		(6款 農林水産業費 3項 水産業費 4目 漁港建設費)		決算書	95 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課	
決算額【予算額】			令和2年度		令和3年度		令和4年度		
			2,099	【25,600】	11,212	【52,016】		【45,450】	
財 源 内 訳	市債		100		0				
	一般財源		1,999		11,212				
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 漁港施設機能強化事業 西防波堤の改良等を行い、漁港機能の強化を図った。							継続	富山県主体の事業であり、今後も漁港施設の整備等を国・県へ要望していく。	
2 水産物供給基盤機能保全事業 新湊漁港（東地区）敷地内の舗装を行い、漁港機能の保全を図った。							継続	富山県主体の事業であり、今後も漁港施設の整備等を国・県へ要望していく。	
3 県単独漁港施設整備事業 新湊漁港棧橋防暑施設清浄海水導水施設整備を行い、漁港機能の強化を図った。							継続	富山県主体の事業であり、今後も漁港施設の整備等を県へ要望していく。	
(繰越明許費 40,803 千円) ・ 事業名 漁港施設機能強化事業、水産物供給基盤機能保全事業 ・ 予算執行率 21.6% ・ 完了時期 令和5年3月									

7 款 商 工 費

事業名	商工業振興費（繰越明許）		（ 7款 商工費		1項 商工費		2目 商工業振興費		決算書	95 ページ	担当部課	産業経済部商工企業立地課
決算額【予算額】			令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
					560,471 【563,600】							
財 源 内 訳	国庫補助金				560,471							
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）		
<p>1 キャッシュレス決済 ポイント還元・消費喚起事業（新型コロナ対策2-No.9）【交付金】</p> <p>新型コロナウイルス感染症による本市経済への影響の長期化を踏まえ、市内対象店舗において、キャッシュレス決済利用者に対し（還元率 30%、上限 3,000 円相当／回、30,000円相当／期間）ポイントを付与することで消費喚起を図るとともに、感染拡大を防止するため、非接触型のキャッシュレス決済の普及を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加加盟店舗数1,036店舗、決済額1,938百万円、ポイント還元額542百万円 										完了	<p>混雑等により早期終了となったが、消費喚起及びキャッシュレス決済の普及に寄与した。</p>	

事業名	商工業振興費		(7款 商工費 1項 商工費 2目 商工業振興費)		決算書	95 ページ	担当部課	産業経済部商工企業立地課												
決算額【予算額】			令和2年度		令和3年度		令和4年度													
			208,716	【812,028】	176,376	【212,169】		【65,276】												
財源内訳	国庫補助金		117,382		136,297															
	寄附金		0		952															
	基金繰入金		10,000		10,000															
	一般財源		81,334		29,127															
特記事項 (決算規模の変動要因等)								<p>昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた地域経済の回復を図るため、中小企業等に対する各種支援策を実施したことによる。</p>												
主な事業内容・成果																				
評価と今後の方向性 (担当課意見)																				
<p>1 商店街新規出店支援事業 商店街等の空き店舗への出店を支援することにより、地域商店街の振興に寄与した。 ・ 1件 1,300千円 (令和2年度 3件 3,300千円) ※平成30年度から補助上限額500千円から1,000千円に拡充 ※令和元年度から創業者加算 (300千円) 追加</p>																				
<p>2 販路拡大支援事業 市内中小企業者に対し、県外で行われる展示会・商談会への出展料等の一部を支援し、販路拡大及び新規顧客獲得を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中小企業販路拡大支援事業件数</td> <td>10件</td> <td>4件</td> <td>16件</td> </tr> </tbody> </table>								指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和3年度	令和5年度	中小企業販路拡大支援事業件数	10件	4件	16件	継続	<p>内川周辺を含めた市内商店街への出店に関する相談が多いことから、地域の活性化を図るため、事業を継続する。</p> <p>令和3年度からは、オンライン出展も補助対象としたが、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、出展催事が中止となるなど事業件数が減少した。引き続き事業者の販路拡大を支援していく。</p>
指標項目	基準	実績	目標																	
	平成25年度	令和3年度	令和5年度																	
中小企業販路拡大支援事業件数	10件	4件	16件																	
<p>3 専門家活用支援事業 市内中小企業者や個人起業家が、商工団体等が実施する専門家活用支援事業を活用した場合に、事業に要した経費の一部を助成し、創業や経営改善を支援した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成27年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門家活用支援事業利用件数</td> <td>—</td> <td>0件</td> <td>10件</td> </tr> </tbody> </table>								指標項目	基準	実績	目標	平成27年度	令和3年度	令和5年度	専門家活用支援事業利用件数	—	0件	10件	継続	<p>事業承継等への関心の高まりから、専門家派遣の需要が増加しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響により事業件数は減少した。引き続き事業の周知に努めていく。</p>
指標項目	基準	実績	目標																	
	平成27年度	令和3年度	令和5年度																	
専門家活用支援事業利用件数	—	0件	10件																	
<p>4 創業支援事業 市内で新たに創業する個人又は創業して間もない中小企業者に対し、事業に要した経費の一部を助成した。 ・ 13件 6,289千円 (令和2年度 12件 4,873千円)</p>								継続	<p>コロナ禍においても、事業件数は減少しておらず、引き続き市内での創業希望者、創業者を支援していく。</p>											
<p>5 消費喚起プロジェクト支援補助金 (新型コロナ対策2-No.10) 【交付金※】 射水市商工協議会が実施する消費喚起事業 (いみず地域まるごと応援券) に対し補助した。 ・ 40,362千円</p>								完了	<p>プレミアム付き商品券の発行により、市内店舗への来客が増加するなど、消費喚起に寄与した。</p>											

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
<p>6 新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金等（新型コロナ対策2-No.11）【交付金】</p> <p>富山県の営業時間短縮要請に協力した事業者及びこの要請により影響を受けた飲食関連事業者へ協力金等を支給した。また、電子申請を導入することで、申請事務等の効率化を図るとともに迅速な給付を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金 184店舗 36,800千円 ・ 飲食関連事業者支援給付金 22事業者 2,200千円 	完了	<p>協力金等の支給により、営業時間短縮要請の影響を受けた市内事業者の事業継続と地域経済の回復に寄与した。</p>
<p>7 サテライトオフィス等設置促進事業補助金（新型コロナ対策2-No.12）【国3/4、交付金※】</p> <p>地方創生テレワーク交付金を活用し、民間企業によるテレワーク拠点施設の整備に対し補助した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 60,600千円 	完了	<p>補助金の交付により、市内のサテライトオフィス等の開設促進に寄与した。</p>

事業名	企業誘致対策費		(7款 商工費 1項 商工費 2目 商工業振興費)		決算書	95 ページ	担当部課	産業経済部商工企業立地課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
		322,686	【336,421】	164,623	【167,030】		【333,353】	企業立地奨励事業助成金の交付対象企業が減少したことによる。
財源内訳	使用料	1,498		1,795				
	県補助金	91,460		8,130				
	基金繰入金	900		5,900				
	一般財源	228,828		148,798				
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）
<p>1 企業立地奨励事業等助成金事業</p> <p>工場等の新設又は増設を行った企業者を支援することで、新たな雇用の創出及び税収の安定化等、産業振興に効果があった。</p> <p>(1) 企業立地奨励事業助成金（県助成金対象事業）【県1/2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 継続 1企業 16,260千円（株）プレミアアシスト <p>(2) 企業立地奨励事業助成金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 継続 4企業 52,860千円（株）中村機械、明興工業(株)、(株)大江鐵工、(有)大橋刺しゅう ・ 新規 3企業 32,160千円（立山化成(株)、山森運輸(有)、(株)倉谷アルミ工作所） <p>(3) 宿泊施設立地促進助成金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 継続 1企業 33,340千円（株）スーパーホテル <p>(4) 情報通信関連助成金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1企業 15,400千円（株）プレステージ・インターナショナル <p>(5) 雇用創出企業立地支援事業助成金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4企業 5,500千円（立山化成(株)、(有)大橋刺しゅう、(株)倉谷アルミ工作所、(株)大江鐵工） 								<p>拡充</p> <p>助成金の交付によって市内での工場等の新增設を促し、新規雇用の創出と税収の安定化を図ることができた。今後も本市の特性や企業ニーズ等を踏まえ、助成金制度の拡充を検討し、未分譲地の早期完売を図る。</p>
指標項目		基準	実績	目標				
		平成25年度	令和3年度	令和5年度				
市内工業団地分譲率		90.9%	97.6%	100.0%				

事業名		中小企業振興対策費		(7款 商工費 1項 商工費 2目 商工業振興費)		決算書	96 ページ	担当部課	産業経済部商工企業立地課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)	
		558,890	【590,415】	478,125	【494,343】		【441,414】		
財 源 内 訳	諸収入	543,443		474,224					
	一般財源	15,447		3,901					
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)	
<p>1 中小企業融資制度</p> <p>中小企業者に設備資金や運用資金を融資することにより、経営基盤の強化と安定化を図った。</p> <p>(1) 小口事業資金等保証料助成 制度融資利用者に対し、要綱に基づき保証料の一部又は全部を助成した。 ・ 3,107千円 (令和2年度 3,368千円)</p> <p>(2) 富山県信用保証協会補助 前年度の融資実績に応じて支援した。 ・ 1,321千円 (令和2年度 2,289千円)</p> <p>(3) 小口事業資金貸付預託金 対象者：従業員20人(商業・サービス業5人)以下の中小企業者 ・ 新規貸付 38件 136,700千円 (令和2年度 18件 70,500千円)</p> <p>(4) 中小企業振興資金貸付預託金 対象者：従業員21人(商業・サービス業5人)以上の中小企業者等 ・ 新規貸付 17件 136,930千円 (令和2年度 10件 95,900千円)</p> <p>(5) 創業者支援資金貸付預託金 対象者：創業予定者又は創業2年未満の中小企業者 ・ 新規貸付 4件 24,800千円 (令和2年度 1件 2,500千円)</p> <p>(6) 短期季節資金預託金 対象者：夏季又は年末等一時的に資金を必要とする中小企業者 ・ 新規貸付 0件 0円 (令和2年度 0件 0円)</p> <p>(7) 商工組合中央金庫預託金 中小企業育成融資資金に必要な資金を預託 ・ 新規貸付 118件 11,298,570千円 (令和2年度 121件 6,494,369千円)</p> <p>(8) 中小企業振興資金損失補償料 市制度融資の代位弁済 ・ 0件 0千円 (令和2年度 1件 1,466千円)</p> <p>(9) 小規模事業者経営改善資金利子助成 日本政策金融公庫の小規模事業者経営改善資金の利用者に対し、利子の2分の1を助成した。 ・ 21件 360千円 (令和2年度 41件 773千円)</p>								<p>継続</p> <p>各種制度融資の実施により、市内中小企業の経営基盤の強化を図った。今後も、経済状況を注視しながら、適切に制度を運用する。</p>	

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
<p>2 中小企業・小規模企業振興会議 中小企業・小規模企業振興基本条例に基づいた第2次射水市中小企業振興計画の進捗状況と目標値の検証、また、中小企業振興策、労働環境、雇用の向上を図るため、中小企業・小規模企業振興会議を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員 15人 ・ 開催回数 1回（書面開催） ・ 市内企業500社を対象にアンケート調査の実施 	<p>継続 事業成果の検証を行うとともに、今後の中小企業振興の在り方について委員から意見を伺った。今後も、事業者や有識者の意見を伺う場として開催する。また、会議の参考資料として、企業状況調査を毎年実施する。</p>

事業名	連携中枢事業費（異業種交流促進事業）	（ 7款 商工費	1項 商工費	2目 商工業振興費	決算書	96 ページ	担当部課	産業経済部商工企業立地課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
		867	【6,178】	4,334	【6,178】		【7,612】	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度の異業種交流会「メッセナゴヤ」の開催がオンラインであったことによる。
財 源 内 訳	諸収入	631		3,782				
	一般財源	236		552				

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
<p>1 異業種交流促進事業 圏域内企業の交流や県外企業との新たなビジネスマッチングの実現に向けた機会創出を目的に、異業種交流展示会「メッセナゴヤ2021」への共同出展を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ メッセナゴヤ2021（対面及びオンラインの同時開催） <ul style="list-style-type: none"> 開催期間 対面：令和3年11月10日～11月13日 オンライン：令和3年11月1日～11月19日 開催場所 ポートメッセなごや（名古屋市国際展示場） 総来場者数 36,868人 出展者数 840社（団体） 共同出展事業者数 18社（うち射水市内事業者5社） 	<p>継続 圏域内企業の販路拡大や企業間交流による意識向上、意識改革も図られており、継続的に出展する。</p>

事業名	消費生活安定対策費		(7款 商工費 1項 商工費 3目 消費者行政推進費)		決算書	96 ページ	担当部課	市民生活部生活安全課															
決算額【予算額】		令和2年度	令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)																
		3,659	3,846		【4,133】																		
		【4,133】	【4,326】																				
財 源 内 訳	県補助金	632	660																				
	一般財源	3,027	3,186																				
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性 (担当課意見)																
<p>1 消費者行政推進事業【県】</p> <p>振り込め詐欺や悪質商法等による被害の拡大や防止のために、広く市民を対象とした消費生活相談や消費生活教室による啓発活動を実施し、消費者の自立と意識向上を図った。</p> <p>また、通話録音装置の貸与事業を継続し、特殊詐欺等の被害防止を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 消費生活相談 338件 (令和2年度 441件) 消費生活教室 5回 (令和2年度 14回) 通話録音装置貸与台数 12台 (令和2年度 23台) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消費生活教室受講者数</td> <td>1,102人</td> <td>79人</td> <td>1,300人</td> </tr> <tr> <td>消費生活相談解決率</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>							指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和3年度	令和5年度	消費生活教室受講者数	1,102人	79人	1,300人	消費生活相談解決率	100%	100%	100%	<p>継続</p> <p>消費生活相談による消費者トラブルの解決は図られたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、消費生活教室を多く実施することができなかった。</p> <p>今後はできる限り消費生活教室等で消費生活センターの知名度向上を図りながら、市民一人ひとりが知識と行動力を身に付け、自立した消費者となるよう支援していく。</p>	
指標項目	基準	実績	目標																				
	平成25年度	令和3年度	令和5年度																				
消費生活教室受講者数	1,102人	79人	1,300人																				
消費生活相談解決率	100%	100%	100%																				

事業名	観光事業費		(7款 商工費 1項 商工費 4目 観光費)		決算書	96 ページ	担当部課	産業経済部観光・定住課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)
		24,799	【27,843】	3,574	【4,036】		【14,180】	令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策として、地方創生臨時交付金を活用し、アフターコロナを見据えた事業を実施したことによる。
財 源 内 訳	国庫補助金	19,891		0				
	基金繰入金	0		3,000				
	一般財源	4,908		574				
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性 (担当課意見)	
<p>1 大門カイトパークデイ</p> <p>越中大門凧まつり実行委員会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、従来の凧まつりの規模を縮小し、大門カイトパークデイを企画した。</p> <p>しかし、県内の感染者数が多数となり、直前に中止となったため、当日掲げる予定で凧文化の交流と継承を目的に地域で事前に作成された大凧5枚、連凧3連を庁舎で展示した。</p>							継続	地元自治会と協議しながら、今後の開催内容等を実行委員会で検討する。
<p>2 いみず希望の光プロジェクト～すべての方々に感謝とエール～</p> <p>富山新港花火大会実行委員会は、新型コロナウイルス感染症の影響により従来の花火大会は開催中止としたが、医療従事者への感謝と敬意、市民の皆さまを笑顔にしたいという思い、成人式を迎える若人への祝意を表するためシークレット花火を実施した。</p> <p>時間、場所については、シークレットとし、市公式LINEアカウントにて、30分前と10分前に告知 (約22,000人に配信) した。</p> <p>また、ケーブルテレビ及びYouTubeで生配信を実施した。</p> <p>花火の打ち上げ前後に、InstagramやTwitterに、多くの方からの投稿があった。</p>							完了	新型コロナウイルス感染症の影響もありシークレットの形式で開催したが、令和4年度は、従来の富山新港花火大会を開催する。

事業名	観光推進費				(7款 商工費 1項 商工費 4目 観光費)				決算書	97 ページ	担当部課	産業経済部観光・定住課	
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)					
		72,352	【78,289】	60,294	【75,416】		【72,988】	新型コロナウイルス感染症の影響により、各イベントが中止・縮小されたことによる。					
財 源 内 訳	国庫補助金	11,163		7,531									
	基金繰入金	9,000		7,000									
	一般財源	52,189		45,763									
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性 (担当課意見)			
1 射水ならではの旅プラン事業補助金 (新型コロナ対策2-No.13) 【交付金】 「射水ならではの」の体験や味わいをテーマとした市内観光ツアーを企画し、県内の観光・旅行予約サイト「VISIT富山県」等で販売した。富山駅発「ぶりにバス」及び実証運行していた高岡駅発「か～にバス」を組み込んだ新たなツアーを造成し、新幹線利用者の誘客を図り、219名が利用した。 ・ 事業費 1,108千円										完了	ベイエリアへのアクセスを良くしたツアーを企画したことで、他県からの誘客に効果的であった。引き続き、射水市観光協会と連携し、多様なニーズに応える着地型観光の開発に取り組む。		
2 Welcome to Imizu事業補助金 (新型コロナ対策2-No.14) 【交付金】 (1) 観光事業者が企画する旅行商品等に、射水市を組み入れてもらう「射水へ寄ってかれ支援事業」を行い3,831名の集客を図った。【団体対象】 (2) 宿泊予約サイトと連携し県内宿泊者に市内で利用できるクーポン付宿泊商品を販売する「射水寄ってかれクーポン事業」では、790名のクーポン利用があり、市内への集客と消費拡大を図った。【個人対象】 ・ 事業費 4,919千円										継続	この事業により、延べ4,621名の集客と消費拡大につなげた。引き続き、実施主体である射水市観光協会と連携し、この事業に取り組む。		
3 にぎわい創出集客イベント開催支援事業 (新型コロナ対策2-No.15) 【交付金】 複数の中小事業者が連携し新規で開催する集客イベントに対し、広報費、レンタル費、コロナ対策費等を支援したもの。 ・ 事業費 300千円 ・ 実績 3件 (内川にサテライトスタジオ新設、市内ラーメンスタンプラリー、鮮魚と農作物を販売する朝市)										継続	コロナ禍において大きなイベントが開催できない中、中小事業者が中心となり開催される集客イベントを支援した。新たな賑わいの創出に繋がるよう引き続き支援していく。		
4 外国人向けAIチャットボット導入事業負担金 (新型コロナ対策2-No.16) 【交付金】 県下全域で英語対応のAIチャットボットを導入し、デジタルツールを活用した観光情報提供サービスの整備を図った。 ・ 事業費 226千円										完了	今後のインバウンド需要に備え、デジタルツールを活用し、英語を使用する観光客の受入れ体制整備を図った。		

事業名	道の駅維持管理費（繰越明許）				（ 7款 商工費 1項 商工費 4目 観光費 ）		決算書	97 ページ	担当部課	産業経済部観光・定住課												
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）														
				37,950	【45,063】																	
財 源 内 訳	国庫補助金			36,718																		
	一般財源			1,232																		
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）														
<p>1 道の駅新湊空調設備改修工事業（新型コロナ対策3-No.27）【交付金※】</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、観光客をはじめ、県内外から多くの人が訪れる道の駅新湊の空調設備を、換気能力及び冷暖房能力の高い設備に入れ替えた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>業務名</th> <th>業者名</th> <th>委託・工事期間</th> <th>契約額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道の駅新湊空調設備改修工事設計業務</td> <td>株大代設計</td> <td>令和3年2月3日～4月23日</td> <td>2,420千円</td> </tr> <tr> <td>道の駅新湊空調設備改修工事</td> <td>株織田</td> <td>令和3年7月12日～12月21日</td> <td>35,530千円</td> </tr> </tbody> </table>								業務名	業者名	委託・工事期間	契約額	道の駅新湊空調設備改修工事設計業務	株大代設計	令和3年2月3日～4月23日	2,420千円	道の駅新湊空調設備改修工事	株織田	令和3年7月12日～12月21日	35,530千円	完了	換気能力の高い空調設備に入れ替え、感染症対策を強化した。引き続き集客力向上に取り組み、本市の魅力発信に努めていく。	
業務名	業者名	委託・工事期間	契約額																			
道の駅新湊空調設備改修工事設計業務	株大代設計	令和3年2月3日～4月23日	2,420千円																			
道の駅新湊空調設備改修工事	株織田	令和3年7月12日～12月21日	35,530千円																			

事業名		道の駅維持管理費				(7款 商工費 1項 商工費 4目 観光費)		決算書	97 ページ	担当部課	産業経済部観光・定住課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)			
		17,677	【62,865】	23,590	【24,710】		【14,718】	道の駅周辺エリアのリニューアルに伴う取組を新たに実施したことによる。			
財 源 内 訳	使用料	5,116		4,846							
	諸収入	5,610		5,949							
	一般財源	6,951		12,795							
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)			
<p>1 道の駅新湊の管理運営事業 道路利用者に休憩の場を提供するとともに、観光客に対し本市が誇る地域資源の魅力や観光情報を提供するため、施設の適正な維持管理に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 入館者数 544,025人 <p>2 道の駅周辺エリア基本構想の策定 施設の更新と合わせて、道の駅周辺エリア全体のさらなる魅力向上や賑わい創出に取り組むため、今後の方向性や方針等を整理した「射水市道の駅周辺エリア基本構想」を策定し、周辺地区の測量を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 道の駅周辺エリア基本構想策定支援 <ul style="list-style-type: none"> 委託先 (株)創建築事務所 委託期間 令和3年5月28日～11月26日 契約額 4,675,000円 道の駅周辺地区測量業務 <ul style="list-style-type: none"> 委託先 (株)大代設計 委託期間 令和3年7月21日～令和4年3月31日 契約額 4,529,800円 								<p>継続</p> <p>「道の駅周辺エリア基本構想」の具現化に向け、民間活力の導入を視野に入れ、整備の方向性や手法を検討していく。</p>			

8 款 土 木 費

事業名		道路橋梁総務費（繰越明許）		（ 8款 土木費		1項 道路橋梁費		1目 道路橋梁総務費		）		決算書	97 ページ	担当部課	都市整備部用地課		
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）									
財 源 内 訳	一般財源			1,023	【1,023】												
				1,023													
主な事業内容・成果													評価と今後の方向性（担当課意見）				
<p>1 道路台帳検索システムデータ更新等業務</p> <p>射水市が認定している道路の位置等を正確かつ効率的に把握するために、道路台帳属性データや道路網図の更新を行い、道路管理及び道路の整備計画等多目的な利用を推進した。</p> <p>委 託 先 北陸航測(株)射水支店</p> <p>委 託 期 間 令和3年3月10日～5月25日</p> <p>委 託 料 1,023千円</p>													継 続	令和2年度の道路台帳の修正箇所について、道路台帳属性データ及び道路網図の更新を行った。今年度も、引き続き正確なデータの更新に努める。			

事業名		道路橋梁総務費				(8款 土木費 1項 道路橋梁費 1目 道路橋梁総務費)		決算書	97 ページ	担当部課	都市整備部用地課											
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)														
		123,658	【132,407】	122,206	【125,363】		【131,010】															
財 源 内 訳	使用料	48,682		48,903																		
	手数料	0		2																		
	基金繰入金	4,300		5,000																		
	諸収入	0		539																		
	一般財源	70,676		67,762																		
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性 (担当課意見)													
<p>1 防犯灯LED化事業</p> <p>防犯灯をLED化にすることにより、維持管理（電気料金含）コストの削減及び環境に配慮した低炭素社会へ貢献した。</p> <p>【令和3年度】</p> <p>リース（継続） 6,714基、新設 38基、LED化 89基、修繕取替 16基</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防犯灯LED化率</td> <td>72.2%</td> <td>88.0%</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※防犯灯LED化率 LED灯：10,473基／防犯灯全体：11,904基</p>									指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和3年度	令和5年度	防犯灯LED化率	72.2%	88.0%	100.0%	継続	維持管理コスト削減及び二酸化炭素の排出量を削減するため、今後も継続的に実施する。	
指標項目	基準	実績	目標																			
	平成25年度	令和3年度	令和5年度																			
防犯灯LED化率	72.2%	88.0%	100.0%																			
<p>(繰越明許費 2,223 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業名 (1)道路台帳検索システムデータ更新等業務委託(1,001千円) (2)日宮地区急傾斜地崩落対策工事に係る地図訂正・土地表題登記囑託(1,222千円) ・ 予算執行率 98.2% ・ 完了時期 (1)令和4年5月 (2)令和5年3月 																						

事業名	市道新設改良費（繰越明許）		（ 8款 土木費 1項 道路橋梁費 2目 道路新設改良費 ）		決算書	98 ページ	担当部課	都市整備部道路課
決算額【予算額】			令和2年度		令和3年度		令和4年度	
					15,510 【15,527】			
財 源 内 訳	市債				14,700			
	一般財源				810			
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 市道新設改良事業 市道小島5号線道路改良工事 外1路線 <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事請負費 小島5号線 外1路線 ・ 補償補填及び賠償金 小島5号線 							継続	小島5号線、高木新開発線の改良工事が完了し、生活道路の利便性が向上した。

事業名	市道新設改良費		（ 8款 土木費 1項 道路橋梁費 2目 道路新設改良費 ）		決算書	98 ページ	担当部課	都市整備部道路課
決算額【予算額】			令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			94,147 【113,800】		55,555 【68,530】		【115,300】	
財 源 内 訳	市債		89,400		0			
	一般財源		4,747		55,555			
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 市道新設改良事業 生活に密着した市道の拡幅改良、舗装新設等を行い、快適で利便性の高いまちづくりの向上に成果があった。 市道本村常国線 外12路線 <ul style="list-style-type: none"> ・ 委託料 市道本村常国線 外3路線 ・ 工事請負費 市道黒河508号線 外8路線 ・ 補償補填及び賠償金 市道作道55号線 							継続	13路線に着手し、うち3路線が工事を完了した。継続路線を含む地元要望路線については、引き続き安全で安心して利用できる道路の整備を計画的に進める。
（繰越明許費 12,972 千円） <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業名 市道作道140号線外測量設計業務委託 ・ 予算執行率 81.1% ・ 完了時期 令和4年9月 								

事業名	地方道路交付金事業費（繰越明許）				（ 8款 土木費 1項 道路橋梁費 2目 道路新設改良費 ）		決算書	98 ページ	担当部課	都市整備部道路課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）		
				15,256 【15,256】						
財 源 内 訳	国庫補助金			5,995						
	市債			5,600						
	一般財源			3,661						
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 社会資本整備総合交付金【国50/100（国55/100）】 ・ 工事請負費 市道今井北高木線舗装工事 外1路線								継続	市の地区間を連絡する道路、交通・物流拠点へのアクセス道路等、幹線市道の整備を計画的に進める。	

事業名	地方道路交付金事業費				（ 8款 土木費 1項 道路橋梁費 2目 道路新設改良費 ）		決算書	98 ページ	担当部課	都市整備部道路課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）		
		183,248 【198,896】		96,638 【236,188】		【211,841】				
財 源 内 訳	国庫補助金		91,417	50,795				工事の進捗による。		
	市債		84,100	39,200						
	一般財源		7,731	6,643						
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 社会資本整備総合交付金【国50/100（国55/100）】 活力ある地域づくりを目指し、市の地区間を連絡する道路、交通・物流拠点へのアクセス道路等、市内道路網の体系的な整備を行った。 また、通学路における歩道の設置など、安全・安心な歩行空間を確保し、快適に暮らせるまちづくりに成果があった。 ・ 市道三ヶ34号線 ・ 市道朴木赤井線 ・ 市道大門針原線 ・ 市道今井北高木線								継続	三ヶ34号線外3路線について、引き続き、市の地区間を連絡する道路、交通・物流拠点へのアクセス道路等、幹線市道の整備を計画的に進める。	
（繰越明許費 139,463 千円） ・ 事業名 市道今井北高木線交差点改良工事 外2路線 ・ 予算執行率 40.9% ・ 完了時期 令和4年12月										

事業名	道路橋梁維持費（繰越明許）		（ 8款 土木費 1項 道路橋梁費 3目 道路橋梁維持費 ）		決算書	99 ページ	担当部課	都市整備部道路課
決算額【予算額】		令和2年度	令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）	
			41,843	【41,843】				
財 源 内 訳	国庫補助金		1,706					
	市債		32,500					
	一般財源		7,637					
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 道路舗装修繕事業【国50/100】 道路舗装の修繕を実施したことで、安全で快適な道路交通に成果があった。 ・ 市道今井小杉白石線 外3路線							継続	道路舗装個別施設計画に基づき、4路線で舗装の補修工事を実施した。引き続き老朽化した道路舗装の補修を計画的に進める。

事業名	道路橋梁維持費		（ 8款 土木費 1項 道路橋梁費 3目 道路橋梁維持費 ）		決算書	98 ページ	担当部課	都市整備部道路課
決算額【予算額】		令和2年度	令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）	
		316,372	【359,163】	312,417	【342,006】		【272,954】	
財 源 内 訳	国庫補助金	0		8,930				
	市債	133,200		75,800				
	一般財源	183,172		227,687				
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 道路維持管理事業 道路パトロール、市民からの情報提供及び自治会等からの要望を基に、道路構造物の補修及び更新を実施し、道路の適正な維持管理を行うことにより、安全で快適な道路環境の保全に成果があった。 ・ 補修工事及び修繕件数 341件							継続	341件の修繕・補修工事を実施した。引き続き修繕・補修工事を行うとともに適正な維持管理に努め、道路の利便性の向上に取り組んでいく。
2 道路舗装補修事業 道路舗装の補修を実施したことで、安全で快適な道路交通の確保に成果があった。 ・ 市道八塚串田線 外4路線							継続	道路舗装個別施設計画に基づき、5路線で舗装の補修工事を実施した。引き続き老朽化した道路舗装の補修を計画的に進める。
（繰越明許費 28,224 千円） ・ 事業名 道路舗装補修事業等 ・ 予算執行率 91.7% ・ 完了時期 令和4年12月								

事業名	交通安全施設整備費		(8款 土木費 1項 道路橋梁費 3目 道路橋梁維持費)		決算書	98 ページ	担当部課	都市整備部道路課	
決算額【予算額】			令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)
			18,110	【18,128】	31,060	【39,425】		【22,128】	通学路緊急合同点検実施に伴い交付金の増額補正がなされたことによる。
財源内訳	国庫補助金				2,648				
	市債				1,900				
	基金繰入金		1,500		4,000				
	一般財源		16,610		22,511				
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)	
1 交通安全施設整備事業 住民の安全・安心及び快適な道路交通環境を確保するため、地区要望の中から早急に整備が必要な安全施設（反射鏡、防護柵、区画線等）を設置整備した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 補修工事及び修繕件数 51件 ・ 道路反射鏡 2基（新設） ・ 防護柵 L=59.2m（新設） ・ 区画線 L=33.8km 								継続 多くの地区要望から優先度の高い順に安全施設の整備を行った。引き続き、安全で安心して利用できる交通安全施設の整備を進める。	
(繰越明許費 8,337 千円) ・ 事業名 交通安全施設整備事業 ・ 予算執行率 78.8% ・ 完了時期 令和5年3月									

事業名	まちなみ環境整備事業費		(8款 土木費 1項 道路橋梁費 3目 道路橋梁維持費)		決算書	98 ページ	担当部課	都市整備部用地課	
決算額【予算額】			令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)
			3,437	【3,588】	3,003	【3,026】		【6,539】	事業主体となる自治会等数が年度で変動することによる。
財源内訳	一般財源		3,437		3,003				
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)	
1 まちなみ環境整備事業 自治会等が事業主体となって実施する施設整備工事や公共施設の除草管理機械購入等に対して補助を行い、協働で地域の環境を整備することにより、地域の生活環境の改善に成果があった。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 道路改良舗装事業 2地区 ・ 用水排水路整備事業 3地区 ・ 公共用地維持管理事業（草刈機購入） 1地区 								継続 自治会等が主体となって実施するまちなみ環境整備事業に対し、補助を行うことで、地域の生活環境改善が図られた。今後も、継続的に支援していく。	

事業名		橋梁長寿命化・耐震化対策事業費（繰越明許）			（ 8款 土木費 1項 道路橋梁費 3目 道路橋梁維持費 ）			決算書	99 ページ	担当部課	都市整備部道路課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
				101,824	【101,848】						
財 源 内 訳	国庫補助金			56,003							
	市債			43,100							
	一般財源			2,721							
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性（担当課意見）		
<p>1 橋梁長寿命化・耐震化対策事業費【国55/100】</p> <p>橋梁長寿命化修繕計画に基づき、市道片口43号線（悠基橋）等の補修及び耐震補強工事を実施したことにより、通行者の安全確保と橋梁の長寿命化に成果があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 委託料 橋梁詳細点検 橋長15m以上 6橋、橋長2m以上15m未満 22橋 工事請負費 補修、耐震補強工事 橋長15m以上 4橋、橋長2m以上15m未満 6橋 									継続	10橋の補修、耐震補強工事が完成した。今後も安全で安心して利用できる橋梁の補修工事を計画的に進める。	

事業名		橋梁長寿命化・耐震化対策事業費			（ 8款 土木費 1項 道路橋梁費 3目 道路橋梁維持費 ）			決算書	99 ページ	担当部課	都市整備部道路課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
		94,703	【196,550】	61,391	【94,350】		【145,000】				
財 源 内 訳	国庫補助金	52,017		33,765							
	市債	37,300		12,700							
	一般財源	5,386		14,926							
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性（担当課意見）		
<p>1 橋梁長寿命化・耐震化対策事業費【国55/100】</p> <p>橋梁長寿命化修繕計画に基づき、市道戸破101号線（新伝馬橋）等の補修設計及び耐震・補修工事を実施したことにより、通行者の安全確保と橋梁の長寿命化に成果があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 委託料 補修設計1橋、橋梁詳細点検 橋長15m以上 11橋、橋長2m以上15m未満 42橋 工事請負費 補修、塗替塗装工事 橋長15m以上 5橋、橋長2m以上15m未満 1橋 									継続	6橋の補修・塗替塗装工事に着手し、4橋が完了した。残りの2橋を含む老朽化した橋梁について、引き続き安全で安心して利用できる橋梁の補修工事を計画的に進める。	
<p>（繰越明許費 32,959 千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業名 補修、塗替塗装工事 橋長15m以上 2橋 予算執行率 65.1% 完了時期 令和5年3月 											

事業名	除雪対策費				(8款 土木費 1項 道路橋梁費 4目 雪害対策費)		決算書	99 ページ	担当部課	都市整備部道路課														
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)																
		839,330	【963,276】	607,574	【610,431】		【223,593】																	
財 源 内 訳	国庫補助金		140,830		61,546																			
	一般財源		698,500		546,028																			
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)																
<p>1 道路除雪事業【国2/3】</p> <p>冬期間の市民生活や社会活動の安定を図るため、除雪計画路線を機械除雪又は消雪装置により効率的に除排雪することで、安全で円滑な道路交通の確保に効果があった。</p> <p>〈除雪計画路線〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>延長</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市道</td> <td>865.2km</td> </tr> <tr> <td> うち機械除雪</td> <td>527.2km</td> </tr> <tr> <td> うち消雪路線</td> <td>182.2km</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>709.4km</td> </tr> </tbody> </table> <p>〈除雪機械台数及び協力業者数〉</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>除雪車</td> <td>335台</td> </tr> <tr> <td>協力業者</td> <td>125社</td> </tr> </tbody> </table> <p>〈除雪車出動日数〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内全域除雪 (早朝・日中) 9日 ・ 丘陵部のみ早朝除雪 1日 ・ 歩道部のみ早朝除雪 2日 ・ 排雪作業 17日 ・ 凍結防止剤散布 9日 								区分	延長	市道	865.2km	うち機械除雪	527.2km	うち消雪路線	182.2km	計	709.4km	除雪車	335台	協力業者	125社	<p>継続</p> <p>センサーやカメラなどのIoTを活用した積雪及び路面状況の把握に努め、効率的な除排雪を行った。引き続き、冬期間においても安全で円滑な道路交通の確保に努める。</p>		
区分	延長																							
市道	865.2km																							
うち機械除雪	527.2km																							
うち消雪路線	182.2km																							
計	709.4km																							
除雪車	335台																							
協力業者	125社																							

事業名	地域ぐるみ除排雪促進費		(8款 土木費 1項 道路橋梁費 4目 雪害対策費)		決算書	99 ページ	担当部課	都市整備部道路課											
決算額【予算額】		令和2年度	令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)												
		8,634	【11,044】		8,396		【8,972】												
財源内訳	県補助金	2,449	3,747																
	一般財源	6,185	4,649																
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性 (担当課意見)												
<p>1 地域ぐるみ除排雪事業【県1/3】</p> <p>冬期間における道路の円滑な交通確保のために、地域振興会や除排雪協議会等に小型除雪機械を貸与し、生活道路や歩道等の除排雪を地域ぐるみで行うことで、きめ細やかで市民ニーズに対応した道路利用の確保が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小型タイヤショベル等の購入 地域ぐるみ除排雪のため、新たに小型タイヤショベル2台、ハンドガイド1台を購入し、3地区の機械を更新した。 ・ 事業実施団体数 49地区 ・ 除雪機械台数 75台 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域ぐるみ除排雪機械台数</td> <td>66台</td> <td>75台</td> <td>71台</td> </tr> </tbody> </table>							指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和3年度	令和5年度	地域ぐるみ除排雪機械台数	66台	75台	71台	継続	除雪機械の更新を3台行い、地域間の生活道路の交通確保を図った。引き続き地域と連携を図りながら地域ぐるみ除排雪に取り組み、冬期間における円滑な交通確保に努める。
指標項目	基準	実績	目標																
	平成25年度	令和3年度	令和5年度																
地域ぐるみ除排雪機械台数	66台	75台	71台																

事業名	消雪施設維持管理費 (繰越明許)		(8款 土木費 1項 道路橋梁費 4目 雪害対策費)		決算書	99 ページ	担当部課	都市整備部道路課
決算額【予算額】		令和2年度	令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)	
			27,142		【27,142】			
財源内訳	国庫補助金		16,285					
	一般財源		10,857					
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性 (担当課意見)	
<p>1 消雪施設維持管理費【国60/100】</p> <p>冬期間の円滑な交通確保のために消雪施設の修繕・更新を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小杉11号消雪施設電気機械設備設置工事 ・ 小杉13号消雪施設送水ポンプ更新工事 ・ 小杉4号消雪ノズル更新工事 							継続	小杉11号、13号、4号の消雪施設の修繕・更新工事を実施した。今後も計画的に更新を行うとともに適正な維持管理に努める。

事業名		消雪施設維持管理費				(8款 土木費 1項 道路橋梁費 4目 雪害対策費)		決算書	99 ページ	担当部課	都市整備部道路課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)			
		195,541	【222,741】	191,036	【194,111】		【220,431】				
財 源 内 訳	国庫補助金	21,407		28,457							
	諸収入	1,037		710							
	市債	0		17,000							
	一般財源	173,097		144,870							
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性 (担当課意見)		
1 消雪施設維持管理費【国60/100】 冬期間の円滑な交通確保のために消雪施設の修繕・更新を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 機械設備更新 5か所 ・ 電動弁室更新 2か所 ・ その他修繕 3か所 (繰・現1工事含) 									継 続	10箇所の消雪施設の修繕・更新工 事を実施した。今後も計画的に更新 を行うとともに適正な維持管理に努 める。	
(繰越明許費 2,885 千円) ・ 事業名 大門9号消雪施設送水ピット配管更新工事 ・ 予算執行率 98.5% ・ 完了時期 令和4年10月											

事業名	土砂災害対策費（繰越明許）		（ 8款 土木費 1項 道路橋梁費 5目 土砂災害対策費 ）		決算書	100 ページ	担当部課	都市整備部河川・港湾課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
				5,830	【5,830】			
財 源 内 訳	県補助金			2,100				
	市債			3,700				
	一般財源			30				
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性（担当課意見）	
<p>1 富山県小規模急傾斜地崩壊対策事業【県1/2】</p> <p>土砂災害から市民の安全・安心な暮らしを守るため、土砂災害警戒区域内の急傾斜地崩落危険個所に対し、急傾斜地崩壊対策施設整備を行うことにより、土砂災害を未然に防ぐ効果が期待できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日宮地内急傾斜地崩壊対策 A=1,867㎡ 地質調査、用地測量、設計業務 平成23年度～平成24年度 工事（現場吹付法砕工による土留） 平成24年度～令和2年度 用地測量業務委託 令和2年度～令和3年度 受注者（有）山順測量設計 委託期間 令和2年10月21日～令和3年10月8日 委託料 5,830千円 							<p>継続</p> <p>日宮地区の対策工事完了に伴い、令和3年度に対象地区の土砂災害計画区域が一部解除された。今後は、令和3年度に実施した施設整備箇所の用地測量に基づき、土地の分筆登記を行うため、地権者や法務局との協議を進める。</p>	

事業名	河川管理費		（ 8款 土木費 2項 海岸河川費 1目 海岸河川総務費 ）		決算書	100 ページ	担当部課	都市整備部河川・港湾課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
		28,996	【134,219】	22,381	【22,562】		【26,373】	
財 源 内 訳	県委託金	71		90				
	市債	5,900		0				
	一般財源	23,025		22,291				
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性（担当課意見）	
<p>1 管理施設の維持管理</p> <p>内川等に設置されている水門、排水ポンプ等の維持管理・修繕、下条川散策路、水辺の楽校等の植栽管理・除草等を実施することにより、周辺住民や河川利用者に対し、高潮、大雨等による水害予防や良好な環境保全に効果があった。</p>							<p>継続</p> <p>管理施設を良好な状態に保つように維持管理を行った。今後も引き続き水害予防、良好な環境の保全を図る。</p>	
<p>2 和田川フラップゲートの更新</p> <p>和田川からの逆流を防止する目的で設置してある9ヶ所のフラップゲートの老朽化対策が、令和3年度に完了したことにより、逆流防止機能が維持され、地域住民の安全性を保持した。</p> <ul style="list-style-type: none"> フラップゲート更新 令和3年度 3ヶ所 							<p>完了</p> <p>老朽化したフラップゲートの更新を行い、逆流防止機能の維持を図った。今後も適切な維持管理に努める。</p>	

事業名		海岸総務費				(8款 土木費 2項 海岸河川費 1目 海岸河川総務費)		決算書	100 ページ	担当部課	都市整備部河川・港湾課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)			
		7,862	【7,884】	7,897	【8,094】						
財 源 内 訳	県委託金	3,822		3,799							
	一般財源	4,040		4,098							
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性 (担当課意見)	
<p>1 海老江海浜公園の清掃業務等委託業務【県1/2】</p> <p>海老江海浜公園の「管理業務」を地元の海老江海浜公園美化委員会に、「樹木管理」を市内造園業者に委託し、適切な管理を行美観を維持した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 海老江海浜公園管理業務委託 <ul style="list-style-type: none"> 委託先 海老江海浜公園美化委員会 委託期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日 委託料 2,545千円 海老江海浜公園樹木管理業務委託 <ul style="list-style-type: none"> 委託先 (有)盛田造園 委託期間 令和3年5月20日～令和4年3月23日 委託料 4,277千円 										継 続	<p>地元の協力のおかげで、公園の美観を維持できており、年間を通じて、多くの人を訪れる公園となっている。</p> <p>今後は、海老江海浜公園（海水浴場）の運営管理について、海老江海浜公園との一体的管理も視野に、民間活力の導入を含め検討していく。</p>

事業名	みなとまちづくり事業費		(8款 土木費 3項 港湾費 1目 港湾総務費)		決算書	101 ページ	担当部課	都市整備部河川・港湾課																													
決算額【予算額】		令和2年度	令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																														
		1,639	【1,818】		【13,488】																																
財源内訳	一般財源	1,639	1,186																																		
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性（担当課意見）																														
<p>1 観光集客施設立地促進助成金</p> <p>令和3年度は、1事業者に固定資産税相当額（建物）を助成する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止における軽減措置により、令和3年度課税分の固定資産税が全額軽減されたため、当該助成は行わなかった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業者名</th> <th>施設名</th> <th>助成期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新湊うまいもん(株)</td> <td>新湊きつときと市場</td> <td>平成24年度～28年度</td> </tr> <tr> <td>(株)カモンハウス海王</td> <td>フェリシーナ</td> <td>平成25年度～29年度</td> </tr> <tr> <td>棚辺水産(株)</td> <td>しろえび壺番屋</td> <td>平成27年度～令和元年度</td> </tr> <tr> <td>(同)新湊ベイブリッジ</td> <td>海の駅新湊Sazan</td> <td>平成28年度～令和2年度</td> </tr> <tr> <td>木谷泰子</td> <td>貴婦人館</td> <td>平成29年度～令和3年度</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宿泊・観光集客施設立地促進助成金制度利用者数</td> <td>2件</td> <td>5件</td> <td>6件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※港湾地区のみ</p>							事業者名	施設名	助成期間	新湊うまいもん(株)	新湊きつときと市場	平成24年度～28年度	(株)カモンハウス海王	フェリシーナ	平成25年度～29年度	棚辺水産(株)	しろえび壺番屋	平成27年度～令和元年度	(同)新湊ベイブリッジ	海の駅新湊Sazan	平成28年度～令和2年度	木谷泰子	貴婦人館	平成29年度～令和3年度	指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和2年度	令和5年度	宿泊・観光集客施設立地促進助成金制度利用者数	2件	5件	6件	<p>継続</p> <p>ここ数年は新規の事業者を呼び込めておらず、実績を伸ばし切れていない。今後は、実績を伸ばすことで、より一層のベイエリアの賑わいを創出を図りたい。</p>	
事業者名	施設名	助成期間																																			
新湊うまいもん(株)	新湊きつときと市場	平成24年度～28年度																																			
(株)カモンハウス海王	フェリシーナ	平成25年度～29年度																																			
棚辺水産(株)	しろえび壺番屋	平成27年度～令和元年度																																			
(同)新湊ベイブリッジ	海の駅新湊Sazan	平成28年度～令和2年度																																			
木谷泰子	貴婦人館	平成29年度～令和3年度																																			
指標項目	基準	実績	目標																																		
	平成25年度	令和2年度	令和5年度																																		
宿泊・観光集客施設立地促進助成金制度利用者数	2件	5件	6件																																		

事業名	港湾建設促進費		(8款 土木費 3項 港湾費 2目 港湾建設費)		決算書	101 ページ	担当部課	都市整備部河川・港湾課
決算額【予算額】		令和2年度	令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）	
		24,000	【24,000】		【24,000】			
財源内訳	市債	24,000	24,000					
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性（担当課意見）	
<p>1 県単独港湾改良整備事業地元負担金</p> <p>港湾の機能充実等を図るため、県が単独で実施する港湾改良整備事業に対し、市がその費用の一部を負担したことにより、環境整備が促進され利便性の向上が図られた。（県6/10、市4/10）</p> <ul style="list-style-type: none"> 中野整理場護岸 護岸修繕 							<p>継続</p> <p>本事業により改良整備が行われることで、確実に港湾関連施設の利便性が向上している。今後も対象となる案件を追加し更なる利便性の向上を図る。</p>	

事業名	海王丸パーク活用推進費		(8款 土木費 3項 港湾費 3目 海王丸パーク活用推進費)		決算書	101 ページ	担当部課	都市整備部河川・港湾課											
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)											
		70,612	【75,142】	70,033	【75,531】		【71,198】												
財源内訳	国庫補助金	350		2,353															
	基金繰入金	500		0															
	一般財源	69,762		67,680															
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)											
<p>1 (公財) 伏木富山港・海王丸財団等への補助金及び負担金</p> <p>海王丸パークのにぎわいを創出し、地域の活性化を図るため、(公財) 伏木富山港・海王丸財団及び富山県に対して、帆船海王丸及び海王丸パークの維持管理やパークでの各種イベント等の実施に係る下記補助金等を支出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 帆船海王丸保存活用等事業補助金 ・ 海王丸パーク等管理運営費補助金 ・ 海王丸パークイベント開催事業補助金 ・ (公財) 伏木富山港・海王丸財団への県派遣職員の給与等に対する負担金 ・ 海王丸パーク管理業務経費に関する負担金 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海王丸パーク周辺入込数</td> <td>1,003,400人</td> <td>577,000人</td> <td>1,030,000人</td> </tr> </tbody> </table>								指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和3年度	令和5年度	海王丸パーク周辺入込数	1,003,400人	577,000人	1,030,000人	<p>継続</p> <p>2年連続で新型コロナウイルス感染症の影響を受け、総帆展帆等のイベントが開催できなかったことから、前年度比、入込数に変動はなかった。</p> <p>今後は、ウィズコロナの観点から、より魅力的な観光名所となるよう、帆船海王丸を活用した人々の交流拠点として、にぎわい創出を図っていく。</p>
指標項目	基準	実績	目標																
	平成25年度	令和3年度	令和5年度																
海王丸パーク周辺入込数	1,003,400人	577,000人	1,030,000人																

事業名	都市計画総務費		(8款 土木費 4項 都市計画費 1目 都市計画総務費)		決算書	102 ページ	担当部課	都市整備部都市計画課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)
		6,627	【8,891】	5,186	【5,914】		【35,752】	
財源内訳	手数料	1,337		1,672				
	国庫補助金	138		1,974				
	財産運用収入	864		864				
	諸収入	61		83				
	一般財源	4,227		593				
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)
<p>1 立地適正化計画策定支援業務委託【国1/2】</p> <p>医療、福祉及び商業等の日常生活のサービス施設や住宅等の適正な立地を誘導するための方策を策定した。</p> <p>委託先 (株)新日本コンサルタント</p> <p>委託期間 令和3年6月16日～令和4年3月25日</p> <p>委託料 3,630千円</p>								<p>継続</p> <p>令和3年度は、都市機能区域、居住誘導区域の方向性を示し、令和4年度において、計画公表に向け取り組む。</p>

事業名	地籍調査費				(8款 土木費 4項 都市計画費 1目 都市計画総務費)		決算書	102 ページ	担当部課	都市整備部用地課	
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)			
		4,035	【4,125】	15,624	【15,669】		【27,125】	広上1期地区において現地立会い及び一筆地測量の工程を実施したことにより事業費が大幅に増加したことによる。			
財源内訳	県補助金	2,520		11,415							
	一般財源	1,515		4,209							
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)			
<p>1 地籍調査事業【国1/2 県1/4】</p> <p>土地の位置や境界、面積等を明確にすることにより、土地取引や公共事業の円滑な実施等に効果が期待できる地籍調査事業を実施した。</p> <p>(1) 港町地区 対象面積 A = 0.06km²</p> <p>委託先 朝日コンサルタンツ(株)</p> <p>委託期間 令和3年6月17日～令和4年3月1日</p> <p>委託料 1,870千円</p> <p>(2) 広上1期地区 対象面積 A = 0.15km²</p> <p>委託先 (株)上智</p> <p>委託期間 令和3年6月16日～令和4年3月1日</p> <p>委託料 9,680千円</p> <p>(3) 上野1期・上野2期地区 対象面積 A = 0.16km²</p> <p>委託先 (株)上智</p> <p>委託期間 令和3年6月16日～令和4年3月1日</p> <p>委託料 3,245千円</p>								継続	<p>港町地区については、閲覧工程まで完了し、令和4年度は認証請求を行う。</p> <p>広上地区については、調査範囲を1期、2期、3期に分割し、令和3年度は1期の現地調査、細部図根測量及び一筆地測量を実施した。令和4年度以降は、各期の閲覧工程完了後順次、認証請求及び法務局へ成果の認証を行っていく。</p> <p>上野1期・2期地区については、令和4年度に現地調査等を実施し、令和6年度末の閲覧工程完了を予定している。</p> <p>今後も土地取引や公共事業の円滑な実施に向けて、地籍調査を推進していく。</p>		
指標項目		基準	実績	目標							
		平成25年度	令和3年度	令和5年度							
地籍調査整備率		20.8%	22.0%	25.0%							

事業名	街路事業費		(8款 土木費 4項 都市計画費 2目 街路事業費)		決算書	102 ページ	担当部課	都市整備部都市計画課
決算額【予算額】		令和2年度	令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)	
		21,415	【21,415】		64,765		【64,765】	
財源内訳	市債	17,600	56,600					
	一般財源	3,815	8,165					
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性 (担当課意見)	
1 都市計画道路整備事業 (県事業) ・ (都) 二口北野線整備負担金 大島北野地内の慢性的な交通渋滞の解消と、歩行者や自転車の安全確保を図るため、事業用地の買収・物件移転補償及び工事を実施した。							継続	慢性的な交通渋滞の解消と、安全で円滑な交通の確保を図るため、今後も、(都)二口北野線の未整備区間の整備促進を実施する。

事業名	まちづくり交付金事業費 (繰越明許)		(8款 土木費 4項 都市計画費 3目 市街地整備費)		決算書	102 ページ	担当部課	都市整備部都市計画課
決算額【予算額】		令和2年度	令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)	
			125,078		【125,093】			
財源内訳	国庫補助金		61,724					
	市債		61,400					
	一般財源		1,954					
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性 (担当課意見)	
1 街路事業【国55/100】 越中大門駅と市街地のアクセス向上を図るため、都市計画道路駅前線の道路整備を実施した。 都市計画道路駅前線整備計画 (延長L=311m、幅員W=20m、駅前広場面積A=2,100㎡) [事業期間 平成26年度～令和3年度] <ul style="list-style-type: none"> 物件移転補償 N=1件 (越中大門駅電気設備支障移転) 越中大門駅前広場整備工事 N=1式 (ロータリー整備等) 都市計画道路駅前線信号機移設工事 N=1か所 							継続	工事完成に伴い、駅周辺の安全性や利便性が一層高まり、良好な駅前空間の創出が図られた。今後は、付帯工事である大島南部公園の一部改修を実施する。
2 都市再生整備計画事業【国4/10】 新湊地区の市街地に点在する観光拠点を結ぶ観光ネットワークの構築、良好な住環境整備を行い、安全で快適なまちづくりを進めた。 新湊地区都市再生整備計画 [事業期間 平成30年度～令和3年度] <ul style="list-style-type: none"> 市道新湊270号線歩道整備工事 L=36m 空間賑わい創出支援電源設備工事 N=1か所 							完了	新湊地区の市街地と観光資源である内川をつなぐ「市道新湊270号線」の歩道整備が完成し、安全で快適なまちづくりが推進された。

事業名	まちづくり交付金事業費		(8款 土木費 4項 都市計画費 3目 市街地整備費)		決算書	102 ページ	担当部課	都市整備部都市計画課																																			
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)																																			
		120,945	【246,079】	179,860	【180,758】		【6,128】	街路事業及び都市再生整備計画事業の進捗による。																																			
財源内訳	国庫補助金	50,442		84,154																																							
	市債	64,300		79,100																																							
	一般財源	6,203		16,606																																							
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)																																			
<p>1 街路事業【国55/100】 越中大門駅と市街地のアクセス向上を図るため、都市計画道路駅前線の道路整備を実施した。 都市計画道路駅前線整備計画 (延長L=311m、幅員W=20m、駅前広場面積A=2,100㎡) 〔事業期間 平成26年度～令和3年度〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 物件移転補償N=1件 ・ (都)駅前線道路改良工事L=311m 								継続	工事完成に伴い、駅周辺の安全性や利便性が一層高まり、良好な駅前空間の創出が図られた。今後は、付帯工事である大島南部公園の一部改修を実施する。																																		
<p>2 都市再生整備計画事業【国4/10】 新湊地区の市街地に点在する観光拠点を結ぶ観光ネットワークの構築、良好な住環境整備を行い安全で快適なまちづくりを進めた。 新湊地区都市再生整備計画 〔事業期間 平成30年度～令和3年度〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市道新湊270号線歩道整備工事 L=42m ・ 空間賑わい創出支援電源設備工事 N=4か所 <p>中心市街地の魅力再生と内川から中心市街地への景観づくりによる活力あるまちづくりを定量化する指標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">基準</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th colspan="2">令和3年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>西新湊駅乗降客数</td> <td>233,027人/年(平成26年度)</td> <td colspan="2">164,548人/年</td> <td colspan="2">238,000人/年</td> </tr> <tr> <td>ロケ地来訪者(川の駅)数</td> <td>35,439人/年(平成26年度)</td> <td colspan="2">27,232人</td> <td colspan="2">39,000人</td> </tr> <tr> <td>地区内人口数</td> <td>7,864人(平成29年度)</td> <td colspan="2">6,960人/年</td> <td colspan="2">7,860人/年</td> </tr> <tr> <td>クロスベイ新湊入込客数</td> <td>0人/年(平成29年度)</td> <td colspan="2">117,044人/年</td> <td colspan="2">73,800人/年</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症の流行に伴う外出自粛の影響によるもの。 ・ 新湊地区の人口が減少傾向にある影響によるもの。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新湊地区都市再生整備計画事業効果分析調査業務委託 委託先 (株)国土開発センター射水営業所 委託期間 令和3年9月10日～令和4年3月23日 委託料 2,145千円 								項目	基準	実績		目標		令和3年度		令和3年度		西新湊駅乗降客数	233,027人/年(平成26年度)	164,548人/年		238,000人/年		ロケ地来訪者(川の駅)数	35,439人/年(平成26年度)	27,232人		39,000人		地区内人口数	7,864人(平成29年度)	6,960人/年		7,860人/年		クロスベイ新湊入込客数	0人/年(平成29年度)	117,044人/年		73,800人/年		完了	新湊地区の市街地と観光資源である内川をつなぐ「市道新湊270号線」の歩道整備が完成し、安全で快適なまちづくりが推進された。
項目	基準	実績		目標																																							
		令和3年度		令和3年度																																							
西新湊駅乗降客数	233,027人/年(平成26年度)	164,548人/年		238,000人/年																																							
ロケ地来訪者(川の駅)数	35,439人/年(平成26年度)	27,232人		39,000人																																							
地区内人口数	7,864人(平成29年度)	6,960人/年		7,860人/年																																							
クロスベイ新湊入込客数	0人/年(平成29年度)	117,044人/年		73,800人/年																																							
<p>(繰越明許費 863千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業名 まちづくり交付金事業(街路事業) ・ 予算執行率 99.5% ・ 完了時期 令和4年10月 																																											

事業名		公園維持管理費（繰越明許）				（ 8款 土木費 4項 都市計画費 4目 公園費 ）		決算書	103 ページ	担当部課	都市整備部都市計画課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
				79,652	【79,668】						
財 源 内 訳	国庫補助金			21,667							
	市債			21,500							
	県補助金			18,158							
	一般財源			18,327							
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）	
<p>1 公園施設長寿命化対策事業【国5/10】</p> <p>令和2年度に策定した射水市都市公園長寿命化計画に基づき、大規模な都市公園の園路及び小規模な都市公園の遊具の更新等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大島中央公園園路更新工事 A=230㎡ ・ 足洗潟公園園路更新工事 A=752㎡ ・ 都市公園遊具更新工事 N=6基 ・ 足洗潟公園トイレ実施設計業務委託 委 託 先 (株)大代設計 委 託 期 間 令和3年6月16日～11月19日 委 託 料 2,035千円 										継続	公園施設長寿命化計画に基づき都市公園の施設の更新を実施した。
<p>2 まちの未来創造モデル事業【県5/10】</p> <p>公園の魅力向上を目的に、「足洗潟公園ワークショップ」において、富山高等専門学校（射水キャンパス）の学生等からの提案を踏まえ、老若男女誰もが集える場所を目指し、ドッグラン等の公園整備を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 足洗潟公園東広場改修工事 ドッグラン A=1,780㎡、フリーWi-Fi等 										完了	工事完成に伴い、公園の魅力向上が形成された。今後は、周辺施設と一体的な利用で賑わい創出を図る。

事業名		公園維持管理費		(8款 土木費 4項 都市計画費 4目 公園費)		決算書	103 ページ	担当部課	都市整備部都市計画課	
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)		
		178,520	【258,616】	139,224	【169,721】		【158,342】	公園施設長寿命化対策事業の財源である社会資本整備総合交付金の直近3か年の内示額による。 令和2年度：77,000千円(補正含) 令和3年度：40,000千円(補正含) 令和4年度：20,000千円		
財源内訳	使用料	市債	6,636	21,100	7,943	6,200				
	国庫補助金	一般財源	16,833	125,133	5,000	117,331				
	県補助金		1,841		0					
	基金繰入金		4,000		0					
	諸収入		2,977		2,750					
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)		
<p>1 公園維持管理及び遊具点検業務</p> <p>都市公園 (147か所) 及びそれ以外の公園 (151か所) の除草、剪定、防除等の維持管理や遊具の点検を実施した。遊具については点検結果を受け損傷部の修繕を実施し安全を確保した。</p>								継続	樹木や遊具等の公園施設の維持管理を図ったことで、公園の安全を確保することができた。 今後も地域型市民協働事業等を活用しながら、公園・緑地の適切な管理に努める。	
<p>2 公園施設長寿命化対策事業【国5/10】</p> <p>令和2年度に策定した射水市都市公園長寿命化計画に基づき、大規模な都市公園の園路及び小規模な都市公園の遊具の更新等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 歌の森運動公園園路更新工事 A=486㎡ 都市公園遊具更新工事 N=1基 								継続	公園施設長寿命化計画に基づき都市公園の施設の更新を実施した。	
<p>(繰越明許費 30,017 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業名 公園施設長寿命化対策事業 予算執行率 82.3% 完了時期 令和5年3月 										

事業名		市営住宅維持管理費				(8款 土木費 6項 住宅費 1目 住宅管理費)				決算書	104 ページ	担当部課	都市整備部建築住宅課	
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)						
		79,356	【81,074】	75,412	【76,436】								庄西市営住宅屋上防水工事を施工したことによる。	
財 源 内 訳	使用料	78,086		69,329										
	国庫補助金	1,270		6,083										
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性 (担当課意見)			
<p>1 庄西市営住宅屋上防水工事【国45/100】</p> <p>本市の公営住宅について、効果的な改善事業を実施することにより、建築物のライフサイクルコストの縮減に向けて、計画的に推進することとして策定した「射水市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、長寿命化改善を行った。</p> <p>受注者 北陸防水(株)</p> <p>施工期間 令和3年7月29日～12月7日</p> <p>工事請負費 15,505千円</p>											継続	<p>計画に基づき、令和4年度は殿村市営住宅について改善事業（屋上防水工事）を実施することとし、以降も計画に沿って事業を推進する。</p>		

事業名	住まい・まちづくり費 (8款 土木費 6項 住宅費 1目 住宅管理費)				決算書	104 ページ	担当部課	都市整備部建築住宅課 産業経済部観光・定住課												
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)												
		57,608	【73,229】	68,549	【78,480】		【59,973】	空き家等実態調査を実施したことによる。												
財源内訳	国庫補助金	2,250		9,406																
	県補助金	880		590																
	諸収入	21,520		19,466																
	一般財源	32,958		39,087																
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)												
<p>1 空き家対策事業</p> <p>(1) 実態調査</p> <p>市域全体の空き家に対する外観調査や空き家所有者に対するアンケート調査を実施し、現状把握を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 射水市空き家等実態調査業務委託【国1/2】 委託先 (株)創計画研究所 委託期間 令和3年5月20日～令和4年3月4日 委託料 9,075千円 <p>(2) 支援事業</p> <p>老朽危険空き家の所有者に対し、解体及び解体後の新築に対する支援を行い住環境の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 老朽危険空き家解体補助 (上限500千円)【国1/2】 解体後の住宅の新築補助 (上限600千円) 解体後の跡地購入費補助 (上限300千円) <p><補助実績></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>危険空き家解体</td> <td>9件</td> <td>10件</td> </tr> <tr> <td>解体後の新築</td> <td>0件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>解体後跡地購入</td> <td>1件</td> <td>0件</td> </tr> </tbody> </table>								年度	令和2年度	令和3年度	危険空き家解体	9件	10件	解体後の新築	0件	1件	解体後跡地購入	1件	0件	<p>継続</p> <p>空き家等実態調査の結果を踏まえ、老朽危険空き家の対策として、空き家所有者による解体工事等に係る費用の支援を継続し、住環境の維持及び向上を図る。</p>
年度	令和2年度	令和3年度																		
危険空き家解体	9件	10件																		
解体後の新築	0件	1件																		
解体後跡地購入	1件	0件																		

主な事業内容・成果				評価と今後の方向性（担当課意見）																								
<p>2 若者世帯への定住促進家賃補助 新婚世帯・子育て世帯・転入世帯に対し、賃貸住宅の家賃に対する支援を行ったことにより、若者世帯の定住促進を図った。 ・ 若者世帯定住促進家賃補助（上限20千円/月） <新規補助実績></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>転入世帯</td> <td>27件</td> <td>11件</td> </tr> <tr> <td>新婚世帯</td> <td>1件</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>子育て世帯</td> <td>2件</td> <td>3件</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成30年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市の移住制度を活用して、移住した人数</td> <td>88人</td> <td>67人</td> <td>100人</td> </tr> </tbody> </table>				年度	令和2年度	令和3年度	転入世帯	27件	11件	新婚世帯	1件	2件	子育て世帯	2件	3件	指標項目	基準	実績	目標	平成30年度	令和3年度	令和5年度	市の移住制度を活用して、移住した人数	88人	67人	100人	継続	<p>本市の移住制度を活用して移住した67人のうち、本事業を利用した移住者は21人であった。引き続き、新婚世帯向けの新生活スタートアップ事業と連携して実施するとともに、移住相談窓口やホームページにおいて事業の周知、利用の推進に努め、若者世帯の定住促進につなげていく。</p>
年度	令和2年度	令和3年度																										
転入世帯	27件	11件																										
新婚世帯	1件	2件																										
子育て世帯	2件	3件																										
指標項目	基準	実績	目標																									
	平成30年度	令和3年度	令和5年度																									
市の移住制度を活用して、移住した人数	88人	67人	100人																									
<p>3 親・祖父母と暮らす住宅リフォーム等支援 親や祖父母と同居するための住宅の増改築、リフォーム工事費の一部を助成するにより、空き家の発生防止、定住人口の増加及び地域活性化を図った。 ・ 増改築及びリフォーム工事費補助（上限300千円） <補助実績></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交付件数</td> <td>2件</td> </tr> </tbody> </table>				年度	令和3年度	交付件数	2件	継続	<p>制度の利用によって親元に戻って同居する世帯が増加することで、地域活性化が図られるよう、一層の制度周知に努める。</p>																			
年度	令和3年度																											
交付件数	2件																											
<p>4 指定宅地取得支援 市が指定する未利用地を購入した者に対し、土地取得費の一部を助成することで、子育て世帯をはじめとする定住人口の増加と良好な住宅環境の形成を図った。 ・ 取得した土地面積×2,600円/㎡を3か年に分けて助成（上限600千円） <補助実績></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交付件数</td> <td>82件</td> <td>73件</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成30年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指定宅地における住宅建築率</td> <td>41.9%</td> <td>45.9%</td> <td>50.0%</td> </tr> </tbody> </table>				年度	令和2年度	令和3年度	交付件数	82件	73件	指標項目	基準	実績	目標	平成30年度	令和3年度	令和5年度	指定宅地における住宅建築率	41.9%	45.9%	50.0%	継続	<p>移住情報の発信を積極的に進めたことから、当該事業の周知が図られたことから、補助実績は概ね80件前後を維持している。引き続き、未活用の土地の利用を図るとともに、市内定住及び人口流出対策を着実に実施していく。</p>						
年度	令和2年度	令和3年度																										
交付件数	82件	73件																										
指標項目	基準	実績	目標																									
	平成30年度	令和3年度	令和5年度																									
指定宅地における住宅建築率	41.9%	45.9%	50.0%																									

事業名	重点密集市街地整備費		(8款 土木費 6項 住宅費 1目 住宅管理費)		決算書	104 ページ	担当部課	都市整備部建築住宅課										
決算額【予算額】			令和2年度		令和3年度		令和4年度											
			295,903	【296,709】	205,276	【219,527】		【178,480】										
財 源 内 訳	国庫補助金		143,459		99,083													
	市債		17,200		84,600													
	一般財源		135,244		21,593													
特記事項 (決算規模の変動要因等)								四十物町地区 (八幡町一丁目) において、令和2年度から本格的に着手した道路改良工事や土地地区画整理事業が令和3年度に完成したことによる。										
主な事業内容・成果																		
評価と今後の方向性 (担当課意見)																		
<p>1 放生津地区住宅市街地総合整備事業【国1/2】</p> <p>安全で安心して暮らせる活気あるまちづくり推進のため、地元住民、自治会及び権利者等に対して合意形成を図り、説明会及び個別面談を実施し、老朽建築物等の買収を行うことにより、環境整備を図った。</p> <p>(1) 検討会の開催</p> <p>土地利用計画を策定するため、検討会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 世話人会 (中町東部) 1回 <p>事業の進捗状況や今後の事業計画、意見交換のため、区域内の自治会長と検討会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災まちづくり検討会 (四自治会長会議) 1回 <p>(2) 個別面談の実施</p> <p>土地利用の検討をするため、権利者に対して個別面談を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中町東部 <p>(3) 老朽建築物等買収</p> <p>地区整備のために、権利者から老朽建築物等を買収した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 老朽建築物買収 15棟 ・ 物件移転補償 (引越費用) 15件 <table border="1" data-bbox="161 938 1267 1040"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>重点密集市街地等の整備率 (面整備)</td> <td>10.1%</td> <td>66.3%</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(繰越明許費 12,968千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業名 中町東部地区測量設計業務委託、物件移転補償 ・ 予算執行率 94.1% ・ 完了時期 令和4年10月 									指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和3年度	令和5年度	重点密集市街地等の整備率 (面整備)	10.1%	66.3%
指標項目	基準	実績	目標															
	平成25年度	令和3年度	令和5年度															
重点密集市街地等の整備率 (面整備)	10.1%	66.3%	100.0%															
<p>整備地区を6地区に分割して事業に取り組んでいる。</p> <p>令和3年度に四十物町地区が完成し、6地区のうち中町西部、奈呉町第一、山王町、四十物町の4地区の整備が完了した。</p> <p>引き続き、中町東部地区、奈呉町第二地区で地区測量等を進め、事業の進捗を図る。</p>																		

9 款 消 防 費

事業名	常備消防費		(9款 消防費 1項 消防費 1目 常備消防費)		決算書	104 ページ	担当部課	消防本部総務課												
決算額【予算額】			令和2年度		令和3年度		令和4年度													
			55,555	【58,152】	58,569	【61,573】		【57,130】												
財源内訳	使用料		224		218															
	手数料		3,251		3,162															
	財産売払収入		242		4,011															
	諸収入		19,654		18,449															
	一般財源		32,184		32,729															
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性（担当課意見）													
<p>1 消防学校等への派遣 消防に必要な知識・技能を習得するために、県消防学校へ職員を派遣し、専門知識・技術を習得した。また、現場活動に必要な資格も取得した。 <職員研修派遣状況></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消防大学校</td> <td>0人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>県消防学校</td> <td>17人</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>研修・講習会</td> <td>4人</td> <td>11人</td> </tr> </tbody> </table>							区分	令和2年度	令和3年度	消防大学校	0人	1人	県消防学校	17人	18人	研修・講習会	4人	11人	<p>継続 複雑多様化する消防業務において、迅速かつ的確に対応するため各種研修等を通し、職員個々における能力の向上が図られた。今後も安全かつ確実な災害現場活動を実施するため、現場活動に必要な知識、技能を習得し、より一層の災害現場活動の向上を図る。</p>	
区分	令和2年度	令和3年度																		
消防大学校	0人	1人																		
県消防学校	17人	18人																		
研修・講習会	4人	11人																		

事業名	救急業務高度化事業費		(9款 消防費 1項 消防費 1目 常備消防費)		決算書	105 ページ	担当部課	消防本部総務課											
決算額【予算額】			令和2年度		令和3年度		令和4年度												
			12,881	【13,595】	10,059	【10,699】		【16,732】											
財源内訳	国庫補助金		2,795		0														
	県補助金		0		1,537														
	諸収入		8		17														
	一般財源		10,078		8,505														
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性（担当課意見）												
<p>1 救急講習会の実施 事業所・学校等の団体に対して講習会を開催することでAEDの使用方法など応急手当に関する知識の普及啓発を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救命講習受講者数</td> <td>3,544人</td> <td>358人</td> <td>5,000人</td> </tr> </tbody> </table>							指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和3年度	令和5年度	救命講習受講者数	3,544人	358人	5,000人	<p>継続 新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、講習会の人数制限により受講者数が減った。今後は新型コロナウイルス感染症感染拡大状況を考慮し、応急手当の普及啓発活動を継続する。</p>	
指標項目	基準	実績	目標																
	平成25年度	令和3年度	令和5年度																
救命講習受講者数	3,544人	358人	5,000人																

主な事業内容・成果				評価と今後の方向性（担当課意見）																															
<p>2 救急隊員・救急救命士の養成</p> <p>高度な救急サービスを可能にするため、消防学校や厚生連高岡病院等へ職員を派遣し、より高度な救命技術・知識を習得した救急隊員・救急救命士を養成した。</p> <p>〈研修派遣状況〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>人数</th> <th>区分</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急救命士研修所</td> <td>0人</td> <td>気管挿管再教育病院実習</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>県消防学校（救急科）</td> <td>3人</td> <td>薬剤投与病院実習</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>実務病院実習</td> <td>21人</td> <td>救急救命士就業前実習</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>気管挿管病院実習</td> <td>1人</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>気管挿管及び薬剤投与が実施可能な救急救命士数</td> <td>13人</td> <td>13人</td> <td>25人</td> </tr> </tbody> </table>				区分	人数	区分	人数	救急救命士研修所	0人	気管挿管再教育病院実習	4人	県消防学校（救急科）	3人	薬剤投与病院実習	4人	実務病院実習	21人	救急救命士就業前実習	2人	気管挿管病院実習	1人			指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和3年度	令和5年度	気管挿管及び薬剤投与が実施可能な救急救命士数	13人	13人	25人	<p>継続</p> <p>救急救命士等の資質向上に必要な研修、病院実習に積極的に参加し、救命率向上を図る。</p>
区分	人数	区分	人数																																
救急救命士研修所	0人	気管挿管再教育病院実習	4人																																
県消防学校（救急科）	3人	薬剤投与病院実習	4人																																
実務病院実習	21人	救急救命士就業前実習	2人																																
気管挿管病院実習	1人																																		
指標項目	基準	実績	目標																																
	平成25年度	令和3年度	令和5年度																																
気管挿管及び薬剤投与が実施可能な救急救命士数	13人	13人	25人																																

事業名	緊急防災対策事業費	(9款 消防費	1項 消防費	1目 常備消防費)	決算書	105 ページ	担当部課	消防本部総務課	
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）		
		1,022	【1,076】	1,786	【1,958】		【1,193】			
財源内訳	基金繰入金	0		1,000						
	一般財源	1,022		786						
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性（担当課意見）			
<p>1 災害救助用ドローン整備</p> <p>大規模災害及び特殊災害に対応するための資機材充実を図るとともに、操作講習を受講し、操縦技術の習得を図った。</p> <p>ドローン整備 2機</p> <p>操作講習受講 5人</p>							<p>完了</p> <p>災害救助用ドローンを整備し、大規模災害及び特殊災害に対応するための資機材充実が図られた。</p>			

事業名	消防団運営費		(9款 消防費 1項 消防費 2目 非常備消防費)		決算書	105 ページ	担当部課	消防本部総務課											
決算額【予算額】			令和2年度		令和3年度		令和4年度												
			60,434	【83,406】	60,512	【82,354】		【94,095】											
財 源 内 訳	県補助金		106		249														
	一般財源		60,328		60,263														
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性（担当課意見）												
<p>1 消防団の運営費 消防団員確保と運営の維持を図るとともに、団員の意識と資質の向上を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消防団員数</td> <td>728人</td> <td>678人</td> <td>757人</td> </tr> </tbody> </table>							指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和3年度	令和5年度	消防団員数	728人	678人	757人	<p>継続</p> <p>消防団が地域に密着した活動を行うことにより、市民の防災意識の高揚、危機管理体制の充実が図られた。今後も大規模災害の発生が予想されることから、消防本部と消防団との組織相互の連携体制を強化していく。</p>	
指標項目	基準	実績	目標																
	平成25年度	令和3年度	令和5年度																
消防団員数	728人	678人	757人																
<p>2 消防団員報償 消防団員の士気を高めるとともに家族の理解を深めるために、勤続5年以上、15年以上の団員と勤続30年以上の団員の家族を表彰した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 優良団員表彰 32人（令和2年度 44人） ・ 家族表彰 9人（令和2年度 7人） 							<p>継続</p> <p>地域における消防団活動を推進するとともに、消防団員の士気の高揚が図られた。今後も地域防災力充実強化のため、地域や事業所等に消防団活動への理解と協力を求めていく。</p>												
<p>3 機能別学生消防団員の活動服等の整備【県1/2】 機能別学生消防団員の活動服等を整備し、消防団活動PRすることにより、防火意識の向上を図った。 〈貸与状況〉 8人（学生消防団員 活動服一式）</p>							<p>継続</p> <p>学生消防団員が訓練やイベント等で着用する被服を整備し、「射水市消防団学生消防団員」とネームを入れることで団員の統一感を図り、市民等に対し学生消防団員活動のPRにつながった。今後も県の補助金等を積極的に活用し、消防団の装備の充実強化を図る。</p>												

事業名	消火栓整備事業費				(9款 消防費 1項 消防費 3目 消防施設費)			決算書	106 ページ	担当部課	消防本部総務課													
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)																
		15,697	【15,750】	17,696	【18,016】		【13,596】																	
財 源 内 訳	市債	15,400		17,600																				
	一般財源	297		96																				
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性 (担当課意見)															
1 消火栓整備事業 火災時に水利が不足する箇所に消火栓を整備し、消防水利の充実・強化を図った。 <消火栓整備状況> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消火栓新設</td> <td>2基</td> <td>1基</td> </tr> <tr> <td>消火栓移設</td> <td>5基</td> <td>7基</td> </tr> <tr> <td>消火栓修理</td> <td>8基</td> <td>9基</td> </tr> </tbody> </table>									区分	令和2年度	令和3年度	消火栓新設	2基	1基	消火栓移設	5基	7基	消火栓修理	8基	9基	継 続	消防水利である消火栓を拡充することにより、円滑な消火活動に寄与した。今後も消防水利の設置が少ない地域を考慮して消火栓の新設を進めるとともに、損傷している消火栓については適宜修繕を行う。		
区分	令和2年度	令和3年度																						
消火栓新設	2基	1基																						
消火栓移設	5基	7基																						
消火栓修理	8基	9基																						

事業名	通信施設整備事業費				(9款 消防費 1項 消防費 3目 消防施設費)			決算書	106 ページ	担当部課	消防本部総務課	
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)				
		19,795	【20,428】	41,145	【41,406】		【48,759】					
財 源 内 訳	基金繰入金	2,000		0								
	一般財源	17,795		41,145								
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性 (担当課意見)			
1 消防通信設備の維持管理 災害出動の受信・指令を行う、高機能消防指令システム等の適切な維持管理により、迅速な出動指令及び災害現場との情報伝達を確実に実施した。									継 続	多種多様な災害通報 (119番通報) 等を受信し、消防隊等への出動指令に至る業務を的確に行うことができた。今後も消防通信設備を維持管理、運用し、迅速・効率的・確実性をモットーに適正かつ厳正に維持管理する。		

主な事業内容・成果		評価と今後の方向性（担当課意見）
2 通信関係保守点検業務委託 発信地表示システム情報提供に関する契約を締結し、正確な災害発生場所を瞬時に表示することができた。	継続	保守業者及び指令員によって厳正に保守管理することにより、重大な障害を受けることなく、高機能消防指令システムを停止させずに稼働させることができた。今後も重大な障害を受けることなく稼働させるため、適正に維持管理する。
3 高機能消防指令システム情報系部分更新 高機能消防指令システム情報系部分更新を実施し、既存指令システムの再構築を行い、119番通報等の情報の円滑な管理、出動指令の迅速化が図れた。	継続	部分更新により119番通報等の情報管理の円滑化や直近の救急車を出動させることが出来るようになり、救急車現場到着時間の短縮が図られた。今後も取扱方法を習熟し、安定したシステム環境を保持するため、適正に維持管理する。

事業名	消防車両整備事業費				（ 9款 消防費 1項 消防費 3目 消防施設費 ）		決算書	106 ページ	担当部課	消防本部総務課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）		
		165,503	【167,278】	55,945	【56,367】		【31,316】	大型特殊車両の更新がないことによる。		
財 源 内 訳	県補助金	8,367		4,400						
	基金繰入金	0		10,000						
	市債	149,800		35,100						
	一般財源	7,336		6,445						

主な事業内容・成果		評価と今後の方向性（担当課意見）								
1 消防車両の更新 老朽化していた消防車両3台の更新を行い、更なる消防力の強化を図った。 ＜更新車両＞	継続	災害に対応した最新の消防車両を導入することにより、消防力の維持が図られた。今後も車両更新計画に基づき、消防車両の整備に取り組む。								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>台数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消防ポンプ自動車（射水5）</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>隊員搬送車（搬送3）</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>消防団ポンプ自動車（橋下条）</td> <td>1台</td> </tr> </tbody> </table>	区分	台数	消防ポンプ自動車（射水5）	1台	隊員搬送車（搬送3）	1台	消防団ポンプ自動車（橋下条）	1台		
区分	台数									
消防ポンプ自動車（射水5）	1台									
隊員搬送車（搬送3）	1台									
消防団ポンプ自動車（橋下条）	1台									

事業名	消防団拠点施設整備事業費				(9款 消防費 1項 消防費 3目 消防施設費)		決算書	106 ページ	担当部課	消防本部総務課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)		
		52,485	【53,752】	23,588	【25,921】		【82,200】	七美分団屯所増築・改修工事実施設計業務委託、二口分団屯所移転・改修工事実施設計業務委託、片口分団屯所大規模改修工事を実施したことによる。		
財源内訳	市債	52,100		23,000						
	一般財源	385		588						
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)		
<p>1 消防団拠点施設整備事業</p> <p>老朽化が著しい七美、二口分団屯所の改修工事を行うために、移転、増築改修工事実施設計を行った。</p> <p>また、片口分団屯所の大規模改修工事を行い、地域の防災拠点の長寿命化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 七美分団屯所増築・改修工事実施設計業務委託 <ul style="list-style-type: none"> 業者名 北野建築設計事務所 工期 令和3年5月19日～12月15日 契約額 1,338千円 二口分団屯所移転・改修工事実施設計業務委託 <ul style="list-style-type: none"> 業者名 伊勢建築事務所 工期 令和3年5月20日～11月1日 契約額 1,100千円 片口分団屯所大規模改修工事 <ul style="list-style-type: none"> 業者名 (株)赤井建設 工期 令和3年6月7日～10月29日 契約額 19,635千円 片口分団屯所大規模改修工事監理業務委託 <ul style="list-style-type: none"> 業者名 一級建築士事務所 林博アトリエ 工期 令和3年6月8日～11月15日 契約額 1,034千円 								<p>継続</p> <p>消防団屯所を適正に維持管理することにより、地域に密着した消防機関として災害防御の拠点となり、初動段階から各種災害に大きな役割を果たすことができた。今後も地域防災力の強化を目的として施設等の整備を図る。</p>		

事業名	消防庁舎等整備事業費				(9款 消防費 1項 消防費 3目 消防施設費)		決算書	106 ページ	担当部課	消防本部総務課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)		
		—	—	2,855	【2,855】		【62,384】			
財源内訳	一般財源			2,855						
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)		
<p>1 消防本部庁舎空調設備改修工事に伴う基本設計及び実施設計業務委託</p> <p>空調設備の改修工事を行うために、基本設計及び実施設計業務委託を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 消防本部庁舎 空調改修更新工事基本設計・実施設計業務委託 <ul style="list-style-type: none"> 業者名 (株)創建築事務所 工期 令和3年7月8日～令和4年1月31日 契約額 2,855千円 								<p>継続</p> <p>消防庁舎は、各種災害時における活動拠点となることから、円滑に災害活動が行えるよう維持管理を図る。</p>		

10 款 教 育 費

事業名	教育委員会事務局費		(10款 教育費 1項 教育総務費 2目 事務局費)		決算書	107 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課	
決算額【予算額】			令和2年度	令和3年度	令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)		
			101,112	【110,888】	91,007	【113,923】		【113,150】	
財源内訳	国庫補助金		8,925		2,990				
	一般財源		92,187		88,017				
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性 (担当課意見)		
1 学習サポーター (41人) の配置 学習の理解に時間を要する児童生徒や集中して授業に取り組むことのできない児童生徒の学習支援を行った。							継続	全小学校に学習サポーターを配置し、きめ細かな指導に努めた。今後とも、小中学校の実態に応じた配置に努め、学校内の支援体制の充実を図る。	
2 チームティーチング指導員 (8人) の配置 生徒一人ひとりの理解度に応じた学習指導を行い、「わかる」「できる」と実感させ、生徒の学習意欲の向上と基礎学力の定着を図った。							継続	全中学校にチーム・ティーチング指導員を配置し、きめ細かな指導に努めた。今後とも、一人ひとりに寄り沿ったきめ細かな学習指導・生活指導を推進していく。	
3 特別支援教育指導員 (1人) の配置 保護者や学校との相談、保育園・幼稚園への訪問など、増加及び多様化する就学に関する支援体制の充実を図った。							継続	専任職員を配置し、保護者の就学相談や教員への指導助言などを行えた。幼児期から小学校の児童期への円滑な接続のための指導や環境づくりを推進する。	
4 いみず鳳雛きらめき塾 グローバルな人材育成のため、意欲のある中学生 (鳳雛) に貴重な体験や刺激を得る機会をつくり、将来の射水市を担うたくましい人材の育成を図る事業であるが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況を踏まえ、実施を中止した。 なお、事業中止に伴う代替事業として、ふるさと学習 (ふるさと いみず 私一枚) や、キャリア教育 (オンライン講演会 先輩に学ぶ) を実施した。							継続	新しい時代を切り拓くグローバルな人材育成の観点から、素晴らしい体験と刺激を得る機会であるため、感染症の状況を踏まえながら、継続して実施していく。	
5 中学校修学旅行計画変更に伴う支援補助金 (新型コロナ対策1-No.10) 【交付金】 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、修学旅行を計画変更した場合の経費を市が負担することで、保護者の負担の軽減を図った。 ・ 事業費 2,990千円 ・ 中学校5校分 (新湊、射北、小杉、小杉南、大門)							完了	新型コロナウイルス感染症の流行拡大により計画変更となった修学旅行の企画料を市が負担することにより、保護者の負担を軽減できた。	

事業名	奨学金事務費		(10款 教育費 1項 教育総務費 2目 事務局費)			決算書	107 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)	
		6,500	【7,020】	6,240	【7,629】		【8,340】		
財源内訳	諸収入	5,689		5,318					
	一般財源	811		922					
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)	
1 奨学資金事業 経済的理由により修学が困難な者に対し、奨学資金の貸与を行った。 ・ 貸与実績 大学生16人								継続 奨学資金を貸与することで、有用な人材の育成につながった。今後も審査会を実施の上適切な人材を選考し、人材の育成及び定住人口の増加を図るため、奨学金を貸与する。	

事業名	学校図書館活動推進費		(10款 教育費 1項 教育総務費 2目 事務局費)			決算書	107 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)	
		31,873	【32,296】	31,573	【32,264】		【36,309】		
財源内訳	寄附金	300		1,100					
	一般財源	31,573		30,473					
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)	
1 学校司書の配置 全小中学校へ学校司書を各1人配置した。(小学校 15人、中学校 6人) 学校司書の研修会を年2回開催し、専門家による講義・指導や、学校間の意見・情報交換により他校の取組を参考にするなど、学校司書の資質向上と学校図書館の利用促進を図った。								継続 教員と学校司書が協力し、読書活動や調べ学習等で学校図書館を活用している。今後とも、学校図書館の有効活用に向け、学校司書の資質向上を図る。	
2 児童生徒用図書の購入 学校図書館の蔵書の充実を図るため、小学校で4,472冊、中学校で2,110冊を購入した。(小学校廃棄冊数4,120冊、中学校廃棄冊数870冊)								継続 小学校、中学校ともに国が示す蔵書冊数に達している。児童生徒に有益であり、関心を持ってもらいたい図書の選書に努めるとともに、図書の展示や紹介を工夫するなど、児童生徒の読書意欲の向上を図る。	

事業名	教育調査研究費		(10款 教育費 1項 教育総務費 3目 教育センター費)		決算書	108 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課
決算額【予算額】			令和2年度	令和3年度	令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)	
			343	2,137		【1,736】	授業目的公衆送信補償金制度使用料を支払ったことによる。	
財源内訳	国庫補助金		0	825				
	県委託金		20	20				
	寄附金		0	1,000				
	一般財源		323	292				
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性 (担当課意見)	
1 ICT教育総合支援事業 (新型コロナ対策3-No.28) ICT教育等に関する知識・技能を高めるための研修の実施およびオンライン研修のための環境整備を実施した。 ・ 事業費 119千円							継続	ICT教育の充実を図るため継続して研修等の支援を実施する。
2 授業目的公衆送信補償金制度使用料 (新型コロナ対策3-No.29) 【交付金】 オンライン授業などの際に、インターネットで送信する資料等に対する著作権料の補償として補償金を支払った。 ・ 事業費 825千円							継続	ICT機器を活用したオンライン授業等の推進のため、継続して環境整備を図る。

事業名	教育相談費		(10款 教育費 1項 教育総務費 3目 教育センター費)		決算書	108 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課
決算額【予算額】			令和2年度	令和3年度	令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)	
			6,597	9,116		【9,813】	令和3年度から小・中学校家庭教育専門支援員を配置したことによる。	
財源内訳	諸収入		0	18				
	一般財源		6,597	9,098				
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性 (担当課意見)	
1 教育相談事業 (1) 認定カウンセラーによる相談業務 教育センター内相談室で週2回の教育相談を行い児童生徒、保護者の精神的な負担軽減を図った。 また、要請のあった学校において相談活動を展開し、生徒、教師のカウンセリングを行った。 ・ 来所相談等 343件 (令和2年度 261件) (2) スクールソーシャルワーカーによる支援 家庭、学校、関係機関をつなぎ、児童生徒、保護者の精神的な負担軽減、生活改善に貢献した。 ・ 訪問活動回数 1,481回 (令和2年度 1,411回) (3) 外国人相談員による支援 日本語指導が必要な外国人児童生徒への日本語指導及びその保護者を支援した。 ・ 訪問活動回数 231回 (令和2年度 195回) (4) 小・中学校家庭教育専門支援員による相談業務 (新型コロナ対策1-No.11) 児童生徒の抱える問題の解決に向けて学校や関係機関等と調整を行った。 ・ 訪問活動回数 207回							継続	児童生徒、保護者や教職員の悩み不安等の心の問題を改善、解決するため、相談体制を整えたことにより、相談者の生活改善等につながった。今後も、適切にスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、外国人相談員を配置し、相談支援を図っていく。

事業名	適応指導教室運営費		(10款 教育費		1項 教育総務費		3目 教育センター費)	決算書	108 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課	
決算額【予算額】			令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）					
			8,094	[8,419]	8,506	[8,880]		[8,865]						
財源内訳	一般財源		8,094		8,506									
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）			
1 適応指導教室運営事業（指導員3人雇用） 不登校児童生徒の再登校を支援するため、適応指導教室を設置し、生活の指導や学校復帰、高等学校進学に向けて基礎的・基本的学習内容を身に付けるよう努めた。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 通級児童生徒数 14人（令和2年度 13人） ・ 体験通級児童生徒数 27人（令和2年度 20人） 											継続		不登校児童生徒が通いやすい環境を整えるとともに、抱えている心理的な問題等の軽減を図りながら、自立する力やより良い人間関係づくりができるための支援を行った。今後も相談体制を強化し支援を継続していく。	

事業名	学力向上対策事業費		(10款 教育費		1項 教育総務費		3目 教育センター費)	決算書	108 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課	
決算額【予算額】			令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）					
			6,241	[6,938]	6,132	[7,179]		[9,882]						
財源内訳	県補助金		1,351		1,413									
	一般財源		4,890		4,719									
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）			
1 小学生学び応援塾【国1/3 県1/3】 小学3年生を対象に、放課後に算数の補充学習を実施した。参加児童の理解度に合わせながら個別指導を行い、算数の基礎の定着と学力向上を図った。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加児童数 各校20人（実施校：片口、小杉、太閤山、大門、大島） ・ 実施回数 約25回/年 											継続		一人ひとりのつまづき箇所を発見し、丁寧に指導することで、全ての参加児童の理解が深まり、学習意欲が高まった。年度の実施校数を維持しながら、事業を継続する。	
2 学び合う集団づくり推進事業 全小中学校で学級診断尺度調査（Q-U調査）を実施し、結果分析を行った。また、「学び合う集団づくり推進事業」の推進校へ、授業における学び合いと学級集団づくりを推進するため、教育アドバイザーを派遣した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学び合う集団づくり推進事業・・・推進校はQ-U調査を年2回実施（その他の学校は1回実施）。 令和3年度モデル校・・・射北中学校区（射北中、片口小、堀岡小、東明小） 小杉中学校区（小杉中、小杉小、太閤山小、下村小） 													学級診断尺度調査（Q-U調査）で、個々の児童生徒の学級生活への意欲や満足感及び学級集団の状態等を把握し、授業や指導等に役立てた。引き続き、教育アドバイザーを積極的に活用しながら、事業を継続する。	

事業名		学校給食センター管理費				(10款 教育費 1項 教育総務費 4目 学校給食センター費)		決算書	108 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課			
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)						
		129,245	【131,705】	129,930	【130,776】		【127,135】							
財 源 内 訳	一般財源	129,245		129,930										
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性 (担当課意見)					
<p>1 学校給食調理等・搬送事業</p> <p>受配校への安全安心な給食の配給に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年間給食日数 203日 (令和2年度 185日) ・ 年間給食数 延べ519,188食 (令和2年度 延べ562,368食) <p>※年間給食数には、大門中学校長寿命化改良第Ⅲ期工事期間に伴う調理・搬送業務の受託分を含む。 (大門中学校給食提供期間令和3年4月1日～7月21日 延べ58,171食分)</p> <p>※射水市立学校管理規則の一部改正により、夏季休業期間が短縮され8月27日から給食提供となった。 (夏季休業日：7月25日から8月26日まで)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大門中学校長寿命化改良第Ⅲ期工事期間に伴う、単独校分への調理・搬送事業 <p>委 託 先 (調理) 日本海給食(株) (搬送) 日本通運(株)富山支店</p> <p>委 託 期 間 令和3年4月1日～7月31日</p> <p>委 託 料 (調理) 1,100千円 (搬送) 1,540千円</p>									継 続			新型コロナウイルス感染症感染防止のための学校臨時休業に伴う学校給食休止による諸問題について、迅速な対応を行った。今後とも新型コロナウイルス感染症対策も踏まえた適切な衛生管理に努め、安全で安心な学校給食実施に努める。		

事業名	学校管理費（小）		（ 10款 教育費 2項 小学校費 1目 小学校管理費 ）		決算書	109 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課
決算額【予算額】			令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			276,923	【295,874】	320,931	【325,757】	【289,914】	
財 源 内 訳	使用料	一般財源	338	274,525	338	311,356		
	国庫補助金		0		4,473			
	県補助金		560		564			
	基金繰入金		1,500		2,000			
	市債		0		2,200			
主な事業内容・成果							特記事項（決算規模の変動要因等）	
<p>1 外国人児童生徒等支援事業 外国人相談員等の不在時でも、児童生徒への指導や保護者と連絡をするため、A I 通訳機を配置した。</p>							継続	A I 通訳機を配置し、日本語指導が必要な児童生徒及び日本語が理解できない保護者との意思疎通に取り組んだ。
<p>2 統合型校務支援システム運用事業（新型コロナ対策3-No.30） 令和2年度に整備が完了した統合型校務支援システムを活用し教員の事務の効率化、長時間勤務の軽減及び教育の質の維持及び向上を図った。 ・ 事業費 15,244千円（小学校15校分）</p>							継続	システムの利用状況を確認し、より有効的にシステムが活用できるよう支援及び改善を実施する。
<p>3 学校施設消毒事業（新型コロナ対策3-No.31）【交付金※】 新型コロナウイルス感染症の集団感染を防ぐため、学校施設の消毒を行った。 ・ 事業費 4,939千円（小学校 19回実施）</p>							完了	施設の消毒を行うことで、更なる感染拡大を防ぎ、学校教育活動の継続につなげることができた。

事業名	健康管理費（小）（繰越明許）		（ 10款 教育費		2項 小学校費		1目 小学校管理費		決算書	110 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課
決算額【予算額】			令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
					15,912 【16,000】							
財源内訳	国庫補助金				15,912							
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）		
<p>1 学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業（新型コロナ対策3-No.32）【国1/2 交付金※】</p> <p>市内小学校に対し、感染対策の徹底を図るため、衛生用品等を購入するほか、子どもたちの学びを保障するため、学校教育活動や家庭学習に必要な教材の購入を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業費 15,910千円（小学校15校分） 										<p>継続</p> <p>学校規模に応じた感染症対策を講じながら学校活動を行うことができた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、学校へ継続して支援を行う必要がある。</p>		

事業名	健康管理費（小）		（ 10款 教育費		2項 小学校費		1目 小学校管理費		決算書	110 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課
決算額【予算額】			令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
			52,023 【72,152】		36,844 【55,062】		【33,422】					
財源内訳	国庫補助金		20,826		5,455							
	諸収入		3,994		4,187							
	一般財源		27,203		27,202							
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）		
<p>1 学校保健特別対策事業費補助金（新型コロナ対策3-No.33）【国1/2 交付金※】</p> <p>市内小学校に対し、感染症対策・学習保障等に係る支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業費 1,968千円（小学校15校分） <p>2 A I 体温検知カメラ購入事業（新型コロナ対策3-No.34）【交付金】</p> <p>感染症の拡大防止対策として、市内各小学校にA I 体温検知カメラを配置した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業費 3,487千円（小学校15校×1台） 										<p>継続</p> <p>学校規模に応じた感染症対策を講じながら学校活動を行うことができた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、学校へ継続して支援を行う必要がある。令和4年度へ繰越を行った補助金を活用し、学校への支援を継続して行っていく。</p>		
<p>（繰越明許費 18,000 千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業名 学校等における感染症対策等支援事業（新型コロナ対策3-No.33）【国1/2】 ・ 予算執行率 67.2% ・ 完了時期 令和5年3月 												

事業名	スクールバス運行費(小) (繰越明許)		(10款 教育費		2項 小学校費		1目 小学校管理費)	決算書	110 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課	
決算額【予算額】			令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)					
					27,619 【31,053】									
財 源 内 訳	国庫補助金				27,619									
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性 (担当課意見)				
1 新型コロナウイルス感染症対策スクールバス購入事業 (新型コロナ対策3-No.35) 【交付金】 新型コロナウイルス感染症の流行拡大の影響により、年式が古く換気機能が十分でない小杉小学校のスクールバスを更新した。										完了	十分な換気機能のある車両に更新することで、児童の登下校や校外学習における車内の感染症予防対策に効果があり、安全な運行が可能となった。			

事業名		教育振興運営費（小）				（ 10款 教育費 2項 小学校費 2目 教育振興費 ）				決算書	110 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課	
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）						
		334,586	【343,334】	186,438	【188,257】		【186,568】	令和2年度に児童生徒1人1台端末の整備を実施したことによる。						
財源内訳	国庫補助金	142,059		0										
	県補助金	1,923		2,312										
	県委託金	150		202										
	基金繰入金	3,000		3,000										
	一般財源	187,454		180,924										
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）			
1 教育環境の整備【国1/2】 小学校14校に理科・算数教育備品を整備し、教育環境の充実を図った。											継続	新学習指導要領において、今まで以上に観察実験が重視されており、引き続き環境整備を図る。		
2 A L T の配置 国際理解教育推進のため、外国語指導助手（A L T）を配置し、英語教育の充実を図った。 ・ 全小学校の5・6年生に4人配置											継続	国際理解教育の充実及び英語教育における実践的なコミュニケーション能力を身に付けるため、事業を継続する。		
3 射水っ子体力アップ応援事業【県1/3】 小学校体育の授業に体づくりや陸上競技の専門的指導者を派遣し、児童に指導を行うことで、児童の体力向上と運動への興味・関心を高めた。											継続	各学校が児童が自主的に運動を楽しめる活動と時間の確保に努めており、事業を継続する。		
4 児童生徒1人1台端末整備事業（新型コロナ対策3-No.36） G I G A スクール構想実現のため整備した児童生徒に1人1台端末や授業支援システム等を活用した I C T 教育を推進した。 ・ 事業費 104,429千円（小学校15校分）											継続	整備した I C T 機器の学習への有効な活用に向け、教員への研修会の実施や児童生徒の発達段階に応じた体系的な指導を取り組んでいく。		

事業名	就学援助費(小)		(10款 教育費 2項 小学校費 2目 教育振興費)		決算書	110 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課	
決算額【予算額】			令和2年度		令和3年度		令和4年度		
			35,613	【40,027】	41,150	【44,453】		【51,056】	
財 源 内 訳	国庫補助金		1,394		1,447				
	一般財源		34,219		39,703				
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性(担当課意見)		
<p>1 就学支援事業(新型コロナ対策1-No.12)</p> <p>経済的理由により就学が困難と認められる児童の保護者に対し、給食費、学用品費、オンライン学習通信費等を援助した。</p> <p>【特別支援教育就学奨励費のみ国1/2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業費 440千円 ・ 就学援助受給児童数 477人 (令和2年度 457人) ・ 特別支援教育就学奨励費受給児童数 97人 (令和2年度 97人) 							<p>拡 充</p> <p>経済的理由によって就学困難な児童生徒の保護者に対し、市町村は必要な援助をしなければならない。教育の機会均等からも重要である。年々、国の要保護児童生徒援助費補助金の対象費目は「単価引上げ」や「追加」傾向にあり、射水市の就学援助制度の拡充を図る。</p>		

事業名	歌の森小学校整備費				(10款 教育費 2項 小学校費 3目 学校建設費)		決算書	111 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課																								
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)																										
		81,477	【85,200】	15,698	【215,421】		—	工事対象範囲が異なることによる。																										
財 源 内 訳	国庫補助金	20,200		2,105																														
	市債	57,800		6,600																														
	一般財源	3,477		6,993																														
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)																										
<p>1 歌の森小学校プール改築工事【国1/3】 老朽化した学校水泳プールの改築工事を実施し、経年による劣化や損傷等が生じた設備等の更新を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">工事請負業者</th> <th>工 期</th> <th>契約額 (うち令和3年度支出額)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建築主体</td> <td>永森建設工業(株)・原建設(株)JV</td> <td>令和3年11月30日～令和4年8月9日</td> <td>176,550千円 (0千円)</td> </tr> <tr> <td>電気設備</td> <td>北日本電設工業(株)</td> <td>令和3年11月4日～令和4年8月9日</td> <td>4,345千円 (0千円)</td> </tr> <tr> <td>機械設備</td> <td>(株)ばんどー工業</td> <td>令和3年11月5日～令和4年8月9日</td> <td>22,825千円 (9,100千円)</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">委託請負業者</th> <th>委託期間</th> <th>契約額 (うち令和3年度支出額)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>監理</td> <td>一級建築士事務所 林博アトリエ</td> <td>令和3年11月24日～令和4年8月18日</td> <td>3,410千円 (0千円)</td> </tr> </tbody> </table>											工事請負業者		工 期	契約額 (うち令和3年度支出額)	建築主体	永森建設工業(株)・原建設(株)JV	令和3年11月30日～令和4年8月9日	176,550千円 (0千円)	電気設備	北日本電設工業(株)	令和3年11月4日～令和4年8月9日	4,345千円 (0千円)	機械設備	(株)ばんどー工業	令和3年11月5日～令和4年8月9日	22,825千円 (9,100千円)	委託請負業者		委託期間	契約額 (うち令和3年度支出額)	監理	一級建築士事務所 林博アトリエ	令和3年11月24日～令和4年8月18日	3,410千円 (0千円)
工事請負業者		工 期	契約額 (うち令和3年度支出額)																															
建築主体	永森建設工業(株)・原建設(株)JV	令和3年11月30日～令和4年8月9日	176,550千円 (0千円)																															
電気設備	北日本電設工業(株)	令和3年11月4日～令和4年8月9日	4,345千円 (0千円)																															
機械設備	(株)ばんどー工業	令和3年11月5日～令和4年8月9日	22,825千円 (9,100千円)																															
委託請負業者		委託期間	契約額 (うち令和3年度支出額)																															
監理	一級建築士事務所 林博アトリエ	令和3年11月24日～令和4年8月18日	3,410千円 (0千円)																															
<p>(繰越明許費 199,723 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業名 歌の森小学校プール改築工事【国1/3】 ・ 予算執行率 7.3% ・ 完了時期 令和4年8月 																																		
								継続	老朽化が著しい施設の環境改善を図ることができた。																									

事業名	小杉小学校整備費			(10款 教育費	2項 小学校費	3目 学校建設費)	決算書	111 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課	
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)				
		-		4,455 【4,680】		【231,430】						
財 源 内 訳	一般財源			4,455								
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性 (担当課意見)			
1 プール改築工事実施設計業務委託 老朽化が著しい学校水泳プールの改築工事の実施設計を行った。									完了	プール改築工事の実施設計を行うことで、令和4年度の工事実施につなげることができた。		
委託請負業者			履行期間			契約額						
一級建築士事務所 林博アトリエ			令和3年7月7日～令和4年1月26日			4,455千円						

事業名	学校管理費（中）		（ 10款 教育費 3項 中学校費 1目 中学校管理費 ）		決算書	111 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課
決算額【予算額】		令和2年度	令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）	
		128,369	【141,343】	152,561	【168,646】			【138,934】
財源内訳	使用料	16		15				
	国庫補助金	0		1,827				
	基金繰入金	500		1,000				
	一般財源	127,853		149,719				
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性（担当課意見）	
<p>1 外国人児童生徒等支援事業 外国人相談員等の不在時でも、児童生徒への指導や、保護者と連絡をするため、AI通訳機を配置した。</p>							継続	AI通訳機を配置し、日本語指導が必要な児童生徒及び日本語が理解できない保護者との意思疎通に取り組んだ。
<p>2 統合型校務支援システム運用事業（新型コロナ対策3-No.30） 令和2年度に整備が完了した統合型校務支援システムを活用し教員の事務の効率化、長時間勤務の軽減及び教育の質の維持及び向上を図った。 ・ 事業費 6,098千円（中学校6校分）</p>							継続	システムの利用状況を確認しより有効的にシステムが活用できるよう支援及び改善を実施する。
<p>3 学校施設消毒事業（新型コロナ対策3-No.31）【交付金※】 新型コロナウイルス感染症の集団感染を防ぐため、学校施設の消毒を行った。 ・ 事業費 2,018千円（中学校 7回実施）</p>							完了	施設の消毒を行うことで、更なる感染拡大を防ぎ、学校教育活動の継続につなげることができた。
<p>(繰越明許費 10,865 千円) ・ 事業名 小杉南中学校クラブ室棟・駐輪場改修工事 ・ 予算執行率 93.4% ・ 完了時期 令和4年8月</p>								

事業名	健康管理費（中）（繰越明許）		（ 10款 教育費 3項 中学校費 1目 中学校管理費 ）		決算書	112 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課
決算額【予算額】			令和2年度	令和3年度	令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）	
				7,190 【7,200】				
財源内訳	国庫補助金			7,190				
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性（担当課意見）	
<p>1 学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業（新型コロナ対策3-No.32）【国1/2 交付金※】 市内中学校に対し、感染対策の徹底を図るため、衛生用品等を購入するほか、子どもたちの学びを保障するため、学校教育活動や家庭学習に必要な教材の購入を行った。 ・ 事業費 7,190千円（中学校6校分）</p>							<p>継続 学校規模に応じた感染症対策を講じながら学校活動を行うことができた。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、学校へ継続して支援を行う必要がある。</p>	

事業名	健康管理費（中）		（ 10款 教育費 3項 中学校費 1目 中学校管理費 ）		決算書	112 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課
決算額【予算額】			令和2年度	令和3年度	令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）	
			27,137 【37,720】	18,793 【29,113】				
財源内訳	国庫補助金		9,416	2,286				
	諸収入		3,983	3,187				
	一般財源		13,738	13,320				
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性（担当課意見）	
<p>1 学校保健特別対策事業費補助金（新型コロナ対策3-No.33）【国1/2 交付金※】 市内中学校に対し、感染症対策・学習保障等に係る支援を行った。 ・ 事業費 891千円（中学校6校分）</p> <p>2 A I 体温検知カメラ購入事業（新型コロナ対策3-No.34）【交付金】 感染症の拡大防止対策として、市内各中学校にA I 体温検知カメラを配置した。 ・ 事業費 1,395千円（中学校6校×1台）</p>							<p>継続 学校規模に応じた感染症対策を講じながら学校活動を行うことができた。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、学校へ継続して支援を行う必要がある。令和4年度へ繰越を行った補助金を活用し、学校への支援を継続して行っていく。</p>	
<p>（繰越明許費 7,650 千円）</p> <p>・ 事業名 学校等における感染症対策等支援事業（新型コロナ対策3-No.33）【国1/2】</p> <p>・ 予算執行率 71.1%</p> <p>・ 完了時期 令和5年3月</p>								

事業名	教育振興運営費（中）		（ 10款 教育費 3項 中学校費 2目 教育振興費 ）		決算書	112 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課	
決算額【予算額】			令和2年度		令和3年度		令和4年度		
			170,049	【181,729】	106,097	【111,641】		【104,459】	
財源内訳	国庫補助金		78,447		0				
	県補助金		3,380		4,400				
	県委託金		152		155				
	基金繰入金		1,000		1,000				
	一般財源		87,070		100,542				
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性（担当課意見）		
<p>1 A L Tの配置 国際理解教育推進のため、外国語指導助手（A L T）を配置し、英語教育の充実を図った。 ・ 全中学校に4人配置</p>							継続	国際理解教育の充実及び英語教育における実践的なコミュニケーション能力を身に付けるため、事業を継続する。	
<p>2 スポーツエキスパート派遣事業【県1/3】 運動部活動支援のため、生徒に専門的な技術指導を行うスポーツエキスパートを配置し、運動能力の向上を図った。 ・ 全中学校に27人配置</p>							継続	学校や保護者、生徒の信頼や期待が大きく、部活動指導において大きな役割を担っている。部活動指導員への移行を踏まえながら、適宜配置を継続する。	
<p>3 部活動指導員配置促進事業【国1/3 県1/3】 部活動の技術指導や大会への引率等を単独で行うことができる部活動指導員を配置し、教員の負担軽減を図るとともに、部活動の質の向上を図った。 ・ 全中学校に18人配置</p>							継続	学校や保護者、生徒の信頼や期待が大きく、部活動指導において大きな役割を担っている。教員の負担軽減を図るため、事業を継続するとともに、地域移行を含めた更なる負担軽減を推進する。	
<p>4 文化部等講師派遣事業 文化部活動等支援のため、吹奏楽、箏等の指導員を配置し、技術の向上を図った。 ・ 中学校5校に8人配置</p>							継続	学校や保護者、生徒の信頼や期待が大きく、部活動指導において大きな役割を担っている。部活動指導員への移行を踏まえながら、適宜配置を継続する。	
<p>5 社会に学ぶ14歳の挑戦事業【県1/2】 社会に学ぶ14歳の挑戦事業については新型コロナウイルス感染症拡大のため、新湊南部中学校のみの実施に留まった。 実施時期 令和3年10月26日～10月27日 参加生徒数 74名 受入事業所数 27か所</p>							継続	実際に働く経験は、児童の将来的な社会人としての自覚の基礎作りの一助となっていることに加え、生徒自身の成長や新たな発見につながっていることから、事業を継続する。	
<p>6 教育設備の整備【国1/2】 全中学校に理科・数学教育備品を整備し、教育設備の充実を図った。</p>							継続	新学習指導要領において、今まで以上に観察実験が重視されており、引き続き環境整備を図る。	

令和2年度に児童生徒1人1台端末の整備を実施したことによる。

主な事業内容・成果		評価と今後の方向性（担当課意見）	
7 射水っ子音楽活動推進事業 音楽活動を通じて、地域を元気付けるとともに、地域に貢献する心豊かな射水っ子の育成を目的に、全中学校の吹奏楽部等の楽器整備や全国大会出場校への練習会場利用料に対し、助成を行ってきた。ハートフルコンサートについては、令和元年以降コロナ禍の影響もあり開催していない。	継続	アフターコロナの状況の中で、どこまで活動が戻るかは見通せないが、大会への出場のほか、ハートフルコンサート・地域行事への参加等、様々な成果発表の場は地域と触れ合う経験にもなるため、事業の継続を検討していく。	
8 中学生夢づくり授業事業 中学生が将来の夢や自分の生き方を考える機会づくりとして実施する夢づくり授業については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により対面での実施ができなかったことから、オンライン講演会「先輩に学ぶ」を全中学校2年生を対象に実施した。	継続	中学生に対し夢づくり授業を実施し、今後の生き方や将来の夢や仕事を考える機会となるものであり、オンライン等での実施を含め継続する。	
9 児童生徒1人1台端末整備事業（新型コロナ対策3-No.36） GIGAスクール構想実現のため整備した児童生徒に1人1台端末や授業支援システム等を活用したICT教育を推進した。 ・ 事業費 41,772千円（中学校6校分）	継続	整備したICT機器の学習への有効な活用に向け、教員への研修会の実施や児童生徒の発達段階に応じた体系的な指導を取り組んでいく。	

事業名	就学援助費（中）		（ 10款 教育費 3項 中学校費 2目 教育振興費 ）		決算書	112 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
		17,067	【22,187】	25,216	【31,822】		【37,198】	
財源内訳	国庫補助金	656		736				
	一般財源	16,411		24,480				
主な事業内容・成果		評価と今後の方向性（担当課意見）						
1 就学支援事業（新型コロナ対策1-No.12） 経済的理由により就学が困難と認められる児童の保護者に対し、給食費、学用品費、オンライン学習通信費等を援助した。 【特別支援教育就学奨励費のみ国1/2】 ・ 事業費 458千円 ・ 就学援助受給生徒数 265人（令和2年度 254人） ・ 特別支援教育就学奨励費受給生徒数 32人（令和2年度 28人）		拡充 経済的理由によって就学困難な児童生徒の保護者に対し、市町村は必要な援助をしなければならない。教育の機会均等からも重要である。年々、国の要保護児童生徒援助費補助金の対象費目は「単価引上げ」や「追加」傾向にあり、射水市の就学援助制度の拡充を図る。						

事業名	大門中学校整備費				(10款 教育費 3項 中学校費 3目 学校建設費)		決算書	113 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課																								
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)																										
		391,430	【744,021】	611,182	【817,647】		【520,623】	工事対象範囲が異なることによる。																										
財源内訳	国庫補助金	94,649		100,275																														
	市債	261,400		179,100																														
	一般財源	35,381		331,807																														
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)																										
<p>1 長寿命化改良第Ⅳ期工事【国1/3】</p> <p>老朽化した特別教室棟、技術室棟及び多目的棟の長寿命化改良工事を実施し、経年による劣化や損傷・故障等が生じた部分の改修・更新等を行い教育環境の改善を図った。</p> <p>また、構造体の劣化対策やライフラインの更新などにより建物の耐久性を高め、施設の長寿命化を図ったことで、今後の維持管理等に係るトータルコストの縮減及び財政負担の平準化につなげた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">工事請負業者</th> <th>工期</th> <th>契約額 (うち令和3年度支出額)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建築主体</td> <td>高田建設(株)・くみあい建設(株)JV</td> <td>令和3年6月25日～令和4年3月23日</td> <td>345,400千円 (345,400千円)</td> </tr> <tr> <td>電気設備</td> <td>(株)菅原電気・萬葉電気工事(有)JV</td> <td>令和3年6月17日～令和4年3月23日</td> <td>61,600千円 (61,600千円)</td> </tr> <tr> <td>機械設備</td> <td>(株)織田・丸芳工業(株)JV</td> <td>令和3年6月2日～令和4年3月23日</td> <td>71,390千円 (71,390千円)</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">委託請負業者</th> <th>委託期間</th> <th>契約額 (うち令和3年度支出額)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>監理</td> <td>(株)創建築事務所</td> <td>令和3年5月26日～令和4年3月24日</td> <td>12,870千円 (12,870千円)</td> </tr> </tbody> </table>								工事請負業者		工期	契約額 (うち令和3年度支出額)	建築主体	高田建設(株)・くみあい建設(株)JV	令和3年6月25日～令和4年3月23日	345,400千円 (345,400千円)	電気設備	(株)菅原電気・萬葉電気工事(有)JV	令和3年6月17日～令和4年3月23日	61,600千円 (61,600千円)	機械設備	(株)織田・丸芳工業(株)JV	令和3年6月2日～令和4年3月23日	71,390千円 (71,390千円)	委託請負業者		委託期間	契約額 (うち令和3年度支出額)	監理	(株)創建築事務所	令和3年5月26日～令和4年3月24日	12,870千円 (12,870千円)	継続	老朽化が著しい建物の環境改善を図ることができた。なお、渡り廊下棟等については、令和4年度に実施する。	
工事請負業者		工期	契約額 (うち令和3年度支出額)																															
建築主体	高田建設(株)・くみあい建設(株)JV	令和3年6月25日～令和4年3月23日	345,400千円 (345,400千円)																															
電気設備	(株)菅原電気・萬葉電気工事(有)JV	令和3年6月17日～令和4年3月23日	61,600千円 (61,600千円)																															
機械設備	(株)織田・丸芳工業(株)JV	令和3年6月2日～令和4年3月23日	71,390千円 (71,390千円)																															
委託請負業者		委託期間	契約額 (うち令和3年度支出額)																															
監理	(株)創建築事務所	令和3年5月26日～令和4年3月24日	12,870千円 (12,870千円)																															
<p>(繰越明許費 206,465 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業名 長寿命化改良第Ⅳ期工事 (渡り廊下棟等) ・ 予算執行率 74.7% ・ 完了時期 令和5年3月 																																		

事業名	小杉南中学校整備費（繰越明許）			（ 10款 教育費 3項 中学校費		3目 学校建設費		決算書	113 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課
決算額【予算額】			令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）		
					53,700 【53,756】						
財 源 内 訳	国庫補助金				8,429						
	市債				26,900						
	一般財源				18,371						
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 グラウンド改修工事【国1/3】 暗渠排水等の機能低下が著しいグラウンドの改修工事を実施し、屋外教育環境の改善を図った。									完了 暗渠排水等の機能低下が著しかったグラウンドの環境改善を図ることができた。		
工事請負業者			工 期			契約額					
						(うち令和2年度支出額)		(うち令和3年度支出額)			
射水工業(株)・川原工業(株)JV			令和2年9月4日～令和3年5月21日			128,700千円					
						(75,000千円)		(53,700千円)			

事業名		（ 10款 教育費 3項 中学校費 3目 学校建設費 ）			決算書	113 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課	
決算額【予算額】		令和2年度	令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）		
			352,410	【352,441】					
財 源 内 訳	国庫補助金		81,348						
	市債		240,600						
	一般財源		30,462						
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性（担当課意見）		
<p>1 長寿命化改良Ⅲ期工事【国1/3】</p> <p>老朽化した普通・特別教室棟及び渡り廊下棟の長寿命化改良工事を実施し、経年による劣化や損傷・故障等が生じた部分の改修・更新等を行い教育環境の改善を図った。</p> <p>また、構造体の劣化対策やライフラインの更新などにより建物の耐久性を高め、施設の長寿命化を図ったことで、今後の維持管理等に係るトータルコストの縮減及び財政負担の平準化につなげた。</p>							<p>完了</p> <p>老朽化が著しい建物の環境改善を図ることができた。</p>		
工事請負業者		工 期		契約額					
				(うち令和2年度支出額)	(うち令和3年度支出額)				
建築主体	高田建設(株)・(株)佳栄建設JV	令和2年6月24日～令和3年5月24日		519,200千円					
				(303,800千円)	(215,400千円)				
電気設備	赤尾電設(株)・萬葉電気工事(有)JV	令和2年6月1日～令和3年5月24日		75,350千円					
				(30,140千円)	(45,210千円)				
機械設備	(株)伸和設備工業・(株)ばんどー工業JV	令和2年6月3日～令和3年5月24日		128,150千円					
				(51,200千円)	(76,950千円)				
委託請負業者		履行期間		契約額					
				(うち令和2年度支出額)	(うち令和3年度支出額)				
監理	(株)創建築事務所	令和2年5月28日～令和3年6月9日		14,850千円					
				(0千円)	(14,850千円)				

事業名	幼稚園管理費		(10款 教育費 4項 幼稚園費 1目 幼稚園費)		決算書	113 ページ	担当部課	福祉保健部子育て支援課	
決算額【予算額】			令和2年度		令和3年度		令和4年度		
			8,555	【13,319】	7,351	【11,985】		【13,876】	
財源内訳	負担金		77		96				
	国庫補助金		0		27				
	県補助金		751		25				
	諸収入		612		590				
	一般財源		7,115		6,613				
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 市立幼稚園管理運営 ・ 施設数 1園 (令和2年度 1園) ・ 定員 50人 (令和2年度 50人) ・ 園児数 延べ180人 (令和2年度 延べ187人)							継続	子ども・子育て支援事業計画に基づき地域のニーズ量に合わせた定員を確保するとともに、保育の質の向上、効率化を図る。	
2 新型コロナウイルス感染症対策事業（新型コロナ対策3-No.37）【県（国）1/2】【交付金※】 幼稚園に飛散防止パーテーション等の保健衛生用品を購入し、新型コロナウイルス感染症の感染防止及び拡大防止に努めた。 ・ 事業費 52千円							継続	引き続き、安全な教育環境を提供できるように、施設の衛生環境の整備に努める。	

事業名	生涯学習推進事業費				(10款 教育費 5項 社会教育費 1目 社会教育総務費)		決算書	114 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課															
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)																	
		8,275	【9,596】	8,805	【9,479】		【9,478】																		
財源内訳	一般財源	8,275		8,805																					
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)																	
<p>1 地域ごとの生涯学習講座の開催</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で活動を自粛しながらも、徐々に活動を再開させ、コロナ禍に合わせた柔軟な生涯学習活動を展開した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生涯学習講座の年間延べ開催回数 (コミュニティセンター27館)</td> <td>796回</td> <td>727回</td> <td>1,000回</td> </tr> <tr> <td>生涯学習講座の年間延べ受講者数 (コミュニティセンター27館)</td> <td>36,833人</td> <td>16,325人</td> <td>43,000人</td> </tr> </tbody> </table>								指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和3年度	令和5年度	生涯学習講座の年間延べ開催回数 (コミュニティセンター27館)	796回	727回	1,000回	生涯学習講座の年間延べ受講者数 (コミュニティセンター27館)	36,833人	16,325人	43,000人	継続	活動制限の中でも、感染症対策をした上で、生涯学習活動を行った。今後も柔軟な発想で内容を充実させ、事業を継続する。	
指標項目	基準	実績	目標																						
	平成25年度	令和3年度	令和5年度																						
生涯学習講座の年間延べ開催回数 (コミュニティセンター27館)	796回	727回	1,000回																						
生涯学習講座の年間延べ受講者数 (コミュニティセンター27館)	36,833人	16,325人	43,000人																						
<p>2 生涯学習フェスティバル・生涯学習作品展</p> <p>各コミュニティセンター等で活動しているサークルや放課後子ども教室での学習成果の発表の場を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催日 令和3年12月5日 参加者数 フェスティバル 約100人 作品展 約280人 								継続	感染症対策のため会場や規模を見直し開催した。今後も生涯学習活動の楽しさや必要性を伝えられるよう、開催方法を工夫し事業を継続する。																

事業名	成人式式典費				(10款 教育費 5項 社会教育費 1目 社会教育総務費)		決算書	114 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)		
		3,560	【4,921】	7,095	【7,377】		【2,178】	大雪により次年度へ延期となった令和3年成人式を9月に開催したことによる。		
財源内訳	国庫補助金	0		2,181						
	一般財源	3,560		4,914						
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)		
<p>1 成人式の開催</p> <p>(1) 新成人の門出を祝福するとともに、社会人として自ら生き抜くことへの自覚を促すよう激励する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年成人式 令和3年9月18日開催 443人参加 (46.1%) 令和4年成人式 令和4年1月 9日開催 790人参加 (82.2%) <p>(2) 感染防止対策の徹底と新しい生活様式に対応した成人式運営業務 (新型コロナ対策3-No.38) 【交付金】</p> <p>参加者による新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、成人式の参加者に対し、事前に抗原検査キットを配布した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業費 2,181千円 								継続	大雪のため延期となった前年度分を含め、感染症対策を徹底し開催した。	
									成年年齢が変更になることから、対象者を当該年度に20歳になる者とし、名称を「二十歳のつどい」へ変更し、事業を継続する。	

事業名	すこやかみずっ子育成事業費				(10款 教育費 5項 社会教育費 1目 社会教育総務費)		決算書	114 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課																															
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)																																	
		7,058 [8,883]		7,191 [9,114]		[8,503]																																			
財源内訳	県補助金		2,542		2,670																																				
	一般財源		4,516		4,521																																				
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)																																	
<p>1 放課後子ども教室【国1/3 県1/3】</p> <p>市内の15小学校区で放課後に安全安心な子どもたちの活動の場を設け、地域の方々を指導者としてスポーツ、伝承遊び等の体験活動や交流活動を推進した。</p> <p>また、研修会を実施して推進員等の資質の向上を図るとともに、放課後対策事業運営委員会を開催し、学校、放課後子ども教室及び放課後児童クラブとの意見交換を行うなど連携を図った。</p> <p>〈放課後子ども教室開催状況〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">教室数</th> <th rowspan="2">サークル数</th> <th colspan="2">参加者人数 (延べ)</th> <th rowspan="2">年間開催回数</th> </tr> <tr> <th>子ども</th> <th>推進員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>15教室</td> <td>35サークル</td> <td>4,309人</td> <td>1,172人</td> <td>332回</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>15教室</td> <td>38サークル</td> <td>4,851人</td> <td>1,217人</td> <td>371回</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>放課後子ども教室等参加率</td> <td>18.0%</td> <td>13.7%</td> <td>20.0%</td> </tr> </tbody> </table>								年度	教室数	サークル数	参加者人数 (延べ)		年間開催回数	子ども	推進員	令和2年度	15教室	35サークル	4,309人	1,172人	332回	令和3年度	15教室	38サークル	4,851人	1,217人	371回	指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和3年度	令和5年度	放課後子ども教室等参加率	18.0%	13.7%	20.0%	<p>継続</p> <p>地域の方々や異学年との交流の場となっており、学校や家庭では体験できないような機会を設けた。多くの子供が有意義な時間を過ごせるよう、サークル活動の内容や対象学年の見直しを行い、放課後の活動等の充実に努める。また、より多くの地域住民の参画を得ることができるよう研修会を実施する。</p>		
年度	教室数	サークル数	参加者人数 (延べ)		年間開催回数																																				
			子ども	推進員																																					
令和2年度	15教室	35サークル	4,309人	1,172人	332回																																				
令和3年度	15教室	38サークル	4,851人	1,217人	371回																																				
指標項目	基準	実績	目標																																						
	平成25年度	令和3年度	令和5年度																																						
放課後子ども教室等参加率	18.0%	13.7%	20.0%																																						
<p>2 土曜学習推進事業【国1/3 県1/3】</p> <p>土曜日の安全安心な子どもたちの活動拠点を確保するため、地域の方々を指導者として管楽器や茶道などの体験活動や交流活動を推進した。</p> <p>〈土曜学習推進事業開催状況〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">教室数</th> <th rowspan="2">サークル数</th> <th colspan="2">参加者人数 (延べ)</th> <th rowspan="2">年間開催回数</th> </tr> <tr> <th>子ども</th> <th>推進員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>5教室</td> <td>6サークル</td> <td>381人</td> <td>119人</td> <td>44回</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>5教室</td> <td>6サークル</td> <td>508人</td> <td>161人</td> <td>53回</td> </tr> </tbody> </table>								年度	教室数	サークル数	参加者人数 (延べ)		年間開催回数	子ども	推進員	令和2年度	5教室	6サークル	381人	119人	44回	令和3年度	5教室	6サークル	508人	161人	53回	<p>継続</p> <p>土曜日の安全安心な子どもたちの活動拠点を確保した。サークル活動の内容等の見直しを行い、地域の方々との体験活動や交流活動の推進を図る。</p>													
年度	教室数	サークル数	参加者人数 (延べ)		年間開催回数																																				
			子ども	推進員																																					
令和2年度	5教室	6サークル	381人	119人	44回																																				
令和3年度	5教室	6サークル	508人	161人	53回																																				

事業名	家庭教育力向上支援事業費		(10款 教育費		5項 社会教育費		1目 社会教育総務費)	決算書	114 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課												
決算額【予算額】			令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																
			1,073		【1,895】		1,248		【1,682】																
財 源 内 訳	寄附金		300		300																				
	一般財源		773		948																				
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）														
<p>1 いみず親学びスクール</p> <p>家庭教育力の向上のために、小中学生の児童を持つ保護者や家庭教育支援者等を対象として、講師を招いた講座を実施することで、家庭教育の重要性や家族のコミュニケーション力の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年4回実施 講義型2回 親子体験型2回 (うち1回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため体験キットの配付のみ) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家庭教育に関する講座・学習会（※）の参加者数</td> <td>971人</td> <td>119人</td> <td>1,100人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※いみず親学びスクール、子育て井戸端会議、家庭教育アドバイザースキルアップ研修</p>											指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和3年度	令和5年度	家庭教育に関する講座・学習会（※）の参加者数	971人	119人	1,100人	継続	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講座等の実施回数が減少したが、今後も最新の専門的な情報や子育てのヒントを分かりやすく伝え、家族のコミュニケーション力の向上につながるよう、開催方法を工夫し事業を継続していく。</p>		
指標項目	基準	実績	目標																						
	平成25年度	令和3年度	令和5年度																						
家庭教育に関する講座・学習会（※）の参加者数	971人	119人	1,100人																						

事業名		文化財保存費				(10款 教育費 5項 社会教育費 2目 文化財保護費)				決算書	114 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課											
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																
		13,829	【14,485】	15,844	【18,052】		【14,880】																	
財 源 内 訳	使用料		5		5																			
	県委託金		3,990		4,606																			
	基金繰入金		2,000		2,000																			
	一般財源		7,834		9,233																			
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）													
<p>1 文化財保護意識の普及啓発事業</p> <p>市民の文化財保護意識の高揚のため資料の保存と活用を図ることにより、地域の文化財保護の普及啓発に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 市指定（黒河夜高祭）文化財所在地1か所の解説板を新設した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指定文化財及び登録有形文化財の件数</td> <td>140件</td> <td>146件</td> <td>146件</td> </tr> </tbody> </table>											指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和3年度	令和5年度	指定文化財及び登録有形文化財の件数	140件	146件	146件	継 続	文化財等の普及啓発と公開活用は重要な観点であり、今後は、文化財指定調査等の進捗と並行して、主要な文化財等を中心に、保存活用意識の醸成と外部への情報発信を推進する。	
指標項目	基準	実績	目標																					
	平成25年度	令和3年度	令和5年度																					
指定文化財及び登録有形文化財の件数	140件	146件	146件																					
<p>2 文化財の保存・継承に関する補助</p> <p>文化財の所有者等に、保存事業に要する経費の一部を補助することにより、適切な保護措置及び継承することができた。</p> <p>また、国指定「放生津八幡宮祭の曳山・築山行事」リーフレットの刊行（8,000部）や解説板新設及び文化財保護団体が行う国指定記念事業に要する経費の一部を補助することにより、行事の価値や魅力を広く市民へ周知し、文化財保護意識の高揚を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定文化財の保存・継承に関する補助 7件 											拡 充	今後は、文化財保護行政としての方向性を定める文化財保存活用計画策定に取り組む。 また、国指定「放生津曳山・築山行事」の保存活用計画策定に引き続き、取り組む。												
<p>3 史跡公園の活用</p> <p>市が管理する史跡公園の保護と市民への公開活用機会の充実のため、良好な環境・景観の維持管理に努めることで利用者の利便を図った。また、小杉丸山遺跡公園内の急傾斜地崩落防止対策を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 飛鳥工人の館（国指定：小杉丸山遺跡） 入館者数 2,174人 											継 続	史跡公園等として利用されている国・県・市指定史跡の保存活用のために必要な事業である。 引き続き、史跡公園等を中心とする史跡の保存と良好な公開環境を維持するとともに、活用と情報発信に取り組む。												

事業名	図書館活動推進費				(10款 教育費 5項 社会教育費 4目 図書館費)		決算書	116 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課																																			
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)																																					
		13,560	【13,616】	12,580	【12,642】		【12,442】																																						
財源内訳	一般財源	13,560		12,580																																									
								評価と今後の方向性 (担当課意見)																																					
<p>1 図書館活動推進事業</p> <p>市内4図書館や県内外の図書館との連携を図り、図書館活動の推進に努めた。</p> <p>(1) 子ども会・読書会等</p> <p>図書館を利用して読書の楽しみを広げてもらうための読み聞かせや子ども会行事、読書会を開催した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">講座・講演</th> <th colspan="2">令和2年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> </tr> <tr> <th>開催数</th> <th>延人数</th> <th>開催数</th> <th>延人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子ども会 (絵本・紙芝居の読み聞かせ)</td> <td>69回</td> <td>585人</td> <td>72回</td> <td>755人</td> </tr> <tr> <td>児童集会季節行事</td> <td>4回</td> <td>367人</td> <td>36回</td> <td>938人</td> </tr> <tr> <td>読書会</td> <td>49回</td> <td>400人</td> <td>53回</td> <td>418人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 関連図書展示</p> <p>季節や話題に応じた図書を集めて紹介するテーマ展示を28回開催した。</p> <p>(3) 貸出数等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書貸出者数 (延べ) 102,013人 (令和2年度 96,361人) ・ 図書貸出者数 (実) 9,978人 (令和2年度 9,687人) ・ 貸出冊数 443,846冊 (令和2年度 421,272冊) ・ 貸出用図書購入冊数 6,050冊 (令和2年度 6,846冊) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民1人当たりの図書貸出冊数 (4館)</td> <td>5.7冊</td> <td>4.9冊</td> <td>6.3冊</td> </tr> </tbody> </table>								講座・講演	令和2年度		令和3年度		開催数	延人数	開催数	延人数	子ども会 (絵本・紙芝居の読み聞かせ)	69回	585人	72回	755人	児童集会季節行事	4回	367人	36回	938人	読書会	49回	400人	53回	418人	指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和3年度	令和5年度	市民1人当たりの図書貸出冊数 (4館)	5.7冊	4.9冊	6.3冊	<p>継続</p> <p>4館のバランスに配慮しながら、市として保存すべき資料及び市民ニーズに応じた資料の受け入れに努めた。</p> <p>雑誌スポンサーの確保 (市内図書館4館を対象) に努め、今後も企業等との連携を推進し、図書館資料の充実を図る。</p>		
講座・講演	令和2年度		令和3年度																																										
	開催数	延人数	開催数	延人数																																									
子ども会 (絵本・紙芝居の読み聞かせ)	69回	585人	72回	755人																																									
児童集会季節行事	4回	367人	36回	938人																																									
読書会	49回	400人	53回	418人																																									
指標項目	基準	実績	目標																																										
	平成25年度	令和3年度	令和5年度																																										
市民1人当たりの図書貸出冊数 (4館)	5.7冊	4.9冊	6.3冊																																										

事業名	芸術文化振興費				(10款 教育費 5項 社会教育費 5目 文化振興費)				決算書	116 ページ	担当部課	市民生活部市民活躍・文化課																						
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)																										
		15,084	【20,771】	15,412	【15,780】		【16,591】																											
財源内訳	諸収入	4,400		0																														
	一般財源	10,684		15,412																														
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性 (担当課意見)																								
<p>1 美術展等の開催</p> <p>本市を代表する美術展の開催及び開催補助により、市民が芸術文化活動への意欲を高め、心豊かで潤いのある生活を実感できる環境づくりに効果があった。</p> <p>(1) 射水市展</p> <p>日本画からデザインにいたる7部門の新作を広く市民から公募し、発表と鑑賞の機会を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会場 高周波文化ホール ・ 期間 令和3年10月19日～24日 ・ 入場者数 998人 (令和2年度中止、令和元年度 1,321人) <p>※新型コロナウイルス感染症の影響により、入場者数が減少した。</p> <p>(2) いみず野美術作家展</p> <p>令和元～2年度の全国・全県規模の公募展に入賞・入選した作品等を展示し、市民に質の高い作品鑑賞の機会を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会場 高周波文化ホール ・ 期間 令和3年5月14日～16日 ・ 入場者数 333人 (令和2年度中止、令和元年度 432人) <p>※新型コロナウイルス感染症の影響により、入場者数が減少した。</p>										<p>継続</p> <p>市民の作品の発表と鑑賞の場として、本市の美術振興に大きく貢献しており、今後も新型コロナウイルス感染症対策に努めながら、継続していく。</p>																								
<p>2 市民の芸術文化活動支援</p> <p>芸術文化活動の促進のため、市民参加型の事業への支援により、市民の芸術文化活動に励む機会を提供し、その意欲の向上や芸術に触れる機会の創出に効果があった。</p> <p>〈市民参加の主な芸術文化事業〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">開催期間</th> <th rowspan="2">事業名</th> <th colspan="2">参加者数</th> </tr> <tr> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年10月29日～10月31日</td> <td>射水市芸術文化協会美術展</td> <td>379人</td> <td>433人</td> </tr> <tr> <td>令和3年11月6日～11月7日</td> <td>射水市いけばな展</td> <td>1,553人</td> <td>1,450人</td> </tr> <tr> <td>令和3年11月14日</td> <td>芸能フェスティバルいみず</td> <td>712人</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>令和3年12月3日～12月5日</td> <td>射水市ジュニアアート展</td> <td>258人</td> <td>中止</td> </tr> </tbody> </table> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業の参加者が減少した。</p>													開催期間	事業名	参加者数		令和3年度	令和2年度	令和3年10月29日～10月31日	射水市芸術文化協会美術展	379人	433人	令和3年11月6日～11月7日	射水市いけばな展	1,553人	1,450人	令和3年11月14日	芸能フェスティバルいみず	712人	中止	令和3年12月3日～12月5日	射水市ジュニアアート展	258人	中止
開催期間	事業名	参加者数																																
		令和3年度	令和2年度																															
令和3年10月29日～10月31日	射水市芸術文化協会美術展	379人	433人																															
令和3年11月6日～11月7日	射水市いけばな展	1,553人	1,450人																															
令和3年11月14日	芸能フェスティバルいみず	712人	中止																															
令和3年12月3日～12月5日	射水市ジュニアアート展	258人	中止																															

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
<p>3 射水市文化振興・文化施設在り方検討会の開催</p> <p>これからの成熟社会における本市の望ましい文化振興の在り方と文化施設の方向性について、有識者から意見を求めるため、次の会議を開催した。</p> <p>会議名：射水市文化振興・文化施設在り方検討会</p> <p>開催日：第1回 令和3年 8月17日 第2回 令和3年11月18日</p> <p>委員：10名（学識経験者、芸術文化団体の代表者等）</p>	完了	<p>今後は、本検討会で得られた意見を参考に、庁内検討組織において、文化施設再編基本構想策定に向けた方向性を検討していく。</p>

事業名	新湊博物館維持管理費				(10款 教育費 5項 社会教育費 6目 博物館費)		決算書	117 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課																														
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)																																
		26,150	【27,134】	29,342	【29,714】		【89,537】																																	
財 源 内 訳	使用料	575		693																																				
	諸収入	777		3,364																																				
	一般財源	24,798		25,285																																				
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)																																
<p>1 博物館事業 (展示事業)</p> <p>市民に、本市に関わる歴史、芸術及び民俗について理解を深めてもらうため、企画展・館蔵品展を実施したところ、幅広い年代の来館があった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催期間</th> <th>企画展名</th> <th>入館者数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年4月1日～4月18日</td> <td>郷倉和子 - 梅樹の空に輝く明星 -</td> <td>1,064人</td> <td>会期: 令和3年2月19日～4月18日</td> </tr> <tr> <td>令和3年4月23日～6月27日</td> <td>森弘之 - 越の国のシュルレアリスム -</td> <td>898人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和3年7月2日～8月1日</td> <td>石黒宗麿</td> <td>508人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和3年8月6日～10月10日</td> <td>特別展 放生津の祭 - 海がはぐくむ曳山・築山 -</td> <td>1,181人</td> <td>新型コロナウイルス感染症拡大のため臨時休館: 令和3年8月18日～9月12日</td> </tr> <tr> <td>令和3年10月15日～12月20日</td> <td>あっち行け! 禍 - 災害の歴史 -</td> <td>1,770人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和4年1月5日～2月13日</td> <td>あなたも名探偵!! - 博物館の不思議な道具 -</td> <td>342人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和4年2月18日～3月31日</td> <td>春よ来い - 資料が織りなす春模様 -</td> <td>408人</td> <td>会期: 令和4年2月18日～4月17日</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">※3月31日までの入館者数</p>								開催期間	企画展名	入館者数	備考	令和3年4月1日～4月18日	郷倉和子 - 梅樹の空に輝く明星 -	1,064人	会期: 令和3年2月19日～4月18日	令和3年4月23日～6月27日	森弘之 - 越の国のシュルレアリスム -	898人		令和3年7月2日～8月1日	石黒宗麿	508人		令和3年8月6日～10月10日	特別展 放生津の祭 - 海がはぐくむ曳山・築山 -	1,181人	新型コロナウイルス感染症拡大のため臨時休館: 令和3年8月18日～9月12日	令和3年10月15日～12月20日	あっち行け! 禍 - 災害の歴史 -	1,770人		令和4年1月5日～2月13日	あなたも名探偵!! - 博物館の不思議な道具 -	342人		令和4年2月18日～3月31日	春よ来い - 資料が織りなす春模様 -	408人	会期: 令和4年2月18日～4月17日	<p>継続</p> <p>市民等が興味関心の湧く、機を捉えた展示や体験会を開催することができた。 引き続き、社会の動向を注視しながら機を見た展示等を企画し、市民の歴史、芸術への関心を高めていく。</p>
開催期間	企画展名	入館者数	備考																																					
令和3年4月1日～4月18日	郷倉和子 - 梅樹の空に輝く明星 -	1,064人	会期: 令和3年2月19日～4月18日																																					
令和3年4月23日～6月27日	森弘之 - 越の国のシュルレアリスム -	898人																																						
令和3年7月2日～8月1日	石黒宗麿	508人																																						
令和3年8月6日～10月10日	特別展 放生津の祭 - 海がはぐくむ曳山・築山 -	1,181人	新型コロナウイルス感染症拡大のため臨時休館: 令和3年8月18日～9月12日																																					
令和3年10月15日～12月20日	あっち行け! 禍 - 災害の歴史 -	1,770人																																						
令和4年1月5日～2月13日	あなたも名探偵!! - 博物館の不思議な道具 -	342人																																						
令和4年2月18日～3月31日	春よ来い - 資料が織りなす春模様 -	408人	会期: 令和4年2月18日～4月17日																																					
<p>2 博物館事業 (講演会等)</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大状況を注視しながら、講演会及び体験教室を開催した。これまで、ホームページを中心に参加者を募集していたが、市LINEを利用したところ大きな反響があった。</p>								<p>継続</p> <p>来館者のアンケート等を参考に、展示に関連する魅力ある講演・解説・体験会を行い入館者層の拡大を図る。</p>																																
<p>3 博物館資料整備事業 (未データ化資料整理・取得資料の撮影等)</p> <p>資料の恒久的保存と利用簡便化を図るためデジタル化を進めてきたところ、古写真については収集分を全て終了した。</p>								<p>継続</p> <p>高樹文庫の一紙文書を中心に、デジタル化を進め、更なる博物館資料の充実を図る。</p>																																
<p>4 博物館資料整備事業 (博物館年報等の発行等)</p> <p>放生津八幡宮祭の曳山・築山行事の国指定重要無形民俗文化財指定を記念し特別展を開催した。併せて、図録を刊行した。印刷部数1,500部。ミュージアムショップにおいて1冊1,000円で販売。</p>								<p>継続</p> <p>図録やミュージアムグッズを通し、文化財の浸透を図る。</p>																																

事業名	小杉展示館・竹内源造記念館管理運営費 (10款 教育費 5項 社会教育費 7目 芸術文化施設費)				決算書	117 ページ	担当部課	市民生活部市民活躍・文化課																																																																					
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)																																																																					
		12,938	【12,944】	12,732	【12,732】		【12,889】																																																																						
財 源 内 訳	使用料		2		4																																																																								
	諸収入		88		0																																																																								
	一般財源		12,848		12,728																																																																								
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性 (担当課意見)																																																																						
<p>1 小杉展示館の指定管理 / 小杉まちづくり協議会 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めながら、国登録有形文化財である建造物を活用し、芸術作品の展示や地域住民の作品発表等を行い、市民が芸術文化に親しむ機会を提供した。 入館者数 4,923人 (令和2年度 4,547人、令和元年度 5,425人) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年8月18日から9月12日まで臨時休館</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催期間</th> <th>企画事業名</th> <th>入館者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>令和3年4月7日～4月18日</td><td>ふらっと作品展</td><td>282人</td></tr> <tr><td>令和3年4月21日～6月11日</td><td>特別展 郷倉千韜</td><td>209人</td></tr> <tr><td>令和3年6月2日～6月9日</td><td>仙陀窯 藤田貴士作陶展</td><td>143人</td></tr> <tr><td>令和3年6月16日～6月29日</td><td>あおい幼稚園園児作品展</td><td>286人</td></tr> <tr><td>令和3年7月2日～7月9日</td><td>小佛と書道 (入賞作品) 展 植木寿仙</td><td>97人</td></tr> <tr><td>令和3年7月17日～7月25日</td><td>戸破地域防犯標語展</td><td>44人</td></tr> <tr><td>令和3年7月29日～8月5日</td><td>緑天鳳窯 小杉陶土作品展</td><td>137人</td></tr> <tr><td>令和3年8月19日～8月29日</td><td>2021世界の児童画フェスティバル</td><td>中止</td></tr> <tr><td>令和3年10月1日～10月10日</td><td>池上美栄子陶芸教室陶遊会作品展・ふれあい陶芸サロン展</td><td>110人</td></tr> <tr><td>令和3年10月16日～10月31日</td><td>小杉西部保育園園児作品展</td><td>565人</td></tr> <tr><td>令和3年11月9日～11月14日</td><td>ひばり・さんが文化祭作品展</td><td>78人</td></tr> <tr><td>令和3年11月18日～11月28日</td><td>わたしの町のたからもの絵画展</td><td>84人</td></tr> <tr><td>令和3年12月4日</td><td>クリスマスふれあいコンサート</td><td>47人</td></tr> <tr><td>令和3年12月8日～12月12日</td><td>小杉采芳会美術展</td><td>104人</td></tr> <tr><td>令和3年12月18日～12月26日</td><td>創作ビスクドール教室展</td><td>318人</td></tr> <tr><td>令和4年1月6日～1月12日</td><td>はあとびあ学園作品展示</td><td>234人</td></tr> <tr><td>令和4年1月18日～2月9日</td><td>第17回児童書初め展</td><td>596人</td></tr> <tr><td>令和4年2月12日</td><td>秋桜・パニラチョココンサート</td><td>30人</td></tr> <tr><td>令和4年2月18日～3月10日</td><td>第10回児童版画展</td><td>600人</td></tr> <tr><td>令和4年3月18日～3月24日</td><td>暮らしを彩る立体折り紙展</td><td>246人</td></tr> <tr><td>令和4年3月26日</td><td>春のうららコンサート</td><td>38人</td></tr> <tr><td colspan="2">企画事業入館者合計</td><td>4,248人</td></tr> </tbody> </table> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響により、一部企画事業が延期又は中止となった。</p>							開催期間	企画事業名	入館者数	令和3年4月7日～4月18日	ふらっと作品展	282人	令和3年4月21日～6月11日	特別展 郷倉千韜	209人	令和3年6月2日～6月9日	仙陀窯 藤田貴士作陶展	143人	令和3年6月16日～6月29日	あおい幼稚園園児作品展	286人	令和3年7月2日～7月9日	小佛と書道 (入賞作品) 展 植木寿仙	97人	令和3年7月17日～7月25日	戸破地域防犯標語展	44人	令和3年7月29日～8月5日	緑天鳳窯 小杉陶土作品展	137人	令和3年8月19日～8月29日	2021世界の児童画フェスティバル	中止	令和3年10月1日～10月10日	池上美栄子陶芸教室陶遊会作品展・ふれあい陶芸サロン展	110人	令和3年10月16日～10月31日	小杉西部保育園園児作品展	565人	令和3年11月9日～11月14日	ひばり・さんが文化祭作品展	78人	令和3年11月18日～11月28日	わたしの町のたからもの絵画展	84人	令和3年12月4日	クリスマスふれあいコンサート	47人	令和3年12月8日～12月12日	小杉采芳会美術展	104人	令和3年12月18日～12月26日	創作ビスクドール教室展	318人	令和4年1月6日～1月12日	はあとびあ学園作品展示	234人	令和4年1月18日～2月9日	第17回児童書初め展	596人	令和4年2月12日	秋桜・パニラチョココンサート	30人	令和4年2月18日～3月10日	第10回児童版画展	600人	令和4年3月18日～3月24日	暮らしを彩る立体折り紙展	246人	令和4年3月26日	春のうららコンサート	38人	企画事業入館者合計		4,248人	<p>新型コロナウイルス感染症の発生前に近い内容で事業を展開することができた。 引き続き、指定管理者による適切な施設管理と事業運営に努める。</p>	
開催期間	企画事業名	入館者数																																																																											
令和3年4月7日～4月18日	ふらっと作品展	282人																																																																											
令和3年4月21日～6月11日	特別展 郷倉千韜	209人																																																																											
令和3年6月2日～6月9日	仙陀窯 藤田貴士作陶展	143人																																																																											
令和3年6月16日～6月29日	あおい幼稚園園児作品展	286人																																																																											
令和3年7月2日～7月9日	小佛と書道 (入賞作品) 展 植木寿仙	97人																																																																											
令和3年7月17日～7月25日	戸破地域防犯標語展	44人																																																																											
令和3年7月29日～8月5日	緑天鳳窯 小杉陶土作品展	137人																																																																											
令和3年8月19日～8月29日	2021世界の児童画フェスティバル	中止																																																																											
令和3年10月1日～10月10日	池上美栄子陶芸教室陶遊会作品展・ふれあい陶芸サロン展	110人																																																																											
令和3年10月16日～10月31日	小杉西部保育園園児作品展	565人																																																																											
令和3年11月9日～11月14日	ひばり・さんが文化祭作品展	78人																																																																											
令和3年11月18日～11月28日	わたしの町のたからもの絵画展	84人																																																																											
令和3年12月4日	クリスマスふれあいコンサート	47人																																																																											
令和3年12月8日～12月12日	小杉采芳会美術展	104人																																																																											
令和3年12月18日～12月26日	創作ビスクドール教室展	318人																																																																											
令和4年1月6日～1月12日	はあとびあ学園作品展示	234人																																																																											
令和4年1月18日～2月9日	第17回児童書初め展	596人																																																																											
令和4年2月12日	秋桜・パニラチョココンサート	30人																																																																											
令和4年2月18日～3月10日	第10回児童版画展	600人																																																																											
令和4年3月18日～3月24日	暮らしを彩る立体折り紙展	246人																																																																											
令和4年3月26日	春のうららコンサート	38人																																																																											
企画事業入館者合計		4,248人																																																																											
							継続																																																																						

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
<p>2 竹内源造記念館の指定管理 / 小杉まちづくり協議会</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めながら、国登録有形文化財である建造物を活用し、小杉左官の名工・竹内源造の鍍絵鑑賞や鍍絵制作体験の機会を提供し、地域特有の文化の普及と継承に努めた。</p> <p>※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年8月18日から9月12日まで臨時休館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入館者数 3,362人（令和2年度 3,309人、令和元年度 6,007人） <p>(1) 鍍絵体験教室運営事業</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染防止に努めながら、幅広い年齢層が手軽に取り組むことのできる鍍絵体験教室を開催し、市内外から訪れた見学者に鍍絵文化に触れる機会を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鍍絵体験参加者 250人（令和2年度 176人、令和元年度 473人） <p>(2) 「鍍絵のまち小杉」情報発信促進事業</p> <p>新型コロナウイルス感染防止対策を徹底した中で、鍍絵と下条川千本桜まつり等の各種イベントの開催に取り組み「鍍絵のまち小杉」の魅力を発信し、交流人口の拡大を目指した。</p>	<p>継 続</p>	<p>主に市外からの見学者が減少しているが、アフターコロナを見据え、指定管理者による適切な施設管理と事業運営に努める。</p>

事業名	陶房「匠の里」管理運営費				(10款 教育費 5項 社会教育費 7目 芸術文化施設費)		決算書	118 ページ	担当部課	市民生活部市民活躍・文化課																																																												
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)																																																														
		9,517	【9,517】	9,517	【9,517】		【10,159】																																																															
財源内訳	一般財源	9,517		9,517																																																																		
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)																																																														
<p>1 陶房「匠の里」の指定管理 / (公財)射水市文化振興財団 手作り文化振興のため、様々な陶芸教室を開講することにより、市民に体験学習の機会と芸術活動の場を提供した。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年8月18日から9月26日まで臨時休館</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度陶芸教室受講者数 								<p>継続</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、陶芸教室受講者の減少傾向が続いている。 今後は、指定管理者による広報の手法や新しい魅力づくり等に努める。</p>																																																														
<p><コース利用者></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>コース名</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>体験コース</td><td>3,283人</td></tr> <tr><td>金・土コース</td><td>166人</td></tr> <tr><td>匠コース</td><td>2,430人</td></tr> <tr><td>木コース</td><td>693人</td></tr> <tr><td>夜間コース</td><td>548人</td></tr> <tr><td>水コース</td><td>635人</td></tr> <tr><td>絵付けコース</td><td>82人</td></tr> <tr><td>継続コース</td><td>1,720人</td></tr> <tr><td>計</td><td>9,557人</td></tr> </tbody> </table> <p>(令和2年度 8,251人) (令和元年度 12,684人)</p>			コース名	利用者数	体験コース	3,283人	金・土コース				166人	匠コース	2,430人	木コース	693人	夜間コース	548人	水コース	635人	絵付けコース	82人	継続コース	1,720人	計	9,557人	<p><企画教室利用者> (体験コース内数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>企画作品</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>こいのぼり</td><td>14人</td></tr> <tr><td>5月</td><td>お地藏さま</td><td>21人</td></tr> <tr><td>6月</td><td>蚊取り線香立</td><td>11人</td></tr> <tr><td>7月</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>8月</td><td>シーサー</td><td>中止</td></tr> <tr><td>9月</td><td>ハロウィン南瓜</td><td>中止</td></tr> <tr><td>10月</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>11月</td><td>お鏡餅、大島絵本館</td><td>235人</td></tr> <tr><td>12月</td><td>干支の絵馬 (寅)</td><td>20人</td></tr> <tr><td>1月</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>2月</td><td>陶のお雛様</td><td>8人</td></tr> <tr><td>3月</td><td>天神様</td><td>8人</td></tr> <tr><td></td><td>計</td><td>317人</td></tr> </tbody> </table>			月	企画作品	利用者数	4月	こいのぼり	14人	5月	お地藏さま	21人	6月	蚊取り線香立	11人	7月	—	—	8月	シーサー	中止	9月	ハロウィン南瓜	中止	10月	—	—	11月	お鏡餅、大島絵本館	235人	12月	干支の絵馬 (寅)	20人	1月	—	—	2月	陶のお雛様	8人	3月	天神様	8人		計	317人
コース名	利用者数																																																																					
体験コース	3,283人																																																																					
金・土コース	166人																																																																					
匠コース	2,430人																																																																					
木コース	693人																																																																					
夜間コース	548人																																																																					
水コース	635人																																																																					
絵付けコース	82人																																																																					
継続コース	1,720人																																																																					
計	9,557人																																																																					
月	企画作品	利用者数																																																																				
4月	こいのぼり	14人																																																																				
5月	お地藏さま	21人																																																																				
6月	蚊取り線香立	11人																																																																				
7月	—	—																																																																				
8月	シーサー	中止																																																																				
9月	ハロウィン南瓜	中止																																																																				
10月	—	—																																																																				
11月	お鏡餅、大島絵本館	235人																																																																				
12月	干支の絵馬 (寅)	20人																																																																				
1月	—	—																																																																				
2月	陶のお雛様	8人																																																																				
3月	天神様	8人																																																																				
	計	317人																																																																				

事業名	新湊中央文化会館管理運営費				(10款 教育費 5項 社会教育費 7目 芸術文化施設費)		決算書	118 ページ	担当部課	市民生活部市民活躍・文化課																					
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)																							
		92,484	【92,495】	84,523	【84,526】		【78,073】	大規模修繕工事の減少による。																							
財 源 内 訳	使用料	38		37																											
	諸収入	2,200		2,200																											
	一般財源	90,246		82,286																											
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)																							
<p>1 新湊中央文化会館の指定管理 / (公財) 射水市文化振興財団</p> <p>芸術文化の振興のため、利用者の利便を図るとともに、様々な事業の開催により、市民がホールに足を運び、芸術に親しむことができる環境づくりに成果があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度施設利用者総数 59,434人 (令和2年度 32,782人、令和元年度 98,379人) <p>※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年8月18日から9月26日まで臨時休館</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>開催事業名</th> <th>入館者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年9月4日</td> <td>手嶌葵15TH ANNIVERSARY CONCERT~SIMPLE IS BEST~</td> <td>506人</td> </tr> <tr> <td>令和3年11月3日</td> <td>YUJI OHNO & LUPINTIC SIX LUPINTIC JAZZ LIVE</td> <td>520人</td> </tr> <tr> <td>令和3年11月5日</td> <td>立川志の輔 独演会</td> <td>592人</td> </tr> <tr> <td>令和3年11月21日</td> <td>新湊地域吹奏楽フェスティバル</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>令和4年2月26日</td> <td>高周波文化ホール開館40周年記念イベント 早春メモリアルコンサート</td> <td>182人</td> </tr> <tr> <td>令和4年3月19日</td> <td>春のいぶきコンサート</td> <td>191人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業は新型コロナウイルス感染拡大防止のため入場者数を2分の1に制限し開催又は一部中止した。</p>								開催日	開催事業名	入館者数	令和3年9月4日	手嶌葵15TH ANNIVERSARY CONCERT~SIMPLE IS BEST~	506人	令和3年11月3日	YUJI OHNO & LUPINTIC SIX LUPINTIC JAZZ LIVE	520人	令和3年11月5日	立川志の輔 独演会	592人	令和3年11月21日	新湊地域吹奏楽フェスティバル	中止	令和4年2月26日	高周波文化ホール開館40周年記念イベント 早春メモリアルコンサート	182人	令和4年3月19日	春のいぶきコンサート	191人	<p>継続</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、感染予防対策に努めながら各種事業や文化活動の場の提供を行っており、引き続き、指定管理者による施設の適切な管理運営及び事業運営に努める。</p>		
開催日	開催事業名	入館者数																													
令和3年9月4日	手嶌葵15TH ANNIVERSARY CONCERT~SIMPLE IS BEST~	506人																													
令和3年11月3日	YUJI OHNO & LUPINTIC SIX LUPINTIC JAZZ LIVE	520人																													
令和3年11月5日	立川志の輔 独演会	592人																													
令和3年11月21日	新湊地域吹奏楽フェスティバル	中止																													
令和4年2月26日	高周波文化ホール開館40周年記念イベント 早春メモリアルコンサート	182人																													
令和4年3月19日	春のいぶきコンサート	191人																													

事業名	小杉文化ホール管理運営費				(10款 教育費 5項 社会教育費 7目 芸術文化施設費)		決算書	118 ページ	担当部課	市民生活部市民活躍・文化課																					
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)																							
		82,540	【82,628】	76,021	【80,728】		【75,328】	大規模修繕工事の減少による。																							
財 源 内 訳	使用料	121		130																											
	諸収入	2,200		2,200																											
	一般財源	80,219		73,691																											
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)																							
<p>1 小杉文化ホールの指定管理 / (公財) 射水市文化振興財団</p> <p>芸術文化の振興のため、利用者の利便を図るとともに、ホールの音響特性を活用したコンサート等の芸術文化事業を開催することにより、市民が音楽に親しむことができる環境づくりに成果があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度施設利用者総数 27,892人 (令和2年度 24,766人、令和元年度 61,462人) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年8月18日から9月26日まで臨時休館 <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>開催事業名</th> <th>入館者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年8月7日</td> <td>栗コーダーカルテット&ビューティフルハミングバードコンサート</td> <td>200人</td> </tr> <tr> <td>令和3年9月12日</td> <td>千住真理子ヴァイオリン・リサイタル</td> <td>333人</td> </tr> <tr> <td>令和3年9月19日</td> <td>射水市合唱祭</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>令和3年12月19日</td> <td>ショパンと遊ぼう! ~中沖いくこと仲間たちによるファミリーコンサート~</td> <td>225人</td> </tr> <tr> <td>令和4年1月9日</td> <td>ラポールニューイヤーコンサート2022</td> <td>273人</td> </tr> <tr> <td>令和4年3月20日</td> <td>こすぎ童謡フェスティバル</td> <td>中止</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業は新型コロナウイルス感染拡大防止のため入場者数を2分の1に制限し開催又は一部中止した。</p>								開催日	開催事業名	入館者数	令和3年8月7日	栗コーダーカルテット&ビューティフルハミングバードコンサート	200人	令和3年9月12日	千住真理子ヴァイオリン・リサイタル	333人	令和3年9月19日	射水市合唱祭	中止	令和3年12月19日	ショパンと遊ぼう! ~中沖いくこと仲間たちによるファミリーコンサート~	225人	令和4年1月9日	ラポールニューイヤーコンサート2022	273人	令和4年3月20日	こすぎ童謡フェスティバル	中止	<p>継続</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、感染予防対策に努めながら各種事業や文化活動の場の提供を行っており、引き続き、指定管理者による施設の適切な管理運営及び事業運営に努める。</p>		
開催日	開催事業名	入館者数																													
令和3年8月7日	栗コーダーカルテット&ビューティフルハミングバードコンサート	200人																													
令和3年9月12日	千住真理子ヴァイオリン・リサイタル	333人																													
令和3年9月19日	射水市合唱祭	中止																													
令和3年12月19日	ショパンと遊ぼう! ~中沖いくこと仲間たちによるファミリーコンサート~	225人																													
令和4年1月9日	ラポールニューイヤーコンサート2022	273人																													
令和4年3月20日	こすぎ童謡フェスティバル	中止																													
<p>(繰越明許費 4,700 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業名 小杉文化ホール管理運営事業 予算執行率 94.2% 完了時期 令和5年3月 																															

事業名	大門総合会館管理運営費				(10款 教育費 5項 社会教育費 7目 芸術文化施設費)				決算書	118 ページ	担当部課	市民生活部市民活躍・文化課						
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)										
		38,956	【40,194】	37,267	【40,429】													
財 源 内 訳	負担金		758		338													
	使用料		2,986		1,920													
	一般財源		35,212		35,009													
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性 (担当課意見)							
<p>1 大門総合会館及び正力・小林記念館の指定管理 / (公財)射水市文化振興財団 ホールや会議室、展示室等の各設備の良好な管理運営に努めるとともに、練習会や研修会等、市民の芸術文化活動の場の提供に成果があった。 また、同館が市民により親しまれる施設となるよう、1階ロビーにいみずフリーWi-Fiのアクセスポイント及び10席のフリースペースを設置し、多目的な利用環境を整えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度施設利用者総数 33,195人 (令和2年度 27,880人、令和元年度 55,485人) 大門総合会館 32,690人 (令和2年度 27,283人、令和元年度 54,934人) 正力・小林記念館 505人 (令和2年度 597人、令和元年度 551人) <p>※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年8月18日から9月26日まで臨時休館</p> <p><企画事業></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>開催事業名</th> <th>入館者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年6月13日</td> <td>川村亘平斎とあだち麗三郎の影絵と音楽</td> <td>96人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業は新型コロナウイルス感染拡大防止のため入場者数を2分の1に制限し開催した。</p>											開催日	開催事業名	入館者数	令和3年6月13日	川村亘平斎とあだち麗三郎の影絵と音楽	96人	<p>継続</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、感染予防対策に努めながら文化活動の場の提供を行っており、引き続き、指定管理者による施設の適切な管理運営等に努める。</p>	
開催日	開催事業名	入館者数																
令和3年6月13日	川村亘平斎とあだち麗三郎の影絵と音楽	96人																
<p>(繰越明許費 3,110 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業名 大門総合会館管理運営事業 予算執行率 92.3% 完了時期 令和5年3月 																		

事業名	大島絵本館管理運営費				(10款 教育費 5項 社会教育費 7目 芸術文化施設費)		決算書	118 ページ	担当部課	市民生活部市民活躍・文化課																															
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)																																	
		81,175	【81,184】	80,784	【80,784】		【81,860】																																		
財 源 内 訳	使用料	14		16																																					
	一般財源	81,161		80,768																																					
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)																																	
<p>1 大島絵本館の指定管理 / (公財)射水市絵本文化振興財団</p> <p>絵本文化の振興を図るため、施設の良好な管理運営に努めるとともに、各種ワークショップの開催や手づくり絵本コンクール、絵本原画展の開催など、市民が絵本に親しむことができる環境づくり及び市内外への絵本文化の発信に成果があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度施設利用者総数 22,317人 (令和2年度 16,813人、令和元年度 30,522人) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年8月18日から9月26日まで臨時休館 <p>(1) 主なイベント事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催期間</th> <th>開催事業名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年5月23日</td> <td>ばらの香りコンサート</td> </tr> <tr> <td>令和3年4月～8月</td> <td>おおしま国際手づくり絵本コンクール2021 (229点)</td> </tr> <tr> <td>令和3年8月～12月</td> <td>おおしま国際手づくり絵本コンクール2021 ジュニアの部 (665点)</td> </tr> <tr> <td>(中止) 令和3年8月22日</td> <td>開館27周年記念感謝デー</td> </tr> <tr> <td>令和3年11月14日</td> <td>いのちの絵本</td> </tr> <tr> <td>令和3年12月11日</td> <td>絵本館のクリスマスコンサート</td> </tr> <tr> <td>通年</td> <td>絵本原画企画展示等</td> </tr> <tr> <td>令和4年2月20日</td> <td>公募絵本ライブIV</td> </tr> <tr> <td>令和4年3月12日</td> <td>たちもとみちこワークショップ</td> </tr> </tbody> </table> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の事業を中止した。</p> <p>(2) 創作活動事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 創作教室 年10回 うち2回中止 (令和2年度 年7回、令和元年度 年9回) 参加人数の上限を40人として開催 令和3年度登録家族 117組 (令和2年度 77組、令和元年度 146組) ワークショップ、CGワークショップ等 <p>(3) 広報・情報発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> マグちゃん通信発刊 (年6回 90,000部) <p>(4) 出前講座事業</p> <p>市内外の小学校や高校、図書館等で、絵本の読み聞かせや絵本づくり等の出前講座を実施し、広く絵本に触れる機会を創出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度実施回数 28回、905人参加 (令和2年度 25回 963人、令和元年度 36回 1,751人) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要文化施設入館者数</td> <td>285,051人</td> <td>169,129人</td> <td>317,000人</td> </tr> </tbody> </table>								開催期間	開催事業名	令和3年5月23日	ばらの香りコンサート	令和3年4月～8月	おおしま国際手づくり絵本コンクール2021 (229点)	令和3年8月～12月	おおしま国際手づくり絵本コンクール2021 ジュニアの部 (665点)	(中止) 令和3年8月22日	開館27周年記念感謝デー	令和3年11月14日	いのちの絵本	令和3年12月11日	絵本館のクリスマスコンサート	通年	絵本原画企画展示等	令和4年2月20日	公募絵本ライブIV	令和4年3月12日	たちもとみちこワークショップ	指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和3年度	令和5年度	主要文化施設入館者数	285,051人	169,129人	317,000人	<p>継続</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、感染予防対策に努めながら各種事業を開催しており、引き続き、指定管理者による施設の適切な管理運営及び事業運営に努める。</p>		
開催期間	開催事業名																																								
令和3年5月23日	ばらの香りコンサート																																								
令和3年4月～8月	おおしま国際手づくり絵本コンクール2021 (229点)																																								
令和3年8月～12月	おおしま国際手づくり絵本コンクール2021 ジュニアの部 (665点)																																								
(中止) 令和3年8月22日	開館27周年記念感謝デー																																								
令和3年11月14日	いのちの絵本																																								
令和3年12月11日	絵本館のクリスマスコンサート																																								
通年	絵本原画企画展示等																																								
令和4年2月20日	公募絵本ライブIV																																								
令和4年3月12日	たちもとみちこワークショップ																																								
指標項目	基準	実績	目標																																						
	平成25年度	令和3年度	令和5年度																																						
主要文化施設入館者数	285,051人	169,129人	317,000人																																						

事業名		スポーツ推進事務管理費				(10款 教育費 6項 保健体育費 1目 体育総務費)				決算書	118 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課	
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）						
		40,417	【43,694】	40,881	【43,143】		【42,631】							
財 源 内 訳	県補助金		42		43									
	一般財源		40,375		40,838									
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）			
<p>1 射水市体育協会事務局補助金 射水市体育協会事務局の人件費及び事務費として補助金を交付することで、市民へのスポーツ活動の普及振興を通じた活力あるまちづくりの推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交付額 26,893千円 											継 続	<p>スポーツイベント及び競技大会の実施やスポーツ情報の発信、各体協加盟団体の育成を図るための事業を展開するなど、市スポーツ振興の推進に努めており、今後も継続して補助を行う。</p>		
<p>2 幼児の体力向上支援事業 幼児に多様な運動遊びを経験させることで、運動する楽しさや喜びを実感させるとともに、様々な体の動かし方の習得や体力向上を図り、たくましい子供の成長につなげた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施施設 延べ実施日数 48日（令和2年度 延べ実施日数47日、17施設） 放生津保育園、八幡保育園、片口保育園、塚原保育園、金山保育園、大江保育園、千成保育園、池多保育園、大門きらら保育園、大門わかば幼稚園、大島南部保育園、下村保育園、新湊中部保育園、海老江こども園、新湊うみいるこども園、あいあい保育園、大島つばさ保育園、射水おおぞら保育園（計18施設） 												継 続	<p>多様な運動遊びを経験する機会を提供できた。今後も継続して支援を行う。</p>	

事業名	スポーツ団体活動費		(10款 教育費 6項 保健体育費 1目 体育総務費)			決算書	118 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課											
決算額【予算額】		令和2年度	令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)													
		7,508	【7,735】	7,030	【7,454】		【7,407】													
財源内訳	一般財源	7,508		7,030																
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)												
<p>1 スポーツ団体の育成、活動補助</p> <p>スポーツ少年団、各競技団体及び地区体育協会等に補助し、市民のスポーツ活動を積極的に支援することで、スポーツの普及振興を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体育協会加盟団体 60団体 (競技団体30、地区団体27、その他3) ・ スポーツ少年団 登録52単位団 990人 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成24年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スポーツ少年団の登録者率</td> <td>31.0%</td> <td>27.1%</td> <td>35.0%</td> </tr> </tbody> </table>								指標項目	基準	実績	目標	平成24年度	令和3年度	令和5年度	スポーツ少年団の登録者率	31.0%	27.1%	35.0%	継続	<p>スポーツを通じた市民の健康増進及び健全な心身の育成を支えることができた。今後も継続して補助を行う。</p>
指標項目	基準	実績	目標																	
	平成24年度	令和3年度	令和5年度																	
スポーツ少年団の登録者率	31.0%	27.1%	35.0%																	

事業名		スポーツ行事推進費				(10款 教育費 6項 保健体育費 1目 体育総務費)				決算書	118 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)					
		7,501	【11,289】	13,603	【16,507】		【13,744】	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で各種大会、イベントを縮小開催又は中止したことによる。					
財源内訳	一般財源	7,501		13,603									
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性 (担当課意見)			
<p>1 スポーツ大会等の開催</p> <p>市民体育大会を開催し、市民の健康・体力増進と競技力向上を図った。 中学生や高校生のトップレベルの大会が相次いで開催され、市民のスポーツに対する関心や活動の促進につながった。</p> <p>(1) 市民体育大会 参加者5,137人</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部の競技は中止となった。 28競技中、24競技が実施 (令和3年4月29日～10月27日：市内一円) <p>(2) 元旦マラソン大会</p> <ul style="list-style-type: none"> 大雪のため、新湊・大門会場とも中止となった。 <p>(3) 北信越中学校総合競技大会</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内において開催され、本市では新体操、柔道、相撲競技が行われた。 <p>(4) 全国高等学校総合体育大会</p> <ul style="list-style-type: none"> 北信越5県で開催され、本市では新湊アイシン軽金属スポーツセンター及びアルビス小杉総合体育センターにおいて、女子パドミントン競技が行われた。(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、無観客での開催) 										<p>継続</p> <p>スポーツ大会、スポーツイベントの開催補助により市民の健康・体力増進を図ることができた。今後も継続して開催する。</p>			

事業名	スポーツ強化育成費		(10款 教育費 6項 保健体育費 1目 体育総務費)		決算書	119 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課											
決算額【予算額】		令和2年度	令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）												
		1,013	[2,445]	1,824	[3,626]														
財 源 内 訳	一般財源	1,013		1,824															
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性（担当課意見）												
<p>1 全国大会等の出場激励金等交付事業</p> <p>全国大会等に出場する選手又は監督に激励金を交付することにより、市の代表選手としての意識の高揚や競技力の向上に成果を上げた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出場激励金 団体 1団体、個人 174人 							継続	<p>激励金を交付することにより、出場選手が郷土の代表として誇りを持って活躍できるよう支援することができた。今後も継続して交付を行う。</p>											
<p>2 スポーツ選手強化育成事業</p> <p>(1) 選手強化事業</p> <p>競技協会が行う強化練習会や強化合宿の実施に対し補助することにより、選手の技術力の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ヨット協会、バスケットボール協会、ソフトテニス協会、卓球協会、剣道連盟、空手協会、クレール射撃部（計7団体） <p>(2) 未来を担う中学生の競技力推進事業</p> <p>競技協会が中学生のスポーツ活動をサポートする事業の実施に対し補助することにより、未来を担う中学生の競技力の向上及び推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ バレーボール協会、ハンドボール協会、ソフトテニス協会、剣道連盟（計4団体） <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成24年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全国大会の出場者率</td> <td>6.3%</td> <td>13.4%</td> <td>9.0%</td> </tr> </tbody> </table>								指標項目	基準	実績	目標	平成24年度	令和3年度	令和5年度	全国大会の出場者率	6.3%	13.4%	9.0%	継続
指標項目	基準	実績	目標																
	平成24年度	令和3年度	令和5年度																
全国大会の出場者率	6.3%	13.4%	9.0%																

事業名	スポーツ施設維持管理費（繰越明許）				（ 10款 教育費 6項 保健体育費 2目 体育施設費 ）				決算書	119 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課	
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）					
				33,044	【33,044】								
財源内訳	国庫補助金			33,044									
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）			
<p>1 スポーツ施設及び芸術文化施設等における予約管理システムの導入（新型コロナ対策3-No.39）【交付金】</p> <p>パソコンやスマートフォン等からリアルタイムに施設の空き状況の確認や予約を可能とする予約管理システムを構築し、利用者の利便性向上と新型コロナウイルス感染症の感染リスクの軽減を図ることができた。</p>										完了	<p>スポーツ施設及び芸術文化施設の予約について、従来の方法に加えパソコンやスマートフォン等でのWEB予約が可能となった。</p>		

事業名	スポーツ施設維持管理費				（ 10款 教育費 6項 保健体育費 2目 体育施設費 ）				決算書	119 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課	
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）					
		140,647	【174,877】	148,258	【165,626】		【224,206】						
財源内訳	使用料	3,184		3,482									
	国庫補助金	6,475		0									
	諸収入	5,097		5,163									
	市債	0		8,400									
	一般財源	125,891		131,213									
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）			
<p>1 スポーツ施設の維持管理</p> <p>市民が安全・安心に利用できるよう市内スポーツ施設の維持管理及び修繕を行い、市民のスポーツ活動の推進並びに健康の維持増進を図った。</p> <p>新湊総合体育館直流電源装置改修工事を行い、利用者が安全・安心に利用できるよう、適正な維持管理に努めた。</p>										継続	<p>長期的な視点に立った施設修繕を行い、利便性の向上につなげた。引き続き、安全・安心に利用できるよう、適正な維持管理及び修繕に努める。</p>		
<p>（繰越明許費 16,506 千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業名 主要体育館等の修繕工事 ・ 予算執行率 90.0% ・ 完了時期 令和5年3月 													

事業名	パークゴルフ場維持管理費				(10款 教育費 6項 保健体育費 2目 体育施設費)		決算書	119 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）		
		17,501	【17,594】	18,710	【18,800】		【20,393】			
財 源 内 訳	使用料	177		143						
	一般財源	17,324		18,567						
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）		
<p>1 パークゴルフ場の管理運営</p> <p>パークゴルフを通して市民の健康体づくりの促進及びレクリエーションの普及を図った。</p> <p>万葉パークゴルフ場に洋式トイレを設置し、利用者の利便性向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 入場者数 下村パークゴルフ場 32,289人（令和2年度 29,903人） パークゴルフ南郷 23,611人（令和2年度 25,856人） 								継続	市民の健康体づくり及びレクリエーションの普及に大きく貢献しており、引き続き、安全・安心に利用できるように、適正な維持管理及び修繕に努める。	

事業名		フットボールセンター整備事業費（繰越明許）			（ 10款 教育費 6項 保健体育費 2目 体育施設費 ）		決算書	120 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課																																																																						
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																																																																								
				1,576,132 【1,635,323】																																																																												
財 源 内 訳	国庫補助金			660,554																																																																												
	寄附金			60,000																																																																												
	諸収入			107,620																																																																												
	市債			742,900																																																																												
	一般財源			5,058																																																																												
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性（担当課意見）																																																																							
<p>1 フットボールセンターの整備 本市の認知度・ブランド力の向上、県外からの長期滞在型の合宿誘致、大規模な大会開催等による交流人口の拡大を図るため、フットボールセンター整備工事を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工事請負業者</th> <th rowspan="2">工 期</th> <th colspan="2">契約額</th> </tr> <tr> <th>（うち令和2年度支出額）</th> <th>（うち令和3年度支出額）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本体工事 佐藤工業(株)・(株)牧田組・ (株)四方組JV</td> <td>令和3年4月21日～令和4年3月18日</td> <td colspan="2">1,196,800千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(0千円)</td> <td>(1,196,800千円)</td> </tr> <tr> <td>電気設備 (株)開進堂・(株)小杉光電社JV</td> <td>令和3年4月20日～令和4年3月18日</td> <td colspan="2">141,350千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(0千円)</td> <td>(141,350千円)</td> </tr> <tr> <td>機械設備 (株)北野テック・(株)ぱんどー工業 JV</td> <td>令和3年4月15日～令和4年3月18日</td> <td colspan="2">61,105千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(0千円)</td> <td>(61,105千円)</td> </tr> <tr> <td>造成工事 分家工業(株)</td> <td>令和3年4月7日～6月21日</td> <td colspan="2">53,552千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(0千円)</td> <td>(53,552千円)</td> </tr> <tr> <td>外構工事 北海建設(株)</td> <td>令和3年9月2日～令和4年3月18日</td> <td colspan="2">51,945千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(0千円)</td> <td>(51,945千円)</td> </tr> <tr> <td>AIカメラ 設置工事 射水ケーブルネットワーク(株)</td> <td>令和3年12月13日～令和4年3月18日</td> <td colspan="2">14,960千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(0千円)</td> <td>(14,960千円)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※主なものを記載</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">委託請負業者</th> <th rowspan="2">履行期間</th> <th colspan="2">契約額</th> </tr> <tr> <th>（うち令和2年度支出額）</th> <th>（うち令和3年度支出額）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>監理 (株)日本海コンサルタント 富山支店射水営業所</td> <td>令和3年4月9日～令和4年3月25日</td> <td colspan="2">17,930千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(0千円)</td> <td>(17,930千円)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※主なものを記載</p>											工事請負業者	工 期	契約額		（うち令和2年度支出額）	（うち令和3年度支出額）	本体工事 佐藤工業(株)・(株)牧田組・ (株)四方組JV	令和3年4月21日～令和4年3月18日	1,196,800千円				(0千円)	(1,196,800千円)	電気設備 (株)開進堂・(株)小杉光電社JV	令和3年4月20日～令和4年3月18日	141,350千円				(0千円)	(141,350千円)	機械設備 (株)北野テック・(株)ぱんどー工業 JV	令和3年4月15日～令和4年3月18日	61,105千円				(0千円)	(61,105千円)	造成工事 分家工業(株)	令和3年4月7日～6月21日	53,552千円				(0千円)	(53,552千円)	外構工事 北海建設(株)	令和3年9月2日～令和4年3月18日	51,945千円				(0千円)	(51,945千円)	AIカメラ 設置工事 射水ケーブルネットワーク(株)	令和3年12月13日～令和4年3月18日	14,960千円				(0千円)	(14,960千円)	委託請負業者	履行期間	契約額		（うち令和2年度支出額）	（うち令和3年度支出額）	監理 (株)日本海コンサルタント 富山支店射水営業所	令和3年4月9日～令和4年3月25日	17,930千円				(0千円)	(17,930千円)	完了	国の地方創生拠点整備交付金等の活用や企業版ふるさと納税の支援を受け、整備工事を行った。
工事請負業者	工 期	契約額																																																																														
		（うち令和2年度支出額）	（うち令和3年度支出額）																																																																													
本体工事 佐藤工業(株)・(株)牧田組・ (株)四方組JV	令和3年4月21日～令和4年3月18日	1,196,800千円																																																																														
		(0千円)	(1,196,800千円)																																																																													
電気設備 (株)開進堂・(株)小杉光電社JV	令和3年4月20日～令和4年3月18日	141,350千円																																																																														
		(0千円)	(141,350千円)																																																																													
機械設備 (株)北野テック・(株)ぱんどー工業 JV	令和3年4月15日～令和4年3月18日	61,105千円																																																																														
		(0千円)	(61,105千円)																																																																													
造成工事 分家工業(株)	令和3年4月7日～6月21日	53,552千円																																																																														
		(0千円)	(53,552千円)																																																																													
外構工事 北海建設(株)	令和3年9月2日～令和4年3月18日	51,945千円																																																																														
		(0千円)	(51,945千円)																																																																													
AIカメラ 設置工事 射水ケーブルネットワーク(株)	令和3年12月13日～令和4年3月18日	14,960千円																																																																														
		(0千円)	(14,960千円)																																																																													
委託請負業者	履行期間	契約額																																																																														
		（うち令和2年度支出額）	（うち令和3年度支出額）																																																																													
監理 (株)日本海コンサルタント 富山支店射水営業所	令和3年4月9日～令和4年3月25日	17,930千円																																																																														
		(0千円)	(17,930千円)																																																																													

事業名	フットボールセンター整備事業費				(10款 教育費 6項 保健体育費 2目 体育施設費)		決算書	119 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項 (決算規模の変動要因等)		
		63,113	【1,700,631】	10,431	【51,317】		—	令和2年度にフットボールセンター整備の実施設計を行ったことによる。		
財源内訳	国庫補助金	31,500		0						
	寄附金	16,000		3,700						
	市債	13,900		0						
	一般財源	1,713		6,731						
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性 (担当課意見)		
1 フットボールセンターの整備 フットボールセンターの特徴であるローカル5G環境の整備を行った。								継続	スポーツを通じた周辺の賑わい創出に向けた取組を推進する。	
(繰越明許費 40,377 千円) ・ 事業名 フットボールセンター整備事業費 ・ 予算執行率 20.5% ・ 完了時期 令和5年3月										

12 款 公 債 費

事業名		公債費元金償還費		(12款 公債費 1項 公債費 1目 元金)		決算書	120 ページ	担当部課	財務管理部財政課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）	
		4,813,788	【4,813,788】	5,107,105	【5,107,106】		【5,382,498】		
財源内訳	使用料	39,641		41,346					
	一般財源	4,774,147		5,065,759					
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 政府資金 1,749,352千円 ・ 地方公共団体金融機構資金 2,282,931千円 ・ 市中銀行 544,262千円 ・ その他の金融機関 451,143千円 ・ 共済組合等 79,417千円 								継続	普通建設事業の実施に当たっては、必要性や重要性を十分に精査の上、新たな借入れを抑制していく。

事業名		公債費利子償還費		(12款 公債費 1項 公債費 2目 利子)		決算書	120 ページ	担当部課	財務管理部財政課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）	
		320,573	【322,692】	295,370	【297,321】		【319,543】		
財源内訳	一般財源	320,573		295,370					
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 長期借入金利子 295,309千円 ・ 基金繰替運用利子 61千円 								継続	普通建設事業の実施に当たっては、必要性や重要性を十分に精査の上、新たな借入れを抑制していく。

13 款 予 備 費

事業名	予備費	(13款 予備費 1項 予備費 1目 予備費)				決算書	120 ページ	担当部課	財務管理部財政課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）	
		0	【76,844】	0	【65,489】		【100,000】		
財 源 内 訳									
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 土地改良事業推進対策費 ・ 学校管理費（小） ・ 学校管理費（中） ・ スポーツ施設維持管理費 ・ 海竜スポーツランド維持管理費 		<ul style="list-style-type: none"> （大雨被害復旧対応） （施設消毒作業） （施設消毒作業） （新湊総合体育館修繕工事） （屋上防水改修工事） 		1,088千円	4,948千円	2,020千円	2,500千円	9,460千円	等

参 考：人件費の状況

令和3年度職員人件費決算額の前年度比較

(単位：人、千円)

		職員数	給料	職員手当等		共済費	人件費合計	給与費(児童手当除)	
				児童手当除く手当	児童				
一般会計	R3年度	637	2,290,092	1,258,464	1,218,294	40,170	1,112,811	4,661,367	3,508,386
	R2年度	649	2,334,783	1,283,551	1,241,876	41,675	1,145,065	4,763,399	3,576,659
	差額	12	44,691	25,087	23,582	1,505	32,254	102,032	68,273
うち特別職	R3年度	3	28,200	10,989	10,869	120	16,523	55,712	39,069
	R2年度	3	28,200	9,639	9,519	120	16,219	54,058	37,719
	差額	0	0	1,350	1,350	0	304	1,654	1,350
うち一般職	R3年度	634	2,261,892	1,247,475	1,207,425	40,050	1,096,288	4,605,655	3,469,317
	R2年度	646	2,306,583	1,273,912	1,232,357	41,555	1,128,846	4,709,341	3,538,940
	差額	12	44,691	26,437	24,932	1,505	32,558	103,686	69,623

決算額の百円単位を四捨五入して千円単位に変更。ただし、合計額を一致させるために一部の項目において調整を実施。

(2) 国民健康保険事業特別会計決算の状況

歳入の状況

区 分	予算額 A	決算額 B	差引額 (B - A)	収入率 (B / A)
1 国民健康保険税	1,465,555	1,469,357	3,802	100.3
2 使用料及び手数料	600	594	6	99.0
3 国庫支出金	4,353	4,423	70	101.6
4 県支出金	6,336,683	6,150,721	185,962	97.1
5 財産収入	70	70	0	100.0
6 繰入金	635,052	623,864	11,188	98.2
7 繰越金	22,870	22,868	2	100.0
8 諸収入	15,782	14,141	1,641	89.6
合 計	8,480,965	8,286,038	194,927	97.7

(単位：千円、%)

前年度決算額 C	前年度比 (B - C)
1,476,845	7,488
590	4
18,473	14,050
5,739,165	411,556
399	329
594,698	29,166
22,534	334
16,560	2,419
7,869,263	416,775

歳出の状況

区 分	予算額 A	決算額 B	差引額 (A - B)	執行率 (B / A)
1 総務費	110,666	101,718	8,948	91.9
2 保険給付費	6,193,645	5,985,704	207,941	96.6
3 国民健康保険事業費 納付金	2,008,723	2,008,722	1	100.0
4 財政安定化基金拠出金	1	0	1	0.0
5 保健事業費	92,298	88,350	3,948	95.7
6 基金積立金	22,940	22,939	1	100.0
7 公債費	50	0	50	0.0
8 諸支出金	46,540	46,100	440	99.1
9 予備費	6,102	0	6,102	0.0
合 計	8,480,965	8,253,532	227,433	97.3

(単位：千円、%)

前年度決算額 C	前年度比 (B - C)
110,387	8,669
5,557,641	428,063
2,038,300	29,578
0	0
86,224	2,126
22,933	6
0	0
30,911	15,189
0	0
7,846,395	407,137

歳入総額8,286,038千円 - 歳出総額8,253,532千円 - 翌年度へ繰越すべき財源0千円 = 実質収支32,506千円

歳入

(単位:千円、%)

区 分	内 容	予算額 A	決算額 B	差引額 (B - A)	収入率 (B / A)	区 分	内 容	予算額 A	決算額 B	差引額 (B - A)	収入率 (B / A)
1款	国民健康保険税	1,465,555	1,469,357	3,802	100.3	5款	財 産 収 入	70	70	0	100.4
1項	国民健康保険税	1,465,555	1,469,357	3,802	100.3	1項	財 産 運 用 収 入	70	70	0	100.4
1目	一般被保険者国民健康保険税	1,464,809	1,468,920	4,111	100.3	1目	利 子 及 び 配 当 金	70	70	0	100.4
	医療給付費分現年課税分	1,047,332	1,051,198	3,866	100.4	6款	繰 入 金	635,052	623,864	11,188	98.2
	後期高齢者支援金分現年課税分	285,050	285,733	683	100.2	1項	他 会 計 繰 入 金	515,515	504,327	11,188	97.8
	介護納付金分現年課税分	78,311	76,797	1,514	98.1	1目	一 般 会 計 繰 入 金	515,515	504,327	11,188	97.8
	医療給付費分滞納繰越分	42,072	41,507	565	98.7		保険基盤安定繰入金(保険税軽減分)	234,036	234,037	1	100.0
	後期高齢者支援金分滞納繰越分	7,764	9,396	1,632	121.0		保険基盤安定繰入金(保険者支援分)	130,509	130,509	0	100.0
	介護納付金分滞納繰越分	4,280	4,289	9	100.2		職員給与費等繰入金	97,990	90,171	7,819	92.0
2目	退職被保険者等国民健康保険税	746	437	309	58.6		出産育児一時金等繰入金	14,000	8,882	5,118	63.4
	医療給付費分滞納繰越分	652	345	307	53.0		財政安定化支援事業繰入金	27,944	30,852	2,908	110.4
	後期高齢者支援金分滞納繰越分	47	41	6	87.1		その他一般会計繰入金	11,036	9,876	1,160	89.5
	介護納付金分滞納繰越分	47	51	4	107.5	2項	基 金 繰 入 金	119,537	119,537	0	100.0
2款	使用料及び手数料	600	594	6	99.0	1目	国民健康保険財政調整基金繰入金	119,537	119,537	0	100.0
1項	手 数 料	600	594	6	99.0	7款	繰 越 金	22,870	22,868	2	100.0
1目	督促手数料	600	594	6	99.0	1項	繰 越 金	22,870	22,868	2	100.0
3款	国 庫 支 出 金	4,353	4,423	70	101.6	1目	そ の 他 繰 越 金	22,870	22,868	2	100.0
1項	国 庫 補 助 金	4,353	4,423	70	101.6	8款	諸 収 入	15,782	14,141	1,641	89.6
1目	災害臨時特例補助金	4,353	4,423	70	101.6	1項	延滞金、加算金及び過料	9,000	11,798	2,798	131.1
4款	県 支 出 金	6,336,683	6,150,721	185,962	97.1	1目	延 滞 金	9,000	11,798	2,798	131.1
1項	県 負 担 金	6,325,724	6,140,922	184,802	97.1		一般被保険者延滞金	8,975	11,775	2,800	131.2
1目	保険給付費等交付金	6,325,724	6,140,922	184,802	97.1		退職被保険者等延滞金	25	23	2	92.3
	保険給付費等交付金(普通交付金)	6,153,468	5,967,865	185,603	97.0	2項	預 金 利 子	1	0	1	0.0
	保険給付費等交付金(特別交付金)	172,256	173,057	801	100.5	1目	預 金 利 子	1	0	1	0.0
2項	県 補 助 金	10,958	9,799	1,159	89.4	3項	貸 付 金 元 利 収 入	378	0	378	0.0
1目	国保強化助成費補助金	10,958	9,799	1,159	89.4	1目	貸 付 金 元 利 収 入	378	0	378	0.0
3項	財政安定化基金交付金	1	0	1	0.0	4項	雑 入	6,403	2,343	4,060	36.6
1目	財政安定化基金交付金	1	0	1	0.0	1目	滞 納 処 分 費	1	0	1	0.0
						2目	一般被保険者第三者納付金	6,400	1,590	4,810	24.8
						3目	一般被保険者返納金	1	752	751	75,172.0
						4目	雑 入	1	1	0	140.0
						合 計		8,480,965	8,286,038	194,927	97.7

事業名	国民健康保険運営協議会費				(1款 総務費 3項 運営協議会費 1目 運営協議会費)		決算書	134 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）		
		257	【266】	148	【240】		【181】			
財源内訳	県負担金	65		61						
	繰入金	192		87						
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）		
<p>1 国民健康保険運営協議会</p> <p>県から示された納付金及び標準保険料率を基に、本市の国民健康保険税率や財政調整基金の活用など国民健康保険事業の運営に関する審議を行うため、国民健康保険運営協議会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員 12人 ・ 開催回数 2回 								継続	本市の国保事業の現状や課題等について、運営協議会委員に説明し情報共有するとともに、諮問事項に対する審議を行った。	

事業名	趣旨普及費				(1款 総務費 4項 趣旨普及費 1目 趣旨普及費)		決算書	135 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）		
		903	【903】	779	【897】		【726】			
財源内訳	県負担金	903		779						
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）		
<p>1 趣旨普及事業</p> <p>国民健康保険制度や事業内容等について周知を図るため、被保険者に対して、被保険者証の更新時や加入時に分かりやすいパンフレットを配布し、制度に対する理解を図った。</p>								継続	被保険者に対し、被保険者証更新時や加入時にパンフレットを配布した。今後も引き続き国保制度の周知を図っていく。	

事業名		医療費適正化特別対策事業費				(1款 総務費 5項 医療費適正化特別対策事業費 1目 医療費適正化特別対策事業費)		決算書	135 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
		8,287	【9,183】	6,997	【7,708】		【7,622】				
財 源 内 訳	県負担金	7,928		6,997							
	諸収入	359									
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）	
<p>1 レセプト点検等委託事業 診療報酬等の適正な給付を確保するために、レセプトの資格・内容を点検し、疑義があるものについては、再審査の申出を行った。 ・ 点検、再審査件数 2,892件 （令和2年度 2,245件）</p>										継続	<p>新型コロナウイルス感染症による受診控えが収まった影響等により、レセプト件数は増加した。継続して疑義該当レセプトの効率的な抽出により効果的に実施していく。</p>
<p>2 医療費通知事業 日頃の健康保持や医療の適正受診に対する認識を深めるため、被保険者に対して、2か月ごとに医療費通知を送付した。 ・ 発送件数 53,057件 （令和2年度 60,984件）</p>										継続	<p>2か月ごとに医療費通知を送付した。今後も継続し、医療の適正受診に対する意識啓発を図る。</p>
<p>3 後発医薬品差額通知事業 被保険者の自己負担額の軽減や、後発医薬品の利用促進を図るため、後発医薬品差額通知を発送した。 ・ 発送件数 599件 （令和2年度 648件） また、被保険者証の更新時に後発医薬品希望表示用シールを同封した。</p>										継続	<p>年2回、後発医薬品差額通知を送付した。今後も継続し、被保険者の自己負担の軽減や後発医薬品の利用促進を図る。</p>

事業名	一般被保険者療養給付費		(2款 保険給付費 1項 療養諸費		1目 一般被保険者療養給付費)		決算書	135 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課
決算額【予算額】			令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項(決算規模の変動要因等)	
			4,753,862 【4,978,998】		5,106,917 【5,288,789】		【5,317,366】		療養給付費の増による。	
財源内訳	国庫補助金		21		70					
	県負担金		4,753,841		5,106,847					
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性(担当課意見)	
1 一般被保険者療養給付費										
一般被保険者に係る現物給付(診療、投薬、注射、手術、処置、病院への入院など)										
年度		療養給付費	1人当たり療養給付費		平均被保険者数				継続 新型コロナウイルス感染症による受診控えが収まった影響等により、療養給付費は、前年度比約3億5千万円増加した。また、被保険者数が減少する一方で、1人当たり療養給付費は増加傾向にある。	
令和2年度		4,753,862千円	281,660円		16,878人					
令和3年度		5,106,917千円	311,435円		16,398人					

事業名	一般被保険者療養費		(2款 保険給付費 1項 療養諸費		2目 一般被保険者療養費)		決算書	135 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課
決算額【予算額】			令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項(決算規模の変動要因等)	
			64,900 【69,542】		68,923 【71,186】		【65,198】			
財源内訳	県負担金		64,900		68,923					
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性(担当課意見)	
1 一般被保険者療養費										
一般被保険者に係る現金給付(療養に要した費用を一旦支払い、事後に保険者が現金で支給するもの)										
年度		療養費	1人当たり療養費		平均被保険者数				継続 一人当たり療養費が増加したことにより、総額も増加した。	
令和2年度		64,900千円	3,854円		16,878人					
令和3年度		68,923千円	4,203円		16,398人					

事業名	審査支払手数料				(2款 保険給付費 1項 療養諸費 3目 審査支払手数料)		決算書	135 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課									
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項(決算規模の変動要因等)											
		13,685	【15,264】	13,999	【15,264】		【14,628】												
財 源 内 訳	県負担金	13,685		13,999															
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性(担当課意見)											
1 レセプト審査支払手数料 1件当たり53円 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>レセプト審査件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>258,204件</td> <td>13,685千円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>264,133件</td> <td>13,999千円</td> </tr> </tbody> </table>								年度	レセプト審査件数	金額	令和2年度	258,204件	13,685千円	令和3年度	264,133件	13,999千円	継 続	新型コロナウイルス感染症による受診控えが収まった影響等により、レセプト審査件数は、前年度比約6千件増加した。	
年度	レセプト審査件数	金額																	
令和2年度	258,204件	13,685千円																	
令和3年度	264,133件	13,999千円																	

事業名	一般被保険者高額療養費				(2款 保険給付費 2項 高額療養費 1目 一般被保険者高額療養費)		決算書	136 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課												
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項(決算規模の変動要因等)														
		703,360	【711,866】	778,547	【792,593】		【772,200】															
財 源 内 訳	県負担金	703,360		778,547				高額療養費については、新型コロナウイルス感染症による受診控えが収まった影響等により、前年度比約7千5百万円増加したことによる。														
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性(担当課意見)														
1 一般被保険者高額療養費 一般被保険者に係る高額療養費 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>高額療養費</th> <th>1人当たり高額療養費</th> <th>平均被保険者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>703,360千円</td> <td>41,673円</td> <td>16,878人</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>778,547千円</td> <td>47,478円</td> <td>16,398人</td> </tr> </tbody> </table>								年度	高額療養費	1人当たり高額療養費	平均被保険者数	令和2年度	703,360千円	41,673円	16,878人	令和3年度	778,547千円	47,478円	16,398人	継 続	被保険者数が年々減少する一方で、医療技術の高度化等の影響により1人当たり高額療養費は増加傾向にある。	
年度	高額療養費	1人当たり高額療養費	平均被保険者数																			
令和2年度	703,360千円	41,673円	16,878人																			
令和3年度	778,547千円	47,478円	16,398人																			

事業名	一般被保険者高額介護合算療養費 (2款 保険給付費 2項 高額療養費 2目 一般被保険者高額介護合算療養費)				決算書	136 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課						
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項(決算規模の変動要因等)						
		426	【660】	470	【600】									
財 源 内 訳	県負担金	426		470										
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性(担当課意見)							
1 一般被保険者高額介護合算療養費 一般被保険者に係る高額介護合算療養費 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>高額介護合算療養費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>426千円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>470千円</td> </tr> </tbody> </table>							年度	高額介護合算療養費	令和2年度	426千円	令和3年度	470千円	継続	1人当たり高額療養費とともに介護給付費の増加に伴って、高額介護合算療養費は増加する見込みである。
年度	高額介護合算療養費													
令和2年度	426千円													
令和3年度	470千円													

事業名	出産育児一時金 (2款 保険給付費 4項 出産育児諸費 1目 出産育児一時金)				決算書	136 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課									
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項(決算規模の変動要因等)									
		17,901	【25,200】	13,324	【21,000】												
財 源 内 訳	県負担金	5,967		4,442				新型コロナウイルス感染症の影響により、出産を控えたケースが増えたこと等による。									
	繰入金	11,934		8,882													
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性(担当課意見)										
1 出産育児一時金 被保険者が出産した場合に、その世帯主に対して支給するもの。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>44件</td> <td>17,901千円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>33件</td> <td>13,324千円</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 出産育児一時金 <ul style="list-style-type: none"> 平成27年1月1日以降 1件404千円 + 加算額16千円 () 平成26年12月31日以前 1件390千円 + 加算額30千円 () () 産科医療補償制度加入医療機関で出産した場合に加算 							年度	件数	金額	令和2年度	44件	17,901千円	令和3年度	33件	13,324千円	継続	少子化により、出産件数が減少傾向にある。
年度	件数	金額															
令和2年度	44件	17,901千円															
令和3年度	33件	13,324千円															

事業名	葬祭費				(2款 保険給付費 5項 葬祭諸費 1目 葬祭費)		決算書	136 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課									
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項(決算規模の変動要因等)											
		3,480	【3,900】	3,480	【3,900】		【3,900】												
財源内訳	県負担金	3,480		3,480															
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性(担当課意見)										
<p>1 葬祭費</p> <p>被保険者が死亡した場合、その葬祭を行うものに対して、葬祭費を支給するもの。</p> <p>1件 30千円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>116件</td> <td>3,480千円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>116件</td> <td>3,480千円</td> </tr> </tbody> </table>									年度	件数	金額	令和2年度	116件	3,480千円	令和3年度	116件	3,480千円	継続	<p>平均寿命の延伸により、75歳未満での死亡件数は減少傾向にある。(75歳から後期高齢者医療へ移行)</p>
年度	件数	金額																	
令和2年度	116件	3,480千円																	
令和3年度	116件	3,480千円																	

事業名	一般被保険者医療給付費分				(3款 国民健康保険事業費納付金 1項 医療給付費分 1目 一般被保険者医療給付費分)		決算書	136 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課																					
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項(決算規模の変動要因等)																							
		1,378,528	【1,378,528】	1,359,699	【1,359,699】		【1,317,962】																								
財源内訳	国庫補助金	13,740		3,934																											
	県負担金	6,156		26,489																											
	県補助金	2,960																													
	繰入金	219,610		267,054																											
	一般財源	1,136,062		1,062,222																											
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性(担当課意見)																						
<p>1 一般被保険者医療給付費分</p> <p>国民健康保険事業に要する費用に充てるため、県に納入する納付金</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>1人当たり納付金</th> <th>被保険者数(推計)</th> <th>納付金計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">令和2年度</td> <td>射水市</td> <td>82,864円</td> <td>16,636人</td> <td rowspan="2">1,378,528千円</td> </tr> <tr> <td>県</td> <td>84,809円</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">令和3年度</td> <td>射水市</td> <td>82,058円</td> <td>16,570人</td> <td rowspan="2">1,359,699千円</td> </tr> <tr> <td>県</td> <td>83,590円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>											1人当たり納付金	被保険者数(推計)	納付金計	令和2年度	射水市	82,864円	16,636人	1,378,528千円	県	84,809円		令和3年度	射水市	82,058円	16,570人	1,359,699千円	県	83,590円		継続	<p>本市の一般被保険者医療給付費分は、1人当たり納付金が前年度比1.0%減、被保険者数が前年比0.4%減となり、納付金総額で1.4%の減となった。</p>
		1人当たり納付金	被保険者数(推計)	納付金計																											
令和2年度	射水市	82,864円	16,636人	1,378,528千円																											
	県	84,809円																													
令和3年度	射水市	82,058円	16,570人	1,359,699千円																											
	県	83,590円																													

事業名		一般被保険者後期高齢者支援金等分 (3款 国民健康保険事業費納付金 2項 後期高齢者支援金等分 1目 一般被保険者後期高齢者支援金等分)				決算書	136 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項(決算規模の変動要因等)	
		492,784	【492,785】	493,175	【493,175】		【480,524】		
財 源 内 訳	県負担金	102,676		52,712					
	県補助金			9,799					
	繰入金	100,924		102,405					
	一般財源	289,184		328,259					
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性(担当課意見)	
1 一般被保険者後期高齢者支援金等分 県において負担する後期高齢者支援金等納付金に充てるため、県に納入する納付金								継続 本市の一般被保険者後期高齢者支援金等分は、1人当たり納付金が前年度比0.5%増、被保険者数が前年比0.4%減となり、納付金総額で0.1%の増となった。	
		1人当たり納付金		被保険者数(推計)		納付金計			
令和2年度	射水市	29,622円		16,636人		492,784千円			
	県	30,226円							
令和3年度	射水市	29,763円		16,570人		493,175千円			
	県	30,252円							

事業名		介護納付金分 (3款 国民健康保険事業費納付金 3項 介護納付金分 1目 介護納付金分)				決算書	137 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項(決算規模の変動要因等)	
		166,130	【166,130】	155,848	【155,849】		【149,578】		
財 源 内 訳	国庫補助金	767		419					
	県負担金	10,055		21,815					
	県補助金	7,254							
	繰入金	68,220		35,738					
	一般財源	79,834		97,876					
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性(担当課意見)	
1 介護納付金分 県において負担する介護納付金に充てるため、県に納入する納付金								継続 本市の介護納付金分は、1人当たり納付金が前年度比2.8%減、被保険者数が前年比3.5%減となり、納付金総額で6.2%の減となった。	
		1人当たり納付金		被保険者数(推計)		納付金計(一般+退職)			
令和2年度	射水市	36,154円		4,595人		166,130千円			
	県	36,543円							
令和3年度	射水市	35,141円		4,435人		155,848千円			
	県	34,419円							

事業名	保健衛生普及費				(5款 保健事業費 1項 保健事業費 1目 保健衛生普及費)		決算書	137 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課													
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項(決算規模の変動要因等)															
		8,326	【9,232】	7,966	【8,216】		【8,865】																
財 源 内 訳	県負担金	8,326		7,966																			
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性(担当課意見)															
<p>1 特定健診未受診者への受診勧奨事業 特定健診未受診者にハガキや電話で受診勧奨することで、受診率の向上を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>電話+ハガキ</th> <th>ハガキのみ</th> <th>勧奨者計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>2,900人</td> <td>5,100人</td> <td>8,000人</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>2,900人</td> <td>5,100人</td> <td>8,000人</td> </tr> </tbody> </table> <p>電話勧奨における有効対話に占める「受診する」と回答した者の割合 45.8% (令和2年度 48.5%)</p>								年度	電話+ハガキ	ハガキのみ	勧奨者計	令和2年度	2,900人	5,100人	8,000人	令和3年度	2,900人	5,100人	8,000人	継 続	<p>有効対話に占める「受診する」と回答した者の割合は前年度より減少したが、勧奨による集団健診の申込数は増加している。働き盛りの世代は日中電話がつながりにくい現状があることから、若年層には引き続き書面による勧奨を進めていく。</p>		
年度	電話+ハガキ	ハガキのみ	勧奨者計																				
令和2年度	2,900人	5,100人	8,000人																				
令和3年度	2,900人	5,100人	8,000人																				
<p>2 健診結果説明会及び健康相談会の開催 特定健診の受診率の向上及び継続的な受診を勧めることで、生活習慣病の予防、医療費適正化を図るため、市内2会場で健診結果説明会及び健康相談会を開催した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>小杉会場参加者</th> <th>大島会場参加者</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>23人</td> <td>38人</td> <td>61人</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>46人</td> <td>35人</td> <td>81人</td> </tr> </tbody> </table>								年度	小杉会場参加者	大島会場参加者	合計	令和2年度	23人	38人	61人	令和3年度	46人	35人	81人	継 続	<p>参加者から好評であり、継続参加者は増えている。新規参加者を増やすためにも、開催日近くに再度周知し、参加を呼び掛けていく。</p>		
年度	小杉会場参加者	大島会場参加者	合計																				
令和2年度	23人	38人	61人																				
令和3年度	46人	35人	81人																				
<p>3 若年健診の実施 若いうちから、自分の健康状態を認識し、生活習慣を見直す機会とするため、35歳から39歳までの被保険者を対象とした若年健診を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>対象者数</th> <th>受診者数</th> <th>受診率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>516人</td> <td>106人</td> <td>20.5%</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>485人</td> <td>108人</td> <td>22.3%</td> </tr> </tbody> </table>								年度	対象者数	受診者数	受診率	令和2年度	516人	106人	20.5%	令和3年度	485人	108人	22.3%	継 続	<p>受診率が低迷していたが、38、39歳の被保険者を重点的に勧奨したところ効果があった。40歳からの特定健診受診につなげるための重要な事業であるので、健診期間中の受診勧奨を続けていく。</p>		
年度	対象者数	受診者数	受診率																				
令和2年度	516人	106人	20.5%																				
令和3年度	485人	108人	22.3%																				
<p>4 生活習慣病の一次予防の取組 日常生活運動の積み重ねによる運動習慣の定着化を図るため、市内5体育館で「身体すっきり教室」を開催し、生活習慣病の予防に努めた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>開催数</th> <th>参加者数(延べ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>10回</td> <td>149人</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>10回</td> <td>169人</td> </tr> </tbody> </table> <p>ポイントラリー達成者(5回以上参加) 13人 (令和2年度 5回以上参加 15人)</p>								年度	開催数	参加者数(延べ)	令和2年度	10回	149人	令和3年度	10回	169人	継 続	<p>運動習慣の定着を図ることで生活習慣病の予防に努めるための重要な事業である。新型コロナウイルス感染症予防に十分留意しながら、継続参加を勧奨していく。</p>					
年度	開催数	参加者数(延べ)																					
令和2年度	10回	149人																					
令和3年度	10回	169人																					

主な事業内容・成果		評価と今後の方向性（担当課意見）																							
<p>5 血圧・血糖コントロール不良者の保健指導 特定健診受診者のうち、医療機関を受診しているが、血圧や血糖の数値が改善されていない被保険者宅を訪問し、保健指導を実施した。</p> <table border="1" data-bbox="143 248 748 352"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>対象者数</th> <th>実施者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>3,136人</td> <td>361人</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>3,028人</td> <td>685人</td> </tr> </tbody> </table>	年度	対象者数	実施者数	令和2年度	3,136人	361人	令和3年度	3,028人	685人	継続	<p>保健師等の専門職の確保が課題である中、県の国保ヘルスアップ支援事業（県栄養士会からの派遣）を活用したことで、実施者数を伸ばすことができた。引き続き、県の事業を有効に活用していく。</p>														
年度	対象者数	実施者数																							
令和2年度	3,136人	361人																							
令和3年度	3,028人	685人																							
<p>6 多受診者等への受診指導 重複受診、頻回受診、重複服薬者に対し、訪問により受診指導を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 重複受診 1か月間に同系の疾病を理由に3医療機関以上受診している者 ・ 頻回受診 1か月間に8回以上受診している者 ・ 重複服薬 1か月間に同系の医薬品が複数の医療機関（薬局）で処方され、その日数合計が60日を超える者 <table border="1" data-bbox="143 557 1352 692"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="4">指導実施者</th> <th rowspan="2">指導後の行動変容率</th> </tr> <tr> <th>重複受診</th> <th>頻回受診</th> <th>重複服薬</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>0人</td> <td>25人</td> <td>5人</td> <td>30人</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>1人</td> <td>26人</td> <td>5人</td> <td>30人</td> <td>93.3%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	指導実施者				指導後の行動変容率	重複受診	頻回受診	重複服薬	計	令和2年度	0人	25人	5人	30人	100.0%	令和3年度	1人	26人	5人	30人	93.3%	継続	<p>多受診者等への受診指導は、専門業者に委託しており、指導実施者数を30人に限定していることから、効果的な対象者の選定に努めていく。</p>	
年度		指導実施者					指導後の行動変容率																		
	重複受診	頻回受診	重複服薬	計																					
令和2年度	0人	25人	5人	30人	100.0%																				
令和3年度	1人	26人	5人	30人	93.3%																				
<p>7 多剤通知事業 多剤併用による薬物有害事象を防ぐことを目的に、多くの薬剤を服用している者に対し、適切な服薬を促す通知書を送付し、薬剤使用の適正化につなげた。</p> <table border="1" data-bbox="143 831 748 935"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>通知件数</th> <th>医薬品数改善割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>580件</td> <td>28.8%</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>542件</td> <td>27.3%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	通知件数	医薬品数改善割合	令和2年度	580件	28.8%	令和3年度	542件	27.3%	継続	<p>医師会及び薬剤師会の協力のもと、引き続き多剤通知事業を実施した。通知による改善がみられたことから、今後も継続して実施していく。</p>														
年度	通知件数	医薬品数改善割合																							
令和2年度	580件	28.8%																							
令和3年度	542件	27.3%																							
<p>8 糖尿病性腎症重症化予防事業（糖尿病未治療者に対する医療機関受診勧奨） 疾病の早期治療、重症化予防につなげるため、特定健診の結果、受診勧奨判定値以上の者に通知書を送付し、医療機関への受診を促した。</p> <table border="1" data-bbox="143 1070 949 1174"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実施者数</th> <th>受診者数</th> <th>受診率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>11人</td> <td>4人</td> <td>36.4%</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>15人</td> <td>9人</td> <td>60.0%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実施者数	受診者数	受診率	令和2年度	11人	4人	36.4%	令和3年度	15人	9人	60.0%	継続	<p>再勧奨訪問等で、6人を医療機関の受診につなげることができた。引き続き、医療機関との連携ツール（様式）を活用しながら、早期の受診を促していく。</p>											
年度	実施者数	受診者数	受診率																						
令和2年度	11人	4人	36.4%																						
令和3年度	15人	9人	60.0%																						

事業名		疾病予防費				(5款 保健事業費 1項 保健事業費 2目 疾病予防費)		決算書	137 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課																		
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項(決算規模の変動要因等)																					
		13,770	【16,534】	14,730	【16,349】		【16,108】																						
財 源 内 訳	県負担金	5,809		6,364																									
	一般財源	7,961		8,366																									
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性(担当課意見)																				
<p>1 人間ドック受検費用の助成 疾病の早期発見、早期治療及び健康管理の促進を目的に、被保険者を対象に人間ドック受検費用の助成を行った。 (助成率 6割)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>受検者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>515人</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>541人</td> </tr> </tbody> </table>									年度	受検者数	令和2年度	515人	令和3年度	541人	継 続	<p>人間ドック受検は疾病予防に重要であり、また、特定健診の受診率にもつながるため、一定の効果はあった。受検者を増やすため、周知方法を検討していく。</p>													
年度	受検者数																												
令和2年度	515人																												
令和3年度	541人																												
<p>2 糖尿病性腎症重症化予防事業</p> <p>(1) 糖尿病治療中断者に対する医療機関受診勧奨 疾病の早期治療、重症化予防につなげるため、糖尿病治療中断者に通知書を送付し、医療機関受診の再開を促した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>対象者数</th> <th>受診者数</th> <th>受診率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>13人</td> <td>9人</td> <td>69.2%</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>14人</td> <td>8人</td> <td>57.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 糖尿病性腎症患者等に対する保健指導 人工透析への移行を防止するため、治療中の糖尿病性腎症患者や糖尿病性腎症の可能性の高い者に対し、進行予防に向けて、医療と連携した保健指導を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実施者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>2人</td> </tr> </tbody> </table>									年度	対象者数	受診者数	受診率	令和2年度	13人	9人	69.2%	令和3年度	14人	8人	57.1%	年度	実施者数	令和2年度	5人	令和3年度	2人	継 続	<p>医療機関との連携強化を図り、引き続き、糖尿病治療中断者に対する医療機関受診勧奨及び糖尿病性腎症患者等に対する保健指導を実施していく。</p>	
年度	対象者数	受診者数	受診率																										
令和2年度	13人	9人	69.2%																										
令和3年度	14人	8人	57.1%																										
年度	実施者数																												
令和2年度	5人																												
令和3年度	2人																												

事業名	特定健康診査費事業費				(5款 保健事業費 2項 特定健康診査等事業費 1目 特定健康診査費事業費)				決算書	138 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課																							
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																											
		62,078	【65,484】	62,527	【62,936】																														
財 源 内 訳	県負担金	37,121		38,400																															
	繰入金	77		77																															
	一般財源	24,880		24,050																															
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）																									
<p>1 特定健康診査費事業</p> <p>糖尿病等の生活習慣病予防に取り組むため、40歳から74歳までの被保険者を対象として、メタボリックシンドロームに着目した「特定健康診査」を実施し、被保険者の健康保持に努めた。</p> <p>令和3年度は未受診者376人に対し、集団健診を7回（平日5回、休日2回）実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成24年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特定健康診査受診率</td> <td>39.9%</td> <td>46.6%</td> <td>60.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>特定健康診査受診率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>対象者数</th> <th>受診者数</th> <th>受診率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度</td> <td>12,517人</td> <td>5,781人</td> <td>46.2%</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>12,417人</td> <td>5,782人</td> <td>46.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>最新の数値は令和2年度</p>										指標項目	基準	実績	目標	平成24年度	令和2年度	令和5年度	特定健康診査受診率	39.9%	46.6%	60.0%	年度	対象者数	受診者数	受診率	令和元年度	12,517人	5,781人	46.2%	令和2年度	12,417人	5,782人	46.6%	<p>継続</p> <p>受診率は、少しずつではあるが上昇傾向にある。引き続き、受診率の向上を目指し、医療機関と連携を図りながら休日の集団健診の回数を増やすなど、未受診者の受診機会を増やす取組を進めていく。</p>		
指標項目	基準	実績	目標																																
	平成24年度	令和2年度	令和5年度																																
特定健康診査受診率	39.9%	46.6%	60.0%																																
年度	対象者数	受診者数	受診率																																
令和元年度	12,517人	5,781人	46.2%																																
令和2年度	12,417人	5,782人	46.6%																																

事業名		特定保健指導費事業費				(5款 保健事業費 2項 特定健康診査等事業費 2目 特定保健指導費事業費)		決算書	138 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課																					
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																								
		2,050	【4,452】	3,127	【4,419】		【6,030】																									
財 源 内 訳	県負担金	2,050		3,127																												
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性（担当課意見）																							
<p>1 特定保健指導費事業</p> <p>特定健康診査の結果を基に、リスクの高い該当者を階層化し、生活習慣病予防のための「特定保健指導」を実施し、被保険者の健康保持に努めた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成24年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特定保健指導実施率</td> <td>20.3%</td> <td>47.1%</td> <td>60.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>特定保健指導実施率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>対象者数</th> <th>実施者数</th> <th>実施率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度</td> <td>649人</td> <td>289人</td> <td>44.5%</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>639人</td> <td>301人</td> <td>47.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>最新の数値は令和2年度</p>									指標項目	基準	実績	目標	平成24年度	令和2年度	令和5年度	特定保健指導実施率	20.3%	47.1%	60.0%	年度	対象者数	実施者数	実施率	令和元年度	649人	289人	44.5%	令和2年度	639人	301人	47.1%	<p>継続</p> <p>実施率は年々上昇している。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、訪問できなかった方には、再勧奨通知を送付し、数名ではあるが、指導に結び付けることができた。</p> <p>更なる実施率の向上を図るため、委託医療機関における健診の流れから指導に結び付ける方策について検討していく。</p>
指標項目	基準	実績	目標																													
	平成24年度	令和2年度	令和5年度																													
特定保健指導実施率	20.3%	47.1%	60.0%																													
年度	対象者数	実施者数	実施率																													
令和元年度	649人	289人	44.5%																													
令和2年度	639人	301人	47.1%																													

(3) 後期高齢者医療事業特別会計決算の状況

歳入の状況

(単位：千円、%)

区 分	予算額 A	決算額 B	差引額 (B - A)	収入率 (B / A)
1 後期高齢者医療保険料	968,518	971,970	3,452	100.4
2 使用料及び手数料	100	70	30	70.0
3 繰入金	1,332,857	1,329,495	3,362	99.7
4 諸収入	57,276	56,508	768	98.7
5 繰越金	5,046	5,047	1	100.0
6 国庫支出金	0	0	0	0.0
合 計	2,363,797	2,363,090	707	100.0

前年度決算額 C	前年度比 (B - C)
947,764	24,206
69	1
1,326,038	3,457
72,932	16,424
1,993	3,054
316	316
2,349,113	13,977

歳出の状況

(単位：千円、%)

区 分	予算額 A	決算額 B	差引額 (A - B)	執行率 (B / A)
1 総務費	56,218	54,513	1,705	97.0
2 後期高齢者医療広域連合 納付金	2,305,579	2,304,386	1,193	99.9
3 諸支出金	2,000	732	1,268	36.6
合 計	2,363,797	2,359,631	4,166	99.8

前年度決算額 C	前年度比 (B - C)
100,431	45,918
2,242,672	61,714
963	231
2,344,066	15,565

歳入総額2,363,090千円 - 歳出総額2,359,631千円 - 翌年度へ繰越すべき財源0千円 = 実質収支3,459千円

歳入

(単位:千円、%)

区 分	内 容	予算額 A	決算額 B	差引額 (B - A)	収入率 (B / A)
1款	後 期 高 齡 者 医 療 保 険 料	968,518	971,970	3,452	100.4
1項	後 期 高 齡 者 医 療 保 険 料	968,518	971,970	3,452	100.4
1目	特 別 徴 収 保 険 料	669,673	670,610	937	100.1
	現 年 度 分 特 別 徴 収 保 険 料	669,673	670,610	937	100.1
2目	普 通 徴 収 保 険 料	298,845	301,360	2,515	100.8
	現 年 度 分 普 通 徴 収 保 険 料	295,113	297,690	2,577	100.9
	滞 納 繰 越 分 普 通 徴 収 保 険 料	1,585	1,511	74	95.3
	過 年 度 分 普 通 徴 収 保 険 料	2,147	2,160	13	100.6
2款	使 用 料 及 び 手 数 料	100	70	30	70.2
1項	手 数 料	100	70	30	70.2
1目	督 促 手 数 料	100	70	30	70.2
3款	繰 入 金	1,332,857	1,329,495	3,362	99.7
1項	一 般 会 計 繰 入 金	1,332,857	1,329,495	3,362	99.7
1目	事 務 費 繰 入 金	84,310	82,578	1,732	97.9
2目	保 険 基 盤 安 定 繰 入 金	263,057	263,057	0	100.0
3目	療 養 給 付 費 繰 入 金	972,127	972,127		100.0
4目	健 康 診 査 費 繰 入 金	13,363	11,733	1,630	87.8
4款	諸 収 入	57,276	56,508	768	98.7
1項	延 滞 金 、 加 算 金 及 び 過 料	50	22	28	44.6
2項	償 還 金 及 び 還 付 加 算 金	2,000	732	1,268	36.6
3項	受 託 事 業 収 入	12,218	12,655	437	103.6
4項	雑 収 入	43,008	43,098	90	100.2
5款	繰 越 金	5,046	5,047	1	100.0
1項	繰 越 金	5,046	5,047	1	100.0
	合 計	2,363,797	2,363,090	707	100.0

事業名	保健事業費		(1款 総務費 1項 総務管理費 1目 一般管理費)		決算書	147 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課																																			
決算額【予算額】			令和2年度		令和3年度		令和4年度																																				
			54,521	【59,955】	7,438	【8,298】		【4,513】																																			
財 源 内 訳	繰入金		2,580		2,418																																						
	諸収入		51,941		5,020																																						
特記事項（決算規模の変動要因等）								令和3年度より、検査費用の支払いの多くが富山県後期高齢者医療広域連合から県国保連合会へ直接支払われることになったため、予算・決算額共に減額となった。																																			
主な事業内容・成果																																											
評価と今後の方向性（担当課意見）																																											
<p>1 健康診査 後期高齢者医療の被保険者を対象に健康診査を実施し、被保険者の健康維持に努めた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>対象者数</th> <th>受診者数</th> <th>受診率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>13,510人</td> <td>5,159人</td> <td>38.2%</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>13,596人</td> <td>4,836人</td> <td>35.6%</td> </tr> </tbody> </table>									年度	対象者数	受診者数	受診率	令和2年度	13,510人	5,159人	38.2%	令和3年度	13,596人	4,836人	35.6%																							
年度	対象者数	受診者数	受診率																																								
令和2年度	13,510人	5,159人	38.2%																																								
令和3年度	13,596人	4,836人	35.6%																																								
<p>2 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 高齢者の心身の多様な課題に対し、きめ細かな支援を実施するため、関係課と連携し一体的に保健事業に取り組んだ。</p> <p>(1) 個別的支援（ハイリスクアプローチ）</p> <p>ア 低栄養防止事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実施者数</th> <th>支援件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度</td> <td>33人</td> <td>75件</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ 糖尿病性腎症重症化予防事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実施者数</th> <th>支援件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度</td> <td>23人</td> <td>71件</td> </tr> </tbody> </table> <p>ウ 生活習慣病（循環器系）予防事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実施者数</th> <th>支援件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度</td> <td>36人</td> <td>104件</td> </tr> </tbody> </table> <p>エ 健康状態不明者への支援事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実施者数</th> <th>支援件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度</td> <td>71人</td> <td>124件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 通いの場等への積極的関与（ポピュレーションアプローチ）</p> <p>ア 100歳体操3年目支援</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>関与した箇所数</th> <th>延べ参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度</td> <td>28か所</td> <td>429人</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ みんな元気教室</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>関与した箇所数</th> <th>延べ参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度</td> <td>8か所</td> <td>199人</td> </tr> </tbody> </table>								年度	実施者数	支援件数	令和3年度	33人	75件	年度	実施者数	支援件数	令和3年度	23人	71件	年度	実施者数	支援件数	令和3年度	36人	104件	年度	実施者数	支援件数	令和3年度	71人	124件	年度	関与した箇所数	延べ参加者数	令和3年度	28か所	429人	年度	関与した箇所数	延べ参加者数	令和3年度	8か所	199人
年度	実施者数	支援件数																																									
令和3年度	33人	75件																																									
年度	実施者数	支援件数																																									
令和3年度	23人	71件																																									
年度	実施者数	支援件数																																									
令和3年度	36人	104件																																									
年度	実施者数	支援件数																																									
令和3年度	71人	124件																																									
年度	関与した箇所数	延べ参加者数																																									
令和3年度	28か所	429人																																									
年度	関与した箇所数	延べ参加者数																																									
令和3年度	8か所	199人																																									
<p>継続</p> <p>後期高齢者医療広域連合からの委託を受け、生活習慣病予防のための健康診査を実施している。体の異変に早い段階で気づき、早期に対処することは大変重要であり、今後も継続していく。</p>																																											
<p>継続</p> <p>後期高齢者医療広域連合からの委託を受け、生活習慣病の重症化予防やフレイル予防のために保健事業を実施している。庁内関係課だけでなく、市医師会や地域包括支援センター等の関係機関とも連携することで、高齢者の健康状態に応じた対応を行う。</p>																																											

事業名		後期高齢者医療広域連合納付金 (2款 後期高齢者医療広域連合納付金 1項 後期高齢者医療広域連合納付金 1目 後期高齢者医療広域連合納付金)				決算書	147 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課																								
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項(決算規模の変動要因等)																									
		2,232,956	【2,233,039】	2,295,070	【2,295,096】			【2,346,601】																									
財 源 内 訳	繰入金	1,279,997		1,285,094																													
	諸収入	4,378		33,993																													
	一般財源	948,581		975,983																													
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性(担当課意見)																									
<p>1 後期高齢者医療広域連合納付金 後期高齢者医療広域連合が実施する後期高齢者医療に要する費用に充てるため、保険料収入及び一般会計からの繰入金を広域連合に納付した。</p> <p>(1) 事務費負担金 後期高齢者医療広域連合の事務にかかる費用を高齢者や人口の割合等に応じて市町村に按分したものの。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>56,615千円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>54,329千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 保険料負担金 射水市の被保険者の保険料収入を納付するもの。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>944,786千円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>973,588千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 保険基盤安定制度負担金 射水市の低所得世帯に属する被保険者及び被扶養者の保険料の軽減分。負担金の3/4を、県から一般会計に収入している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>214,690千円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>263,057千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 療養給付費負担金 療養給付費の市町村の定率公費負担分(1/12)を市町村の医療給付実績に応じて按分したものの。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>1,016,865千円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>1,004,096千円</td> </tr> </tbody> </table>								年度	金額	令和2年度	56,615千円	令和3年度	54,329千円	年度	金額	令和2年度	944,786千円	令和3年度	973,588千円	年度	金額	令和2年度	214,690千円	令和3年度	263,057千円	年度	金額	令和2年度	1,016,865千円	令和3年度	1,004,096千円	<p>継続</p> <p>被保険者数や医療費、1人当たり医療費が年々増加しており、今後もその傾向は、続いていくと考えられる。 保健事業等を実施し、医療費の抑制に努めていく。</p>	
年度	金額																																
令和2年度	56,615千円																																
令和3年度	54,329千円																																
年度	金額																																
令和2年度	944,786千円																																
令和3年度	973,588千円																																
年度	金額																																
令和2年度	214,690千円																																
令和3年度	263,057千円																																
年度	金額																																
令和2年度	1,016,865千円																																
令和3年度	1,004,096千円																																

主な事業内容・成果					評価と今後の方向性（担当課意見）																																																
<p><参考> 後期高齢者医療の状況 平均被保険者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県</td> <td>176,723人</td> <td>180,507人</td> <td>181,541人</td> <td>181,570人</td> </tr> <tr> <td>市</td> <td>13,949人</td> <td>14,342人</td> <td>14,495人</td> <td>14,690人</td> </tr> </tbody> </table> <p>医療費</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県</td> <td>163,132,171千円</td> <td>168,626,570千円</td> <td>163,881,555千円</td> <td>168,685,853千円</td> </tr> <tr> <td>市</td> <td>12,460,911千円</td> <td>13,083,910千円</td> <td>12,654,981千円</td> <td>13,162,345千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>一人当たり医療費</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県</td> <td>923,095円/人</td> <td>934,183円/人</td> <td>902,725円/人</td> <td>929,040円/人</td> </tr> <tr> <td>市</td> <td>893,319円/人</td> <td>912,279円/人</td> <td>873,058円/人</td> <td>896,007円/人</td> </tr> </tbody> </table>								平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	県	176,723人	180,507人	181,541人	181,570人	市	13,949人	14,342人	14,495人	14,690人		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	県	163,132,171千円	168,626,570千円	163,881,555千円	168,685,853千円	市	12,460,911千円	13,083,910千円	12,654,981千円	13,162,345千円		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	県	923,095円/人	934,183円/人	902,725円/人	929,040円/人	市	893,319円/人	912,279円/人	873,058円/人	896,007円/人		
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度																																																	
県	176,723人	180,507人	181,541人	181,570人																																																	
市	13,949人	14,342人	14,495人	14,690人																																																	
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度																																																	
県	163,132,171千円	168,626,570千円	163,881,555千円	168,685,853千円																																																	
市	12,460,911千円	13,083,910千円	12,654,981千円	13,162,345千円																																																	
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度																																																	
県	923,095円/人	934,183円/人	902,725円/人	929,040円/人																																																	
市	893,319円/人	912,279円/人	873,058円/人	896,007円/人																																																	

事業名 **後期高齢者医療広域連合補助金** (2款 後期高齢者医療広域連合納付金 1項 後期高齢者医療広域連合納付金 2目 後期高齢者医療広域連合補助金) 決算書 148 ページ 担当部課 **福祉保健部保険年金課**

決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
		9,717	【10,822】	9,316	【10,483】		【11,037】	
財源内訳	繰入金	9,717		9,316				

主な事業内容・成果					評価と今後の方向性（担当課意見）							
<p>1 後期高齢者医療広域連合補助金 後期高齢者医療広域連合が行う後期高齢者を対象とする健康診査に要する費用に充てるため、基準額の3分の1を後期高齢者医療広域連合に補助した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>9,717千円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>9,316千円</td> </tr> </tbody> </table>					年度	金額	令和2年度	9,717千円	令和3年度	9,316千円	継続	<p>後期高齢者医療広域連合が実施する健康診査に要する費用の補助であり、継続して実施していく。</p>
年度	金額											
令和2年度	9,717千円											
令和3年度	9,316千円											

(4) 介護保険事業特別会計決算の状況

歳入の状況

(単位：千円、%)

区 分	予算額 A	決算額 B	差引額 (B - A)	収入率 (B / A)
1 保険料	2,097,169	2,100,551	3,382	100.2
2 使用料及び手数料	100	101	1	101.0
3 国庫支出金	2,158,989	2,165,813	6,824	100.3
4 支払基金交付金	2,378,111	2,378,108	3	100.0
5 県支出金	1,306,234	1,307,942	1,708	100.1
6 財産収入	103	104	1	101.0
7 繰入金	1,467,564	1,441,680	25,884	98.2
8 繰越金	43,045	43,046	1	100.0
9 諸収入	391	544	153	139.1
合 計	9,451,706	9,437,888	13,818	99.9

前年度決算額 C	前年度比 (B - C)
2,106,008	5,457
111	10
1,932,865	232,948
2,328,716	49,392
1,281,139	26,803
363	259
1,436,468	5,212
53,496	10,450
2,863	2,319
9,142,028	295,860

歳出の状況

(単位：千円、%)

区 分	予算額 A	決算額 B	差引額 (A - B)	執行率 (B / A)
1 総務費	230,349	224,534	5,815	97.5
2 保険給付費	8,756,286	8,612,499	143,787	98.4
3 地域支援事業費	373,193	355,478	17,715	95.3
4 保健福祉事業費	8,810	8,114	696	92.1
5 基金積立金	34,000	34,000	0	100.0
6 公債費	50	0	50	0.0
7 諸支出金	39,619	38,996	623	98.4
8 予備費	9,399	0	9,399	0.0
合 計	9,451,706	9,273,621	178,085	98.1

前年度決算額 C	前年度比 (B - C)
243,480	18,946
8,438,180	174,319
353,265	2,213
1,401	6,713
363	33,637
0	0
62,293	23,297
0	0
9,098,982	174,639

歳入総額9,437,888千円 - 歳出総額9,273,621千円 - 翌年度へ繰越すべき財源0千円 = 実質収支164,267千円

歳入

(単位:千円、%)

区分	内容	予算額 A	決算額 B	差引額 (B - A)	収入率 (B / A)	区分	内容	予算額 A	決算額 B	差引額 (B - A)	収入率 (B / A)
1款	保険料	2,097,169	2,100,551	3,382	100.2	5款	県支出金	1,306,234	1,307,942	1,708	100.1
1項	介護保険料	2,097,169	2,100,551	3,382	100.2	1項	県負担金	1,246,775	1,246,775	0	100.0
1目	第1号被保険者保険料	2,097,169	2,100,551	3,382	100.2	1目	介護給付費負担金	1,246,775	1,246,775	0	100.0
	現年度分特別徴収保険料	1,975,619	1,978,361	2,742	100.1		現年度分介護給付費負担金	1,246,775	1,246,775	0	100.0
	現年度分普通徴収保険料	119,110	119,311	201	100.2	2項	県補助金	59,459	61,167	1,708	102.9
	滞納繰越分普通徴収保険料	2,440	2,879	439	118.0	1目	地域支援事業交付金(介護予防・日常生活支援総合事業)	22,920	24,169	1,249	105.4
2款	使用料及び手数料	100	101	1	100.7		現年度分地域支援事業交付金(介護予防・日常生活支援総合事業)	22,919	24,169	1,250	105.5
1項	手数料	100	101	1	100.7		過年度分地域支援事業交付金(介護予防・日常生活支援総合事業)	1	0	1	0.0
1目	督促手数料	100	101	1	100.7	2目	地域支援事業交付金(包括的支援事業・任意事業)	36,539	36,998	459	101.3
3款	国庫支出金	2,158,989	2,165,813	6,824	100.3		現年度分地域支援事業交付金(包括的支援事業・任意事業)	36,538	36,998	460	101.3
1項	国庫負担金	1,698,099	1,698,100	1	100.0		過年度分地域支援事業交付金(包括的支援事業・任意事業)	1	0	1	0.0
1目	介護給付費負担金	1,698,099	1,698,100	1	100.0	6款	財産収入	103	104	1	100.8
	現年度分介護給付費負担金	1,637,382	1,637,383	1	100.0	1項	財産運用収入	103	104	1	100.8
	過年度分介護給付費負担金	60,717	60,717	0	100.0	1目	利子及び配当金	103	104	1	100.8
2項	国庫補助金	460,890	467,713	6,823	101.5	7款	繰入金	1,467,564	1,441,680	25,884	98.2
1目	調整交付金	305,804	309,706	3,902	101.3	1項	一般会計繰入金	1,467,564	1,441,680	25,884	98.2
	現年度分調整交付金	305,804	309,706	3,902	101.3	1目	介護給付費繰入金	1,094,493	1,076,521	17,972	98.4
2目	地域支援事業交付金(介護予防・日常生活支援総合事業)	36,671	38,671	2,000	105.5	2目	地域支援事業繰入金(介護予防・日常生活支援総合事業)	22,920	21,968	952	95.8
	現年度分地域支援事業交付金(介護予防・日常生活支援総合事業)	36,670	38,671	2,001	105.5	3目	地域支援事業繰入金(包括的支援事業・任意事業)	36,549	34,910	1,639	95.5
	過年度分地域支援事業交付金(介護予防・日常生活支援総合事業)	1	0	1	0.0	4目	低所得者保険料軽減繰入金	85,402	85,400	2	100.0
3目	地域支援事業交付金(包括的支援事業・任意事業)	73,074	73,996	922	101.3	5目	その他一般会計繰入金(介護保険事業)	228,193	222,874	5,319	97.7
	現年度分地域支援事業交付金(包括的支援事業・任意事業)	73,073	73,996	923	101.3	6目	その他一般会計繰入金(地域支援事業)	7	7	0	100.0
	過年度分地域支援事業交付金(包括的支援事業・任意事業)	1	0	1	0.0	2項	基金繰入金	0	0	0	-
4目	介護保険事務処理システム改修事業補助金	1,430	1,430	0	100.0	1目	介護保険事業財政調整基金繰入金	0	0	0	-
	介護保険事務処理システム改修事業補助金	1,430	1,430	0	100.0	8款	繰越金	43,045	43,046	1	100.0
5目	保険者機能強化推進交付金	20,882	20,882	0	100.0	1項	繰越金	43,045	43,046	1	100.0
	保険者機能強化推進交付金	20,882	20,882	0	100.0	9款	諸収入	391	544	153	138.5
6目	介護保険保険者努力支援交付金	21,532	21,532	0	100.0	1項	延滞金、加算金及び過料	1	155	154	15,500.0
	介護保険保険者努力支援交付金	21,532	21,532	0	100.0	1目	第1号被保険者延滞金	1	155	154	15,500.0
8目	介護保険災害等臨時特例補助金	1,497	1,497	0	100.0	2項	雑収入	390	389	1	99.7
	介護保険災害等臨時特例補助金	1,497	1,497	0	100.0	1目	弁償	1	0	1	0.0
4款	支払基金交付金	2,378,111	2,378,108	3	100.0	2目	第三者納付金	334	335	1	100.2
1項	支払基金交付金	2,378,111	2,378,108	3	100.0	3目	返納	1	0	1	0.0
1目	介護給付費交付金	2,328,605	2,328,605	0	100.0	4目	雑収入	54	54	0	100.3
	現年度分介護給付費交付金	2,328,605	2,328,605	0	100.0		合計	9,451,706	9,437,888	13,818	99.9
2目	地域支援事業交付金(介護予防・日常生活支援総合事業)	49,506	49,503	3	100.0						
	現年度分地域支援事業交付金(介護予防・日常生活支援総合事業)	49,505	49,503	2	100.0						
	過年度分地域支援事業交付金(介護予防・日常生活支援総合事業)	1	0	1	0.0						

事業名		介護認定審査会事業費				(1 款 総務費 3 項 介護認定審査会費 1 目 介護認定審査会費)		決算書	163 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
		8,023	【8,701】	8,989	【9,677】		【10,807】	令和2年度に新型コロナウイルス感染症対策により審査件数の減少に伴い審査会開催数は減少したが、令和3年度は審査件数及び審査会開催数が増加したため、報酬支払額が増加したことによる。			
財 源 内 訳	繰入金	8,023		8,989							
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性（担当課意見）		
<p>1 介護認定審査会事業</p> <p>保健、医療、福祉の専門家から構成された介護認定審査会を開催し、要介護・要支援申請者の審査判定を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員数 40名（任期：令和3年4月1日～令和5年3月31日） ・ 合議体数 8 <p>(1) 認定審査会の開催</p> <p>要介護・要支援申請者の審査判定を行うために、毎週月・水曜日に、それぞれ2合議体が隔週で審査会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催回数年間 164回（令和2年度 148回） ・ 審査件数年間 4,500件（令和2年度 3,845件） <p>(2) 全体会</p> <p>会長の選出と副会長の指名及び8合議体の編成と正副委員長の選出を行った。（隔年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催日 令和3年4月1日 ・ 出席者 33人 <p>(3) 正副委員長会議</p> <p>令和4年度審査会運営体制に関する協議を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催日 令和4年2月18日 ・ 対象者 16人 									<p>継続</p> <p>今後は高齢化率の増加に伴い要介護等認定者数の増加が見込まれるため、適正かつ迅速な審査会の実施を図る。</p>		

事業名	認定調査事務費		(1款 総務費 3項 介護認定審査会費 2目 認定調査費)		決算書	164 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課																				
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																				
		22,291	【24,736】	27,696	【29,954】			令和2年度に新型コロナウイルス感染症対策による認定有効期間の合算申請が増加し更新申請が減少したが、令和3年度は更新申請が増加したため、主治医意見書作成料及び認定調査委託料が増加したことによる。																				
財源内訳	繰入金	22,291		27,696																								
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）																				
<p>1 認定調査事務費</p> <p>要介護等認定申請の際に認定調査及び認定調査員の資質向上を図るために研修会を実施した。</p> <p>(1) 認定調査</p> <p>要介護等認定申請の際に市の職員等が被保険者の自宅を訪問し、心身の状態を調べるために、本人と家族などから行う聞き取り調査を行った。会計年度任用職員が行う調査（直営）と、居宅介護支援事業所や介護保険老人施設等に委託する調査がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査件数 4,567件（委託1,708件、直営2,859件）（令和2年度 3,850件（委託1,169件、直営2,681件）） <p>(2) 認定調査員研修の実施</p> <p>認定調査に従事する者及び従事する予定の者が、要介護認定及び要支援認定における公平・公正かつ適正な認定調査を実施するために必要な知識、技能を修得することを目的に研修を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>開催日</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新任認定調査員研修（eラーニング受講等）</td> <td>令和3年4月20日～令和3年4月26日</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>現任認定調査員研修（記載指導及び演習）</td> <td>令和4年2月25日</td> <td>12人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 主治医意見書作成料</p> <p>要介護認定審査会の審査判定の資料となる主治医意見書作成に関する費用を主治医の医療機関へ支払った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 支払件数 年間 4,666件（令和2年度 3,862件） 支払金額 年間 20,861,166円（令和2年度 17,416,264円） <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健康な高齢者の割合</td> <td>82.1%</td> <td>81.3%</td> <td>78.0%</td> </tr> </tbody> </table>								区分	開催日	参加者	新任認定調査員研修（eラーニング受講等）	令和3年4月20日～令和3年4月26日	14人	現任認定調査員研修（記載指導及び演習）	令和4年2月25日	12人	指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和3年度	令和5年度	健康な高齢者の割合	82.1%	81.3%	78.0%	<p>継続</p> <p>今後は高齢化率の増加に伴い要介護等認定者数の増加が見込まれるため、認定調査員の更なる資質向上を図り、要介護認定の適正化に取り組む。</p>
区分	開催日	参加者																										
新任認定調査員研修（eラーニング受講等）	令和3年4月20日～令和3年4月26日	14人																										
現任認定調査員研修（記載指導及び演習）	令和4年2月25日	12人																										
指標項目	基準	実績	目標																									
	平成25年度	令和3年度	令和5年度																									
健康な高齢者の割合	82.1%	81.3%	78.0%																									

事業名		事業計画策定・推進費				(1 款 総務費 4 項 事業計画推進委員会費 1 目 事業計画推進委員会)		決算書	164 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
		3,453	【3,782】	121	【200】		【4,009】	老人福祉法に基づく「高齢者保健福祉計画」と介護保険法に基づく「介護保険事業計画」を一体的に作成する「高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画策定業務」が完了したことによる。			
財 源 内 訳	繰入金	3,453		121							
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 事業計画策定・推進費 射水市高齢者保健福祉・介護保険事業計画推進委員会の開催 高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画の実施状況について報告した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員数 14名 ・ 開催日 令和3年6月29日 									継続 高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画（令和3年度～令和5年度）に定めた取り組むべき施策について、委員会で協議を重ね、その実現に取り組んでいく。		

事業名	居宅介護サービス費		(2款 保険給付費 1項 介護サービス等諸費 1目 居宅介護サービス費)		決算書	164 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課																																
決算額【予算額】			令和2年度		令和3年度		令和4年度																																	
			3,063,634 【3,107,304】		3,170,157 【3,242,417】		【3,363,024】																																	
財 源 内 訳	国庫負担金	諸収入	591,001	2,456	634,032	335		新型コロナウイルス感染予防のため、通所系サービスの利用控えがあり、訪問系サービスの利用が増えたことによる。																																
	国庫補助金	一般財源	103,265	738,778	105,884	750,412																																		
	支払基金交付金		828,060		855,942																																			
	県負担金		386,653		396,271																																			
	繰入金		413,421		427,281																																			
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性（担当課意見）																																	
<p>1 居宅介護サービス費</p> <p>要介護認定者が生活機能の維持・改善を図り、在宅で自立した日常生活を営むことができるよう必要なサービスの給付を行う。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>サービス区分</th> <th>年度</th> <th>年間延利用者数</th> <th>1人当たり給付費/月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">訪問介護</td> <td>令和2年度</td> <td>7,377人</td> <td>76,812円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>7,685人</td> <td>78,577円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">通所介護</td> <td>令和2年度</td> <td>14,431人</td> <td>67,215円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>14,363人</td> <td>66,817円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">短期入所生活介護</td> <td>令和2年度</td> <td>4,785人</td> <td>83,520円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>4,579人</td> <td>87,048円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">居宅介護支援</td> <td>令和2年度</td> <td>28,070人</td> <td>14,272円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>28,608人</td> <td>14,723円</td> </tr> </tbody> </table>									サービス区分	年度	年間延利用者数	1人当たり給付費/月	訪問介護	令和2年度	7,377人	76,812円	令和3年度	7,685人	78,577円	通所介護	令和2年度	14,431人	67,215円	令和3年度	14,363人	66,817円	短期入所生活介護	令和2年度	4,785人	83,520円	令和3年度	4,579人	87,048円	居宅介護支援	令和2年度	28,070人	14,272円	令和3年度	28,608人	14,723円
サービス区分	年度	年間延利用者数	1人当たり給付費/月																																					
訪問介護	令和2年度	7,377人	76,812円																																					
	令和3年度	7,685人	78,577円																																					
通所介護	令和2年度	14,431人	67,215円																																					
	令和3年度	14,363人	66,817円																																					
短期入所生活介護	令和2年度	4,785人	83,520円																																					
	令和3年度	4,579人	87,048円																																					
居宅介護支援	令和2年度	28,070人	14,272円																																					
	令和3年度	28,608人	14,723円																																					
							継続	引き続き自立支援・重度化防止を図り、高齢者の在宅生活の継続を支援していく。																																

事業名		介護予防サービス費				(2款 保険給付費 1項 介護サービス等諸費 2目 介護予防サービス費)		決算書	164 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項(決算規模の変動要因等)			
		119,233	【120,974】	126,467	【131,121】		【122,924】	新型コロナウイルスの拡大により、昨年度に介護予防支援の申請を控えていた方が申請されたことによる。			
財 源 内 訳	国庫負担金	諸収入	23,002	25,499	25,293	29,951					
	国庫補助金	一般財源	4,019		4,224						
	支払基金交付金		32,227		34,146						
	県負担金		18,396		15,808						
	繰入金		16,090		17,045						
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性(担当課意見)	
1 介護予防サービス費 要支援認定者が、生活機能の維持・改善を図り、在宅で自立した日常生活を営むことができるよう必要なサービスの給付を行う。										継 続	引き続き自立支援・重度化防止を図り、高齢者の在宅生活の継続を支援していく。
サービス区分		年度	年間延利用者数	1人当たり給付費/月							
介護予防通所リハビリテーション		令和2年度	1,004人	32,618円							
		令和3年度	903人	31,643円							
介護予防短期入所生活介護		令和2年度	85人	33,834円							
		令和3年度	99人	38,196円							
介護予防支援		令和2年度	6,096人	4,394円							
		令和3年度	6,488人	4,509円							

事業名	施設介護サービス費		(2款 保険給付費 1項 介護サービス等諸費 3目 施設介護サービス費)				決算書	164 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課																																	
決算額【予算額】			令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																																		
			2,811,331	【2,843,898】	2,825,583	【2,845,607】		【2,814,859】	新型コロナウイルス感染予防のため、新規入所が控えられた傾向があるが、治療を必要とする方や、介護度の高い方の入所が増えたことによる。																																		
財 源 内 訳	国庫負担金	諸収入	401,763	680,187	423,837	669,150																																					
	国庫補助金	一般財源	94,762		94,374																																						
	支払基金交付金		759,866		762,907																																						
	県負担金		495,378		494,477																																						
	繰入金		379,375		380,838																																						
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性（担当課意見）																																		
<p>1 施設介護サービス費</p> <p>在宅での生活が困難な要介護者に対し、施設サービス計画に基づいて、入浴、排せつ、食事等の介護及びその他の日常生活上の世話、機能訓練、療養上の世話や看護・医学管理下での介護などを行う。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>サービス区分</th> <th>年度</th> <th>年間延利用者数</th> <th>1人当たり給付費/月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">介護老人福祉施設</td> <td>令和2年度</td> <td>6,644人</td> <td>261,828円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>6,512人</td> <td>264,385円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">介護老人保健施設</td> <td>令和2年度</td> <td>2,431人</td> <td>282,442円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>2,569人</td> <td>296,399円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">介護療養型医療施設</td> <td>令和2年度</td> <td>74人</td> <td>374,801円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>47人</td> <td>361,807円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">介護医療院</td> <td>令和2年度</td> <td>936人</td> <td>381,830円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>867人</td> <td>375,382円</td> </tr> </tbody> </table>										サービス区分	年度	年間延利用者数	1人当たり給付費/月	介護老人福祉施設	令和2年度	6,644人	261,828円	令和3年度	6,512人	264,385円	介護老人保健施設	令和2年度	2,431人	282,442円	令和3年度	2,569人	296,399円	介護療養型医療施設	令和2年度	74人	374,801円	令和3年度	47人	361,807円	介護医療院	令和2年度	936人	381,830円	令和3年度	867人	375,382円	<p>継続</p> <p>介護療養型医療施設の廃止(令和5年度末まで)に伴い、順次、介護医療院への転換が図られている。 引き続き介護や治療の必要性に応じた施設利用を支援していく。</p>	
サービス区分	年度	年間延利用者数	1人当たり給付費/月																																								
介護老人福祉施設	令和2年度	6,644人	261,828円																																								
	令和3年度	6,512人	264,385円																																								
介護老人保健施設	令和2年度	2,431人	282,442円																																								
	令和3年度	2,569人	296,399円																																								
介護療養型医療施設	令和2年度	74人	374,801円																																								
	令和3年度	47人	361,807円																																								
介護医療院	令和2年度	936人	381,830円																																								
	令和3年度	867人	375,382円																																								

事業名		地域密着型介護サービス費				(2款 保険給付費 1項 介護サービス等諸費 4目 地域密着型介護サービス費)		決算書	164 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課																																																																																				
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項(決算規模の変動要因等)																																																																																							
		1,970,559	【1,993,982】	2,070,278	【2,109,322】		【2,309,394】	令和3年3月に複合型サービス(定員29名)を開設し、実績が大幅に増加したことによる。																																																																																							
財 源 内 訳	国庫負担金	諸収入	380,137	476,768	414,055	490,278																																																																																									
	国庫補助金	一般財源	66,422		69,148																																																																																										
	支払基金交付金		532,616		558,975																																																																																										
	県負担金		248,700		258,785																																																																																										
	繰入金		265,916		279,037																																																																																										
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性(担当課意見)																																																																																						
<p>1 地域密着型介護サービス費</p> <p>市内に住民登録がある要介護認定を受けた高齢者等が、地域の特性を生かしたサービスを受けることで住み慣れた地域での生活を続けることができる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>サービス区分</th> <th>年度</th> <th>年間延利用者数</th> <th>1人当たり給付費/月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">定期巡回・随時対応型訪問介護看護</td> <td>令和2年度</td> <td>394人</td> <td>151,962円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>355人</td> <td>153,825円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">夜間対応型訪問介護</td> <td>令和2年度</td> <td>23人</td> <td>16,925円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>30人</td> <td>20,059円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地域密着型通所介護</td> <td>令和2年度</td> <td>4,298人</td> <td>70,648円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>3,971人</td> <td>67,734円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">認知症対応型通所介護</td> <td>令和2年度</td> <td>1,388人</td> <td>98,839円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>1,368人</td> <td>99,019円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">小規模多機能型居宅介護</td> <td>令和2年度</td> <td>2,943人</td> <td>190,460円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>3,240人</td> <td>205,236円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">認知症対応型共同生活介護</td> <td>令和2年度</td> <td>2,902人</td> <td>246,932円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>2,996人</td> <td>252,336円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">介護予防認知症対応型通所介護</td> <td>令和2年度</td> <td>0人</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>0人</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">介護予防小規模多機能型居宅介護</td> <td>令和2年度</td> <td>212人</td> <td>66,298円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>221人</td> <td>69,329円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">介護予防認知症対応型共同生活介護</td> <td>令和2年度</td> <td>0人</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>0人</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">小規模特別養護老人ホーム</td> <td>令和2年度</td> <td>352人</td> <td>284,406円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>340人</td> <td>293,614円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">複合型サービス (看護小規模多機能)</td> <td>令和2年度</td> <td>322人</td> <td>242,780円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>493人</td> <td>243,176円</td> </tr> </tbody> </table>												サービス区分	年度	年間延利用者数	1人当たり給付費/月	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	令和2年度	394人	151,962円	令和3年度	355人	153,825円	夜間対応型訪問介護	令和2年度	23人	16,925円	令和3年度	30人	20,059円	地域密着型通所介護	令和2年度	4,298人	70,648円	令和3年度	3,971人	67,734円	認知症対応型通所介護	令和2年度	1,388人	98,839円	令和3年度	1,368人	99,019円	小規模多機能型居宅介護	令和2年度	2,943人	190,460円	令和3年度	3,240人	205,236円	認知症対応型共同生活介護	令和2年度	2,902人	246,932円	令和3年度	2,996人	252,336円	介護予防認知症対応型通所介護	令和2年度	0人	0円	令和3年度	0人	0円	介護予防小規模多機能型居宅介護	令和2年度	212人	66,298円	令和3年度	221人	69,329円	介護予防認知症対応型共同生活介護	令和2年度	0人	0円	令和3年度	0人	0円	小規模特別養護老人ホーム	令和2年度	352人	284,406円	令和3年度	340人	293,614円	複合型サービス (看護小規模多機能)	令和2年度	322人	242,780円	令和3年度	493人	243,176円	<p>継続</p> <p>今後も引き続き地域のニーズを反映させた地域密着型サービスサービスの提供を進めていく。</p>		
サービス区分	年度	年間延利用者数	1人当たり給付費/月																																																																																												
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	令和2年度	394人	151,962円																																																																																												
	令和3年度	355人	153,825円																																																																																												
夜間対応型訪問介護	令和2年度	23人	16,925円																																																																																												
	令和3年度	30人	20,059円																																																																																												
地域密着型通所介護	令和2年度	4,298人	70,648円																																																																																												
	令和3年度	3,971人	67,734円																																																																																												
認知症対応型通所介護	令和2年度	1,388人	98,839円																																																																																												
	令和3年度	1,368人	99,019円																																																																																												
小規模多機能型居宅介護	令和2年度	2,943人	190,460円																																																																																												
	令和3年度	3,240人	205,236円																																																																																												
認知症対応型共同生活介護	令和2年度	2,902人	246,932円																																																																																												
	令和3年度	2,996人	252,336円																																																																																												
介護予防認知症対応型通所介護	令和2年度	0人	0円																																																																																												
	令和3年度	0人	0円																																																																																												
介護予防小規模多機能型居宅介護	令和2年度	212人	66,298円																																																																																												
	令和3年度	221人	69,329円																																																																																												
介護予防認知症対応型共同生活介護	令和2年度	0人	0円																																																																																												
	令和3年度	0人	0円																																																																																												
小規模特別養護老人ホーム	令和2年度	352人	284,406円																																																																																												
	令和3年度	340人	293,614円																																																																																												
複合型サービス (看護小規模多機能)	令和2年度	322人	242,780円																																																																																												
	令和3年度	493人	243,176円																																																																																												

事業名	特定入所者介護サービス費		(2款 保険給付費 2項 特定入所者介護サービス等費 1目 特定入所者介護サービス費)				決算書	164 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課																																	
決算額【予算額】			令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																																		
			267,691	【269,951】	218,584	【222,767】		【207,514】	令和3年8月からの制度改正（所得区分の細分化）により、利用者数が減ったことによる。																																		
財 源 内 訳	国庫負担金	諸収入	38,324	64,767	32,812	51,766																																					
	国庫補助金	一般財源	9,023		7,301																																						
	支払基金交付金		72,353		59,017																																						
	県負担金		47,101		38,227																																						
	繰入金		36,123		29,461																																						
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性（担当課意見）																																		
<p>1 特定入所者介護サービス費</p> <p>市町村民税非課税世帯の要介護認定者が一定の条件を満たした場合、申請により介護保険施設等の入所やショートステイを利用した際の食費や居住費を軽減する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>サービス区分</th> <th>年度</th> <th>年間延利用者数</th> <th>1人当たり給付費/月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">特定入所者介護サービス</td> <td>令和2年度</td> <td>8,255人</td> <td>32,261円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>7,676人</td> <td>28,400円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">特例特定入所者介護サービス</td> <td>令和2年度</td> <td>90人</td> <td>13,898円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>36人</td> <td>13,819円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">特定入所者介護予防サービス</td> <td>令和2年度</td> <td>26人</td> <td>4,991円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>28人</td> <td>3,134円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">特例特定入所者介護予防サービス</td> <td>令和2年度</td> <td>0人</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>0人</td> <td>0円</td> </tr> </tbody> </table>										サービス区分	年度	年間延利用者数	1人当たり給付費/月	特定入所者介護サービス	令和2年度	8,255人	32,261円	令和3年度	7,676人	28,400円	特例特定入所者介護サービス	令和2年度	90人	13,898円	令和3年度	36人	13,819円	特定入所者介護予防サービス	令和2年度	26人	4,991円	令和3年度	28人	3,134円	特例特定入所者介護予防サービス	令和2年度	0人	0円	令和3年度	0人	0円	<p>継続</p> <p>令和3年8月からの制度改正（所得区分の細分化）により、利用者数が減っている。 今後も低所得者の支援として事業を継続する。</p>	
サービス区分	年度	年間延利用者数	1人当たり給付費/月																																								
特定入所者介護サービス	令和2年度	8,255人	32,261円																																								
	令和3年度	7,676人	28,400円																																								
特例特定入所者介護サービス	令和2年度	90人	13,898円																																								
	令和3年度	36人	13,819円																																								
特定入所者介護予防サービス	令和2年度	26人	4,991円																																								
	令和3年度	28人	3,134円																																								
特例特定入所者介護予防サービス	令和2年度	0人	0円																																								
	令和3年度	0人	0円																																								

事業名	高額介護サービス費		(2款 保険給付費 3 高額介護サービス等費 1目 居宅介護サービス費)				決算書	165 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課																													
決算額【予算額】			令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項(決算規模の変動要因等)																														
			196,922	【200,771】	192,326	【195,831】		【195,401】	令和3年8月からの制度改正(所得区分の細分化)により、給付費が減少したことによる。																														
財 源 内 訳	国庫負担金	一般財源	37,988	47,643	38,465	45,548																																	
	国庫補助金		6,638		6,424																																		
	支払基金交付金		53,226		51,927																																		
	県負担金		24,853		24,041																																		
	繰入金		26,574		25,921																																		
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性(担当課意見)																														
<p>1 高額介護サービス費</p> <p>(1) 高額介護・高額介護予防サービス費</p> <p>同じ月に利用した介護保険の利用者負担の合計(同じ世帯内に複数の利用者がある場合には、世帯合計)が、上限額を超える場合は申請により超えた分を後から支給する。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>サービス区分</th> <th>年度</th> <th>年間延利用者数</th> <th>1人当たり給付費/月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">高額介護サービス</td> <td>令和2年度</td> <td>14,458人</td> <td>11,696円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>14,513人</td> <td>11,685円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">高額介護予防サービス</td> <td>令和2年度</td> <td>63人</td> <td>864円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>68人</td> <td>296円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 高額医療・高額介護合算サービス費</p> <p>介護保険と医療保険の両方の負担額が高額になったとき、年間の負担額を合算して限度額を超える場合は申請により超えた分を後から支給する。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>サービス区分</th> <th>年度</th> <th>年間延利用者数</th> <th>1人当たり給付費/月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">高額医療合算介護(予防)サービス</td> <td>令和2年度</td> <td>890人</td> <td>27,822円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>875人</td> <td>25,802円</td> </tr> </tbody> </table>										サービス区分	年度	年間延利用者数	1人当たり給付費/月	高額介護サービス	令和2年度	14,458人	11,696円	令和3年度	14,513人	11,685円	高額介護予防サービス	令和2年度	63人	864円	令和3年度	68人	296円	サービス区分	年度	年間延利用者数	1人当たり給付費/月	高額医療合算介護(予防)サービス	令和2年度	890人	27,822円	令和3年度	875人	25,802円	<p>継 続</p> <p>前年度と比較すると、給付費は減少している。 今後も利用者の負担軽減のため、適切な支給を図る。</p>
サービス区分	年度	年間延利用者数	1人当たり給付費/月																																				
高額介護サービス	令和2年度	14,458人	11,696円																																				
	令和3年度	14,513人	11,685円																																				
高額介護予防サービス	令和2年度	63人	864円																																				
	令和3年度	68人	296円																																				
サービス区分	年度	年間延利用者数	1人当たり給付費/月																																				
高額医療合算介護(予防)サービス	令和2年度	890人	27,822円																																				
	令和3年度	875人	25,802円																																				

事業名	審査支払手数料		(2款 保険給付費 4項 その他諸費 1目 審査支払手数料)		決算書	165 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課	
決算額【予算額】			令和2年度		令和3年度		令和4年度		
			8,809	【9,123】	9,104	【9,221】		【9,605】	
財 源 内 訳	国庫負担金	諸収入	1,700	2,130	1,821	2,156			
	国庫補助金	一般財源	297		304				
	支払基金交付金		2,381		2,458				
	県負担金		1,112		1,138				
	繰入金		1,189		1,227				
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 介護報酬請求明細書審査支払手数料 富山県国民健康保険団体連合会が介護給付費に係る審査支払を行う手数料（1件当たり70円）							継 続	富山県国民健康保険団体連合会 は、保険給付を行うための必要な業 務（介護給付の資格審査、支給限度 額の管理等）を担っており、引き続 き事業を継続していく。	
サービス区分		年間延利用件数							
		令和2年度	令和3年度						
審査支払手数料		125,848件	130,053件						

事業名		一般介護予防事業費				(3款 地域支援事業費 1項 介護予防・日常生活支援総合事業費 1目 一般介護予防事業費)		決算書	165 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
		38,196	【41,039】	35,848	【40,751】		【45,216】	新型コロナウイルス感染症の影響により、介護予防事業の実施回数が減少したことによる。			
財 源 内 訳	国庫補助金	17,269		14,650							
	支払基金交付金	11,140		11,079							
	県補助金	5,157		5,682							
	繰入金	4,630		4,437							
	一般財源	0		0							
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）	
<p>1 介護予防普及啓発事業</p> <p>高齢者等を対象に、要介護状態となっても、生きがい・役割をもって生活できる地域づくりを図るため、介護予防の普及・啓発と介護予防活動の支援を行った。</p> <p>(1) 介護予防きときと倶楽部 運動機能向上、栄養改善、口腔機能向上、認知症予防等に関する教室を開催し、介護予防に関する正しい知識の普及・啓発に努めた。 ・ 開催回数 12回、延べ参加者数 169人（令和2年度 開催回数 15回、延べ参加者数 194人）</p> <p>(2) 脳いきいき健康講座 軽度認知障害の疑いのある人、認知症について不安のある人及び家族が相談や受診等、早期に適切な対応ができるよう講座を実施した。 ・ 開催回数 9回、延べ参加者数 107人（令和2年度 開催回数 14回、延べ参加者数 232人）</p> <p>(3) いみずお茶の間介護予防講座 外出自粛中の高齢者の「生活不活発病」を予防するために、介護予防講座をケーブルテレビでの放送やYou Tubeでの動画配信を行った。 放送期間：令和4年2月14日～2月27日</p>										引き続き出前講座を開催し、高齢者の介護予防、認知症予防を推進する。 脳いきいき健康講座の中で、認知機能検診を周知し、軽度認知障害の早期発見、早期対応を行うことで認知症の重症化を予防する。	
<p>2 地域介護予防活動支援事業</p> <p>きららか射水100歳体操普及事業 住民が、身近な場所で主体的に取り組むことができ、介護予防に効果のあるおもりを使用した体操の普及を図った。 ・ グループ数 149グループ、登録者数 2,675人（令和2年度 139グループ、登録者数 2,561人） ・ 「きららか射水100歳体操ダイジェスト版」を作成し、ケーブルテレビでの放送やYouTubeでの動画配信を行った。</p> <p>地域ふれあいサロン事業 高齢者等が、健康で生きがいをもって安心して暮らせる地域づくりを実現するため、地域の活動拠点として設置し、その活動を支援した。 ・ 開催箇所数 134か所（令和2年度 157か所）</p> <p>地域支え合いネットワーク事業 地域包括ケアシステム構築に向け、高齢者等が住み慣れた地域で自立した生活を営むことができる地域の支え合い体制の整備及び多様な生活支援サービスの創出を行う団体に対し支援を行った。 ・ 実施地域数 26地域（令和2年度 26地域）</p>										<p>きららか射水100歳体操は、新型コロナウイルス感染症の影響はあったが、グループ数と登録者数は微増した。今後、理学療法士による体操指導や検証を行い、更なる推進を図る。</p> <p>また、地域支え合いネットワーク事業を全地域で展開し、地域の介護予防活動を一層推進していく。</p>	
		指標項目		基準	実績	目標					
				平成27年度	令和3年度	令和5年度					
		住民型サービス提供団体数		団体	26団体	27団体					

継続

事業名		健康づくり推進員育成事業費				(3款 地域支援事業費 1項 介護予防・日常生活支援総合事業費 1目 一般介護予防事業費)		決算書	165 ページ	担当部課	福祉保健部保健センター
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
		530	【848】	389	【823】		【671】				
財 源 内 訳	国庫補助金	一般財源	138	93	131						
	支払基金交付金		159		135						
	県補助金		74		69						
	繰入金		66		54						
	諸収入		0		0						
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）	
<p>1 地域の健康づくりの原動力となる食生活改善推進員及びヘルスポランティアの養成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ヘルスポランティア養成講座修了者 17人 ヘルスポランティアの再教育 6回 546人 栄養教室修了者 6人 食生活改善推進員の再教育 9回 388人 										継 続	ヘルスポランティア養成講座、栄養教室にて健康づくりボランティアの養成、また再教育により資質の向上を図った。
											第2次射水市健康増進プランに基づき、各ボランティアと共に地域のつながりを活かした健康づくり活動の推進を目指していく。

事業名		介護予防・生活支援サービス事業費 (3款 地域支援事業費 1項 介護予防・日常生活支援総合事業費 2目 介護予防・生活支援サービス事業費)				決算書	165 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項(決算規模の変動要因等)	
		130,034	【135,886】	139,813	【141,811】		【142,013】	新型コロナウイルスの拡大により、昨年度申請を控えていた方が申請されたことによる。	
財源内訳	国庫補助金	52,680		58,588					
	支払基金交付金	36,687		38,289					
	県補助金	16,985		18,418					
	繰入金	16,255		17,477					
	一般財源	7,427		7,041					
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性(担当課意見)	
1 介護予防・生活支援サービス事業費									
サービス区分		年度	年間延利用者数	1人当たり給付費/月					
訪問介護相当サービス費		令和2年度	281人	17,670円		継続 今後も要支援相当者の介護予防・重度化防止の事業として継続して実施する。			
		令和3年度	313人	17,437円					
訪問型Aサービス費		令和2年度	908人	12,155円					
		令和3年度	926人	12,138円					
通所介護相当サービス費		令和2年度	4,055人	22,160円					
		令和3年度	4,440人	22,423円					
通所型Aサービス費		令和2年度	801人	10,565円					
		令和3年度	698人	10,327円					
通所型Cサービス費		令和2年度	13人	26,308円					
		令和3年度	3人	27,000円					
介護予防ケアマネジメント費		令和2年度	3,245人	4,430円					
		令和3年度	3,358人	4,562円					
高額総合事業サービス費		令和2年度	101人	2,829円					
		令和3年度	93人	2,817円					

事業名	地域包括支援センター運営費				(3款 地域支援事業費 2項 包括的支援事業・任意事業費 1目 包括的支援事業費)		決算書	165 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項(決算規模の変動要因等)		
		102,677	【103,552】	104,888	【106,073】		【102,798】	令和3年度介護報酬改定に対応するよう、システム改修を行ったことによる。		
財源内訳	国庫補助金	39,868		42,001						
	県補助金	19,934		21,000						
	繰入金	19,765		20,191						
	一般財源	23,110		21,696						
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性(担当課意見)		
<p>1 保健師(看護師)・主任ケアマネジャー・社会福祉士・認知症地域支援推進員・生活支援コーディネーター等を配置する地域包括支援センターを市内5か所に設置し、総合相談、権利擁護、介護予防ケアマネジメントや介護予防事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合相談実施件数 実人員 3,278人 (令和2年度 3,280人) 相談延べ件数 10,983件 (令和2年度 11,281件) <p>委託先 (福)射水万葉会、(福)喜寿会、(福)小杉福祉会、(福)大門福祉会</p> <p>委託期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日</p> <p>委託料 90,000千円</p>								継続	増加する高齢者の相談や、多様化するニーズに対応できるよう、地域包括支援センターの体制強化を図るとともに今後の在り方を検討する。	

事業名		地域ケア推進事業費		(3款 地域支援事業費 2項 包括的支援事業・任意事業費 1目 包括的支援事業費)				決算書	166 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
		53,269	【57,292】	49,726	【57,400】		【57,350】				
財 源 内 訳	国庫補助金	31,621		28,731							
	県補助金	10,940		11,050							
	繰入金	10,608		9,945							
	諸収入	100		0							
	一般財源	0		0							
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性（担当課意見）		
<p>1 在宅医療・介護連携推進事業</p> <p>医療と介護の両方を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で暮らし続けるため、在宅医療と介護を一体的に提供できるよう、医療機関と介護事業者関係者の連携を図った。</p> <p>(1) 在宅医療・介護連携推進協議会開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間3回（令和2年度 年間3回） <p>(2) 在宅医療・介護連携支援相談窓口の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数 93件（令和2年度 177件） <p>(3) 市民講座の開催</p> <p>ケーブルテレビ放送や市ホームページYou Tubeでの配信を行った。</p> <p>一部事業を（公）射水市医師会に委託している。</p> <p>委託期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日</p> <p>委託料 1,600千円</p>									<p>継続</p> <p>在宅療養者が安心した生活を送ることを支援する多職種連携支援システム（ICTツール）の活用を推進し、更なる在宅医療・介護連携を図る。また、在宅療養者の看取りや食支援に関する取組みを実施する。</p>		
<p>2 生活支援体制整備事業</p> <p>高齢者の日常生活を支える多様な支援体制の充実や強化を図るとともに、地域における支え合い体制づくりの推進を図った。</p> <p>(1) 射水市生活支援・介護予防サービス推進協議会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間2回（令和2年度 年間2回） <p>(2) 生活支援コーディネーターの配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1層（市） 1人 ・第2層（地域包括支援センター圏域） 6人 <p>委託先 （福）射水万葉会、（福）喜寿会、（福）小杉福祉会、（福）大門福祉会、（福）射水市社会福祉協議会</p> <p>委託期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日</p> <p>委託料 23,750千円</p>											

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
<p>3 認知症施策推進事業 認知症の知識の普及・啓発、早期発見・早期対応に向けた体制整備及び認知症高齢者と家族への支援体制の充実を図った。</p> <p>(1) 認知症初期集中支援チーム設置 訪問・面談延べ件数 22件（令和2年度 46件） 委託先 （公）射水市医師会 委託期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日 委託料 1,200千円</p> <p>(2) 認知症地域支援推進員を各地域包括支援センターに1人配置し、相談会や認知症カフェを開催した。認知症ケアパスを使用し、認知症の進行に合った介護サービスや支援について普及啓発を図った。 委託先 （福）射水万葉会、（福）喜寿会、（福）小杉福祉会、（福）大門福祉会 委託期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日 委託料 20,000千円</p>	継続	<p>地域での認知症の理解を促進し、認知症の人本人の考えや視点を取り入れながら、認知症の人と家族への支援の充実を図っていく。</p>
<p>4 地域ケア会議推進事業 多職種が協働して個別ケースの支援内容を検討する事例検討会を実施した。 ・ 会議実施回数 27回（令和2年度 31回）</p>	継続	<p>高齢者の自立支援・重度化防止に向け、多職種連携を強化し、引き続き地域ケア会議を開催する。</p>

事業名		介護給付等費用適正化事業費（介護保険）				（ 3款 地域支援事業費 2項 包括的支援事業・任意事業費 2目 任意事業費 ）				決算書	166 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課																								
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																													
		3,802	【3,991】	4,004	【4,152】		【4,284】																														
財 源 内 訳	国庫補助金	1,537		1,599																																	
	県補助金	768		800																																	
	繰入金	747		779																																	
	一般財源	750		826																																	
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）																										
<p>1 介護サービス利用者に対して、サービス費合計額等の明細を作成し、年4回通知した。</p> <p>介護給付費通知書送付状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和2年6月</th> <th>令和2年9月</th> <th>令和2年12月</th> <th>令和3年3月</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>4,691件</td> <td>4,686件</td> <td>4,694件</td> <td>4,775件</td> <td>18,846件</td> </tr> <tr> <th>令和3年度</th> <th>令和3年6月</th> <th>令和3年9月</th> <th>令和3年12月</th> <th>令和4年3月</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td></td> <td>4,764件</td> <td>4,753件</td> <td>4,801件</td> <td>4,875件</td> <td>19,193件</td> </tr> </tbody> </table>											令和2年度	令和2年6月	令和2年9月	令和2年12月	令和3年3月	合計		4,691件	4,686件	4,694件	4,775件	18,846件	令和3年度	令和3年6月	令和3年9月	令和3年12月	令和4年3月	合計		4,764件	4,753件	4,801件	4,875件	19,193件	継 続	年4回の通知を送付することにより、問合せが増えている。自ら受けているサービスを改めて確認することで、適正な請求に向けた抑制効果が期待できる。	
令和2年度	令和2年6月	令和2年9月	令和2年12月	令和3年3月	合計																																
	4,691件	4,686件	4,694件	4,775件	18,846件																																
令和3年度	令和3年6月	令和3年9月	令和3年12月	令和4年3月	合計																																
	4,764件	4,753件	4,801件	4,875件	19,193件																																

事業名		介護給付等費用適正化事業費（地域支援）				（ 3款 地域支援事業費 2項 包括的支援事業・任意事業費 2目 任意事業費 ）				決算書	166 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）					
		99	【100】	90	【90】		【90】						
財 源 内 訳	国庫補助金	38		36									
	県補助金	19		18									
	繰入金	12		17									
	一般財源	30		19									
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）		
<p>1 居宅・施設ケアプランの点検やサービス事業者を対象とした研修会を開催し、介護給付の適正化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催回数 5回（令和2年度 5回） 											継 続	利用者の自立支援に資する適切なケアプランとなっているか点検を行った。今後、理学療法士によるケアプラン点検や主任介護支援専門員の研修会を実施し、更に自立支援に資する質の高いケアマネジメントを目指し、介護給付の適正化を図る。	

事業名	権利擁護等自立支援事業費		(3款 地域支援事業費 2項 包括的支援事業・任意事業費 2目 任意事業費)				決算書	166 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）		
		512	【918】	580	【918】		【860】			
財源内訳	国庫補助金	191		216						
	県補助金	95		108						
	繰入金	85		104						
	諸収入	68		41						
	一般財源	73		111						
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）		
<p>1 成年後見制度の普及啓発及び利用支援のための相談会の開催、経済的理由や親族不在等の理由で家庭裁判所への申立てができない場合の申立てに係る支援や経済的支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相談会開催回数 12回、相談者数 17人 （令和2年度 開催回数 12回、相談者数 15人） ・ 市長申立て 9件 （令和2年度 3件） 								継続	高齢者が安心して自立した生活を送ることができるよう、成年後見制度の普及啓発及び利用に必要な支援を継続する。	

事業名	家族介護支援事業費		(3款 地域支援事業費 2項 包括的支援事業・任意事業費 2目 任意事業費)				決算書	166 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）		
		19,270	【19,981】	17,723	【17,836】		【18,128】			
財源内訳	国庫補助金	8,307		7,094						
	県補助金	4,153		3,547						
	繰入金	3,710		3,418						
	一般財源	3,100		3,664						
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）		
<p>1 介護用品の支給や家族介護教室の開催等を通じ、在宅で介護する家族のネットワークの形成や身体的・精神的・経済的負担の軽減を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ おむつ支給事業実人数 480人 （令和2年度 554人） 								見直し	引き続きおむつ支給対象者や支給限度額など、受益者負担の適正化について検討する。	

事業名		地域自立生活支援事業費				(3款 地域支援事業費 2項 包括的支援事業・任意事業費 2目 任意事業費)				決算書	166 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課											
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																
		394	【651】	887	【1,009】		【1,662】	新型コロナウイルス感染症予防のため、タブレットを使ったオンライン面会を実施したことで回数が増加したことによる。																
財源内訳	国庫補助金	170		355																				
	県補助金	85		178																				
	繰入金	76		171																				
	一般財源	63		183																				
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）													
<p>1 介護相談員を介護保険施設等に派遣し、利用者や家族からの相談を受け、事業所との橋渡しをすることにより、質の高い介護サービスの提供に努めた。</p> <p>あったか介護保険相談員活動状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>相談員数</th> <th>相談施設数</th> <th>延相談者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>12人</td> <td>15施設</td> <td>44人</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>12人</td> <td>20施設</td> <td>141人</td> </tr> </tbody> </table>											区分	相談員数	相談施設数	延相談者数	令和2年度	12人	15施設	44人	令和3年度	12人	20施設	141人	継続	<p>新型コロナウイルス感染症予防のため、タブレットを使ったオンライン面会を実施した。今後は市内の感染状況や、施設における家族との面会状況を見ながら、施設訪問の再開を検討していく。</p>
区分	相談員数	相談施設数	延相談者数																					
令和2年度	12人	15施設	44人																					
令和3年度	12人	20施設	141人																					

事業名	住宅改修支援事業費		(3款 地域支援事業費 2項 包括的支援事業・任意事業費 2目 任意事業費)		決算書	166 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課	
決算額【予算額】			令和2年度		令和3年度		令和4年度		
			138	【230】	122	【200】		特記事項（決算規模の変動要因等）	
財 源 内 訳	国庫補助金		59		49				
	県補助金		30		24				
	繰入金		27		23				
	一般財源		22		26				
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 居宅介護支援又は介護予防支援を受けていない被保険者が住宅改修費の支給を受けるため、介護支援専門員等が「住宅改修が必要な理由書」を作成した場合において支援を行った。								継続	適正な住宅改修が行えるよう、引き続き介護支援専門員による理由書作成を行う。
		項目	令和2年度	令和3年度					
		作成者人数	69人	61人					

事業名	その他事業費		(3款 地域支援事業費 2項 包括的支援事業・任意事業費 2目 任意事業費)		決算書	166 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課	
決算額【予算額】			令和2年度		令和3年度		令和4年度		
			4,344	【4,731】	1,365	【2,130】		特記事項（決算規模の変動要因等）	
財 源 内 訳	国庫補助金		1,410		546			「食」の自立支援事業の実施内容を見直したことによる	
	県補助金		705		273				
	繰入金		1,702		262				
	一般財源		527		284				
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 認知症サポーター養成講座 認知症に関する正しい知識の普及のため、サポーター養成講座を開催した。 ・ 実施回数 28回、延べ参加者数 688人、参加者累計 14,442人（令和2年度 21回、400人）								継続	新型コロナウイルス感染症の影響により受講者数は減少したが、引き続き事業所などに講座開催を呼びかけ、認知症に関する知識の普及啓発を更に推進する。
2 「食」の自立支援 配食みまもりサービス事業 民間活力を導入し、栄養バランスのとれた食事を提供（利用者の希望する食数を配送。弁当実費は利用者負担）するとともに、ひとり暮らし高齢者等の見守り体制の充実を図った。 ・ 実利用者数 65人（令和2年度 84人）								継続	民間活力を導入した高齢者の食の確保と見守り体制の充実を図る。

事業名		保険者機能強化推進事業費 (4款 保健福祉事業費 1項 保健福祉事業費 1目 保険者機能強化推進事業費)				決算書	167 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項(決算規模の変動要因等)	
		1,401	【2,058】	8,114	【8,810】		【5,391】	足洗瀉公園介護予防推進事業を実施したことによる。	
財源内訳	国庫補助金	1,401		8,114					
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性(担当課意見)	
<p>1 認知機能検診事業 軽度認知障害(MCI)の疑いのある者を早期に発見し、適切な対応を行うことで、認知症の重症化を予防する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 受診者数 認知機能テストのみ 26件 (令和2年度 136件) 認知機能テスト・MCIスクリーニング検査 32件 (令和2年度 38件) 								継続	検診を促進することにより、軽度認知障害の早期発見、早期治療につなげる。
<p>2 足洗瀉公園介護予防推進事業 足洗瀉公園に健康遊具を設置した。 地域包括支援センター圏域でノルディックウォーク体験会を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 体験会開催回数 5回 参加者数 104人 								継続	健康遊具を活用した介護予防事業を推進する。
<p>3 介護用品の支給を通じ、在宅で介護する家族の身体的・精神的・経済的負担の軽減を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> おむつ支給事業実人数 112人(地域支援事業(家族介護支援事業)対象外の者) 								見直し	対象者の見直しにより、令和4年8月分以降、本人が市県民税課税の者を支給対象外とした。

事業名		介護保険事業財政調整等基金積立金 (5款 基金積立金 1項 基金積立金 1目 介護保険事業財政調整等基金積立金)				決算書	167 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課
決算額【予算額】		令和2年度		令和3年度		令和4年度		特記事項(決算規模の変動要因等)	
		363	【382】	34,000	【34,000】		【10】	第8期介護保険事業計画期間(3か年計画)の初年度であり、今後、介護サービス基盤整備の進捗により給付費の増加が見込まれることから、介護保険事業財政調整基金の積み立てを行ったため。	
財源内訳	一般財源	363		34,000					
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性(担当課意見)	
<p>1 介護保険事業財政調整等基金積立金</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護保険事業財政調整基金 34,000千円 								継続	引き続き保険給付の適正化に努めるとともに、基金の適切な管理運営に努めていく。

3 財産の状況

【数値の記載に当たって】

各区分の数値は、表示単位未満を四捨五入等で記載しており、合計数値及び決算書数値とは一致しないことがある。

3 財産に関する調書

(1) 公有財産

(単位：㎡、千円)

区 分	令和2年度末 現在高	令和3年度中 増減高	令和3年度末 現在高	増減高の内訳
土 地	3,283,522.05	17,114.30	3,266,407.75	
行政財産	2,660,645.31	27,060.00	2,633,585.31	消防施設 188.00 その他の施設 26,872.00
普通財産	622,876.74	9,945.70	632,822.44	宅地2,210.35、その他7,735.35
建 物	396,056.23	4,047.39	392,008.84	
行政財産	387,497.70	4,708.53	382,789.17	消防施設 113.70、公園(木造)109.31、 その他の施設(木造) 150.00、公園(非木造) 109.31、 その他施設(非木造) 4,444.83
普通財産	8,558.53	661.14	9,219.67	非木造661.14
有 価 証 券	415,358	150,000	565,358	
株券等	415,358	150,000	565,358	新港ビル(株)、万葉線(株) 他
出資による権利	398,932	0	398,932	
出資及び出捐金	398,932	0	398,932	

(出納整理期間含む)

(2) 重要物品(80万円以上)

区 分	令和2年度末 現在高	令和3年度中 増減高	令和3年度末 現在高	増減高の内訳
自 動 車 ほか	675点	6点	681点	受入12点(ベイカート、災害用ドローン 等) 払出 6点(消防自動車 等)

(3) 債権

(単位：千円)

区 分	令和2年度末 現在高 A	令和3年度中増減額		令和3年度末 現在高 A+B-C
		貸 付 額 B	償 還 額 等 C	
鉄道軌道資産取得資金貸付金	53,334	0	0	53,334
母子家庭等小口資金貸付金	410	0	190	220
奨学金貸付金(保育士等)	0	600	0	600
奨学金貸付金	43,306	6,240	5,318	44,228
学生緊急生活支援貸付金	600	0	0	600
合 計	97,650	6,840	5,508	98,982

(出納整理期間含む)

(4) 基金

(単位：千円)

区 分	令和2年度末 現在高 A	令和3年度中増減額		令和3年度末 現在高 A+B-C
		積立額 B	取崩額 C	
財政調整基金	4,552,475	15,230	0	4,567,705
減債基金	788,478	974,519	0	1,762,997
公共施設建設等基金	1,900,555	34,144	0	1,934,699
小林與三次基金	45,926	4	0	45,930
福祉振興基金	6,997	1	0	6,997
小杉インターパーク管理基金	99,538	8	900	98,646
合併地域振興基金	2,647,751	108	0	2,647,859
ふるさと射水応援基金	201,880	205,016	200,000	206,896
漁業振興基金	66	0	0	66
森林環境保全基金	12,524	8,484	3,245	17,763
新型コロナウイルス感染症対策基金	25,652	2	0	25,654
小 計	10,281,841	1,237,516	204,145	11,315,213
国民健康保険事業財政調整基金	457,421	22,939	119,537	360,823
介護保険事業財政調整基金	546,887	34,000	0	580,887
小 計	1,004,308	56,939	119,537	941,709
合 計	11,286,149	1,294,455	323,682	12,256,922

(出納整理期間含む)

4 市債の状況

【数値の記載に当たって】

各区分の数値は、表示単位未満を四捨五入等で記載しており、合計数値及び決算書数値とは一致しないことがある。

4 市債の現況

一般会計

(ア) 目的別現在高の状況

(単位：千円)

区 分	令和2年度末 現在高 A	令和3年度 発行額 B	令和3年度元利償還額		令和3年度末 現在高 (A + B - C)
			元金 C	利子	
1 普通債	13,692,374	2,186,200	1,519,745	91,994	14,358,829
(1) 総務債	1,074,522	76,300	152,324	908	998,498
(2) 民生債	220,984	9,400	18,818	493	211,566
(3) 衛生債	1,662,720	518,100	41,349	9,330	2,139,471
(4) 農林水産業債	352,307	59,000	81,492	2,713	329,815
(5) 土木債	2,412,219	469,900	346,486	23,789	2,535,633
(6) 公営住宅債	523,273	0	80,242	5,800	443,031
(7) 消防債	723,037	75,700	122,814	872	675,923
(8) 教育債	6,723,312	977,800	676,220	48,089	7,024,892
2 災害復旧債	21,300	0	2,662	2	18,638
(1) 土木債	21,300	0	2,662	2	18,638
3 その他	50,109,093	1,944,400	3,584,699	203,313	48,468,794
(1) 減収補てん債	73,900	0	0	12	73,900
(2) 減税補てん債	179,021	0	51,257	308	127,764
(3) 臨時財政対策債	19,065,168	947,600	1,556,497	46,953	18,456,271
(4) 合併特例事業債	30,791,003	996,800	1,976,944	156,040	29,810,859
合 計	63,822,767	4,130,600	5,107,105	295,309	62,846,262

(出納整理期間含む)

(イ) 借入先別現在高の状況

(単位：千円)

区 分	令和2年末 現在高 A	令和3年度 発行額 B	令和3年度 元金償還額 C	令和3年度末 現在高 (A + B - C)
1 政府資金	18,436,951	947,600	1,749,352	17,635,199
財政融資資金	17,878,620	947,600	1,653,124	17,173,096
旧郵貯資金	154,176	0	34,538	119,638
旧簡保資金	404,155	0	61,690	342,465
2 地方公共団体金融機構資金	21,642,031	491,200	2,282,931	19,850,300
3 市中銀行	12,686,764	1,846,200	544,262	13,988,702
4 その他の金融機関	10,254,636	757,600	451,143	10,561,093
5 共済組合	802,384	88,000	79,417	810,967
合 計	63,822,767	4,130,600	5,107,105	62,846,262

(出納整理期間含む)

参考 令和3年度新型コロナウイルス感染症対策に関する市の取組一覧（一般会計【単位：千円】）

予算額	決算額	うち交付金
5,112,298	3,983,354	983,924

※1 予算額は予備費充用額等を含む

※2 () は交付金繰越額

1 市民生活支援事業

No.	事業名	細事業名	概要	予算額	決算額	うち交付金	翌年度繰越額	担当課	報告書ページ
1	障害者福祉総務費	新型コロナウイルス感染症における自宅療養者等支援事業	福祉施設でのサービスを受けることができず自宅待機・療養している利用者やその家族に対して、食品や日用品等の生活必需品の支援を行うもの。	822	821	821		社会福祉課	69
2	住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付費	住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業	国の「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」に基づき、住民税非課税世帯等へ1世帯当たり10万円の臨時特別給付金を支給するもの。	973,400	553,606		403,356	社会福祉課	72
3	子ども・子育て支援推進費	出生祝いクーポン券交付事業	子どもの誕生を祝福し、その健やかな成長を支援するとともに、子育て世帯の経済的負担の軽減を図る目的で、LINEを通じて電子クーポンを交付するもの。	18,300	12,428	12,428		子育て支援課	73
4	ひとり親家庭等福祉費	子育て世帯生活支援特別給付金給付事業（ひとり親世帯分）	児童扶養手当を受給するひとり親世帯に対し、その実情を踏まえた生活支援を行う観点から、子育て世帯生活支援特別給付金を支給するもの。	46,586	39,461			子育て支援課	81
5	ひとり親家庭等福祉費	子育て世帯生活支援特別給付金給付事業（ひとり親以外世帯分）	児童手当又は特別児童扶養手当を受給し、令和3年度分の住民税均等割が非課税である世帯等に対して子育て世帯生活支援特別給付金を支給するもの。	84,584	27,947			子育て支援課	81
6	子育て世帯への臨時特別給付金等給付費	子育て世帯への臨時特別給付金給付事業	国の「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」に基づき、児童手当を受給する子育て世帯に対して、高校生以下の児童1人当たり10万円の現金を支給するもの。	1,463,000	1,381,231		81,769	子育て支援課	87
7	セーフティネット支援対策費	新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金	生活困窮者の自立支援を図るため、生活福祉資金の特例貸付を借り終えてからも生活が困窮する世帯に対し、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金を支給するもの。	11,140	10,140		1,000	社会福祉課	88
8	セーフティネット支援対策費	福祉燃料券支給事業	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化するなか、原油価格が高騰していることを踏まえ、生活保護世帯等に対する生活支援として、1世帯当たり5,000円の福祉燃料券を交付するもの。	20,000	16,455			社会福祉課	88
9	予防接種費	インフルエンザ予防接種助成事業	新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行を抑えることにより、医療機関の負担軽減を図るため、小中学生、高校生及び妊婦に対しインフルエンザ予防接種費を助成するもの。	21,525	20,821	20,821		保健センター	100
10	教育委員会事務局費	中学校修学旅行計画変更に伴う支援補助金	保護者の負担軽減を図るため、感染拡大の影響により、修学旅行の計画を変更した場合の経費を市が負担するもの。	3,132	2,990	2,990		学校教育課	174

No.	事業名	細事業名	概要	予算額	決算額	うち交付金	翌年度繰越額	担当課	報告書ページ
11	教育相談費	小・中学校家庭教育専門支援員配置事業	不安や悩みを抱える子どもの相談体制を充実させるとともに、家庭を訪問する等保護者や児童生徒等に対する支援の強化を図るもの。	2,867	1,574			学校教育課	176
12	就学援助費（小） 就学援助費（中）	就学援助事業	オンライン学習に係る通信費の援助を新たに行うもの。	1,310	898			学校教育課	183 189
市民生活支援事業（12件） 合計				2,646,666	2,068,373	37,060			

2 事業者支援、地域活性化事業

No.	事業名	細事業名	概要	予算額	決算額	うち交付金	翌年度 繰越額	担当課	報告書 ページ
1	財産管理費	指定管理者支援金	新型コロナウイルス感染症の拡大による臨時休館や外出控えによる指定管理施設の利用の減少に伴う利用料金の減収に対して、市の算定基準に基づき指定管理者への支援を行うもの。	4,500	4,480	4,480		資産経営課	25
2	移住・定住促進事業費 (繰越明許)	さららか射水移住・活性化支援事業	地方移住や在宅勤務などの機運の高まりに対応して市内未利用地や空き家の解消を図り、定住人口・関係人口の増加につなげるもの(土地家屋購入費、修繕費補助)。	8,000	8,000	8,000		観光・定住課	31
3	移住・定住促進事業費	移住情報発信事業	移住促進、関係人口創出を図るためのマッチングサイト(SMOUT)を活用し、移住情報を発信するもの。	1,100	1,100			観光・定住課	33
4	地域交通対策費	タクシー支援事業費補助金	市内を運行するタクシー事業者の事業継続のため、車両の維持に係る経費を支援するもの。	2,075	2,025	2,025		生活安全課	51
5	地域交通対策費	路線維持費特別補助金	感染拡大防止を図るため、複数市町村をまたがって運行する路線バス事業者に対して、車内密度を上げないよう配慮した運行に係る経費を近隣自治体と協調して支援するもの。	5,135	4,382	4,382		生活安全課	51
6	コミュニティバス運行費	公共交通感染防止運行協力支援事業費補助金	感染拡大防止を図るため、コミュニティバス運行事業者に対し、運行本数を維持し、3密を避けるための費用を支援するもの。	3,107	2,986	2,986		生活安全課	52
7	万葉線対策費	万葉線新型コロナウイルス感染拡大防止対策補助金	市民等の移動手段の確保及び3密回避のため、通常の運行本数の維持等に対応する経費を万葉線側に補助するもの。	11,986	11,824	11,824		生活安全課	55
8	海面漁業振興費	魚価低迷緊急支援事業補助金	感染拡大による魚価の低迷の影響を受けている漁業者の負担軽減を図るため、販売手数料を補助するもの。	22,911	22,859	20,974		農林水産課	131
9	商工業振興費 (繰越明許)	キャッシュレス決済 ポイント還元・消費喚起事業	市内店舗でキャッシュレス決済を行った際にポイント還元を実施することで、市内店舗における消費喚起を行い、キャッシュレス決済の普及促進を図るもの。	563,600	560,471	560,471		商工業立地課	134
10	商工業振興費	消費喚起プロジェクト支援補助金	地域における消費喚起を目的として射水市商工協議会が実施する消費喚起事業(いみず地域まるごと応援券)の実施を支援するもの。	50,000	40,362	36,697		商工業立地課	135
11	商工業振興費	新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金等	富山県の営業時間短縮の要請に協力した事業者及び要請により影響を受けた飲食関連事業者へ協力金等を支給するもの。	49,500	39,000	39,000		商工業立地課	136
12	商工業振興費	サテライトオフィス等設置促進事業補助金	地方創生テレワーク交付金を活用し、民間企業によるテレワーク拠点施設の整備を支援するもの。	60,600	60,600	15,150		商工業立地課	136
13	観光推進費	射水ならではの旅プラン事業補助金	県内在住者を対象とした市内観光ツアーを企画造成し、広報販売し、参加費助成30%(上限3,000円)と市内クーポン券20%分(上限2,000円)を配布するもの。	3,000	1,108	1,108		観光・定住課	142

No.	事業名	細事業名	概要	予算額	決算額	うち交付金	翌年度繰越額	担当課	報告書ページ
14	観光推進費	Welcome to Imizu 事業補助金	市内へのツアー客及び個人客の誘客促進を図るため、旅行者1名当たり1,000円を旅行業者に助成するとともに、市内で利用できる1,000円のクーポン券を交付するもの。	10,000	4,919	4,919		観光・定住課	142
15	観光推進費	にぎわい創出集客イベント開催支援事業	商業者、事業者等が連携した民間主導による小規模の賑わいイベントの開催を支援するもの。	1,000	300	300		観光・定住課	142
16	観光推進費	外国人向けAIチャットボット導入事業負担金	デジタルツールを活用した観光サービスの整備を図るため、県下全域でAIチャットボットを導入するもの。	226	226	226		観光・定住課	142
事業者支援、地域活性化事業（16件） 合計				796,740	764,641	712,542			

3 感染拡大防止対策事業

No.	事業名	細事業名	概要	予算額	決算額	うち交付金	翌年度繰越額	担当課	報告書ページ
1	広報広聴費 (繰越明許)	市LINE公式アカウントによる新型コロナウイルス感染症等に関する情報発信事業	子育て世帯を支援するため、新生児のいる世帯を対象に出生祝いクーポン券をLINEで交付するシステムを構築するもの。	11,381	10,318	10,318		未来創造課	17
2	広報広聴費	市LINE公式アカウントによる新型コロナウイルス感染症等に関する情報発信事業	市LINE公式アカウントを開設し、新型コロナウイルス感染症に関する情報や災害・防災情報等の迅速な発信を行うもの。	3,300	2,178			未来創造課	18
3	財産管理費 (繰越明許)	市公共施設衛生環境向上化事業(自動給水栓化)	市公共施設における新型コロナウイルス感染症対策の一環として、不特定多数が利用する給水栓からの接触感染の防止を図るため、自動給水栓化工事を行うもの。	107,390	84,047	56,530		資産経営課	24
4	電算管理費	テレビ会議用端末等購入事業	テレビ会議用端末及びテレビ会議システム周辺機器を整備するもの。	8,000	7,956	7,956		資産経営課	41
5	DX推進事業費	テレビ会議システム運用事業	一か所に参集することなく会議を行うことや、近年多発する気象災害や新型コロナウイルス感染症の対応等において、緊急に会議を開催する機会を確保するもの。	3,630	3,630			資産経営課	43
6	DX推進事業費	テレワークシステム運用事業	非常時のみならず、育児や介護等を行う職員のワークライフバランスを実現するため、在宅型テレワークを実施するもの。	594	594			人事課	43
7	防災対策費	避難所AI体温検知カメラ購入事業	避難所における感染拡大防止の観点から、AI体温検知カメラ等を購入するもの。	1,000	999			総務課	56
8	防災対策費	避難所用感染症対策物品購入事業	避難所における感染拡大防止の観点から、感染対策用の物品を購入するもの。	300	281			総務課	56
9	高齢者福祉施設費	介護施設等感染症対策備蓄品購入事業	市内介護施設等におけるサービス従事者感染症対策に係る衛生用品を市が備蓄し、施設において感染症が発生した場合に無償で配布するもの。	2,524	2,504	2,504		介護保険課	68
10	放課後児童健全育成事業費	放課後児童クラブ感染症対策保健衛生用品購入支援事業	放課後児童クラブにおける新型コロナウイルス感染症対策に係る経費を補助するもの。	10,600	8,686	2,896		生涯学習・スポーツ課	76
11	放課後児童健全育成事業費	とやまっ子さんさん広場運営補助金(感染拡大防止事業)	感染拡大防止のため、マスク、消毒液、非接触体温計等保健衛生用品・備品を整備するもの。	1,280	1,120	560		生涯学習・スポーツ課	76
12	子育て支援センター運営費	新型コロナウイルス感染症対策事業(子育て支援センター分)	子育て支援センターにおける新型コロナウイルス感染症対策として、保健衛生用品を購入するもの。	3,000	2,164	722		子育て支援課	77
13	ファミリーサポートセンター運営費	新型コロナウイルス感染症対策事業(ファミリーサポートセンター分)	ファミリーサポートセンターにおける新型コロナウイルス感染症対策として、保健衛生用品を購入するもの。	300	171			子育て支援課	78

No.	事業名	細事業名	概要	予算額	決算額	うち交付金	翌年度繰越額	担当課	報告書ページ
14	保育園等管理運営費	新型コロナウイルス感染症対策事業（公立保育園分）	公立保育園等における新型コロナウイルス感染症対策として、保健衛生用品を購入するもの。	7,200	3,639	1,780		子育て支援課	83
15	保育園等管理運営費	公立保育園等ICT化推進事業	公立保育園のICT化を推進し、保護者と公立保育園が専用サイトやアプリを介して情報共有することで、保育業務負担の軽減を図るもの。	9,000	4,809	2,583		子育て支援課	83
16	保育園等運営委託等事業費	新型コロナウイルス感染症対策事業（民間保育園分）	民間保育園等における新型コロナウイルス感染症対策に係る経費を補助するもの。	18,500	15,317	6,267		子育て支援課	85
17	保育園等運営委託等事業費	民間保育園等ICT化推進事業補助金	民間保育園が業務負担軽減等を図るためのシステム導入経費を補助するもの。	10,763	6,210	2,073		子育て支援課	85
18	保育園等整備事業費	民間保育園等自動給水栓化工事補助金	感染拡大防止を図るため、民間保育園等における自動給水栓化工事に対し補助するもの。	29,000	24,501	8,718		子育て支援課	86
19	児童館管理運営費	新型コロナウイルス感染症対策事業（児童館分）	児童館における新型コロナウイルス感染症対策として、保健衛生用品の購入等を行うもの。	2,100	1,983	994		子育て支援課	87
20	母子保健推進費	産後ケア施設感染症拡大防止対策事業	新型コロナウイルス感染症の影響により人と触れ合う機会や外出機会が減少している産婦の孤立感や母体の負担軽減を図るため、宿泊型・日帰り型事業所を拡充するもの。	1,079	1,005			保健センター	93
21	母子保健推進費	新型コロナウイルス感染症対策事業	母子総合相談室及び乳児家庭全戸訪問事業における新型コロナウイルス感染症対策として、保健衛生用品の購入を行うもの。	600	592			保健センター	93
22	母子保健推進費 歯科保健対策推進費	母子保健事業、歯科保健事業における感染症予防事業	母子保健事業、歯科保健事業における感染症予防物品（グローブ、ガウンなど）を購入するもの。	1,092	1,082	1,082		保健センター	93 94
23	感染症予防費	公共施設における安全・安心確保事業	公共施設における感染拡大防止対策を講じるため、手指消毒剤等の感染症予防物品を購入、設置し新規感染者及びクラスター発生を抑制するもの。	9,279	3,934	3,000		保健センター	100
24	新型コロナウイルスワクチン接種費（繰越明許）	新型コロナウイルスワクチン接種事業	新型コロナウイルスワクチン接種（1、2回目）を実施するもの。	623,657	472,218			保健センター	101
25	新型コロナウイルスワクチン接種費	新型コロナウイルスワクチン接種事業	新型コロナウイルスワクチン接種（3回目、小児）等を実施するもの。	455,380	181,507		251,984	保健センター	101
26	病院事業会計繰出金	市民病院感染対策事業【病院事業会計繰出金】	新型コロナウイルス感染症対策の強化及び効率化のための物品の整備や業務委託の実施にあたり、一般会計から繰り出すもの。	1,763	1,763	1,763		市民病院経営管理課（財政課）	-

No.	事業名	細事業名	概要	予算額	決算額	うち交付金	翌年度繰越額	担当課	報告書ページ
27	道の駅維持管理費 (繰越明許)	道の駅新湊空調設備改修工 事事業	感染拡大防止のため、観光客をはじめ、県内外の多くの人を訪れる道の駅新湊の空調を、換気能力や冷暖房能力の高い空調に替えるもの。	45,063	37,950	36,718		観光・定住課	143
28	教育調査研究費	I C T教育総合支援事業	公開授業への参加や大学教授等の外部講師による指導を受けることで、教員のI C T教育等に関する知識・技能を高めるもの。	352	119			学校教育課	176
29	教育調査研究費	授業目的公衆送信補償金制 度使用料	オンライン授業等の際に、インターネットで送信する資料等に対する著作権料を、事前に補償金として一括で支払うもの。	1,117	825	825		学校教育課	176
30	学校管理費(小) 学校管理費(中)	統合型校務支援システム運 用事業	校務・成績・学籍・保健管理等の校務を統一的なシステムでデジタル化し、管理することにより、業務の効率化を図るもの。	21,342	21,342			学校教育課	179 186
31	学校管理費(小) 学校管理費(中)	学校施設消毒事業	小・中学校における新型コロナウイルス感染症の集団感染を防ぐため、感染者が発生した施設の消毒を行うもの。	6,957	6,957	6,300		学校教育課	179 186
32	健康管理費(小) (繰越明許) 健康管理費(中) (繰越明許)	学校再開に伴う感染症対 策・学習保障等に係る支援 事業	感染対策の徹底を図るため、衛生用品等を購入するほか、子どもたちの学びを保障するため、学校教育活動や家庭学習に必要な教材を購入等行うもの。	23,200	23,100	11,551		学校教育課	180 187
33	健康管理費(小) 健康管理費(中)	学校保健特別対策事業費補 助金	市内小中学校に対し、感染症対策・学習保障等に係る支援を行うもの。	28,550	2,859	1,430	25,650	学校教育課	180 187
34	健康管理費(小) 健康管理費(中)	小・中学校A I体温検知カ メラ購入	小中学校におけるクラスター発生防止の観点から、外部から来校される方々等に対する体温検知についてA I体温検知カメラを購入するもの。	6,720	4,882	4,882		学校教育課	180 187
35	スクールバス運行費 (繰越明許)	新型コロナウイルス感染症 対策スクールバス購入事業	年式が古く換気機能が十分でない小杉小学校のスクールバスを更新するもの。	31,053	27,619	27,619		学校教育課	181
36	教育振興運営費(小) 教育振興運営費(中)	児童生徒1人1台端末整備事 業	児童生徒への1人1台端末の整備等により、I C T教育に必要な環境を整備し、コロナ禍を踏まえた学習の実現を図るもの。	146,201	146,201			学校教育課	182 189
37	幼稚園管理費	新型コロナウイルス感染症 対策事業(幼稚園分)	幼稚園における新型コロナウイルス感染症対策として、保健衛生用品の購入を行うもの。	400	52	27		子育て支援課	193
38	成人式式典費	成人式感染症対策事業	参加者による新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、成人式の参加者に対し事前に抗原検査キットを配布するもの。	2,181	2,181	2,181		生涯学習・スポーツ課	195

No.	事業名	細事業名	概要	予算額	決算額	うち交付金	翌年度 繰越額	担当課	報告書 ページ
39	スポーツ施設維持管理費 (繰越明許)	公共施設予約管理システム 導入事業	利用者が直接窓口に向くことなく予約が行えるよう、体育施設 や文化施設に予約管理システムを導入するもの。	33,044	33,044	33,044		生涯学習・スポーツ課	214
感染拡大防止対策事業（39件） 合計				1,668,892	1,150,340	234,322			

